



2024年度

## 大門1号幹線・6-2

福山市 大門町四丁目外3か町 地内

## 道路改良工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長	L=105.7m
	道路幅員	W=20m
	側溝工	L=198m
	集水柵工	N=11箇所
	縁石工	L=391m
	アスファルト舗装工	L=2068m <sup>2</sup>
	路面切削工	A=1500m <sup>2</sup>
	区画線工	一式
	信号柱移設	N=10箇所
信号灯器移設	N=40箇所	
下水マンホール工	N=9箇所	

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- ・本特記仕様書は、福山道路・幹線道路課 道路改良工事（大門1号幹線・6-2）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・令和6年度改訂 交通信号機等共通仕様書
- ・その他関連規格類

### 第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

### 第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>

### 第4節 地元への周知・地権者への承諾

- 1 受注者は、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- 2 受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。
- 3 地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- 4 受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所について監督員と協議すること。
- 5 受注者は上記の結果を福山市指定の様式により、監督員に提出後、工事着手すること。

### 第5節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。  
なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

### 第6節 工事に着手すべき期日について

- 受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

## 第2章 材料

### 第1節 コンクリートの配合指定あり

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

## 第3章 施工条件

### 第1節 工程

#### ・関連する別途工事

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| ・工事名   | 道路改良工事（大門1号幹線・5-1） |
| 他工事の内容 | 中央分離帯撤去工事          |
| ・工事名   | 道路改良工事（大門1号幹線・6-1） |
| 他工事の内容 | 道路改良工事             |
| ・工事名   | 道路改良工事（大門1号幹線・6-3） |
| 他工事の内容 | 道路改良工事             |

#### ・関係機関との協議

- |         |                   |
|---------|-------------------|
| ・協議先機関名 | 上下水道局             |
| ・協議内容   | 工事に支障となる配水管移設について |
| ・協議先機関名 | 福山ガス(株)           |
| ・協議内容   | 工事に支障となるガス管移設について |
| ・協議先機関名 | N T T             |
| ・協議内容   | 工事に支障となる電柱移設について  |
| ・協議先機関名 | 中国電力              |
| ・協議内容   | 工事に支障となる電柱移設について  |

#### ・工事支障物件

- |       |  |
|-------|--|
| ・調査項目 | 水道・ガス配管・窒素管（大陽日酸(株)）位置確認   |
| ・調査時期 | 工事施工前に埋設物の確認を行うこと。   |
| ・移設期間 | 工事期間中  |
| ・提出書類 | 受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、窒素管、その他の地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。 |

#### ・検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

### 第2節 用地

#### ・借地

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| ・面積   | 100m <sup>2</sup> |
| ・期間   | 床掘～構造物工～埋戻        |
| ・復旧方法 | 借地範囲を整地して返すこと。    |

### 第3節 安全対策

#### ・交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を

- 図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
  - 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
  - 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
  - 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

### ・熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、補正が必要となる場合には、監督員へ通知を行わなければならない。

経費の補正については以下の条件によるものとする。

- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。  
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
  - (1) 補正方法
    - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、

「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（％）＝真夏日率×1.2

(2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。

7 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

## 第4章 その他

### 第1節 アスファルト舗装について

・長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数は、「舗装設計便覧(平成18年度)P.81」に則り、室内試験からアスファルト混合物の等値換算係数を評価し、その強度などに応じた等値換算係数を道路管理者が設定したものを使用する。  
長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数について、表-1に従うことを確認するため、技術資料を提出すること。

表-1 長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数

混合物種	等値換算係数
密粒度アスファルト混合物(13)	1.7

### 第2節 信号移設工事について

- ・交通信号機等工事について、「交通信号機等工事共通仕様書」（別紙）を適用する。「交通信号等工事共通仕様書」（第1章 第1適用範囲）に記載されている「広島県警察本部」は「福山市福山道路・幹線道路課」と読み替える。信号機工事の施工者は広島県警本部の信号機工事指名業者であること。（下請業者も可とする）
- ・本工事の信号工事は移設であり、信号の現示調整は特に要しないものとする。また、移設する機器は既存を流用または支給するものとしているため、間接工費のうち技術者間接費及び機器間接費は見込んでいない。移設に伴い適用の必要が生じる場合は、発注者と受注者との協議対象とする。

### 第3節 現場標示板等について

「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。  
(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。)

### 第4節 その他項目

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。
- ・受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表すよう努めるものとする。
- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 交通信号機等工事共通仕様書

(令和6年度改訂)

## 第1章 総則

### 第1 適用範囲

- 1 本仕様書は、広島県警察本部が発注する交通安全施設の新設、改良及び改修並びに移設等の電気・電気通信工事に適用する。ただし、灯火式道路標識に係る工事は適用外とする。
- 2 特殊な工事については、別に定める仕様書によるものとする。
- 3 設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、本仕様書に優先するものとする。

### 第2 用語の定義

- 1 監督職員  
監督職員とは、請負工事の施工において、その指定を受けた発注者側の職員をいう。
- 2 指示  
指示とは、発注者側の発議により監督職員が請負者に対し、監督職員の所掌事務に関する方針、基準などを示し実施させることをいう。
- 3 現場代理人  
現場代理人とは、請負者が施工する工事について、工事現場の管理をつかさどる総括責任者をいう。

### 第3 一般事項

- 1 信号設備工事（以下「本工事」という。）は、広島県契約規則、広島県建設工事執行規則、広島県土木工事共通仕様書、設計図書の最新版及び本仕様書により施工すること。  
なお、本工事の工期には、検査期間として14日間を見込んでいる。
- 2 本工事の施工に関し、建設業法等に抵触する行為は厳に行わないこと。また、建設業法に違反する一括下請契約、いわゆる裏ジョイント契約その他不適切な形態により工事を実施する等契約当事者間の信頼を損なう行為は行わないこと。
- 3 本工事は、電気設備の技術基準、及びその他関係規定に適合するように施工すること。
- 4 本工事に使用する機器、材料はすべて形式指定のもの、又は同等以上のものとする。
- 5 本工事の施工に際し、設計図面と現場との確実な照査を実施し、施工目的を達成すること。  
なお、照査を行う中で、疑義等が生ずる場合については、監督職員へ直ちに連絡し、事前に指示を受けること。
- 6 本工事施工に伴う道路占用協議、共架申請、河川占用許可申請、専用回線申込の手続きは、原則、発注者において行う。ただし、これらの協議又は申請に際し必要となる資料について、別途、監督職員の指示がある場合については、当該資料の作成をしなければならない。
- 7 本工事施工に伴う道路使用許可申請、給電の新規及び廃止申込、諸報告、その他上記6以外の手続きは請負者において行い、給電申込の契約者名は管轄警察署長とすること。  
なお、本工事の施工において設備の増減等に伴い、受電電力契約の変更が必要となる場合には、次のとおり請負者において変更契約を行うこと。
  - (1) 負荷設備の総消費電力が1kva未満となる場合（公衆街路灯Bから公衆街路灯Aに変更する。）
  - (2) 負荷設備の総消費電力が1kva以上となる場合（公衆街路灯Aから公衆街路灯Bに変更する。）
  - (3) 負荷設備に増減等があり、総消費電力が変動となる場合で、変更前後の総消費電

力が1kva未満の場合（公衆街路灯Aの変更契約をする。）

- 8 本工事完成後2箇年度（設置年度末日から起算）以内に、施工又は機器、材料の不良に基づく故障等が生じた場合には、請負者の責任において完全に修理すること。
- 9 請負者は、本工事完成後1箇年度（設置年度末日から起算）は、信号機設備の機能を保持するため、次に掲げる点検等を必要に応じて行うこと。
  - (1) 機器の点検
  - (2) レンズ及び灯器のしき掃
  - (3) 電球取替
  - (4) その他信号設備の機能保持に必要な手入れ

#### 10 現場説明資料の配付

入札説明書、設計図面、仕様書などの現場説明資料の配付については、原則、データ情報を電子メールにて送信することにより行う。よって、送信を希望するアドレス先を発注者へ通知するとともに、変更がある場合については直ちに発注者（工事担当課）へ申し出ること。

なお、データ情報を受信した指名業者にあつては、直ちに「指名業者名」「担当者名」「連絡先」及び「受信を完了した旨の内容」を付記し、送信アドレス先へメールを返信すること。

また、やむを得ず外部記録媒体により現場説明資料の配付を受けようとする場合には、現場説明日の前日（前日が閉庁日の場合には、直近の開庁日）の12時までに発注者（工事担当課）へその旨を事前連絡するとともに、配付を受けようとする外部記録媒体内のデータについては全て消去し、ウイルスチェックを確実に実施した後、当日提示すること。事前連絡がない場合、外部記録媒体による配付には応じられない場合があるので、十分注意すること。

#### 11 工事仕様書等の情報流出防止

発注者から配付する（配付形態はデータ、ペーパーを問わない。）仕様書や図面などの情報について、次のことを確実に遵守し、情報流出の防止に万全を期すること。

##### (1) 発注者から配付を受けたデータ情報（以下「データという。」）の取扱い

###### ア ウイルスチェックの実施

データを取り扱うパソコンはもちろん、データを取り扱うパソコンと同一ネットワークで接続されているパソコンについては、最新のパターンに更新されたウイルス対策ソフトをインストールし、常時ウイルスチェックが行われる環境を整備すること。

###### イ ファイル共有ソフトの使用禁止

データを取り扱うパソコンへは「Winny」に代表されるファイル共有ソフト等は、絶対にインストールしないこと。

###### ウ 外部記録媒体の紛失防止

データを保存したメモリースティックなどの外部記録媒体を持ち出す場合には、持ち出し記録簿を作成する等外部記録媒体の管理体制を確立して、当該媒体の紛失防止に徹底を期すること。

##### (2) ペーパー情報の取扱い

###### ア ペーパーの紛失防止

ペーパー情報の所在確認はもちろん、社外に持ち出す場合は、出社時、帰社時等適宜その所在を確実に確認し、外部記録媒体と同様に紛失防止に徹底を期すること。

###### イ スキャナーを使用したペーパー情報の取り込み

スキャナーを使用し、ペーパー情報を取り込む場合は、取り扱うパソコンのウイルスチェック及びファイル共有ソフトがインストールされていないことを確実に確認して、情報流出防止に万全を期すること。

##### (3) 自宅での作業の禁止（当課が配付したものに限る。）

情報流出の多くは、データを自宅へ持ち帰って作業中に、ウイルス対策の行われて

いないパソコンやファイル共有ソフトを介し、インターネット上に流出している。したがって、データはもちろん、ペーパーについても自宅へ持ち帰っての作業については禁止する。

(4) その他

万一、当該が配付等した情報が外部へ流出した場合、又は流出した可能性がある場合には、監督職員まで直ちに通報すること。

- 12 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を使用しなければならないときは、発注者は引渡し前であっても工事目的物の全部又は一部を使用することができる。
- 13 設計図書及び仕様書等で不明、又は疑義のある事項、あるいは本仕様書に記載のないことで本工事に必要と認められるものは、あらかじめ監督職員の指示を受けること。
- 14 請負金額1千万円以上の工事は、原則として中間検査の対象とし、検査日は別途監督職員が連絡する。

#### 第4 工事現場の管理

##### 1 主任（監理）技術者の配置等

- (1) 建設業法第26条の規定により請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事する者で、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。
- (2) 請負者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者は、次のいずれかとすること。なお、発注者から請求があったときは、資格を証明する書類を提示すること。

ア 建設業法第15条第2号イ又はロに該当する者

イ 建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣が同号イ又はロに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者であって、次のいずれかに該当する者

(ア) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者

(イ) 平成16年2月29日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者

(ウ) 平成16年2月29日以前に監理技術者講習を受け、平成16年3月1日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者であって、監理技術者資格者証及び指定講習受講修了証を有する者

##### (3) 主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

ア 契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）

イ 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

ウ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

エ 工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

(4) 主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

ア 受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき

イ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と請負者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

(5) 主任（監理）技術者の兼務制限

ア 請負金額4,000万円以上及び建設業法第26条第2項が適用されない工事

(ア) 建設業法施行令第27条第2項が適用される密接な関係のある公共工事  
で、当該工事箇所相互の距離が10km程度で同一の市町内（安芸郡4町については、同一市町として取り扱う。以下同じ。）であれば本件工事を含め2件の兼務を可能とする。

※ 密接な関係のある工事とは、工作物に一体性又は連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事（資材の調達を一括で行う場合や工事の相当部分を同一の下請業者で施工する場合を含む。）をいう。

※ 工事箇所間の距離の算定に当たっては、複数箇所を合併して発注する場合を含め、最も近接する施工箇所を距離算定の基礎とする。

※ 本運用による取扱いの対象となる工事箇所は、複数箇所を合併して発注する場合を含め、全て同一の市町内でなければならない。

(イ) 兼務の届出に当たり、下請工事の予定を明らかにすること。

(ロ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

イ 請負対象設計金額4,000万円未満の工事

兼務制限なし。

2 現場代理人の配置等

(1) 請負者は、請負者と直接的な雇用関係を有する者を現場代理人として選定し、本工事施工中は、常時本工事現場に配置すること。ただし、次に掲げる条件をいずれも満たす場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という）第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

ア 請負金額4,000万円未満の建設工事であること。

イ 監督職員等と携帯電話等で常に連絡が取れること。

(2) 現場代理人は、常に工事が安全に行われるよう現場管理を行うこと。また、災害防止については万全の措置を執り、特に火気の取扱いについては厳に注意すること。

(3) 次の要件を満たす場合、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。

ア 請負金額4,000万円以上の工事

(ア) 建設業法施行令第27条第2項が適用可能な工事で、同一の専任の主任技術者が当該工事の監理を行うことが認められるものであること。

(イ) 兼務する公共工事が、本件工事を含め2件以内であること。

(ロ) 兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

- (エ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。
- (オ) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。
- (カ) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

イ 請負金額4,000万円未満の工事

- (ア) 兼務する公共工事が、本件工事を含め5件（災害復旧工事及び路線委託に係る件数を除く。）以内であること。
  - (イ) 兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。
  - (ウ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。
  - (エ) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。
  - (オ) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。
- (4) 本工事現場において他の工事がある場合には、常に相互協調して紛争を起さないうよう留意すること。
- (5) 本工事施工中は、道路使用の適正、交通の危険防止などに十分留意すること。
- 3 工事施工に際し、他の者が所管する工作物等に障害、損傷を与えた場合、又は第三者の生命、身体に危害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告のうえ適切に処置すること。
- 4 工事中は、一般通行人に見え易い場所に「信号工事中」等の標示板を設置すること。
- 5 信号の滅灯を伴う工事施工に当たっては、あらかじめ管轄警察署に交通規制の一時解除の申請を行うこと。
- 6 請負者は、工事完了に際しては速やかに仮設物を撤去し、後片付け及び清掃を行うこと。

7 建設廃棄物処理関係

本工事から発生する建設廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）」及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理すること。

建設リサイクル法で義務付けのある建設工事を実施する場合、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材）が廃棄物になったものをいう。）については、当該廃棄物を基準に従って工事現場で分別（分別解体等）し、再資源化等適正に処理しなければならない。

建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理すること。

なお、建設廃棄物の処理費用には広島県産業廃棄物埋設税相当額を見込んでいる。

- 8 暴力団等の不当要求及び工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除について
- (1) 暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、所轄の警察署に届け出ること。
  - (2) 発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じること。
  - (3) 排除対策を講じたにも関わらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。
  - (4) 発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。
  - (5) 暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。
  - (6) 当該被害により、工期の遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第2

1条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと

#### 9 立入調査の実施について

発注者は、請負人が工事の施工にあたり遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているか立入調査を行うことができる。

請負人は発注者又は発注者の指名する者が工事現場、現場事務所又は営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。

#### 10 その他留意事項

- (1) 工専用資機材等の運搬において過積載にならないようにすること。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者に資材の搬入を行わせないこと。
- (3) ダンプカーのさし枠装着等による違法行為は行わせないこと。
- (4) 工事中の安全確保について、建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課及び国土交通省総合政策局建設施工企画課長通知（平成17年3月31日）を参考とすること。
- (5) 交通誘導は必ず工事ヤードの内側で向かってくる通行車両に対面して行うこと。また、交通整理機材を効果的に活用し、事故に遭わないよう常に通行車両に注意して誘導にあたること。
- (6) 短時間の工事資器材積卸しなどによる停車は、車道のできる限り左側端に沿うようにして行い、絶対に歩道上には停車しないこと。また、工事施工により歩道上に車両を停める場合は道路使用許可を得て行い、あらかじめカラーコン等で駐車スペースを確保して交通整理員の誘導により安全に行うこと。

### 第5 提出書類等

#### 1 電力関係

請負者は、受電の新規、変更及び廃止申込書を電力会社へ提出する前に監督職員へその写しを提出し、内容の確認を受けること。また、受電の新規、変更及び廃止の完了後、速やかに契約番号及び使用開始年月日等の必要事項が記載された関係書類の写しを電力会社から受領し、監督職員へ提出すること。

なお、受電の変更に伴い供給地点特定番号の変更を把握した場合は、監督職員へ速やかに報告すること。

#### 2 保管指示のある撤去品の取扱い

請負者は、工事施工に伴う既存施設の撤去品のうち保管の指示があるものは指定場所に返納するとともに、信号機等搬入完了届を提出すること。

#### 3 工事写真

工事写真は広島県が定める写真管理基準の最新版に従うこととし、次のことに留意すること。

- (1) 信号柱の基礎等、不可視となる出来形部分については、出来形寸法が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。  
なお、基礎工事については床掘り、基礎砕石工、鉄筋配置、コンクリート打設の各段階における完了時点を撮影すること。
- (2) 写真は全て鮮明であること。また、工事前後の違いが確実に分かるように撮影し、一見して判別し難い施工部位は矢印等で表記すること。
- (3) 各工事場所毎に施工中の写真を1枚以上添付すること。
- (4) 写真には、工事関係者以外の人物が写り込まないこと。
- (5) 信号柱の基礎及び管路埋設の施工に係る工事写真は、監督職員に電子データを提出すること。

#### 4 施工計画書

請負者は、工事着手前（工事始期日以降30日以内）に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等について次の項目が記載された施工計画書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。ただし、本工事に関係のない項目及び簡易な工事について

ては、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表
- (4) 指定機械
- (5) 主要船舶・機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画
- (9) 安全管理
- (10) 緊急時の体制及び対応
- (11) 交通管理
- (12) 環境対策
- (13) 現場作業環境の整備
- (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- (15) その他

受注者は、施工計画書に、次の事項を追加して記載しなければならない。

- (16) 段階確認に関する事項
- (17) 現場環境改善等の実施内容
- (18) 安全・訓練の活動計画

請負者は、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度当該工事を着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を作成し提出すること。

監督職員が指示した事項については、請負者はさらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

#### 5 工事履行報告

約款第11条の履行報告は、工期が1ヶ月を越えるものについて、工事の進捗状況を毎月7日までに監督職員に書面をもって報告すること。

#### 6 出来形管理基準

出来形管理基準は別紙1のとおりとする。

請負者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、別紙3信号機等設置図で定める設計値と実測値を対比して記録した出来形表又は出来形図を作成し、管理するものとする。記録は中間検査時及び完成検査時に監督職員に提出すること。

#### 7 工事カルテ作成・登録

請負者は、受注時又は変更時の請負金額が500万円以上の工事においては、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、登録、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事实績データ」を作成し、監督職員の確認（サイン又は押印）を受けたうえ、登録時は契約締結の日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、途中変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、竣工時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

なお、現場管理費率に「CORINS登録にかかる費用」を見込んでいる。なお、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

#### 8 建設リサイクル

請負者は、建設リサイクル法第9条第1項に規定する「対象建設工事（下記《対象建設工事の定義》参照）」については、次の各号の規定を遵守しなければならない。

- (1) 請負者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について、建設リサイクル法及び廃棄物処理法を遵守し、適正に処理しなければならない。

ない。

- (2) 対象建設工事を請け負おうとする者は、建設リサイクル法第12条第1項に基づき、同法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

※ 「分別解体等の計画等」「工程表」を添付すること、

- (3) 請負契約の当事者は、建設リサイクル法第13条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成14年国土交通省令第17号。以下「省令」という。）第7条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

- (4) 対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から5日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第12条第1項に基づく書面」を提出し、建設リサイクル法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について説明（事前説明）をした後、発注者（契約担当課）に対して、「法第13条及び省令第7条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお、この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

ア 「法第12条第1項に基づく書面」及び「法第13条及び省令第7条に基づく書面」は、広島県の調達情報のホームページ中、様式集の建設副産物関係様式により作成すること。（<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>）

イ 「法第13条及び省令第7条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。

ウ 「法第13条及び省令第7条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとする。

- (5) 請負者は、その請け負った工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、法第12条第2項に基づき、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について、告知書様式で告げなければならない。

- (6) 請負者は、契約締結後14日以内に、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め本工事の監督職員に提出しなければならない。

- (7) 請負者は、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適性に処理されたことを確認し、工事完成時に、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督職員に提出しなければならない。

- (8) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、次の事項を書面に記載し、監督職員に報告しなければならない。

なお、書面は「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を兼ねるものとする。

- ・ 再資源化等が完了した年月日
- ・ 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 再資源化等に要した費用

- (9) 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。た

だし、建設資材廃棄物が、破碎等（選別を含む）により有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。

有用物とは有価物たる性状を有するものをいい、客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければならない。

- (10) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処理費）は、前号に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

《対象建設工事の定義》

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（1品目以上）

- ① コンクリート
- ② コンクリート及び鉄から成る建設資材
- ③ 木材
- ④ アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計 80㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計 500㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額 1億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額 500万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

- 9 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」を契約締結後14日以内に提出すること。

10. 保険の付与及び事故の補償

- (1) 請負者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
- (2) 請負者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。
- (3) 請負者は、請負代金額300万円以上の場合は、建設業退職金共済制度における共済証紙（以下「共済証紙」という。）の購入状況等を書面により、工事完成時までに発注者（契約担当課）に提出しなければならない。報告に当たって、共済証紙を販売する金融機関が発行する発注者用掛金収納書を添付することとし、共済証紙を購入しなかった場合（請負契約額の増額変更等があった場合で、共済証紙の追加購入をしなかった場合を含む。）には、その理由を書面により発注者（契約担当課）に報告すること。

11 火災保険等

工事目的物及び工事材料を必要に応じ、火災保険又は建設工事保険等に附すること。この場合、発注者の指示がある場合については、当該証券等の写しを提出すること。保険契約期間は、契約日の翌日（工期始）から目的物引渡日までとすること。ただし、受注工事毎に附する保険ではなく、請負者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合には、新契約を締結するなど不測の事態に対応できるよう万全を期すること。

12 工事を下請に施工させる場合

- (1) 「県工事を下請に施工させる場合の留意事項」（建設工事関係要領等、広島県発行）を遵守し、元請、下請関係の適正化を図ること。
- (2) 請負者は、この工事を施工するために下請契約を締結したときは、特定建設業

の許可の有無にかかわらず、また、当該下請契約の請負代金の額の多寡にかかわらず、遅滞なく建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第14条の6の例によって各下請人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、その写しを発注者に提出しなければならない。また、工事を施工するために締結した下請負契約について、広島県土木工事共通仕様書に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督職員に提出しなければならない。なお、施工体系図及び施工体制台帳の内容に変更を生じた場合は、その都度変更した施工体系図及び施工体制台帳の写しを発注者に提出しなければならない。

施工体制台帳の写しには、下請業者との注文請書、下請業者の建設業許可証、工事に必要となる資格者証等、雇用関係証明書類及び作業員名簿を添付すること。

(3) この工事の施工に際して、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く。）を第三者に請け負わせようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。

(4) 社会保険等未加入対策の取扱いは次のとおりとする。

ア 請負者は、次に掲げる届出の義務を履行していない建設業者等（建設業法（昭和24年法律第100号）第2条第3項に規定する建設業者及び同法第3条第1項ただし書の政令で定める軽微な建設工事のみを請け負うことを営業とする者をいい、当該義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）を下請負人（同法第2条第5項に規定する下請負人をいう以下同じ。）としてならない。

(ア) 健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務

(イ) 厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務

(ウ) 雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

イ アの規定にかかわらず、請負者は、次の各号に掲げる下請負人の区分に応じて、当該各号に定める場合は、社会保険等未加入建設業者を下請負人とすることができる。

(ア) 受注者と直接下請契約（建設業法第2条第4項に規定する下請契約をいう。

以下同じ。）を締結する下請負人で次のいずれにも該当する場合

・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合

・ 発注者の指定する期間内（原則30日）に、当該社会保険等未加入建設業者がアに掲げる届出の義務を履行した事実を確認することができる書類（以下「確認書類」という。）を、受注者が発注者に提出した場合

(イ) (ア)に掲げる下請負人以外の下請負人で次のいずれかに該当する場合

・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合

・ 発注者が受注者に対して確認書類の提出を求める通知をした日から30日（発注者が、受注者において確認書類を当該期間内に提出することができない相当の理由があると認め、当該期間を延長したときは、その延長後の期間）以内に、受注者が当該確認書類を発注者に提出した場合

### 13 主要資材の購入

(1) 資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。

(2) 請負者は資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地及び資材名等を「主要資材購入先名簿」により監督職員を通じて発注者に通知するものとする。

### 14 工事目的物の引き渡し

工事目的物の引き渡しについて、工事完成検査終了時に工事目的物の引渡しを行う際、引渡書を監督職員に提出すること。

15 建設発生土処分

当該工事により建設発生土の発生が見込まれる場合、記仕様書で指定する場所に搬出するものとし、完了後に伝票の写しを提出すること。

16 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提示

適正な廃棄物処理を確認するため、請負者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提示しなければならない。提示する産業廃棄物管理票は「D票」又は「E票」とする。

なお、工期内に当該「D票」又は「E票」の提示が困難である場合については、当面当該「A票」を提示し、後日、当該「D票」又は「E票」を提示すること。

17 建設副産物情報交換システムへの登録

最終工事請負金額が100万円以上の工事については、建設副産物情報交換システム（COBRIS）へ登録すること。登録に際しては、副産物の発生しない工事についても対象とする。登録対象工事については、施工前に当該システムにより作成した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め、完成時に同様に作成した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」をそれぞれ監督職員へ提出すること。なお、これにより難しい場合には、監督職員と協議すること。

当該システムの利用及び操作方法については、（財）日本建設情報総合センターのホームページ（<http://www.recycle.jacic.or.jp/index.html>）を参照のこと。

18 信号制御に係る設定表

信号制御機の設定変更を伴う工事及び信号制御機を新設・更新する工事については、運用開始前までに監督職員へ設定表を提出し確認を受けるとともに、運用開始後は補正事項等を整理の上、速やかに監督職員に提出すること。

また、信号制御機について、第4章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、製造工事の受注者が行うこと。

19 信号制御機等の錠

信号制御機等の錠については、発注者が承認したものに限る。請負者は、次の事項が分かる一覧表（様式不問）を作成し、当該錠を発注すること。

- ・ 工事番号及び監督職員氏名
- ・ 錠の品番、大きさ及び数量
- ・ 錠を使用する交差点名
- ・ 錠を使用する機器名及びメーカー

また、信号制御機等について、第4章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、当該機器の製造工事の受注者が行うこと。

20 信号制御機の製造及び改造

信号制御機の製造及び改造は、設計図書の現示階梯図で指定するとおり行うこと。

21 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を運用するときは、請負者は工事

完了後ただちに別紙2のチェックシートによる確認を行うこと。また、確認後のチェックシートは遅滞なく発注者へ電子メール、FAX又は持参により提出すること。

22 請負代金内訳書

請負者は、約款第3条に規定する請負代金内訳書を作成し、発注者に提出しなければならない。

23 その他

上記のほか、別に発注者が指示した場合、当該書類を提出すること。

## 第2章 共通工事

### 第1 土木工事

#### 1 障害物処理

障害物の処理は次により施工すること。

- (1) 工事の支障となる障害物は、監督職員の指示に従って処理する。
- (2) 工事のため道路を掘削する場合は、事前に関係機関と地下埋設物占用協議を行うなど打ち合わせを行い、不測の事態に備えること。
- (3) 既存の電機工作物、給排水管、ガス管等の埋設物が露出する場合は、当該管理者の立ち会いを求め、損傷しないよう十分注意する。

#### 2 掘削

掘削は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

- (1) 舗装の取り壊しは、コンクリートカッター等を使用して必要部分のみをカットする。
- (2) ブロック舗装のブロック平板は、損傷しないよう丁寧に取り扱い、支障のない位置に整理する。
- (3) みぞ掘り、つぼ掘りをし、又はえぐり掘りをしてはならない。
- (4) 掘り上げ土は、舗装部（又は衣土）、上層土及び下層土を区分してたい積し、飛散しないように注意する。
- (5) 工事のため、路面の排水を妨げないようにする。また、工事に支障を及ぼす雨水、わき水、たまり水などは、第三者に支障を与えないように排水する。
- (6) 掘削は所定の深さまで行い、石や突起物を取り除き床面を平坦にならし、底固めとする。
- (7) 道路横断箇所の掘削は、横断部の1/2又は1/3ずつ掘削し、その部分の埋設及び埋戻し完了後、次の掘削に移り、常に道路の片側部分の交通を確保する。

#### 3 覆土及び埋戻し

埋設完了後の埋戻し工事は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

- (1) 掘削箇所は、必ず当日中に埋戻しを行い、安全な覆土を施し、交通その他に開放する。
- (2) 掘削土を埋戻す場合は、下層土は下層に、上層土は上層に確実に埋戻しする。
- (3) 掘削土をそのまま埋戻すことが不適当な場合には、他の良質な土砂を埋戻す。
- (4) 砂利道の表面仕上げを行う場合には、路面表土をもって掘削前の路面と同じように締め固める。
- (5) 所定の支持力が得られるようランマー、木たこ等で20cmごとに突き固めるか、水締めをしながら埋戻す。

#### 4 路面復旧

路面復旧については、道路管理者その他の許可条件により完全に復旧すること。

なお、本復旧までの間は、アスファルト又はレミファルト等で仮復旧し、交通の支障とならないように努めること。

### 第2 基礎工事

基礎工事は、別紙3信号機等設置図に従い、次により施工すること。

#### 1 床掘工事

第1「土木工事」に準じて施工すること。

#### 2 基礎砕石工

所定の深さに掘り下げ床付面を平たんにならし、再生砕石を施して十分締め固めながら所定の厚さに仕上げるものとする。

なお、割栗石又は玉石を使用する場合は小端立として敷並べ、この上に目潰し砂利

を施し、十分締め固めながら所定の厚さに仕上げる。

仕上げ厚は普通地盤の場合、10cmとする。

### 3 基礎コンクリート工

#### (1) 材料

コンクリート工事に用いる材料は、原則としてJIS認定工場で製造したレディ-ミックスドコンクリートを使用する。

##### ア コンクリートの強度等

コンクリートの強度は、無筋構造物は設計基準強度18-8又は12-40、鉄筋構造物は24-12-20又は25を満たすものとする。

イ 鉄筋は、JIS G-3101（一般構造用圧延鋼材）の2種（SS-400）又は、4種（SS-400）とする。

#### (2) コンクリート工事

コンクリート工事は、次により施工すること。

##### ア 打ち込み

コンクリートの打ち込みに際しては、鉄筋、管類、その他打ち込み材を移動させないように注意し、適当な器具で突き固める。

##### イ 養生

コンクリート打ち込み後は、急激な温度変化（特に低温）、乾燥、荷重、衝撃等の有害な影響を受けないよう十分これを保護する。

##### ウ 型わく

型わくは、コンクリート部材の位置、形状及び寸法に正しく一致させ、堅固で荷重、乾湿、振動の影響によって狂いの起こらない、かつ安全にこれを取り外すことができ、またモルタル漏れのない構造とする。コンクリートが必要な強度を発揮するまで存続した後、構造物に衝撃や振動を与えないよう静かに取り外す。取り外した後、コンクリートの不良個所を発見した場合は、監督職員の指示に従い、念入りに補修する。

##### エ モルタル仕上げ

モルタル仕上げの指示がある箇所は、コンクリートにモルタルが密着するように仕上げる。モルタルの調合は容積調合で、普通、セメント：砂=1：2又は1：3とする。

## 第3章 信号機等設置工事

### 第1 信号専用柱工事

#### 1 建柱

- (1) 建柱位置は、設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。  
なお、柱から基礎側端までのコンクリートかぶり厚は10cm以上確保する。
- (2) 建柱は原則として砂締め（スパイラルダクトと柱の隙間に砂を充填し、水を注入して固める）又はベース式により行い、特に指定する場合以外は、支線、支柱、根かせを使用しない。
- (3) 根入れは「柱長の1/6以上」とする。ただしベース式の場合は除く。
- (4) 電柱には、必要に応じて足場ボルトを設ける。

#### 2 反射材

コンクリート柱は指定の反射シートを、鋼管柱は指定の反射シート又は反射ステッカーを別紙3信号機等設置図のとおり取付けること。なお、反射シートの合わせ部は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側でかつ金具の出っ張りが歩道内側にならないよう施工すること。

#### 3 電柱札

信号柱には、柱番号（県警〇号柱）、柱の製造年月（西暦で表記）、製造メーカー、規格が分かる電柱札を取り付けること。なお、表示には不滅インク、刻印等の滅失しないものを使用すること。

#### 4 鋼管柱の耐食処理及び地際補強

##### (1) 直管及び曲管

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の地際部から上下20cmまでの範囲とする。

また、基礎上部が地盤面と同等の高さとなる非舗装の場合は、地際に雨水等が溜まらないように、モルタル金ごてにより信号柱に向けて適切な排水勾配をつけて表面仕上げをすること。

なお、基礎上は目視できるように、土砂等を被せずに施工すること。

##### (2) ベース式

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の最下部から45cmまでの範囲とし、プレート部も含むものとする。また、アンカーボルトの露出部には保護キャップを取り付け、キャップとプレートの隙間には防水処理を施すこと。

### 第2 信号機等取付工事

#### 1 信号制御機取付工事

##### (1) 取付位置

制御機の設置位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。なお、原則として制御機の横方向が道路と平行で、取付位置は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側になるように設置し、歩行者等の通行の支障とならないようにすること。

##### (2) 取付方法

制御機の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とする。

ア 自立式は、別紙3信号機等設置図の制御機基礎に設置する。また、制御機内底面のケーブル入線部は防湿対策を施すこと。

イ 電柱抱込式は、付属の取付金具を使用すること。

ウ 他所管の電柱に取り付ける場合は、設置条件を遵守し、毀損したり障害を与え

ないようにする。

エ 扉は原則として歩道側から開け配管が障害となり十分な扉の開閉ができないことのないよう施工すること。

- (3) 接地工事  
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

## 2 信号灯器取付工事

- (1) 取付位置等  
信号灯器（以下「灯器」という。）の取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図によるほか、詳細については監督職員の指示による。

- (2) 取付方法
  - ア 付属のバンド、ブラケット又は、自立ポール等の取付金具を使用する。
  - イ 他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。
  - ウ 灯器が、強風、地震にも十分耐えるよう堅固に取り付ける。
  - エ 車両用灯器のアーム長が3m以上の場合は、振れ止め金具を取付けること。

- (3) 接地工事  
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。なお、自立式歩行者用灯器はリブプレートに接地線を電氣的、機械的に堅固に接続すること。

## 3 押ボタン箱取付工事

- (1) 取付位置  
押ボタン箱の種別、取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、押ボタン箱の取付方向については監督職員の指示による。

- (2) 取付方法  
押ボタン箱の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。

- (3) 接地工事  
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

## 4 車両感知器取付工事

- (1) 取付位置  
車両感知器の種別、取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。

- (2) 取付方法  
車両感知器制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。また、車両感知器送受器の取付は「信号灯器取付工事」に準じて施工する。

- (3) 接地工事  
第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

## 5 視覚障害者用付加装置取付工事

- (1) 取付位置  
視覚障害者用付加装置の取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。

- (2) 取付方法  
視覚障害者用付加装置制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。  
スピーカーは専用アームに取付け、スピーカーの位置が横断歩道中心線上となるよう設置する。

- (3) 誘導音出力  
南北方向に横断する歩行者に対して「ピヨ」及び「ピヨピヨ」、東西方向に横断する歩行者に対して「カッコー」及び「カカッコー」を音響出力すること。

- (4) 接地工事

第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

(5) 運用開始

運用開始（更新時を除く）は竣工検査に合格した後とし、それまでは試験調整時以外に音を鳴らしてはならない。

6 その他留意事項

(1) 使用するターンバックル

信号灯器や車両感知器などの支持に使用するターンバックルについては、脱落防止措置が執られたものを使用すること。

(2) 信号灯器などの取り外し

信号灯器や車両感知器などの取り外しの際には、補強ステー等が脱落しないようロープ等で結び部品に至るまでの脱落防止措置を講ずること。また、取り外し中は交通規制を確実に実施し、歩行者や車両等への接触事故を未然に防ぐこと。

(3) バンド類の取付

配管等を固定するため地上高2.5m未満の位置で自在バンド等を使用するときは、出張り部の向きを調整し、歩行者等が接触する恐れのないよう配慮すること。

### 第3 配線工事

#### 1 一般事項

(1) 電線の途中接続，電線管内での接続は，絶対に行わない。

(2) 電線と機器端子との接続は，緩むおそれのないように，二重ナット又はスプリングワッシャを使用し，十分締め付ける。

なお，より線の場合は圧着端子を使用する。

(3) 機器筐体内では電線を束線バンド，ビニールテープ等で束ね，整頓し，後の改良や保守業務を行う者が作業しやすいようにしておくこと。

#### 2 架空配線工事

(1) 地上高

架空配線が道路を横断する場合は，地表上6m以上とし，歩道上で交通に支障がない場合は基本的に5m以上とする。また軌道を横断する場合は，給電線との間隔を0.6m以上とし，その他については「電気設備の技術基準の解釈について」第68条の規定に従い施工すること。

(2) 架空配線の引き留め

吊線は，支持点にシンプル，巻付クリップ等を使用し堅固に取り付け，この場合，配線に無理がないようにする。なお，引き留め時にメッセンジャーワイヤーが切断される場合は，別紙3信号機等設置図のとおりビニル絶縁電線(IV2.0mm<sup>2</sup>)とアースクランプにより切断部を接続すること。

(3) 灯器への入線（引き下げ）

灯器への配線の引き下げは，ケーブル支持金物及びツツミ形碍子等により柱に接触しないよう引き下げるほか，灯器内に余長を確保する。

(4) 接続端子函の取付

制御機立ち上がり配線と架空配線，又は灯器引き下げ配線と架空配線との接続用に，防水形の接続端子函を原則として地上高5m以上の位置に取り付ける。

なお，端子数及び取り付け柱の指定は，設計図による。

(5) 制御機立ち上がり配線

制御機からの立ち上がりケーブルは，電線管で防護し，柱上の接続端子函に接続する。

なお，電線管の先端は，雨水等の浸入を防止する処置を施すと共に，電線管及びプラントチューブがU字状になる部分については最下部に水抜き穴を施すこと。

(6) 他所管の電柱に取り付ける場合は，取付条件を遵守し，毀損したり障害を与えないようにする。また，信号機用のケーブルであることが判るよう指定のケーブル表示札を，別紙3信号機等設置図のとおり取付けること。

### 3 地中配線工事

地中配線にて行う場合は、次により施工すること。

- (1) 使用管路  
ケーブルの埋設は管路式とし、内部に浸水しないよう施工すること。  
使用する管路の形状、寸法は別途指定する。
- (2) ハンドホール等  
ケーブルの接続箇所、分岐箇所及び屈折箇所には、ハンドホールを設けることとし、その形状、寸法は別途指定する。
- (3) 管路の埋設位置  
管路の埋設位置については設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。  
なお、管路の位置を示す埋設シートを管路の上部に敷設すること。
- (4) 埋設の土かぶり  
土かぶりは、歩道部では0.6m以上、車道部では1.2m以上とする。ただし、保安上支障がなく、かつ道路に関する工事の実施上支障がない場合で、監督職員の指示を得た場合はこの限りでない。
- (5) 埋設土工事  
管路埋設土工事に関しては、第2章「共通工事」に準拠する。

### 4 電線引込工事

電線引込工事は、次により施工すること。

- (1) 屋外配電盤の取付  
制御機の直近の所定位置に自動遮断機、積算電力計、タイムスイッチ等必要に応じた装置を内蔵した防水形屋外配電盤を取り付ける。  
工事設計書において停電対策用配電盤（窓なし）を指定している場合、通電状況を確認することができる表示灯、発電機用ケーブル差込口及び抜け防止コンセントを備えること。
- (2) 電源引込線の入線（引き下げ）  
電源引込線の接続点から屋外配電盤、及び制御機までの配線は、電線管で保護する。

### 5 接地工事

金属管体、メッセンジャーワイヤーはD種接地（接地抵抗100Ω以下）を施すこと。

なお、信号制御機管体以外の接地は、信号制御機管体の接地極と共通接地とするが、これが不可能な場合は独立接地とする。自立式機器管体は原則として独立接地とする。

### 6 その他留意事項

- (1) 信号制御機、その他機器の設置及び配線等の接続に際し、雨水や虫等の侵入の恐れがある部位については、防水及び侵入防止の処理を施すこと。
- (2) 配線の確実な確認  
配線の間違ひは、信号機の誤動作・滅灯などを引き起こし、これに起因する交通事故に発展する恐れがある。現場では、複数の作業員によるチェック体制を確立するとともに、平素から事故を未然に防ぐための信号機関係設備の構造研究や事故事例の検証を行い、作業員の能力向上を図るよう社内教養を徹底すること。  
なお、灯器コモン線は接続不良であっても正常な動作をしているように見える場合があるため、端子接続時は特に注意すること。
- (3) 作業完了後の動作確認  
信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実に行うこと。
- (4) 工事機材の適正な使用

工事で使用する工具や重機等の工事機材は、取扱説明書等で示された正しい方法により使用すること。

## 第4章 分離発注工事

### 第1 分離発注工事の内容

分離発注とは、信号機の設置等工事を、機器の製造、改造等（以下「製造工事」という。）と製造工事を除く設置等の工事（以下「設置工事」という。）とで分担し、施工する工事をいう。

### 第2 用語の定義

#### 1 機器

機器とは、次のものをいう。

- (1) 制御機
- (2) 配電盤
- (3) 視覚障害者用付加装置
- (4) 車両用灯器
- (5) 歩行者用灯器
- (6) 押ボタン箱
- (7) 車両感知器
- (8) その他設計図書で特に指定するもの

#### 2 製造工事

製造工事とは、機器のうち設計図書で指定されたものの製造、改造、試験調整する工事をいう。

#### 3 設置工事

設置工事とは、機器及び材料を使用し信号機の設置等をする工事をいう。

### 第3 工事の範囲等

#### 1 製造工事

製造工事は、次により施工すること。

- (1) 機器の製造  
設計図書に基づき指定された機器を製造すること。
- (2) 機器の改造  
信号の制御や付加機能のために機器に必要な改造を行うこと。
- (3) 試験調整  
現場に設置された機器が正常に動作するよう試験調整するほか、設定表がある場合は当該設定表に従い動作するように設定を行うこと。
- (4) 作業完了後の動作確認  
製造工事は機器が現場において正常に動作することをもって完成とするため、信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実にすること。
- (5) その他  
機器の納入場所は、別途発注する設置工事の工事現場を原則とし、時期等について設置工事の受注者と連絡調整を行うこと。

#### 2 設置工事

設置工事は、次により施工すること。

- (1) 土木工事  
第2章「共通工事」に準拠する。
- (2) 基礎工事  
第2章「共通工事」に準拠する。

- (3) 信号専用柱工事  
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。
- (4) 信号機等設置工事  
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。
- (5) 配線工事  
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。

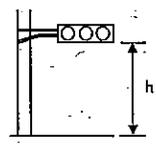
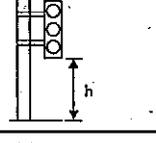
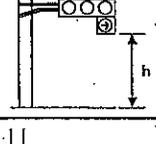
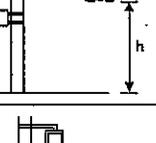
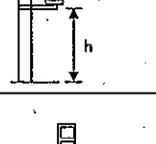
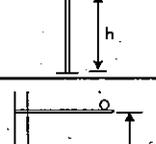
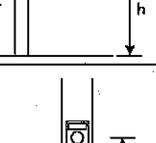
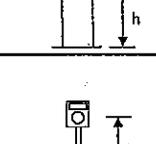
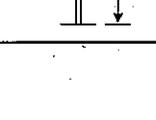
#### 第4 受注者間の協力

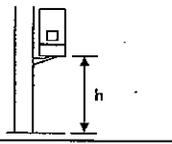
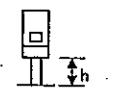
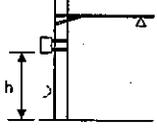
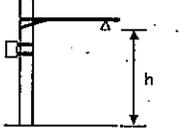
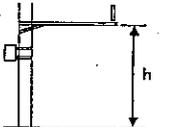
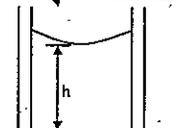
製造工事及び設置工事の受注者は円滑に工事が完成するよう、必要な事項について連絡及び連携を図り、相互に協力すること。

また、疑義が生じた場合は速やかに監督職員の指示を受けること。

出来形管理基準

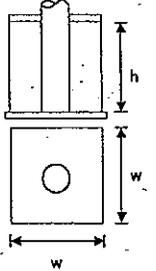
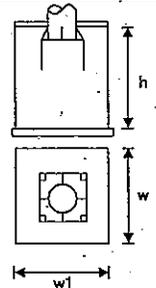
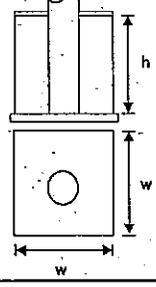
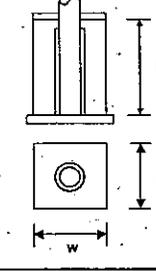
単位:mm

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	交通信号機工	信号灯器取付工	車両用信号灯器	横形3位式灯器取付工	高さ h	+300 (横三位式灯器) +500 (銘板)	取付箇所毎。 銘板が灯器下部取付の場合は、銘板下部から測定。		以下、交通信号機工に関して、他柱に共架する際、他の共架物等により規格値以上の位置に取り付ける場合は、監督員との協議が必要。
				縦形3位式灯器取付工	高さ h	+300	取付箇所毎。		
				矢印灯器取付工	高さ h	+500	矢印灯器本体下部から測定。		
				一灯点滅式信号制御機取付工	高さ h	+300	灯器下部から測定。		
		歩行者用信号灯器	シムレット形側柱式灯器取付工	高さ h	+300	取付箇所毎。 取付アーム下部から測定。			
			シムレット形自立式灯器取付工	高さ h	+300	取付箇所毎。			
		視覚障害者付加装置取付工	視覚障害者用付加装置スピーカー	視覚障害者用付加装置スピーカー取付工	高さ h	+300	スピーカー又はスピーカー取付アームの最下部から測定。		
		押ボタン箱取付工	押ボタン箱	側柱式押ボタン箱取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。 ボタン中心部から測定。		
				自立式押ボタン箱取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。 ボタン中心部から測定。		

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
交通信号機設備	交通信号機工	交通信号制御機取付工	信号制御機	側柱式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は、配電盤本体下部から測定。		側柱式視覚障害者用付加装置制御機は、本規格値を適用する。	
				自立式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は、配電盤本体下部から測定。			
		車両用感知器取付工 無線伝送装置取付工	車両用感知器筐体	取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。		一点減式信号機制御機及び無線伝送装置制御機は、本規格値を適用する。	
				送受波器	取付工	高さ h	+500	取付箇所毎。 送受波器本体下部から測定。		
				アンテナ	取付工	高さ h	基準値以上	取付箇所毎。 アーム下部から測定。		
	架空ケーブル工	制御・通信ケーブル架線工	架線工	高さ h	基準値以上	ケーブルたるみの最低部で測定。				

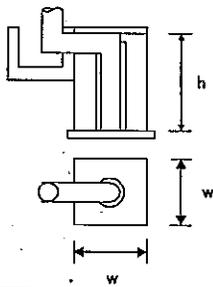
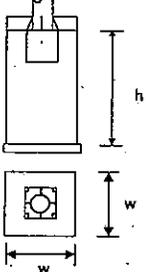
出来形管理基準

単位:mm

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	基礎工(B型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下、信号柱工については、現場の埋設物等の支障物件の有無により、変形基礎とする場合は、監督員と協議の上施工する。 適用範囲は、基礎のコンクリート部分とする。
					幅 w	+50			
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	配筋工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	細径柱基礎	基礎工(直管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			

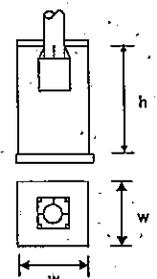
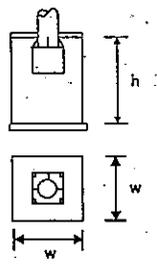
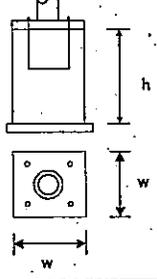
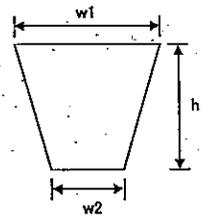
出来形管理基準

単位:mm

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	細径柱基礎	基礎工(曲管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
				基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			

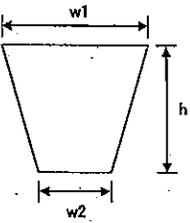
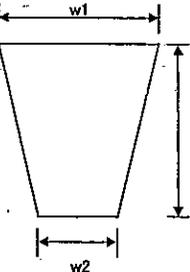
出来形管理基準

単位:mm

章	節	条	校番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
交通信号機設備	自立式信号設備工	自立式歩行者用灯器設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下、自立式信号設備工については、現場の埋設物等の支障物件の有無により、変形基礎とする場合は、監督員と協議のうえ施工する。	
					幅 w	+50				
		自立式押ボタン装置設置工			高さ h	+50		基礎一基毎。		
					幅 w	+50				
		自立式制御機設置工			高さ h	+50		基礎一基毎。		
					幅 w	+50				
	埋設工	管路埋設工			埋設工(舗装厚3cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		以下、埋設工については、埋設物等の支障物件の有無により、変形埋設とする場合は、監督員と協議のうえ、施工する。
						幅 w1, w2	±30			

出来形管理基準

単位:mm

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	埋設工	管路埋設工		埋設工(舗装厚5cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1, w2	±30			
				埋設工(舗装厚10cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1, w2	±30			

工事完了後チェックシート

工実施日	令和 年 月 日
施工業者名	
上記実施日に施工した場所	
上記実施日に施工した内容 ※該当に○をし、数量を記載	・信号制御機 更新・移設( )基 ・歩灯 更新・移設( )灯 ・押ボタン箱 更新・移設( )個 ・信号柱 更新・移設( )本 ・その他( ) ・車灯 更新・移設( )灯 ・車両感知器 更新・移設( )ヘッド ・視覚障害者付加装置 更新・移設( )基 ・ケーブルの張替・引留替え( )径間
特記事項	

種別	責任者	実施者	チェックポイント
工程連絡			・工実施前に監督員に工事予定日等の連絡をしている。
共通項目			・設計図面で指定した位置に、指定した規格の機器が設置されている。
			・設置する機器に損傷や部品の欠落などの欠陥がない。
			・日常の出来形管理を的確に行い、設置高さ等の基準が守られている。
			・機器は確実に固定されており、ナット等に緩みがない。
信号制御機			・現示階梯図で示すとおりに動作している。(全灯器を確認)
			・設定表のとおりに正しく設定されている。(すべての設定項目を確認)
			・半感应、連動機能などオプション機能の動作は仕様書に規定されたとおりである。
			・地域制御機の場合は、下位装置との通信が正常である。
車両用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。
歩行者用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。
車両感知器			・車両を感知したときは制御機内の感知ランプが点灯する。
			・車両を感知して所定の信号現示が表示される。
押ボタン箱			・押ボタンを押すことにより所定の信号現示が表示される。
			・押ボタン箱の窓に「おまちください」「おしてください」が正常に表示される。
視覚障害者用付加装置			・歩行者信号が青のときスピーカーから誘導音が出力されている。
			・南北方向が「ピヨ」「ピヨピヨ」、東西方向が「カッコー」「カカッコー」となっている。
			・音量は移設、更新前と同じである。
信号柱			・柱に傾きがない。
			・路面の復旧が適正に行われている。
			・設置替えた機器の動作は正常である。
			・柱間ケーブルを付け替えたとき、関係する全ての機器の動作が正常である。
その他			・責任者が積荷の状況を確認し、過積載防止に取り組んでいる。
			・現場内の整理整頓、後片付け、清掃を日常的に行っている。
			・保安施設の設置、警備員の配置は、道路使用許可証どおり適切に実施している。

工事完了後に確認した結果は上記チェックシートのとおりです。

確認責任者 \_\_\_\_\_ 印

確認実施者 \_\_\_\_\_ 印

- ※ チェックシートは、信号工事を実施した日毎に作成し、作成後遅滞なく電子メール、FAX又は持参により監督員へ提出すること。
- ※ チェックポイントに従って確認し、適正であれば責任者・実施者欄に○を記入すること。
- ※ 確認責任者だけでなく、他の作業員等、複数人による確認を実施すること。

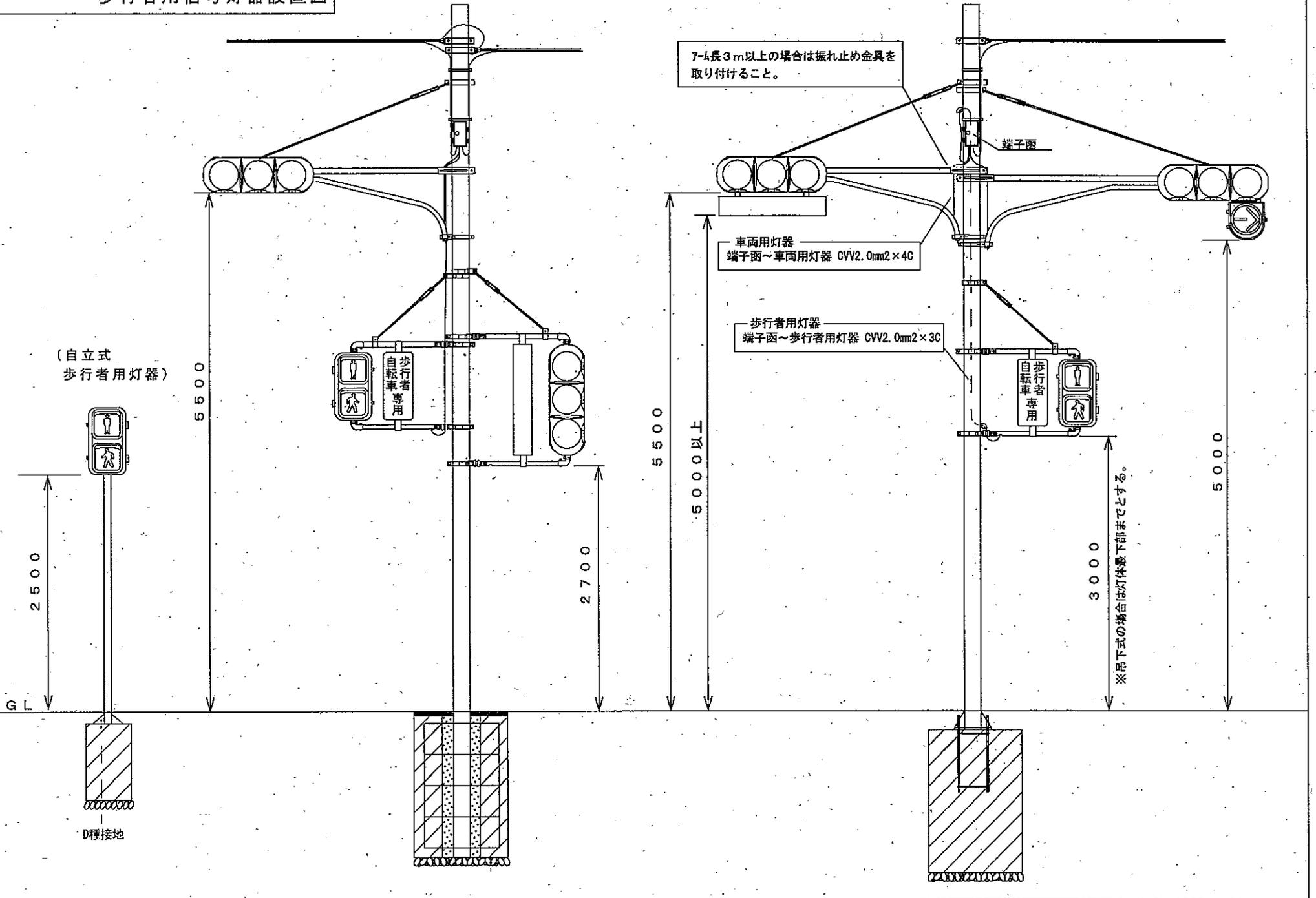
別紙 3. 信号機等設置図

図番 1	車両用灯器歩行者用信号灯器設置図
図番 2	一灯点滅式信号機設置図
図番 3	信号制御機設置図 ( 1 )
図番 4	信号制御機設置図 ( 2 )
図番 5	車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置設置図
図番 6	視覚障害者用付加装置 高齢者等感応用押ボタン箱設置図
図番 7	架空ケーブル・専用柱設置図
図番 8	専用柱基礎仕様図
図番 9	管路埋設自立式機器用基礎等仕様図
図番 1 0	可変標識設備設置図

図番 1 車両用灯器  
歩行者用信号灯器設置図

(外配線方式)

(柱内配線方式)



図番 2 一灯点滅式信号機設置図

受電線 (中電施工)

一灯点滅式信号制御機  
電源引込口~制御機 CV5.5×2C  
端子箱~制御機 CVV2.0mm<sup>2</sup>×3C  
制御機~接地棒 IV2.0mm<sup>2</sup>

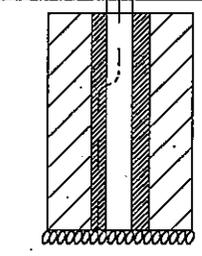
一灯点滅式信号機制御機

架台下部

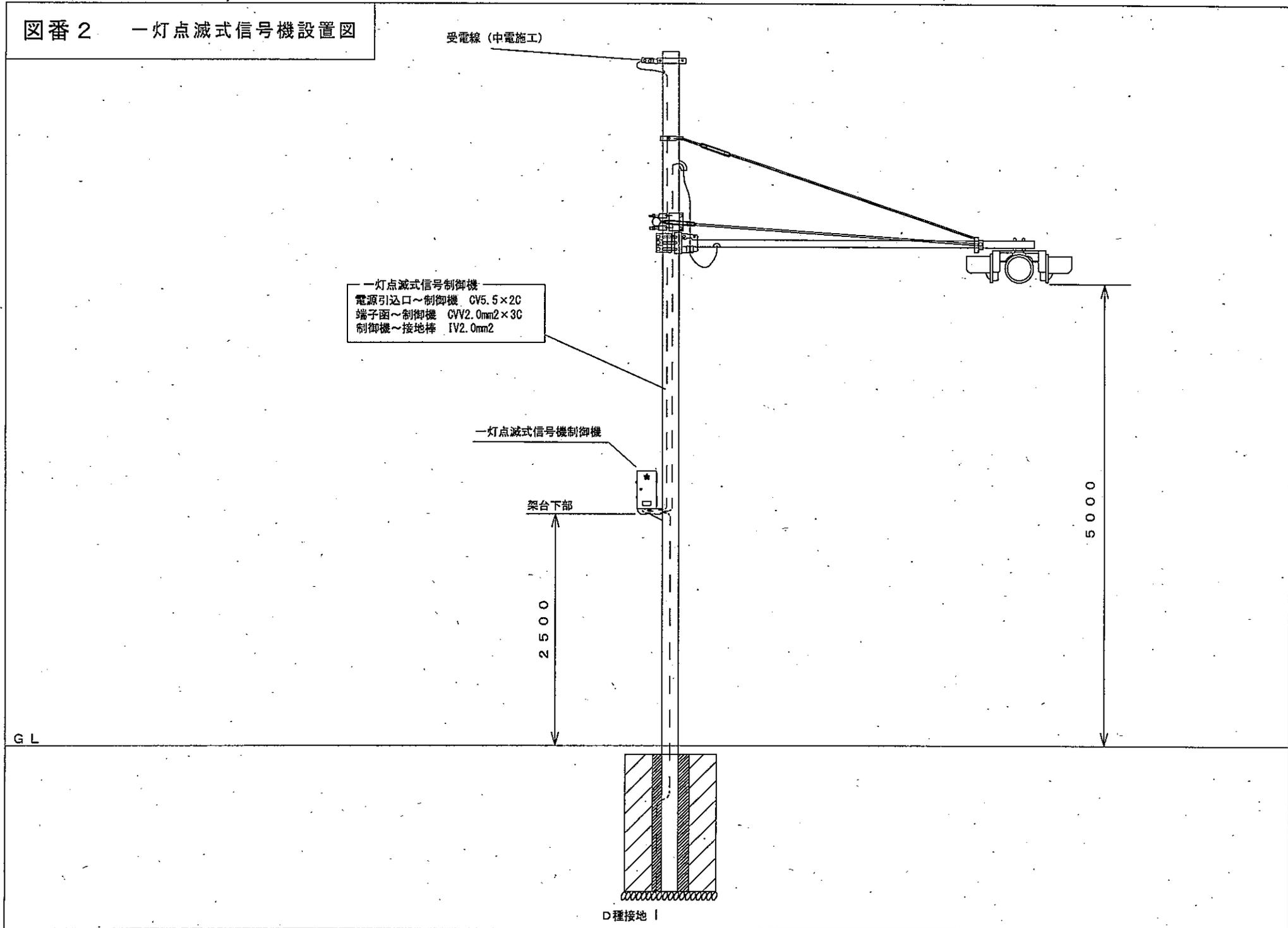
2500

5000

GL



D種接地 |



図番 3 信号制御機設置図 (1)

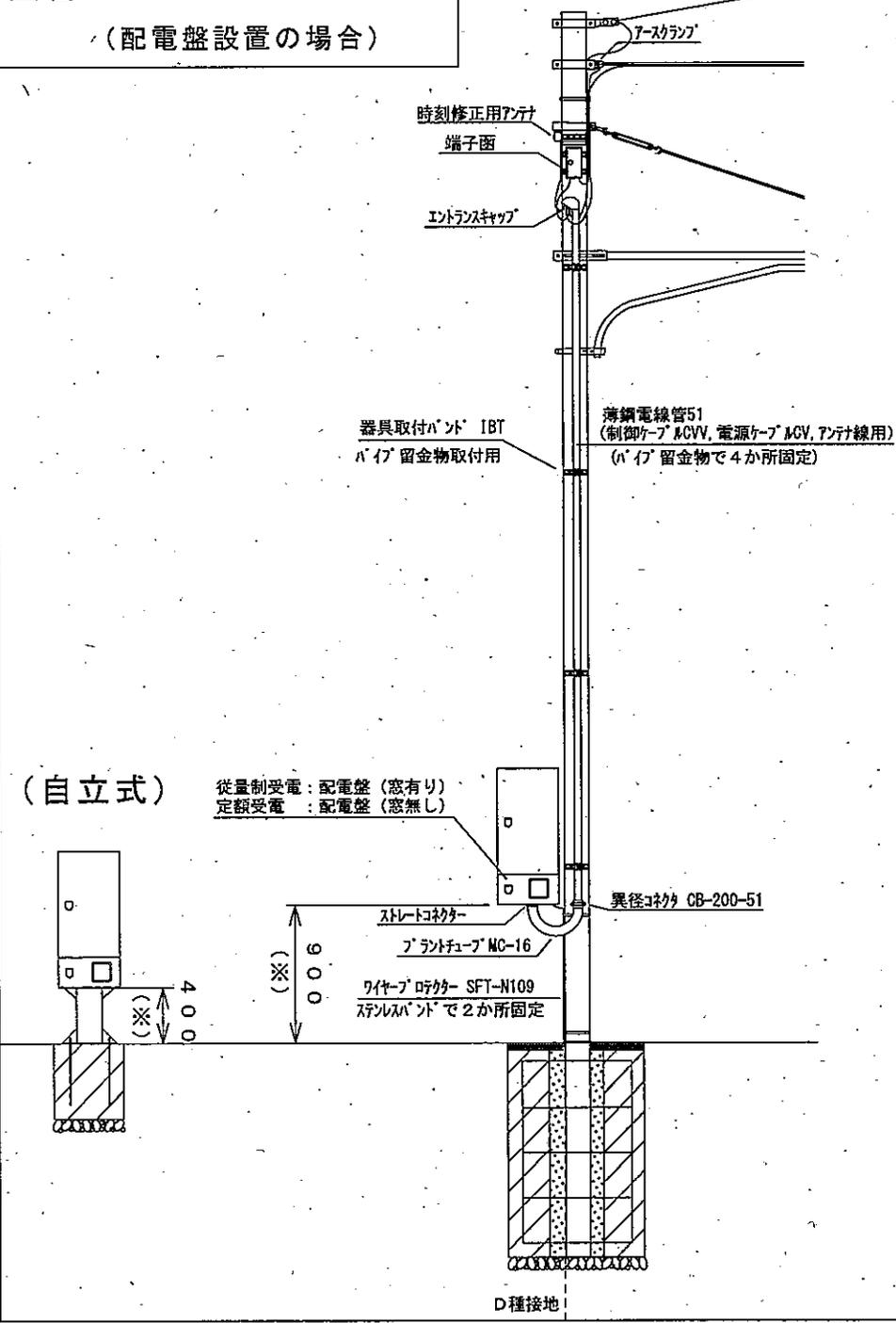
(配電盤設置の場合)

(外配線方式) 受電線(中電施工)

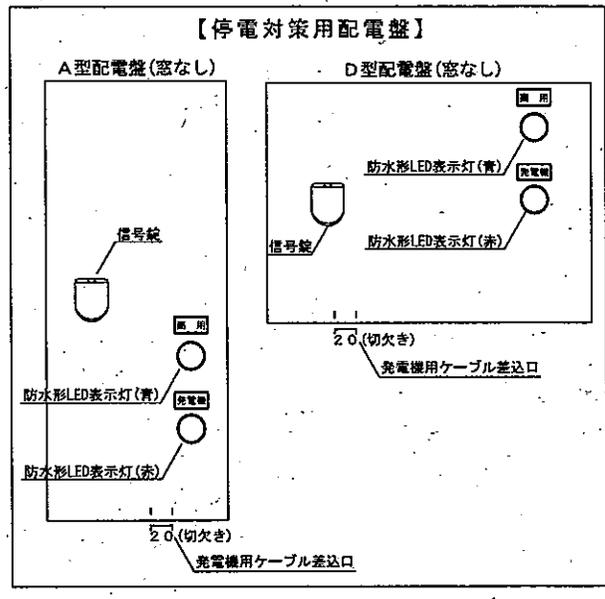
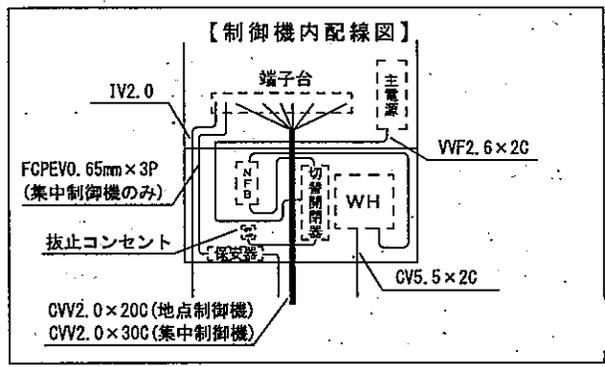
(柱内配線方式) 受電線(中電施工)

(自立式)

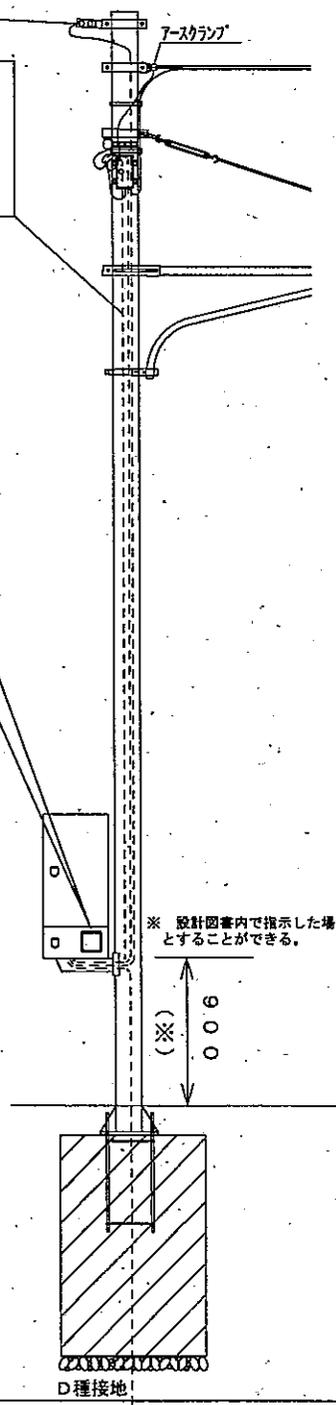
従量制受電: 配電盤(窓有り)  
 定額受電: 配電盤(窓無し)



信号制御機  
 電源引込口~配電盤 CV5.5×2C  
 端子箱~制御機 CVV2.0mm2×20C(地点制御機)  
 CVV2.0mm2×30C(集中制御機)  
 制御機~時刻修正用アンテナ アンテナ線  
 メッセージワイヤ~制御機 1V2.0mm2  
 制御機~接地棒 1V2.0mm2



\* 設計図書内で指示した場合は1500mm以上とすることができる。



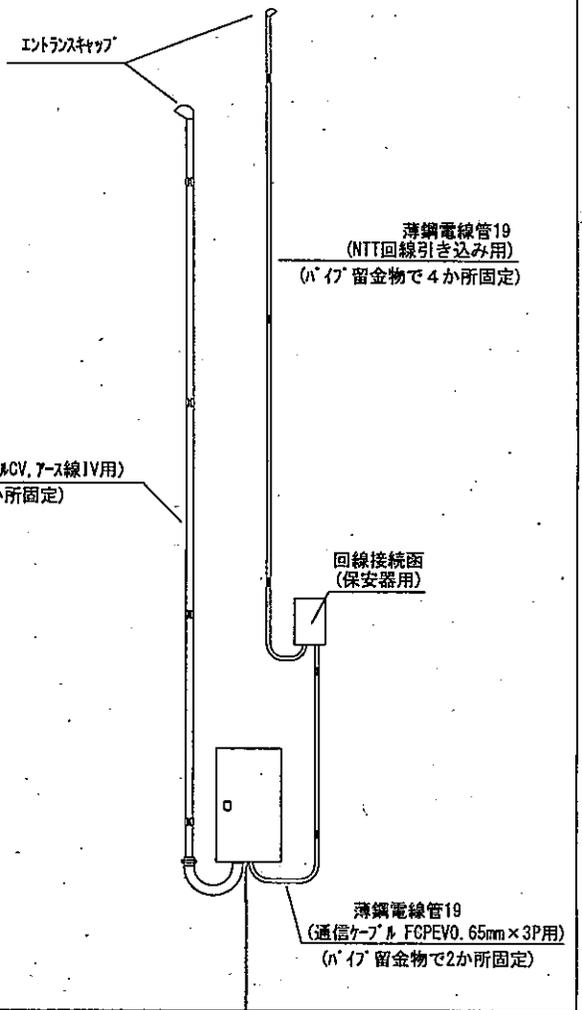
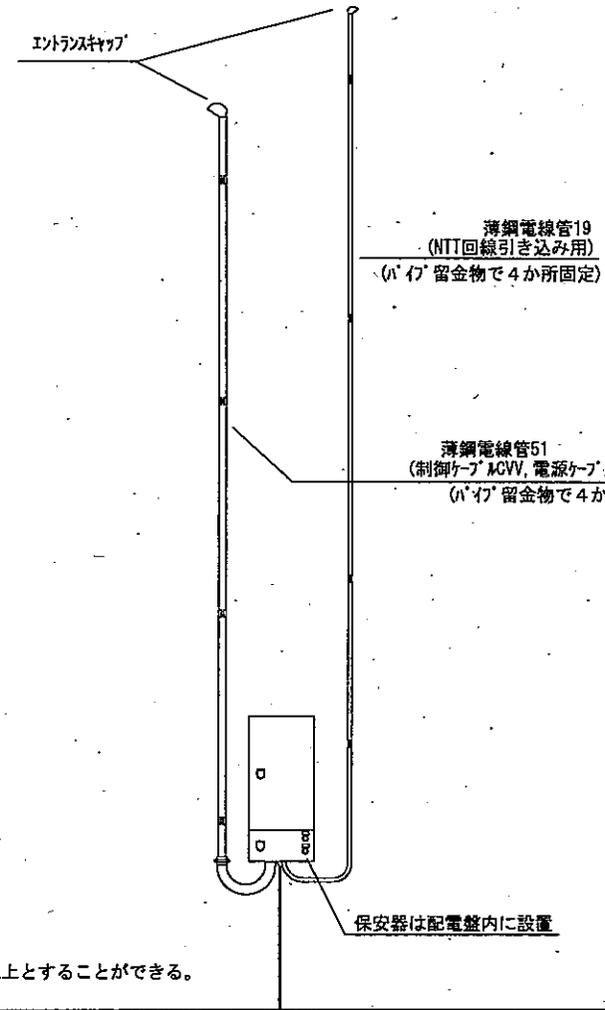
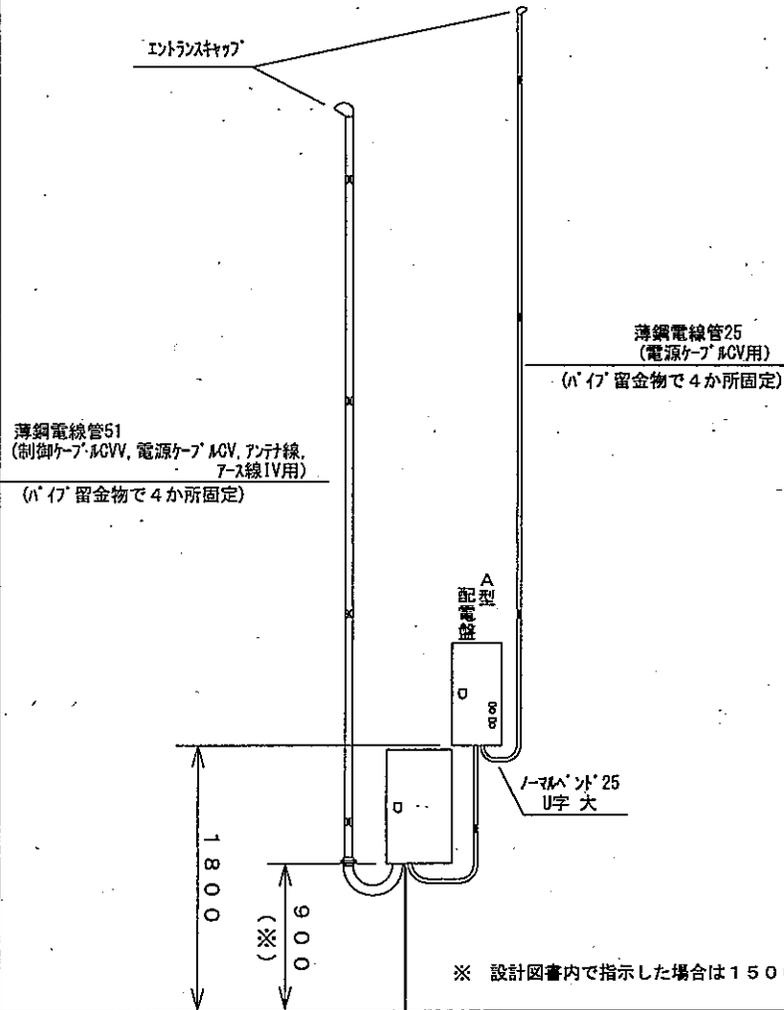
図番 4 信号制御機設置図 (2)

(集中制御機配管図)

(A型配電盤使用時)

(D型配電盤使用時)

(回線接続函使用時)



D種接地

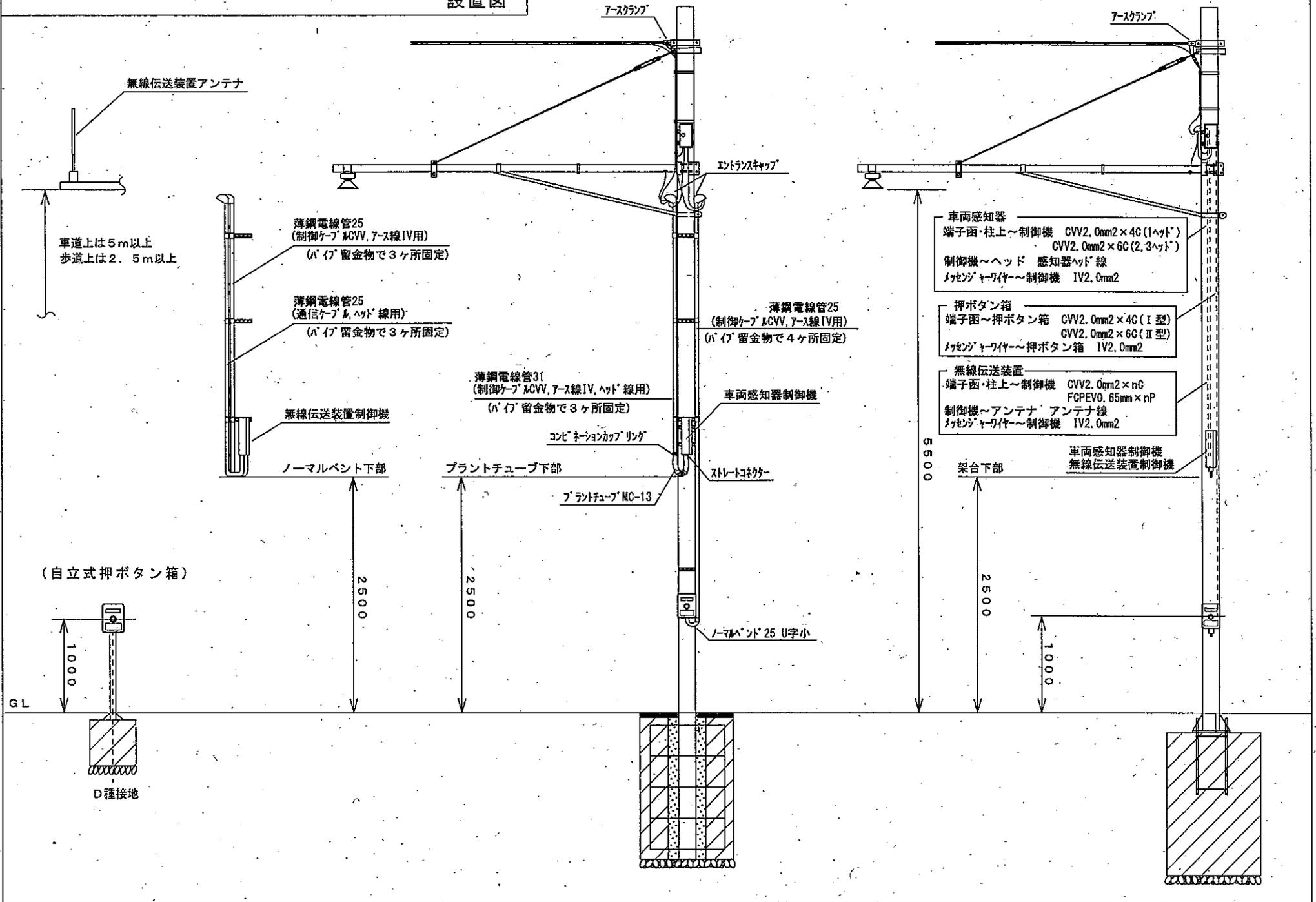
D種接地

D種接地

図番 5 車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置設置図

(外配線方式)

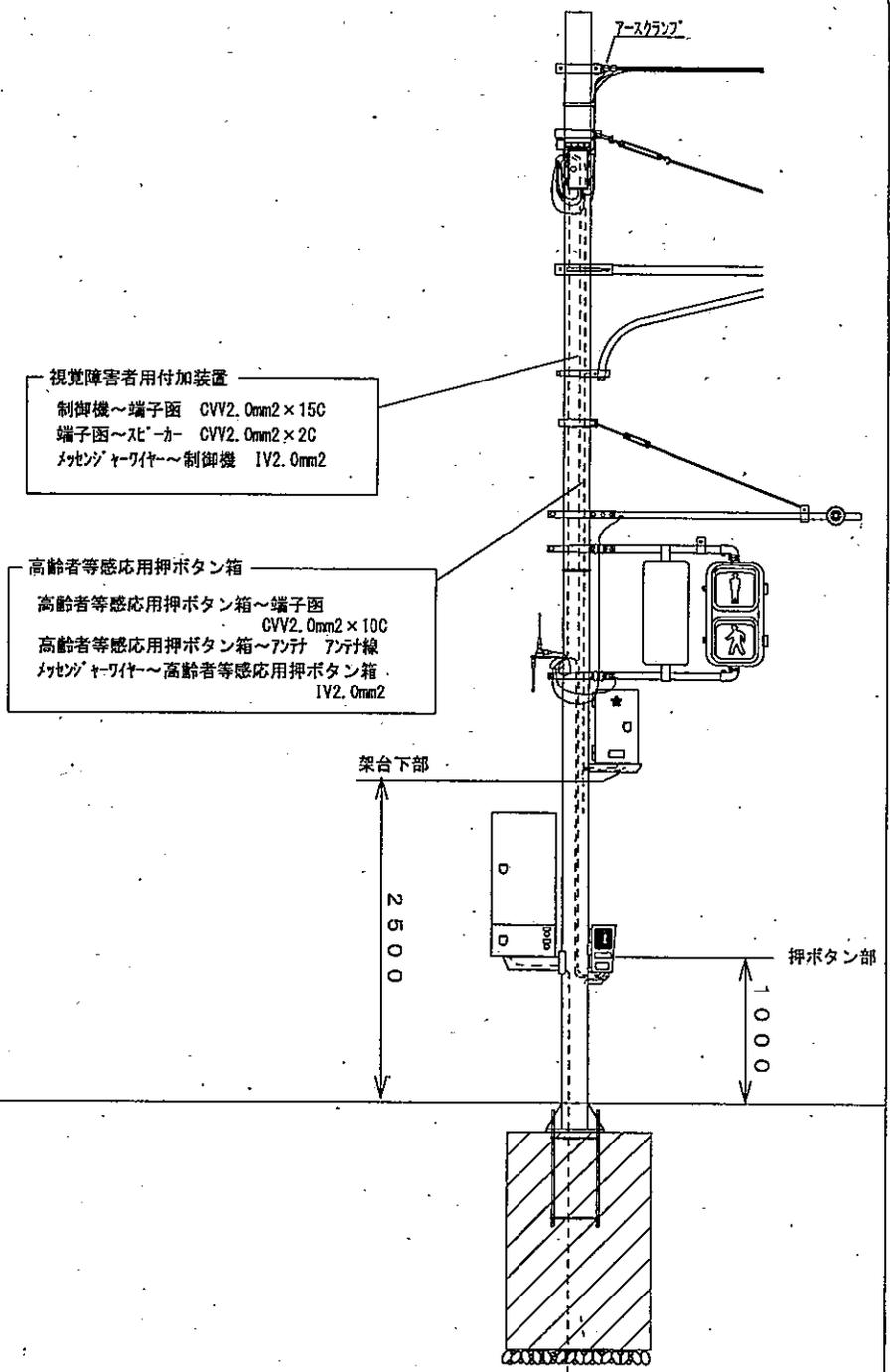
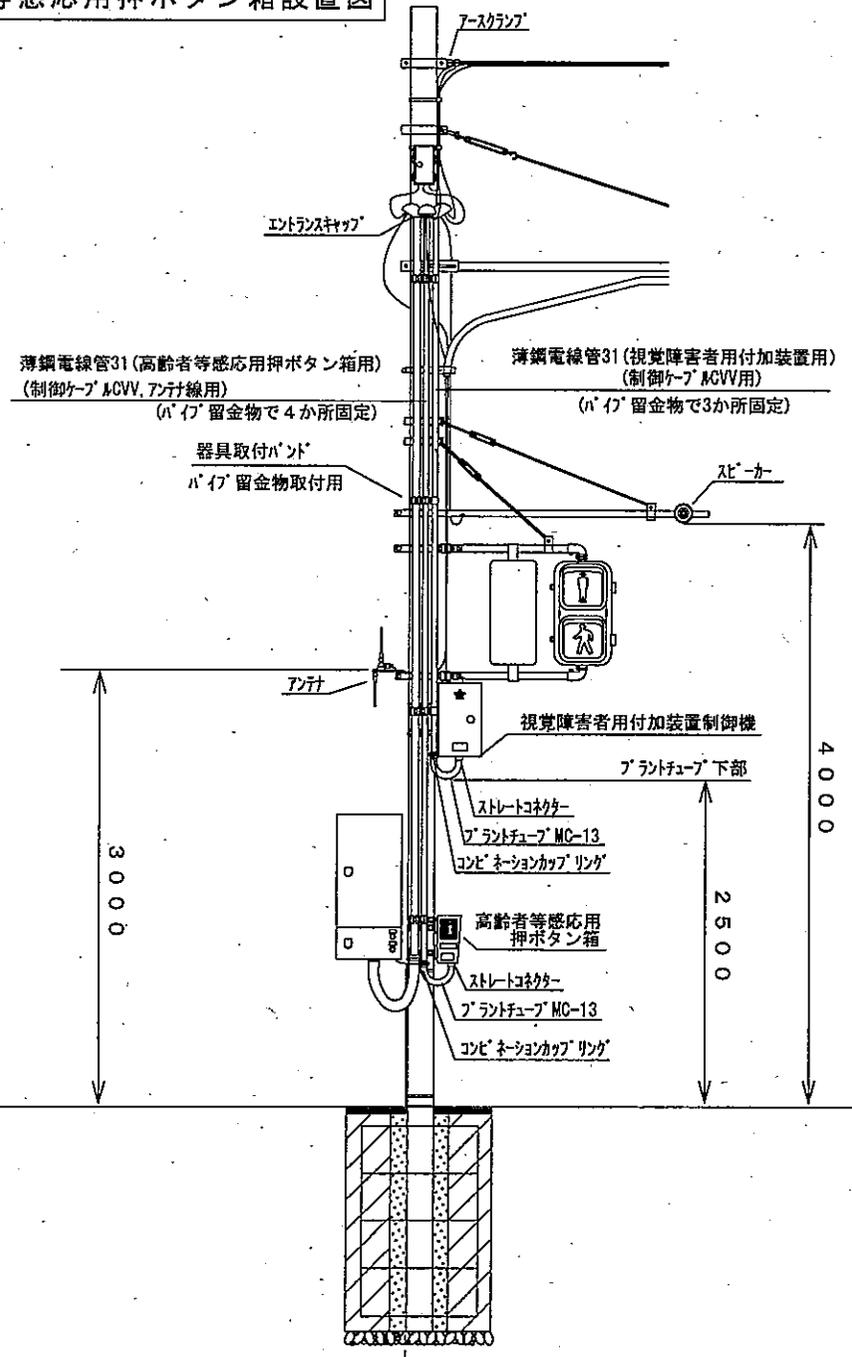
(柱内配線方式)



図番 6 視覚障害者用付加装置  
高齢者等感応用押ボタン箱設置図

(外配線方式)

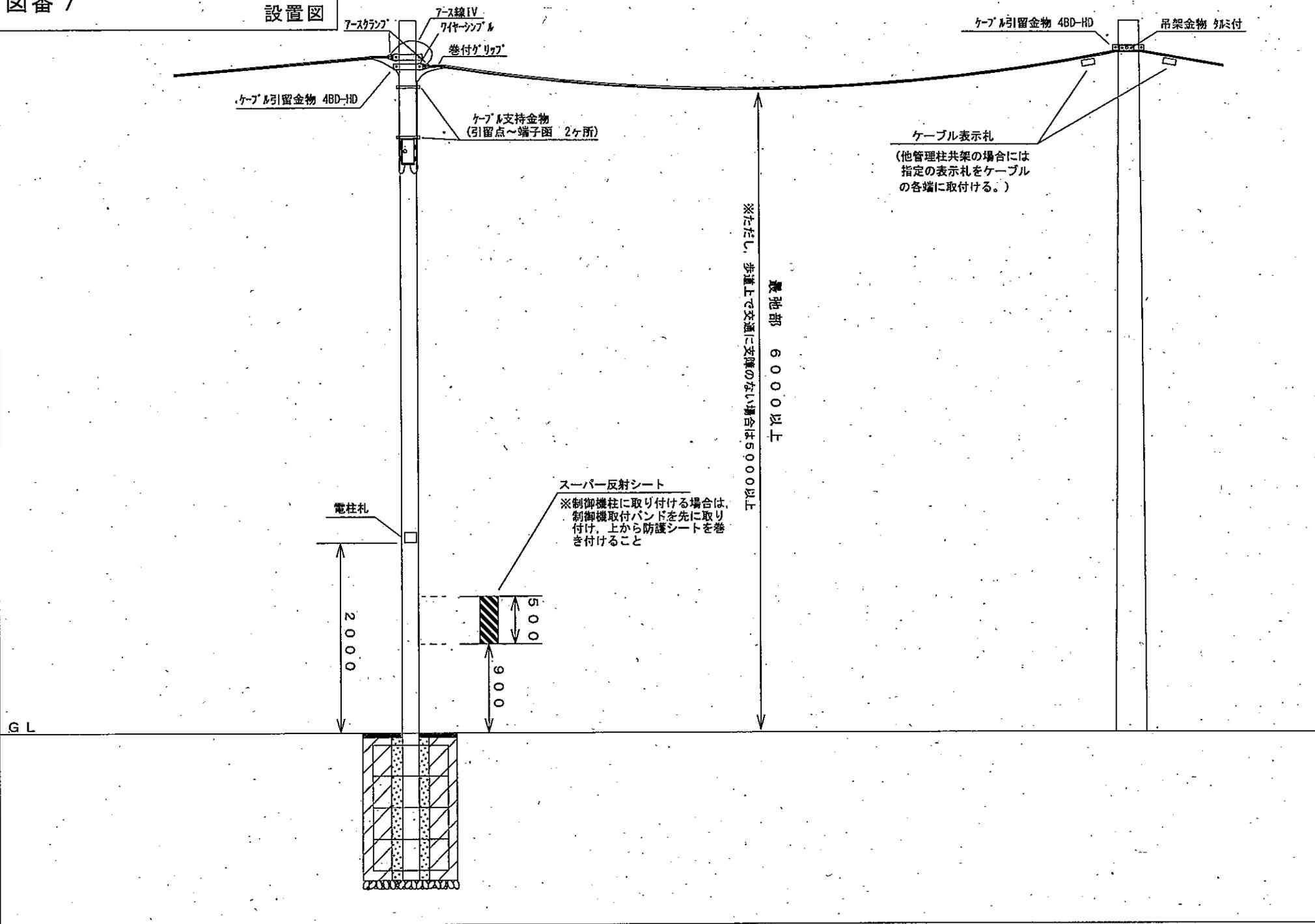
(柱内配線方式)



図番7 架空ケーブル・専用柱  
設置図

(ケーブル引留金物で引留の場合)

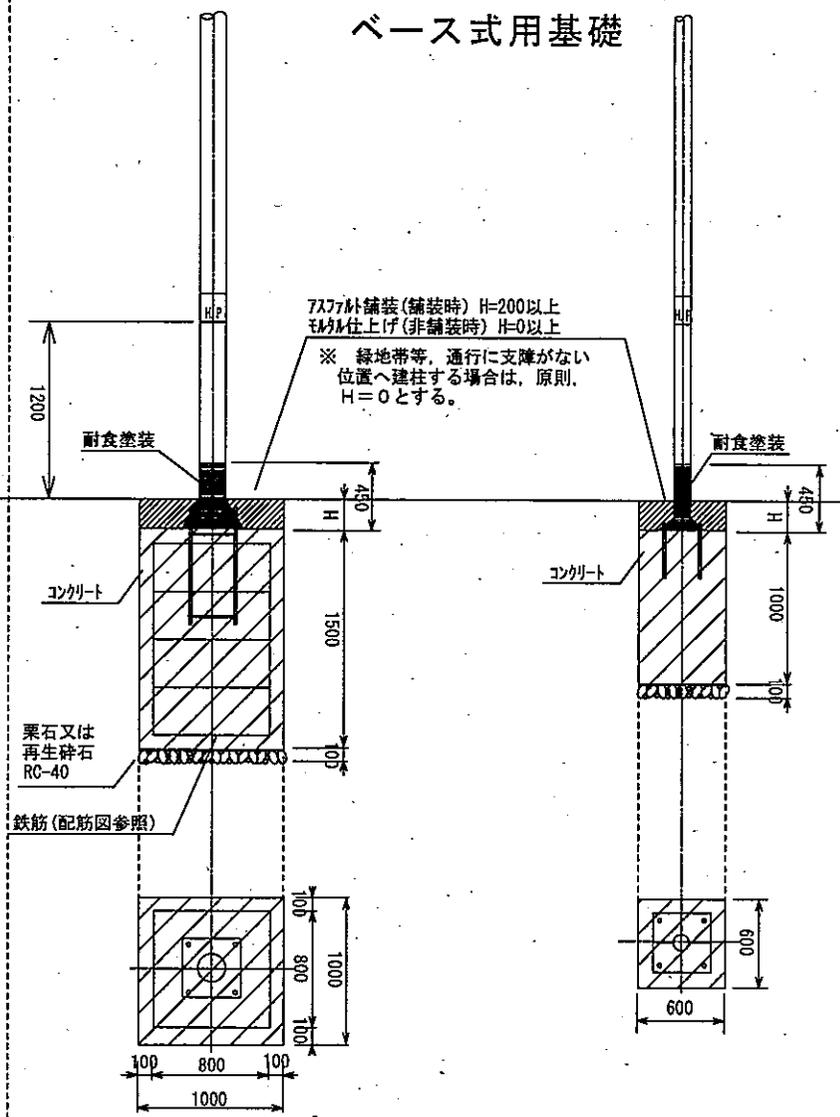
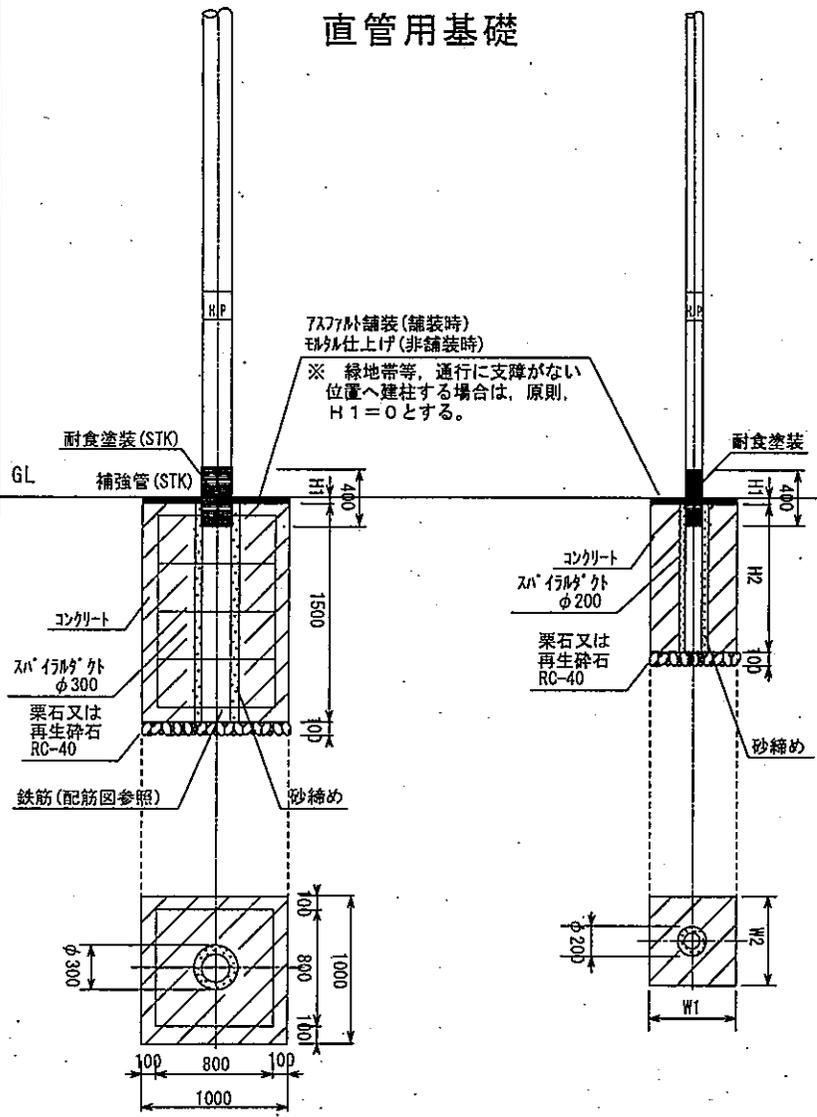
(吊架金物で引留の場合)



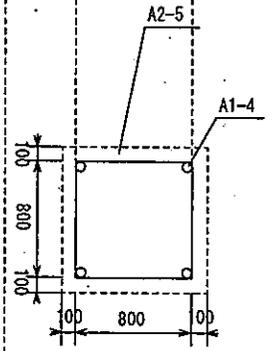
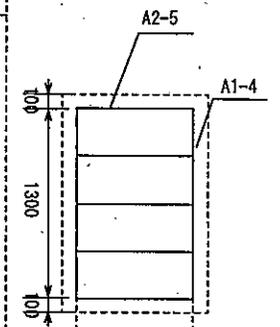
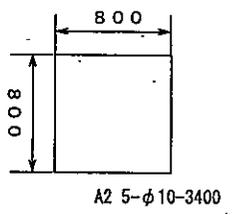
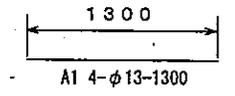
図番 8 専用柱基礎仕様図

直管用基礎

ベース式用基礎



配筋図



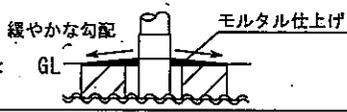
適用 : CP9-14-500  
 STK φ 165.2-9000L 直管  
 STK φ 190.7-9000L 直管  
 STK φ 216.3-9000L 直管

適用 : STK φ 114.3-6000L 直管 (H2=1000 W1=600 W2=600)  
 STK φ 114.3-9000L 直管 (H2=1500 W1=800 W2=800)

適用 : STK φ 165.2 BP-1, 2, 4~6  
 STK φ 190.7 BP-1, 2, 4~6  
 STK φ 216.3 BP-1, 2, 4~6

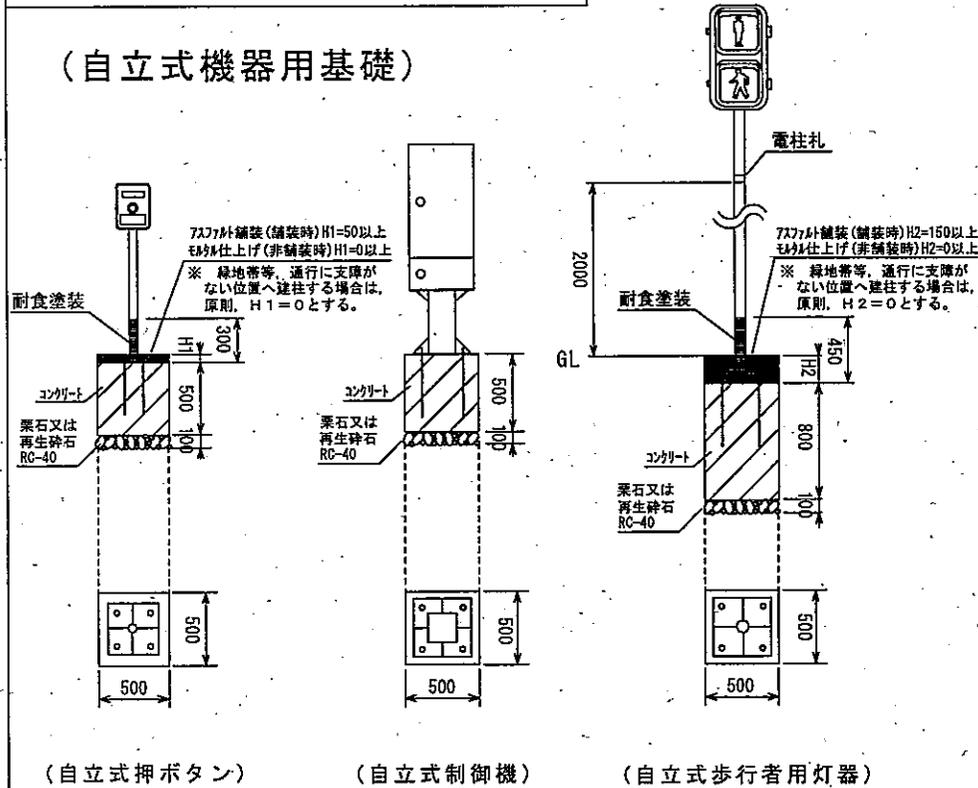
適用 : STK φ 114.3 ^-式

※ H・H1=0の場合  
 地際部に雨水等が溜まらないように, モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること  
 基礎上部に土砂等を被せないこと



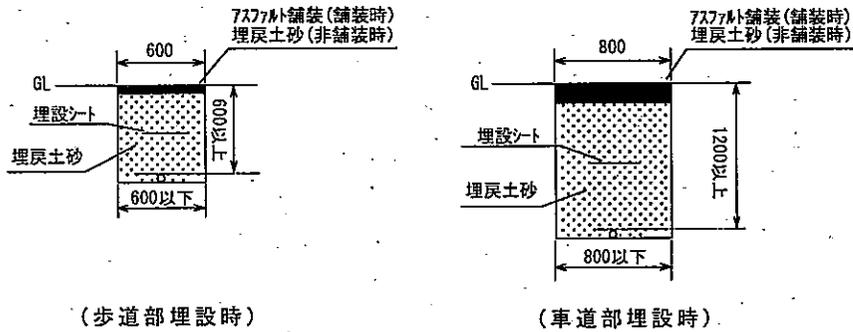
**図番 9 管路埋設  
自立式機器用基礎等仕様図**

**(自立式機器用基礎)**

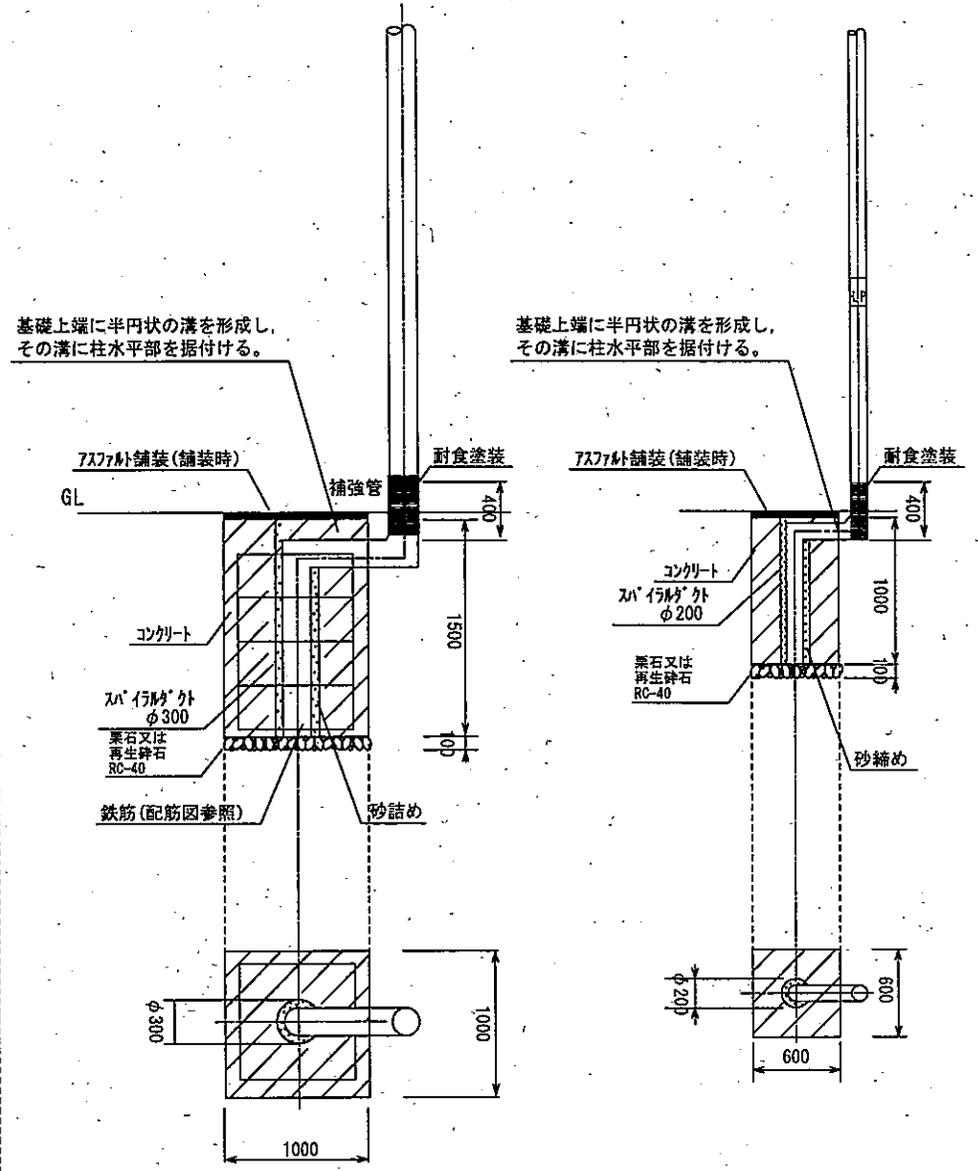


※ H1・H2=0の場合  
 地際部に雨水等が溜まらないように、モルタル金こてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること  
 基礎上部に土砂等を被せないこと

**(管路埋設)**



**曲管用基礎**



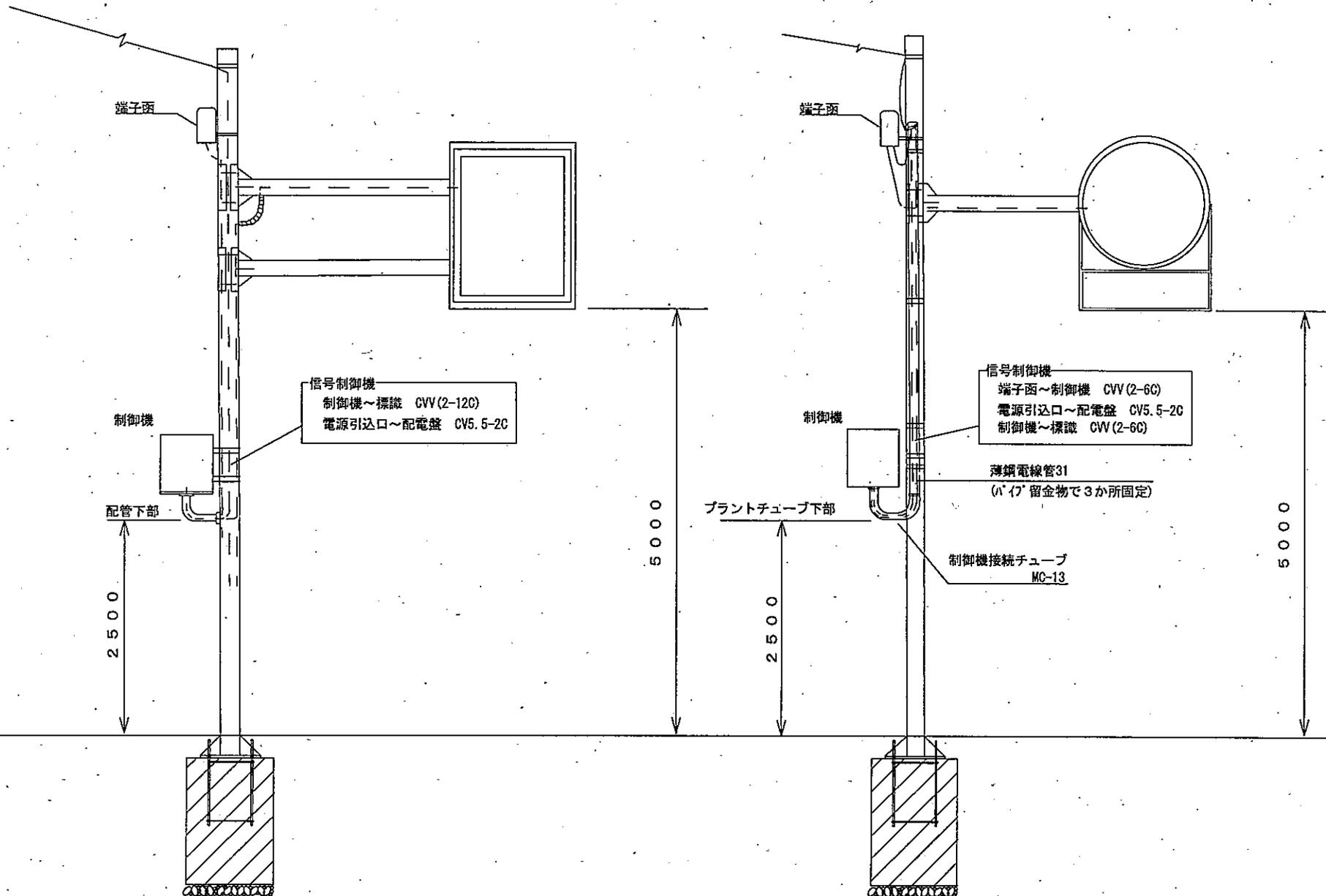
適用: STK  $\phi 165.2-9000L$  曲管  
 STK  $\phi 190.7-9000L$  曲管  
 STK  $\phi 216.3-9000L$  曲管

適用: STK  $\phi 114.3-6000L$  曲管

図番 10 可変標識設備設置図

(3可変灯火式)

(単独全反射式)



# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-06.06.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックハウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 06 舗装工事 03 一般交通影響有り(1) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】					Y1E01010101 レベル4
	1	式			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK23040001 00
	120	m3			単第0 -0001 表
路体盛土工					Y1E010103 レベル3
	1	式			
路体(築堤)盛土 【施工幅員】					Y1E01010301 レベル4
	1	式			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満					SPK23040004 00
	90	m3			単第0 -0002 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防草コンクリート					Y1E010109 レベル3
	1	式			
張りコンクリート 【Co規格, Co夜間割増の有無】					Y1E01010901 レベル4
	1	式			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK23040154 00
	0.7	m3			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1E01011002 レベル4
	1	式			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK23040002 00
	110	m3			現場 仮置き場 単第0 -0004 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK23040007 00
	110	m3			仮置き場の積込 単第0 -0005 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)					SPK23040002 00
	110	m3			仮置き場 現場 単第0 -0004 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離31.5km以下(19.5km超)					SPK23040002 00
	70	m3			現場 残土処分場 単第0 -0006 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分					Y1E01011003レベル4
	1	式			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土受入費 礫質土					F0000000501 00
	70	m3			
舗装工					Y1G0204 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G020402 レベル3
	1	式			
路床盛土 【施工幅員】					Y1E01010501レベル4
	1	式			
路床盛土 施工幅員2.5m未満					SPK23040005 00
	20	m3			単第0 -0007 表
再生クラッシュラン 40~0mm					T0247 00
	20	m3			
下層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】					Y1G02040207レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	57	m2			SPK23040233 00  単第0 -0008 表
上層路盤(車道・路肩部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】	1	式			Y1G02040208レベル4
上層路盤 全仕上り厚150mm 1層施工 RM-30	57	m2			SPK23040235 00  単第0 -0009 表
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下	57	m2			SPK23040234 00  単第0 -0010 表
基層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040209レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	57	m2			SPK23040239 00  単第0 -0011 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040211レベル4
仮舗装 表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下) 1層当り平均仕上厚70mm	57	m2			SPK23040241 00  単第0 -0012 表
歩道路盤(一般部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】	1	式			Y1G02040207レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	249	m2			SPK23040233 00  単第0 -0013 表
表層(歩道舗装 一般部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040211 レベル4
表層(歩道部 一般部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚40mm	249	m2			SPK23040244 00  単第0 -0014 表
歩道路盤(乗入部) 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】	1	式			Y1G02040207 レベル4
路盤 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	229	m2			SPK23040233 00  単第0 -0015 表
表層(歩道舗装 乗入部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040211 レベル4
表層(歩道部 乗入部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚50mm	229	m2			SPK23040244 00  単第0 -0016 表
路面切削工	1	式			Y1G020401 レベル3
路面切削 【施工区分・平均切削深さ】 【段差すりつけ撤去作業の有無】	1	式			Y1G02040101 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路面切削 全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去作業有り	1,500	m2			SPK23040303 00  単第0 -0017 表
路面切削 全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業無し	361	m2			SPK23040303 00  単第0 -0018 表
殻運搬(路面切削) 【殻種別】	1	式			Y1G02040102レベル4
殻運搬(路面切削) DID区間有り 運搬距離2.5km以下(2.0km超)	224	m3			SPK23040304 00  単第0 -0019 表
殻処分 【殻種別】	1	式			Y1G02040103レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト切削殻処分費 路面切削殻	527	t			F0000000502 00
オーバーレイ工	1	式			Y1G020404 レベル3
基層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040401レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	855	m2			SPK23040239 00  単第0 -0020 表
中間層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040403レベル4
中間層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	361	m2			SPK23040239 00  単第0 -0021 表
表層(車道・路肩部) 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】	1	式			Y1G02040405レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	1,590	m2			SPK23040241 00  単第0 -0022 表
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り 【土質】	1	式			Y1E01090102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	80	m3			SPK23040015 00  単第0 -0023 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 【土質区分,土質】	1	式			Y1E01090103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	30	m3			SPK23040020 00 単第0 -0024 表
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
プレキャストU型側溝 【U型側溝規格】	1	式			Y1E01090301レベル4
管(函)渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 円形側溝(各種)基礎砕石有り	92	m			SPK23040094 00 単第0 -0025 表
プレキャスト集水柵(管渠型側溝管理柵) 据付 基礎砕石有り 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下	5	基			SPK23040095 00 単第0 -0026 表
管渠型側溝管理柵 材料費 スラット側溝管理柵NM 相当品 300*1000-150柵 G付	5	基			F0000000505 00
自由勾配側溝 【側溝規格】	1	式			Y1E01090304レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000 重量 自由勾配側溝A(300×600)	62	m			SDT00015 00 単第0 -0027 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 材料別途 1000 重量 自由勾配側溝 A (300×700)	32	m			SDT00015 00  単第0 -0028 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(普通)	1	m3			T0312 00
自由勾配側溝 A 材料 左車線 歩車道境界ブロック側	1	式			V000000700 00  単第0 -0029 表
集水桝・マンホール工	1	式			Y1E010905 レベル3
プレキャスト集水桝 【桝規格】	1	式			Y1E01090504 レベル4
プレキャスト集水桝設置 300*600*1000 基礎コン含む	2	箇所			V000000901 00  単第0 -0031 表
プレキャスト集水桝設置 400*800*600 基礎コン含む	1	箇所			V000000903 00  単第0 -0036 表
プレキャスト集水桝設置 700*700*1000 基礎コン含む	1	箇所			V000000904 00  単第0 -0039 表
プレキャスト集水桝設置 700*700*1750 基礎コン含む	2	箇所			V000000905 00  単第0 -0041 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地下排水工					Y1E010906 レベル3
	1	式			
地下排水 【管規格】					Y1E01090601 レベル4
	1	式			
V U管 65設置 砂基礎含む					V000000800 00
	3	m			単第0 -0043 表
V U管 75設置 砂基礎含む					V000000801 00
	7	m			単第0 -0046 表
V U管 100設置 砂基礎含む					V000000802 00
	12	m			単第0 -0048 表
V U管 125設置 砂基礎含む					V000000803 00
	3	m			単第0 -0050 表
V U管 300設置 砂基礎含む					V000000805 00
	9	m			単第0 -0052 表
V P管 50設置 砂基礎含む					V000000806 00
	10	m			単第0 -0054 表
V P管 65設置 砂基礎含む					V000000807 00
	13	m			単第0 -0056 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
V P管 75設置 砂基礎含む	5	m			V00000808 00 単第0 -0058 表
V P管 100設置 砂基礎含む	10	m			V00000809 00 単第0 -0060 表
V P管 125設置 砂基礎含む	5	m			V00000810 00 単第0 -0062 表
V P管 150設置 砂基礎含む	3	m			V00000811 00 単第0 -0064 表
V P管 250設置 砂基礎含む	3	m			V00000812 00 単第0 -0066 表
コンクリート削孔(さく岩機) 削孔深さ100mm以上200mm未満	4	孔			SPK23040119 00 単第0 -0068 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径64mm以上77mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	11	孔			SPK23040120 00 単第0 -0069 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径100mm以上110mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	9	孔			SPK23040120 00 単第0 -0070 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径110mm以上128mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	3	孔			SPK23040120 00 単第0 -0071 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径128mm以上160mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	1	孔			SPK23040120 00  単第0 -0072 表
コンクリート削孔 径250mm 削孔径250mm t 0.4m コンクリート構造	1	孔			F000000900 00
場所打水路工	1	式			Y1E010907 レベル3
現場打水路 【内幅,内高,Co規格】	1	式			Y1E01090701 レベル4
L型側溝B 歩車道境界ブロックB含む	12	m			V000000600 00  単第0 -0073 表
縁石工	1	式			Y1G0206 レベル2
縁石工	1	式			Y1G020603 レベル3
歩車道境界ブロック 【ブロック規格】	1	式			Y1G02060301 レベル4
歩車道境界ブロック(縁石工A) B種(180/205×250×600)片斜両面R 設置 RC-40 養生工有り	124	m			SPK23040287 00  単第0 -0078 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック(縁石工B) 歩道接続部(180/204×120×600) 設置 RC-40 養生工有り	69	m			SPK23040287 00  単第0 -0079 表
地先境界ブロック 【ブロック規格】	1	式			Y1G02060302レベル4
地先境界ブロックA A種(120×120×600) 設置 RC-40	127	m			SPK23040288 00  単第0 -0080 表
地先境界ブロックB A種(120×120×600) 設置 RC-40 養生工有り	71	m			SPK23040288 00  単第0 -0081 表
区画線工	1	式			Y1G0209 レベル2
区画線工	1	式			Y1G020901 レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】	1	式			Y1G02090101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	310	m			SDT00001 00  単第0 -0082 表
区画線設置(溶融式) 実線_20cm	85	m			SDT00001 00  単第0 -0083 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 破線_15cm	62	m			SDT00001 00 単第0 -0084 表
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm	60	m			SDT00001 00 単第0 -0085 表
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	55	m			SDT00001 00 単第0 -0086 表
道路付属施設工	1	式			Y1G0211 レベル2
道路付属物工	1	式			Y1G021102 レベル3
車線分離標 【車線分離標規格,施工区分,施工規模】	1	式			Y1G02110204 レベル4
車線分離標(固定式)(貼付式) 設置 高さ_650mm [規]10本以上30本未満	29	本			SS000095 00 単第0 -0087 表
視覚障がい者誘導タイル工	1	式			Y1G021103 レベル3
視覚障がい者誘導タイル工 【管規格,土質区分,管径】	1	式			Y1G02110301 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
視覚障がい者誘導タイル設置工 MMA樹脂製 300*600 相当品 普通舗装用 車両乗入無 施工量5~10m2以	6	m2			V000001000 00 単第0 -0088 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
防護柵撤去工	1	式			Y1E011201 レベル3
防護柵(横断・転落防止柵)撤去	1	式			Y1E01120103 レベル4
横断・転落防止柵 防護柵撤去 コンクリート建込 ビーム式・パネル式	46	m			SS000153 00 単第0 -0089 表
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】	1	式			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	26	m3			SDT00031 00 単第0 -0090 表
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】	1	式			Y1E01120602 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	210	m			SPK23040306 00  単第0 -0091 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】	1	式			Y1E01120603レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	390	m2			SPK23040305 00  単第0 -0092 表
排水構造物撤去工	1	式			Y1E011208 レベル3
蓋版撤去 【蓋種類】	1	式			Y1E01120813レベル4
再利用撤去 蓋版 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚 コンクリート蓋	15	枚			SDT00019 00  単第0 -0093 表
再利用撤去 蓋版 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚 グレーチング蓋	42	枚			SDT00019 00  単第0 -0094 表
縞鋼板撤去(再利用撤去) 敷鉄板撤去	61	m2			S1050043 00  単第0 -0095 表
道路付属施設撤去工	1	式			Y1E011211 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
車線分離標撤去 【施工区分,施工規模】	1	式			Y1E01121102レベル4
車線分離標(固定式)(貼付式) 撤去 [規]10本未満	2	本			SS000095 00 単第0 -0097 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 【殻種別】	1	式			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	24	m3			SPK23040152 00 単第0 -0098 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	26	m3			SPK23040152 00 単第0 -0099 表
殻処分 【殻種別】	1	式			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費 無筋	61	t			F0000000600 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻処分費	56	t			F000000601 00
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1E01121603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)	0.6	t			SPK23040410 00 単第0 -0100 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ控除 鉄くず(ヘビーH3)	0.6	t			F000000700 00
道路付属施設工(信号等移設)	1	式			Y1G0211 レベル2
信号移設	1	式			Y1G021103 レベル3
信号移設(大門町二丁目(北)交差点) 【管規格,土質区分,管径】	1	式			Y1G02110301レベル4
信号柱撤去a (県警(1)号柱撤去)	1	式			V0006 00 単第0 -0101 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱設置 A (県警(1)号柱設置)	1	式			V0014 00 単第0 -0108 表
信号柱撤去 b (県警(2)号柱撤去)	1	式			V0015 00 単第0 -0124 表
信号柱設置 B (県警(2)号柱設置)	1	式			V0016 00 単第0 -0126 表
信号柱撤去 c (県警(3)号柱撤去)	1	式			V0017 00 単第0 -0130 表
信号柱設置 C (県警(3)号柱設置)	1	式			V0018 00 単第0 -0131 表
車両・歩行者灯器(自立式支柱)撤去 中電柱皿山連絡4 箇所	1	式			V0019 00 単第0 -0133 表
車両・歩行者灯器設置 中電柱 皿山連絡4 箇所	1	式			V0020 00 単第0 -0135 表
車両感知装置撤去(超音波ヘッド) 車両感知器(再利用)+超音波ヘッド(撤去 NTT柱 北浜(三)11L8 箇所	1	台			V0021 00 単第0 -0138 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×4C) 外径19.5mm	2	径間			V0024 00 単第0 -0139 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×6C) 外径23.0mm	2	径間			V0025 00 単第0 -0140 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V0026 00 単第0 -0141 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×20C) 外径31.0mm	2	径間			V00261 00 単第0 -0142 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×6C) 外径23.0mm	4	径間			V0028 00 単第0 -0143 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×8C) 外径24.0mm	2	径間			V0027 00 単第0 -0144 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(2×20C) 外径31.0mm	3	径間			V0029 00 単第0 -0145 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 5P 0.5~0.9mm相当 6T撤去	1	箇所			V0030 00 単第0 -0146 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 10P 0.5~0.9mm相当 12P撤去	1	箇所			V0031 00 単第0 -0147 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 20P 0.5~0.9mm相当 20P撤去	1	箇所			V0032 00 単第0 -0148 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル(中間接続)撤去 20P 0.5~0.9mm相当 20T撤去	1	箇所			V0033 00 単第0 -0149 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 10P 0.5~0.9mm相当 15P撤去	1	箇所			V0034 00 単第0 -0150 表
通信ケーブル(中間接続)設置 20P 0.5~0.9mm相当 20T設置	3	箇所			V0035 00 単第0 -0151 表
通信ケーブル(中間接続)設置 10P 0.5~0.9mm相当 12T設置	1	箇所			V00361 00 単第0 -0152 表
信号等材料 大門町2丁目(北)交差点	1	式			V000000100 00 単第0 -0153 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
感知器用ヘッド 20mケーブル付	1	式			F0000000001 00
信号移設(大門町2丁目中交差点) 【管規格,土質区分,管径】	1	式			Y1G02110301レベル4
信号柱撤去a (県警(1)号柱撤去)	1	式			V0037 00 単第0 -0154 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱設置 A (県警(1)号柱設置)	1	式			V0038 00 単第0 -0156 表
信号柱撤去 b (県警(2)号柱撤去)	1	式			V0039 00 単第0 -0158 表
信号柱設置 B (県警(2)号柱設置)	1	式			V0040 00 単第0 -0160 表
信号柱撤去 c (県警(3)号柱撤去)	1	式			V0041 00 単第0 -0161 表
信号柱設置 C (県警(3)号柱設置)	1	式			V0042 00 単第0 -0162 表
車両・歩行者灯器撤去 NTT柱北浜(三)11L3 箇所	1	式			V0043 00 単第0 -0164 表
車両・歩行者灯器設置 NTT柱北浜(三)11L3 箇所	1	式			V0044 00 単第0 -0165 表
車両感知装置撤去(超音波ヘッド) 車両感知器(再利用)+超音波ヘッド(撤去 中電柱 皿山連絡8	1	台			V0021 00 単第0 -0166 表
車両感知装置設置(超音波ヘッド) 中電柱 皿山連絡8	1	式			V0045 00 単第0 -0167 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×4C) 外径19.5mm	7	径間			V0024 00 単第0 -0139 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V0026 00 単第0 -0141 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×15C) 外径29.0mm	1	径間			V00262 00 単第0 -0168 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×20C) 外径31.0mm	1	径間			V00261 00 単第0 -0142 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(2×4C) 外径19.5mm	1	径間			V00281 00 単第0 -0169 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×8C) 外径24.0mm	4	径間			V0027 00 単第0 -0144 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V00271 00 単第0 -0170 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×15C) 外径29.0mm	1	径間			V00272 00 単第0 -0171 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(2×20C) 外径31.0mm	1	径間			V0029 00 単第0 -0145 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル(中間接続)撤去 5P 0.5~0.9mm相当 4T撤去	1	箇所			V00301 00 単第0 -0172 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 10P 0.5~0.9mm相当 12T撤去	2	箇所			V00311 00 単第0 -0173 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 20P 0.5~0.9mm相当 20T撤去	2	箇所			V0033 00 単第0 -0149 表
通信ケーブル(中間接続)設置 10P 0.5~0.9mm相当 8T設置	1	箇所			V0036 00 単第0 -0174 表
通信ケーブル(中間接続)設置 10P 0.5~0.9mm相当 12T設置	1	箇所			V00361 00 単第0 -0152 表
通信ケーブル(中間接続)設置 20P 0.5~0.9mm相当 20T設置	3	箇所			V0035 00 単第0 -0151 表
信号等材料 大門町2丁目中交差点	1	式			V000000200 00 単第0 -0175 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
感知器用ヘッド 20mケーブル付	1	式			F0000000001 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号移設（大門町2丁目交差点） 【管規格,土質区分,管径】					Y1G02110301レベル4
信号柱撤去a（県警（1）号柱撤去）	1	式			V0046 00 単第0 -0176 表
車両・歩行者用灯器設置 N T T 柱柱番号不明	1	式			V0048 00 単第0 -0179 表
信号柱撤去 b（県警（2）号柱撤去）	1	式			V0049 00 単第0 -0180 表
信号柱設置 B（県警（2）号柱設置）	1	式			V0050 00 単第0 -0181 表
車両・歩行者灯器撤去 NTT柱北浜（三）11L3R3 外 箇所	1	式			V00551 00 単第0 -0182 表
車両・歩行者灯器設置 NTT柱北浜（三）11L3R3 外 箇所	1	式			V00561 00 単第0 -0183 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×4C) 外径19.5mm	5	径間			V0024 00 単第0 -0139 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V00263 00 単第0 -0184 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×20C) 外径31.0mm	1	径間			V00261 00 単第0 -0142 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(2×4C) 外径19.5mm	4	径間			V00281 00 単第0 -0169 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V00271 00 単第0 -0170 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(2×20C) 外径31.0mm	1	径間			V0029 00 単第0 -0145 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 20P 0.5~0.9mm相当 20T撤去	1	箇所			V0033 00 単第0 -0149 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 30P 0.5~0.9mm相当 30T撤去	1	箇所			V00341 00 単第0 -0185 表
通信ケーブル(中間接続)設置 20P 0.5~0.9mm相当 20T設置	1	箇所			V0035 00 単第0 -0151 表
通信ケーブル(中間接続)設置 30P 0.5~0.9mm相当 30T設置	1	箇所			V00351 00 単第0 -0186 表
信号等材料 大門町2丁目交差点	1	式			V000000300 00 単第0 -0187 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号移設（大門町3丁目交差点） 【管規格,土質区分,管径】					Y1G02110301レベル4
信号柱撤去a（県警（1）号柱撤去）	1	式			V0051 00
					単第0 -0188 表
信号柱設置A（県警（1）号柱設置）	1	式			V0052 00
					単第0 -0189 表
信号柱撤去b（県警（2）号柱撤去）	1	式			V0053 00
					単第0 -0192 表
信号柱設置B（県警（2）号柱設置）	1	式			V0054 00
					単第0 -0193 表
車両・歩行者灯器撤去 NTT柱津下B（三）3 外 箇所	1	式			V0055 00
					単第0 -0195 表
車両・歩行者灯器設置 NTT柱津下（三）3 外 箇所	1	式			V0056 00
					単第0 -0196 表
車両・歩行者灯器撤去 NTT柱北浜（三）11L3R6 箇所	1	式			V0057 00
					単第0 -0197 表
車両・歩行者灯器設置 NTT柱北浜（三）11L3R6 箇所	1	式			V0058 00
					単第0 -0198 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識柱撤去(片持式・門型式) 片持式 1基当りの総質量_400kg未満 [規]1基	1	基			SS000073 00 単第0 -0199 表
標識板撤去(添架式)[取付金具撤去含む] 照明柱・既設標識柱	2	基			SS000227 00 単第0 -0200 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×4C) 外径19.5mm	1	径間			V0024 00 単第0 -0139 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V00263 00 単第0 -0184 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×15C) 外径29.0mm	1	径間			V00262 00 単第0 -0168 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×20C) 外径31.0mm	1	径間			V00261 00 単第0 -0142 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×12C) 外径27.0mm	2	径間			V00271 00 単第0 -0170 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径40mm以下 CVV-SSD(2×20C) 外径31.0mm	1	径間			V0029 00 単第0 -0145 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 5P 0.5~0.9mm相当 4P撤去	1	箇所			V00305 00 単第0 -0201 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル(中間接続)撤去 10P 0.5~0.9mm相当 12T撤去	1	箇所			V00311 00 単第0 -0173 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 10P 0.5~0.9mm相当 15P撤去	1	箇所			V0034 00 単第0 -0150 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 20P 0.5~0.9mm相当 20P撤去	1	箇所			V0032 00 単第0 -0148 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 20P 0.5~0.9mm相当 20T撤去	1	箇所			V0033 00 単第0 -0149 表
通信ケーブル(中間接続)設置 10P 0.5~0.9mm相当 12T設置	2	箇所			V00361 00 単第0 -0152 表
通信ケーブル(中間接続)設置 20P 0.5~0.9mm相当 20T設置	2	箇所			V0035 00 単第0 -0151 表
信号等材料 大門3丁目交差点	1	式			V000000400 00 単第0 -0202 表
信号移設(大門町3丁目(西)交差点) 【管規格,土質区分,管径】	1	式			Y1G02110301レベル4
信号柱撤去a (県警(1)号柱撤去)	1	式			V0059 00 単第0 -0203 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱設置 A (県警(1)号柱設置)	1	式			V0060 00 単第0 -0205 表
車両灯器・照明器具撤去 NTT柱津下 B (三)6 箇所	1	式			V0061 00 単第0 -0206 表
車両灯器・照明器具設置 NTT柱津下 B (三)6 箇所	1	式			V0062 00 単第0 -0209 表
車両灯器撤去 NTT柱津下 A (二)3 箇所	1	式			V0063 00 単第0 -0211 表
車両灯器設置 NTT柱津下 A (二)3 箇所	1	式			V0064 00 単第0 -0212 表
標識板撤去(添架式)[取付金具撤去含む] 照明柱・既設標識柱	2	基			SS000227 00 単第0 -0200 表
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]3~4基	2	基			SS000223 00 単第0 -0190 表
添架式標識板取付金具設置 照明柱・既設標識柱に取付け	2	基			SS000071 00 単第0 -0213 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×4C) 外径19.5mm	3	径間			V0024 00 単第0 -0139 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×8C) 外径24.0mm	1	径間			V00251 00 単第0 -0214 表
通信ケーブル配線撤去 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(SSS)(2×12C) 外径27.0mm	1	径間			V0026 00 単第0 -0141 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径20mm以下 CVV-SSD(2×4C) 外径19.5mm	2	径間			V00281 00 単第0 -0169 表
通信ケーブル配線設置 自己支持型ケーブル 外径30mm以下 CVV-SSD(2×12C) 外径27.0mm	2	径間			V00271 00 単第0 -0170 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 5P 0.5~0.9mm相当 8P撤去	1	箇所			V00302 00 単第0 -0215 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 5P 0.5~0.9mm相当 8T撤去	1	箇所			V00303 00 単第0 -0216 表
通信ケーブル(中間接続)撤去 30P 0.5~0.9mm相当 30T撤去	1	箇所			V00341 00 単第0 -0185 表
通信ケーブル(中間接続)設置 10P 0.5~0.9mm相当 12T設置	2	箇所			V00361 00 単第0 -0152 表
通信ケーブル(中間接続)設置 20P 0.5~0.9mm相当 20T設置	1	箇所			V0035 00 単第0 -0151 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号等材料 大門町3丁目(西)交差点	1	式			V000000500 00
仮設工	1	式			単第0 -0217 表 Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	193	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
役務費					Z0003
役務費	1	式			YZZ03 レベル2
役務費	1	式			YZZ03001 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
借地料 土地の借上げ等に要する費用	1	式			YZZ03001001 レベル4
借地料 借地面積100m2, 借地日数1.1ヶ月	1	式			F000000800 00
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
建設機械運搬費	1	式			YZZ04001001 レベル4
建設機械の貨物自動車等による運搬 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 片道運搬距離 23.8km 往復運搬	1	回			S1000013 00 単第0 -0218 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					



# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
附帯工事費					X2000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(小型バックホウ)	2	m3			SG1D0001001 00 単第0 -0221 表
管路埋戻	1	式			Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	1	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0223 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	0.01	m3			SG1D0002002 00 単第0 -0223 表

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	1	m3			TTPC00010 00
再生クラッシャー 40～0mm	0.01	m3			T0247 00
石材小型車割増	1	m3			F9000000017 00
発生土処理	1	式			Y1101010103レベル4
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)	2	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0225 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 再資源化施設 L=1.7km	2	m3			F000000100 00
マンホール工	1	式			Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール					Y1101020202レベル4
	1	式			
福山市型鋳鉄製マンホールふた（高機能） T-25（転落防止装置含む） 600mm口環付 分流用	7	枚			F00000200 00
高さ調整部材 調整高 25～75mm 福山市承認型 M16	7	個			F00000300 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	1	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	7	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	2	個			TH003102 00
無収縮モルタル 25kg袋	7	袋			TH003190 00
型枠 無収縮流動性モルタル用	7	回			F9000000016 00
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック据付工	7	組			SG1D0044004 00
					単第0 -0227 表

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工					Y11010203 レベル3
	1	式			
小型マンホール(塩化ビニル製)					Y1101020301 レベル4
	1	式			
高さ調整部材 調整高 25～75mm 福山市承認型 M12					F000000400 00
	2	個			
無収縮流動性モルタル(防護蓋用) 1袋 防護鉄蓋調整用					F000000500 00
	1	袋			
型枠 無収縮流動性モルタル用					F9000000016 00
	2	回			
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)					SG1D0088005 00
	2	箇所			単第0 -0228 表
基礎碎石 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40					SPK23040034 00
	1	m2			単第0 -0076 表
既設構造物撤去工					Y11010609 レベル3
	1	式			
既設人孔撤去					Y1101060903 レベル4
	1	式			

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック撤去工	7	組			VG1D0044005 00 単第0 -0229 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.4	m3			SDT00031 00 単第0 -0090 表
殻運搬処理	1	式			Y1101060105レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.4	m3			SPK23040152 00 単第0 -0099 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co塊受入費 再資源化施設	0.8	t			F000000600 00
現場発生品運搬	1	式			Y1101060621レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)	1	t			SPK23040410 00 単第0 -0100 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
スクラップ 鉄屑	1	t			F9000000020 00
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	1	式			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	60	m			SPK23040306 00 単第0 -0091 表
舗装版破碎(小規模)	1	式			Y1101060103 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	20	m2			SPK23040018 00 単第0 -0230 表
殻運搬処理	1	式			Y1101060105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離2.5km以下(1.5km超)	2	m3			SPK23040152 00 単第0 -0231 表

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
As塊受入費 再資源化施設	5	t			#0041 F000000700 00
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3
上層路盤(車道・路肩部)	1	式			Y1101060304 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下	14	m2			SPK23040234 00 単第0 -0010 表
上層路盤(歩道部)	1	式			Y1101060305 レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚200mm 2層施工 RM-30	2	m2			SPK23040235 00 単第0 -0232 表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚180mm 2層施工 RM-30	4	m2			SPK23040235 00 単第0 -0233 表
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 路盤材(各種)	0.4	m2			SPK23040235 00 単第0 -0234 表

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
石材小型車割増					F9000000017 00
	1	m3			
基層(歩道部)					Y1101060307レベル4
		m2			
基層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	19	m2			SPK23040242 00 単第0 -0235 表
舗装仮復旧工					Y11010604 レベル3
	1	式			
表層(歩道部)					Y1101060409レベル4
	1	式			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	19	m2			SPK23040244 00 単第0 -0236 表
仮設工					Y110105 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y11010501 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1101050101レベル4
	1	式			

# 附帯工事費 内訳表

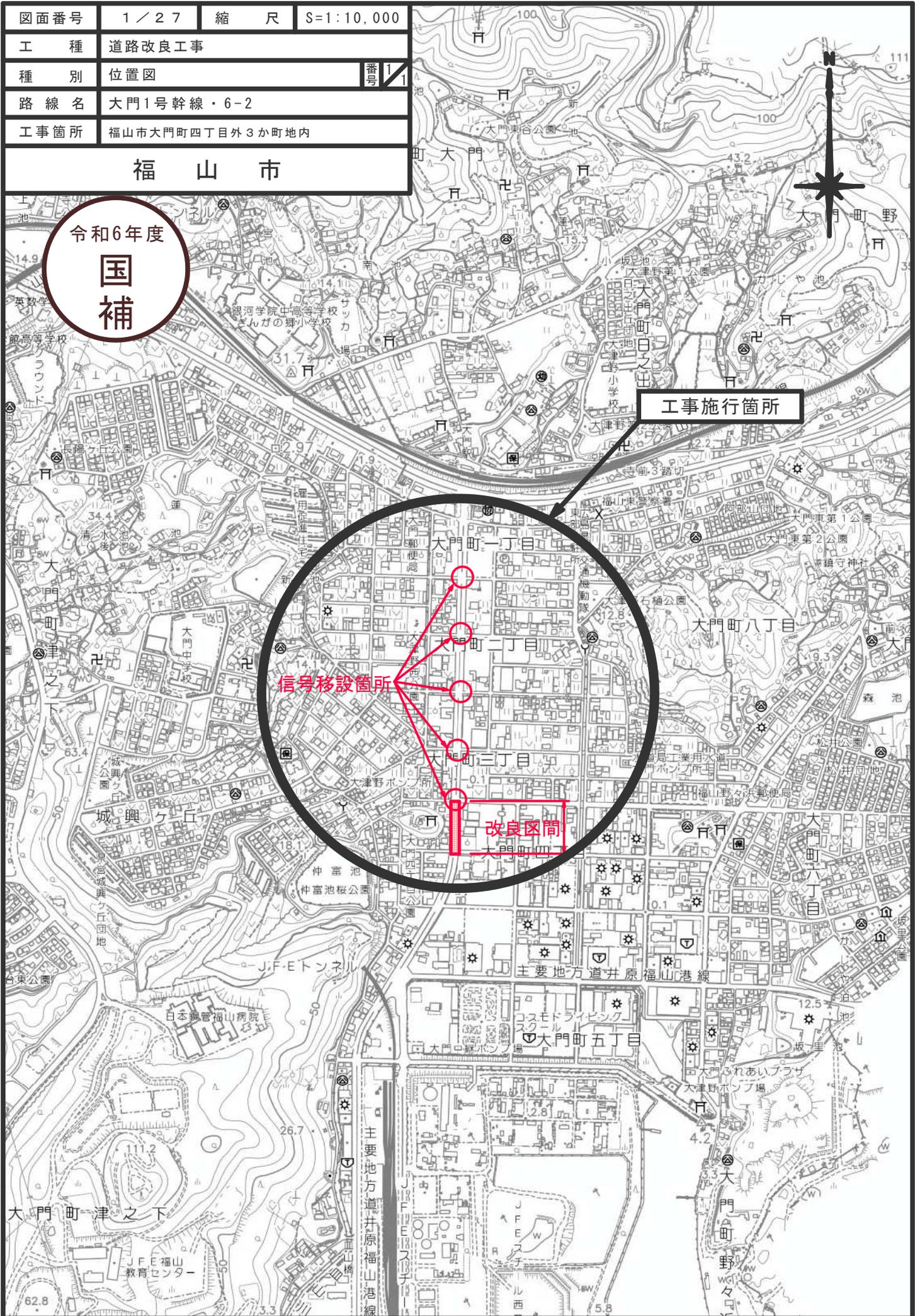
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B 3人配置					R0369 00
	12	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....

# 附帯工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1 / 27	縮 尺	S=1:10,000
工 種	道路改良工事		
種 別	位置図	番号	1 / 1
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
<b>福 山 市</b>			

令和6年度  
**国補**



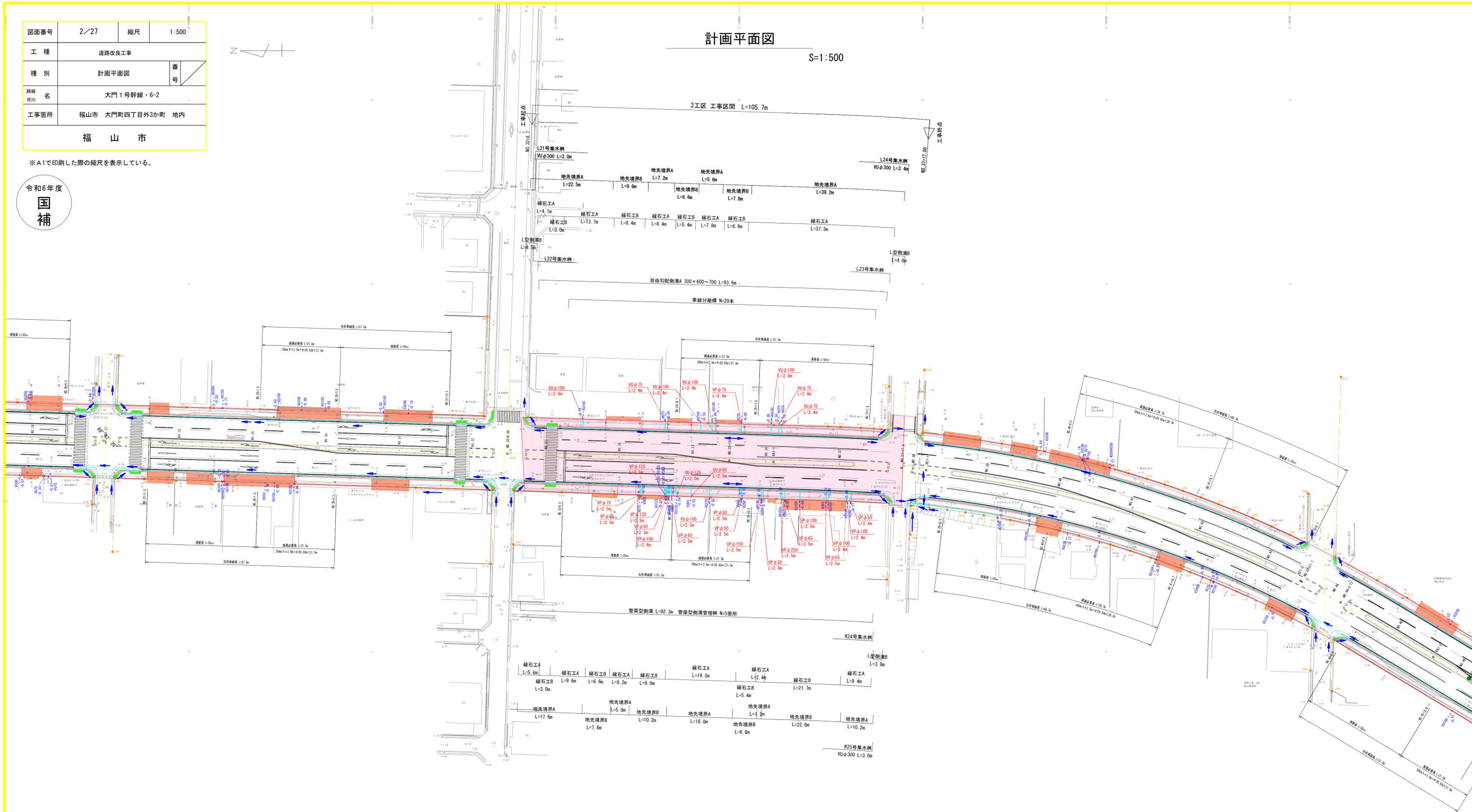
図面番号	2/27	縮尺	1:500
工種	道路改良工事		
種別	計画平面図	番 号	
路線 河川	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福 山 市			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
国補

# 計画平面図

S=1:500

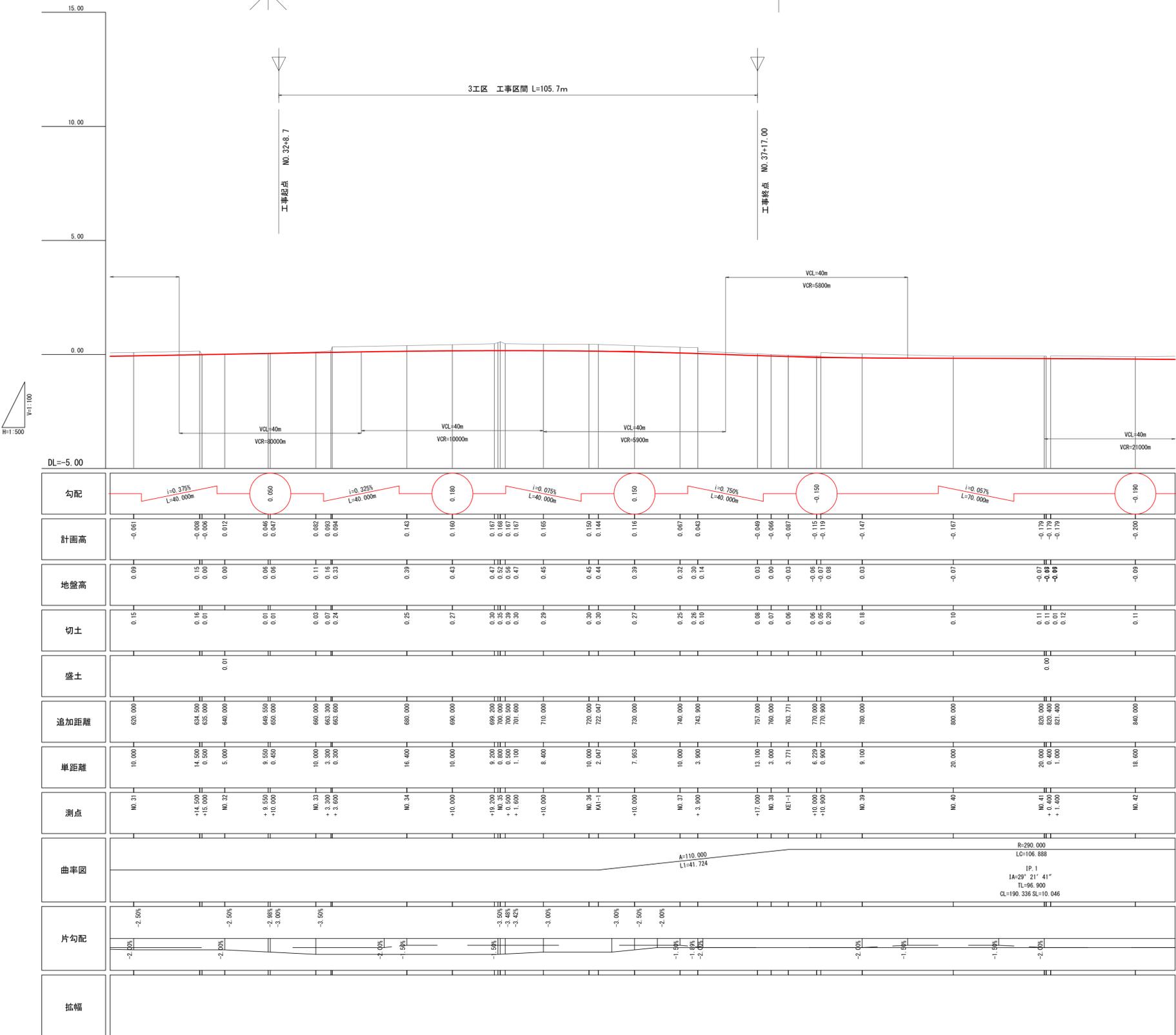


IPNO	IP. 1	Y	1,000	1,000
KNO	1-1	1-2	Lc	106,888
IA	29-21-41	CL		190,336
R	290,000	290,000	Tc	96,900
L	41,724	41,724	S	41,715
ΔR	0,250	0,250	W	76,041
XM	20,858	20,858	A	110,000
X	41,703	41,703		

図面番号	3/27	縮尺	H=1:500 S=1:100
工種	道路改良工事		
種別	縦断面	番	号
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目3か町 地内		
<b>福 山 市</b>			

令和6年度  
**国補**

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。



図面番号	4/27	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	標準断面図	番号	
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

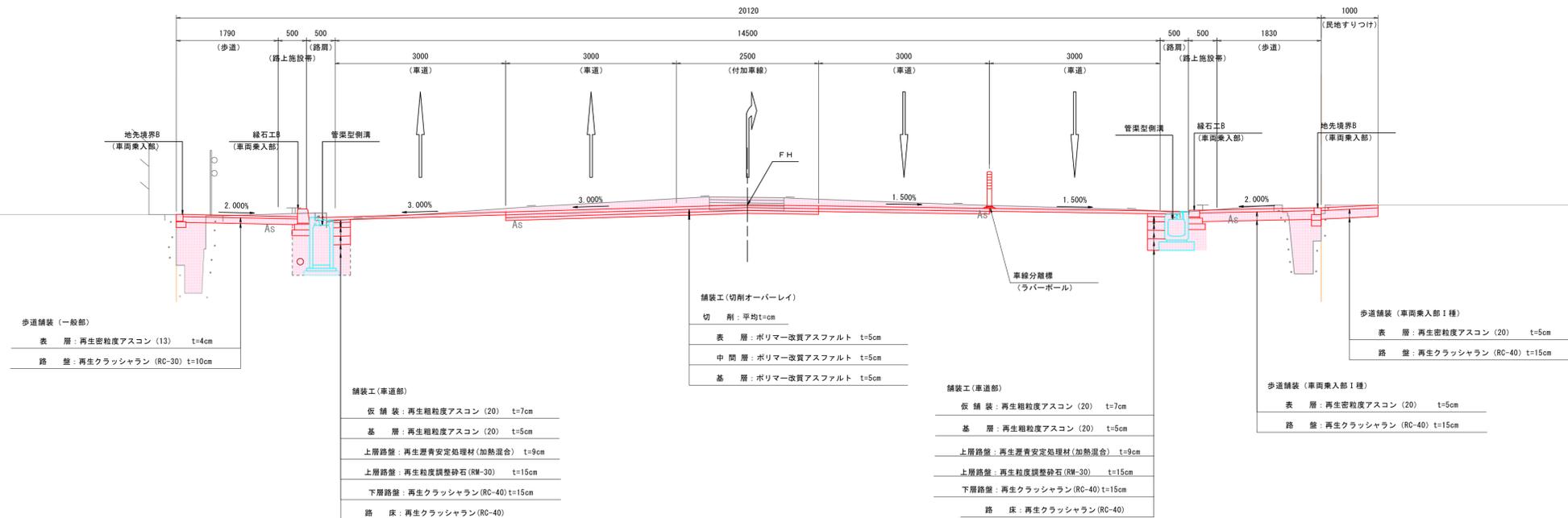
※ポリマー改質アスファルトは（シナヤカファルト）と同等以上の材料を使用する  
 ※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

## 標準断面図

S=1:50

NO. 36付近

設計条件	
路線名	大門1号幹線
道路規格	第4種第1級（第4種第2級）
設計速度	V=50km/h
舗装計画交通量	N6交通1,000~3,000（28,500台/日）
設計CBR	8%以上



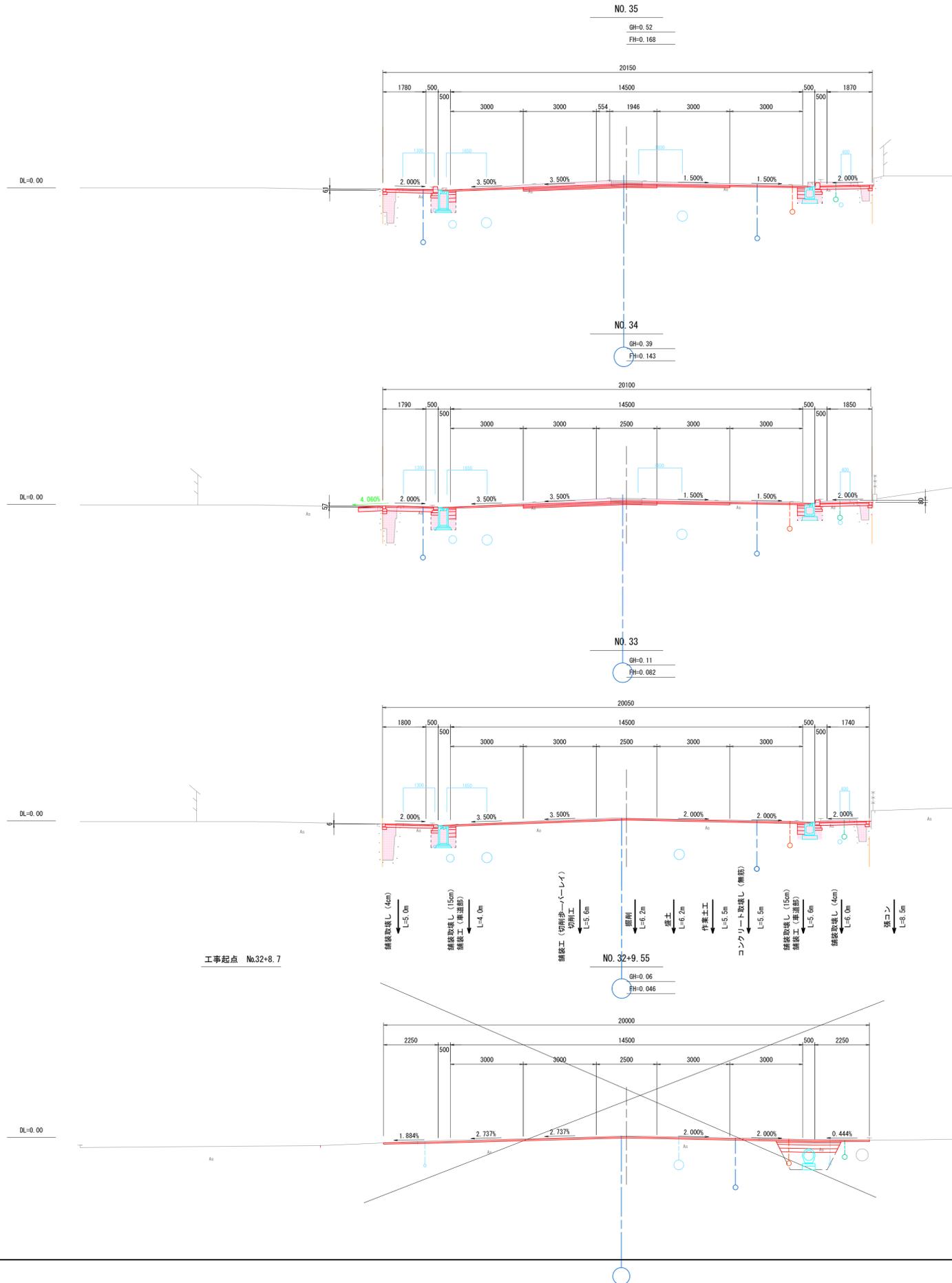
図面番号	5/27	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	横断面(11)	番号	1 3
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
国補

### 横断面(11)

S=1:100



NO.35		舗装工(車道部)		左側	右側
側削(2-F)	m <sup>2</sup>	側溝敷 (平均1.70m)	m	0.30	0.30
側削(内切)	m <sup>2</sup>	基 層 (1.50m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.90m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.150m)	m	0.30	0.30
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (1.150m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	路 床	m <sup>2</sup>	0.12	0.05
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	表 層	m	15.20	
橋コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
		基 層	m	5.50	
作業土工		切 削	m	14.66	
側削(土砂)	m <sup>2</sup>	切 削	m <sup>2</sup>	2.71	
標準溝(標準幅 1.05R<4.0)	m <sup>2</sup>				
標準溝(標準幅 R<1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎整定	m				
構造物除去工					
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設砂	左側(m)	右側(m)			
F27+4舗装(1.40m)	1.6	1.6			
F27+4舗装(1.150m)	0.4	0.4			

NO.34		舗装工(車道部)		左側	右側
側削(2-F)	m <sup>2</sup>	側溝敷 (平均1.70m)	m	0.30	0.30
側削(内切)	m <sup>2</sup>	基 層 (1.50m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.90m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.150m)	m	0.30	0.30
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (1.150m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	路 床	m <sup>2</sup>	0.12	0.05
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	表 層	m	15.20	
橋コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
		基 層	m	5.50	
作業土工		切 削	m	14.66	
側削(土砂)	m <sup>2</sup>	切 削	m <sup>2</sup>	2.44	
標準溝(標準幅 1.05R<4.0)	m <sup>2</sup>				
標準溝(標準幅 R<1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎整定	m				
構造物除去工					
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設砂	左側(m)	右側(m)			
F27+4舗装(1.40m)	1.6	1.6			
F27+4舗装(1.150m)	0.3	0.4			

NO.33		舗装工(車道部)		左側	右側
側削(2-F)	m <sup>2</sup>	側溝敷 (平均1.70m)	m	0.30	0.30
側削(内切)	m <sup>2</sup>	基 層 (1.50m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.90m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.150m)	m	0.30	0.30
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (1.150m)	m	0.30	0.30
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	路 床	m <sup>2</sup>	0.12	0.05
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	表 層	m	15.20	
橋コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
		基 層	m	5.50	
作業土工		切 削	m	14.66	
側削(土砂)	m <sup>2</sup>	切 削	m <sup>2</sup>	1.26	
標準溝(標準幅 1.05R<4.0)	m <sup>2</sup>				
標準溝(標準幅 R<1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎整定	m				
構造物除去工					
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設砂	左側(m)	右側(m)			
F27+4舗装(1.40m)	1.6	1.5			
F27+4舗装(1.150m)	0.4	0.4			

NO.32+9.55		舗装工(車道部)		左側	右側
側削(2-F)	m <sup>2</sup>	側溝敷 (平均1.80m)	m	0.30	0.30
側削(内切)	m <sup>2</sup>	基 層 (1.50m)	m	2.69	
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.90m)	m	2.59	
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (1.150m)	m	2.47	
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (1.150m)	m	2.32	
路床(2.5S)	m <sup>2</sup>	路 床	m <sup>2</sup>	1.02	
路床(2.5S<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床(4.0S)	m <sup>2</sup>	表 層	m	14.50	
橋コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
		基 層	m	5.50	
作業土工		切 削	m	13.40	
側削(土砂)	m <sup>2</sup>	切 削	m <sup>2</sup>	1.17	
標準溝(標準幅 1.05R<4.0)	m <sup>2</sup>				
標準溝(標準幅 R<1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎整定	m				
構造物除去工					
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
20F1+構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設砂	左側(m)	右側(m)			
F27+4舗装(1.40m)	—	—			
F27+4舗装(1.150m)	—	2.7			



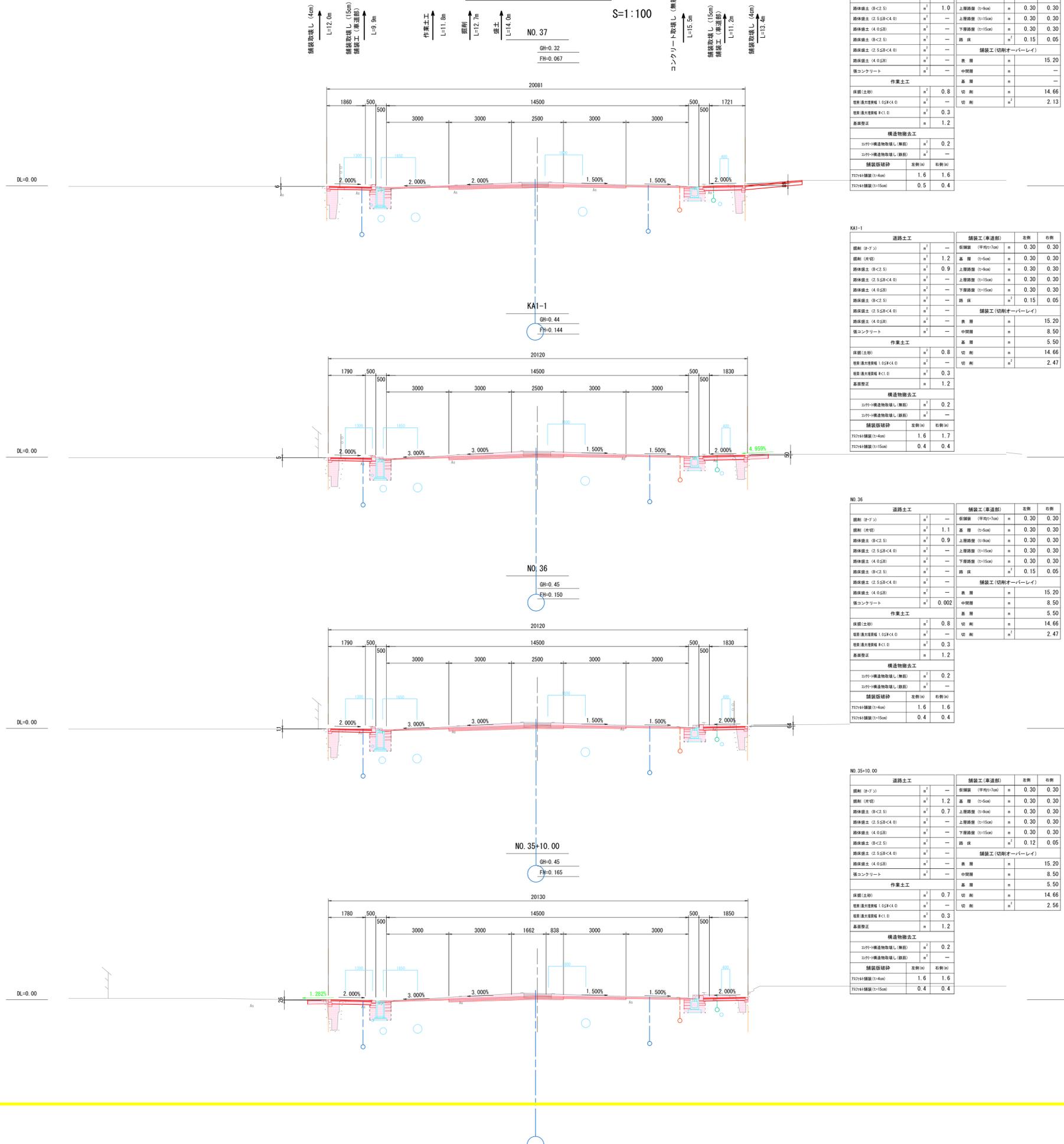
図面番号	6/27	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	横断面(12)	番号	2/3
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
<b>福山市</b>			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
**国補**

### 横断面(12)

S=1:100



NO. 37

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
側削 (E-F)	m <sup>2</sup>	表層 (平均17cm)	m	0.30	0.30
側削 (内切)	m <sup>2</sup>	基層 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	0.15	0.05
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床 (C4.0)	m <sup>2</sup>	表層	m	15.20	
舗コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m		
作業土工		基層	m		
路床(土砂)	m <sup>2</sup>	切削	m	14.66	
標準溝(埋戻し 1.05m<C4.0)	m <sup>2</sup>	切削	m <sup>2</sup>	2.13	
標準溝(埋戻し K<C1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎防犯	m				
構造物撤去工					
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>			0.2	
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設		左側(m)	右側(m)		
F7244舗装(14cm)		1.6	1.6		
F7244舗装(15cm)		0.5	0.4		

KA1-1

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
側削 (E-F)	m <sup>2</sup>	表層 (平均17cm)	m	0.30	0.30
側削 (内切)	m <sup>2</sup>	基層 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	0.15	0.05
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床 (C4.0)	m <sup>2</sup>	表層	m	15.20	
舗コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
作業土工		基層	m	5.50	
路床(土砂)	m <sup>2</sup>	切削	m	14.66	
標準溝(埋戻し 1.05m<C4.0)	m <sup>2</sup>	切削	m <sup>2</sup>	2.47	
標準溝(埋戻し K<C1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎防犯	m				
構造物撤去工					
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>			0.2	
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設		左側(m)	右側(m)		
F7244舗装(14cm)		1.6	1.7		
F7244舗装(15cm)		0.4	0.4		

NO. 36

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
側削 (E-F)	m <sup>2</sup>	表層 (平均17cm)	m	0.30	0.30
側削 (内切)	m <sup>2</sup>	基層 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	0.15	0.05
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床 (C4.0)	m <sup>2</sup>	表層	m	15.20	
舗コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
作業土工		基層	m	5.50	
路床(土砂)	m <sup>2</sup>	切削	m	14.66	
標準溝(埋戻し 1.05m<C4.0)	m <sup>2</sup>	切削	m <sup>2</sup>	2.47	
標準溝(埋戻し K<C1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎防犯	m				
構造物撤去工					
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>			0.2	
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設		左側(m)	右側(m)		
F7244舗装(14cm)		1.6	1.6		
F7244舗装(15cm)		0.4	0.4		

NO. 35+10.00

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
側削 (E-F)	m <sup>2</sup>	表層 (平均17cm)	m	0.30	0.30
側削 (内切)	m <sup>2</sup>	基層 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	上層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	下層路盤 (15cm)	m	0.30	0.30
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	0.12	0.05
路床 (C2.5)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床 (C4.0)	m <sup>2</sup>	表層	m	15.20	
舗コンクリート	m <sup>2</sup>	中間層	m	8.50	
作業土工		基層	m	5.50	
路床(土砂)	m <sup>2</sup>	切削	m	14.66	
標準溝(埋戻し 1.05m<C4.0)	m <sup>2</sup>	切削	m <sup>2</sup>	2.56	
標準溝(埋戻し K<C1.0)	m <sup>2</sup>				
基礎防犯	m				
構造物撤去工					
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>			0.2	
20号→構造物撤去(撤去)	m <sup>2</sup>				
舗装仮設		左側(m)	右側(m)		
F7244舗装(14cm)		1.6	1.6		
F7244舗装(15cm)		0.4	0.4		



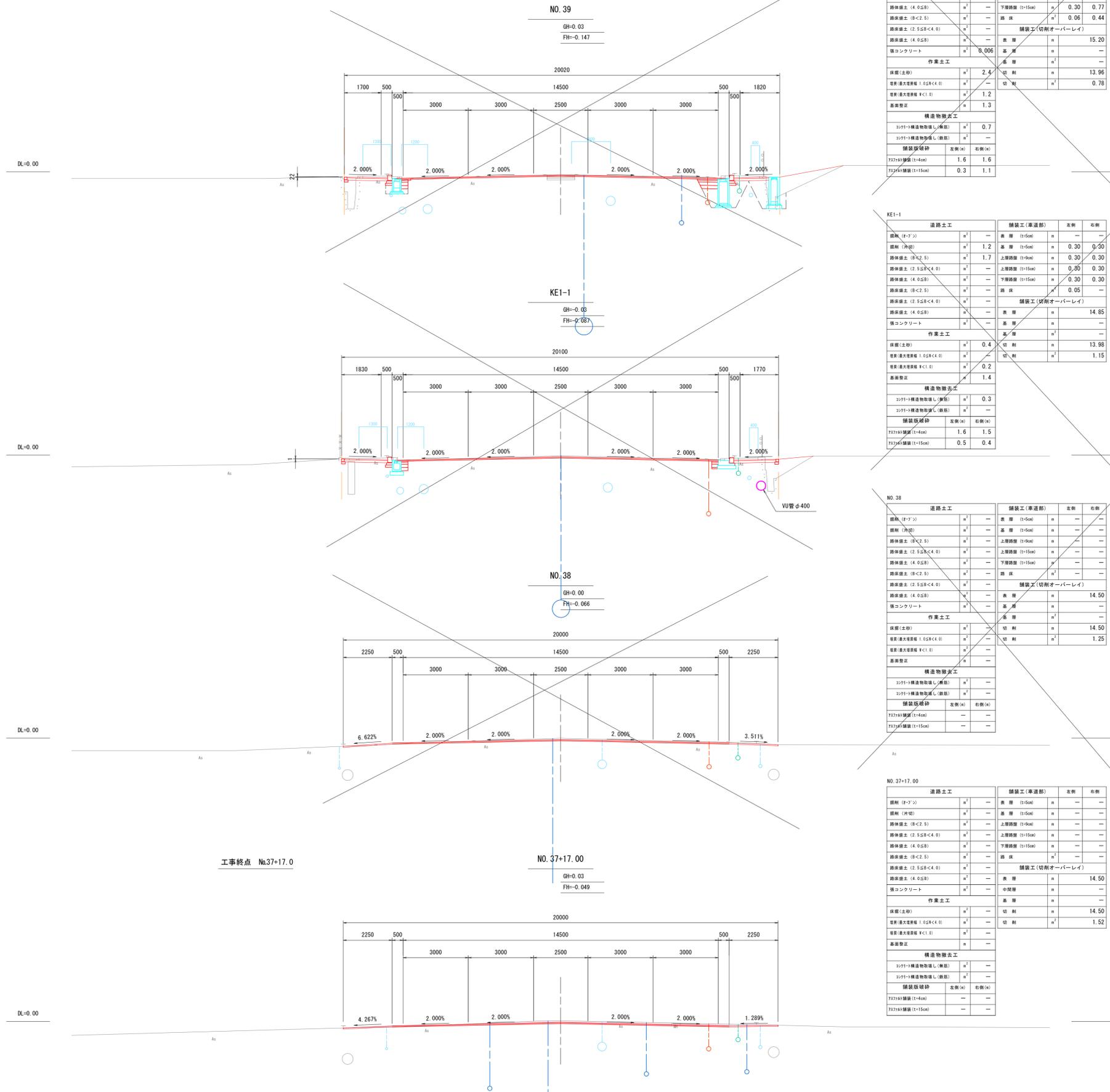
図面番号	7/27	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	横断面(13)	番号	3
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
<b>福山市</b>			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
国補

### 横断面図(13)

S=1:100



NO. 39

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (t>7.5)	m <sup>3</sup>	表層 (t=5cm)	m	—	—
掘削 (t=7.5)	m <sup>3</sup>	基層 (t=5cm)	m	0.30	0.96
路体舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=9cm)	m	0.30	0.91
路体舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=15cm)	m	0.30	0.85
路体舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	下層舗装 (t=15cm)	m	0.30	0.77
路床舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	0.06	0.44
路床舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	表層	m	—	15.20
横コンクリート	m <sup>2</sup>	基層	m	—	—
作業土工		表層	m <sup>2</sup>	—	—
床面(土砂)	m <sup>3</sup>	切削	m	—	13.96
埋戻(最大埋戻高 1.0≦R<4.0)	m <sup>3</sup>	切削	m <sup>2</sup>	—	0.78
埋戻(最大埋戻高 R<1.0)	m <sup>3</sup>	—	—	—	—
基礎整正	m	—	—	—	—
構造物撤去工					
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	0.7
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—
舗装仮設砕		左側(m)	右側(m)		
F2728舗装 (t=4cm)	—	1.6	1.6		
F2728舗装 (t=15cm)	—	0.3	1.1		

KE1-1

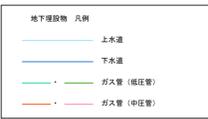
道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (t>7.5)	m <sup>3</sup>	表層 (t=5cm)	m	—	—
掘削 (t=7.5)	m <sup>3</sup>	基層 (t=5cm)	m	0.30	0.30
路体舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=9cm)	m	0.30	0.30
路体舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=15cm)	m	0.30	0.30
路体舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	下層舗装 (t=15cm)	m	0.30	0.30
路床舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	0.05	—
路床舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	表層	m	—	14.85
横コンクリート	m <sup>2</sup>	基層	m	—	—
作業土工		表層	m <sup>2</sup>	—	—
床面(土砂)	m <sup>3</sup>	切削	m	—	13.98
埋戻(最大埋戻高 1.0≦R<4.0)	m <sup>3</sup>	切削	m <sup>2</sup>	—	1.15
埋戻(最大埋戻高 R<1.0)	m <sup>3</sup>	—	—	—	—
基礎整正	m	—	—	—	—
構造物撤去工					
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	0.3
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—
舗装仮設砕		左側(m)	右側(m)		
F2728舗装 (t=4cm)	—	1.6	1.5		
F2728舗装 (t=15cm)	—	0.5	0.4		

NO. 38

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (t>7.5)	m <sup>3</sup>	表層 (t=5cm)	m	—	—
掘削 (t=7.5)	m <sup>3</sup>	基層 (t=5cm)	m	—	—
路体舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=9cm)	m	—	—
路体舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=15cm)	m	—	—
路体舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	下層舗装 (t=15cm)	m	—	—
路床舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	—	—
路床舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	表層	m	—	14.50
横コンクリート	m <sup>2</sup>	基層	m	—	—
作業土工		表層	m <sup>2</sup>	—	—
床面(土砂)	m <sup>3</sup>	切削	m	—	14.50
埋戻(最大埋戻高 1.0≦R<4.0)	m <sup>3</sup>	切削	m <sup>2</sup>	—	1.25
埋戻(最大埋戻高 R<1.0)	m <sup>3</sup>	—	—	—	—
基礎整正	m	—	—	—	—
構造物撤去工					
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—
舗装仮設砕		左側(m)	右側(m)		
F2728舗装 (t=4cm)	—	—	—		
F2728舗装 (t=15cm)	—	—	—		

NO. 37+17.00

道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (t>7.5)	m <sup>3</sup>	表層 (t=5cm)	m	—	—
掘削 (t=7.5)	m <sup>3</sup>	基層 (t=5cm)	m	—	—
路体舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=9cm)	m	—	—
路体舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	上層舗装 (t=15cm)	m	—	—
路体舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	下層舗装 (t=15cm)	m	—	—
路床舗装 (B<2.5)	m <sup>2</sup>	路床	m <sup>2</sup>	—	—
路床舗装 (2.5≦B<4.0)	m <sup>2</sup>	舗装工(切削オーバーレイ)			
路床舗装 (4.0≦B)	m <sup>2</sup>	表層	m	—	14.50
横コンクリート	m <sup>2</sup>	切削	m	—	—
作業土工		表層	m <sup>2</sup>	—	—
床面(土砂)	m <sup>3</sup>	切削	m	—	14.50
埋戻(最大埋戻高 1.0≦R<4.0)	m <sup>3</sup>	切削	m <sup>2</sup>	—	1.52
埋戻(最大埋戻高 R<1.0)	m <sup>3</sup>	—	—	—	—
基礎整正	m	—	—	—	—
構造物撤去工					
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—
2011-1構造物撤去工(橋脚)	m <sup>2</sup>	—	—	—	—
舗装仮設砕		左側(m)	右側(m)		
F2728舗装 (t=4cm)	—	—	—		
F2728舗装 (t=15cm)	—	—	—		

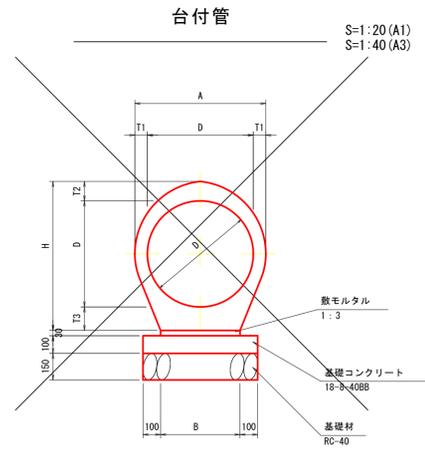
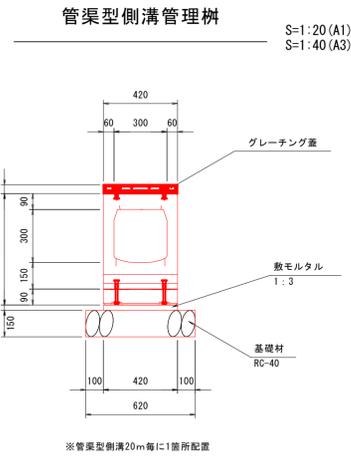
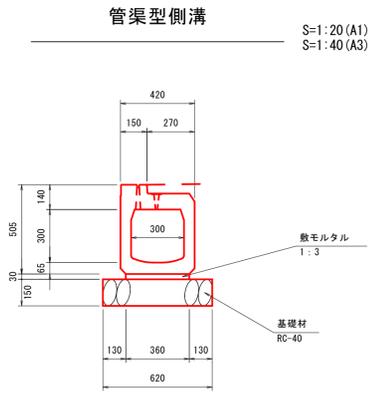


図面番号	8/27	縮尺	1:20
工種	道路改良工事		
種別	排水構造物工構造図(1)	番号	1/2
路線 河川	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目3か町 地内		
福山市			

令和6年度  
**国補**

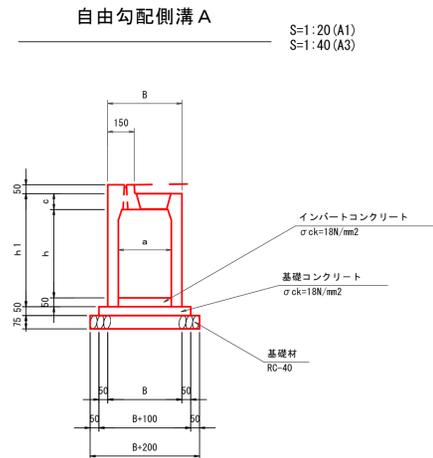
## 排水構造物工構造図(1)

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。



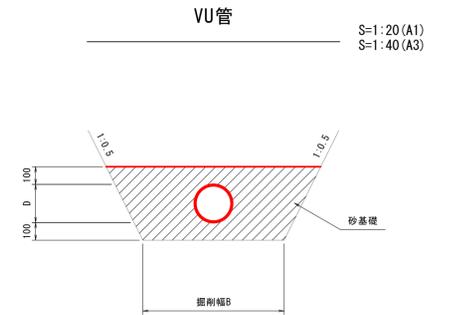
台付管サイズ

名称	D	T1	T2	T3	B	A	H	重量(kg)
D400	400	58	74	107	320	516	581	720
D450	450	62	96	114	360	574	660	892



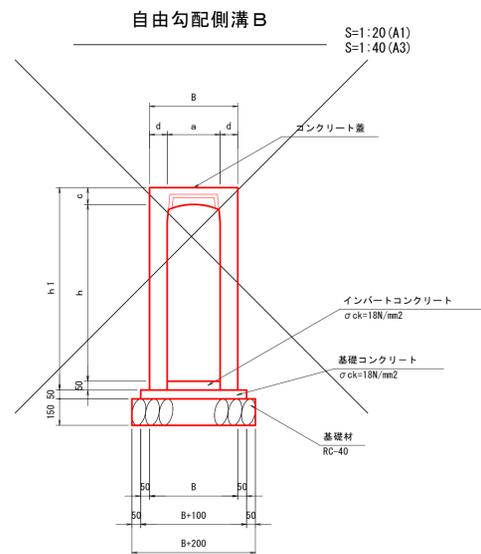
自由勾配側溝Aサイズ

サイズ a×h	B	h1	c	重量(kg)
300×400	420	540	90	469
300×500	420	640		525
300×600	420	740		581
300×700	420	840		637
300×800	420	940		693
300×900	420	1040		750
400×500	530	655	105	637
400×600	530	755		697
400×700	530	855		758
400×800	530	955		819
400×900	530	1055		880
400×1000	530	1155		941
400×1100	530	1255		1001
400×1200	530	1355		1062



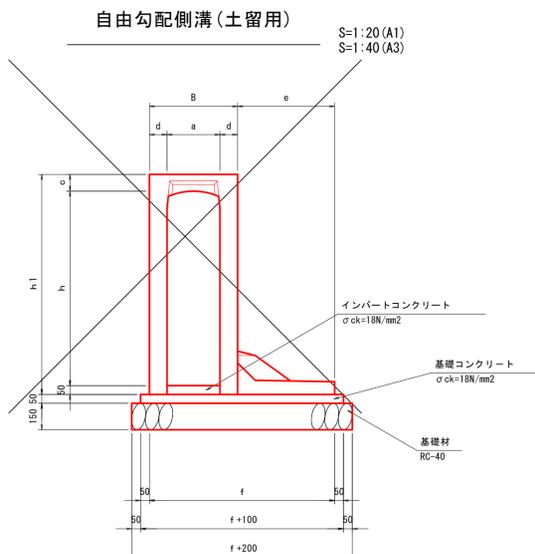
VU管砂基礎(10mあたり)

VU管	B	D	砂基礎(m3)
φ150	750	165	3.19
φ200	800	216	3.83
φ300	900	318	5.21
φ400	1000	420	6.73
φ500	1100	520	10.26



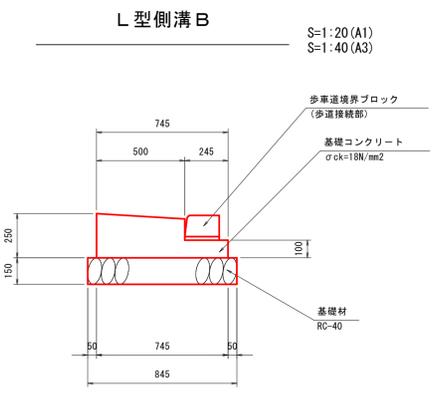
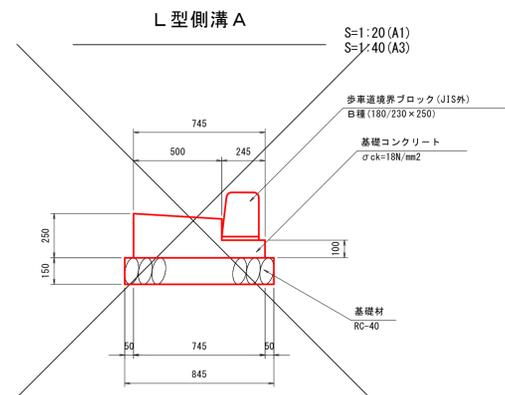
自由勾配側溝Bサイズ

サイズ a×h	B	h1	c	d	重量(kg)
300×800	500	945	95	100	697
300×900	500	1045			774
300×1000	500	1145			851
300×1100	500	1245			928
300×1200	500	1345			1005
400×1400	610	1560			1110



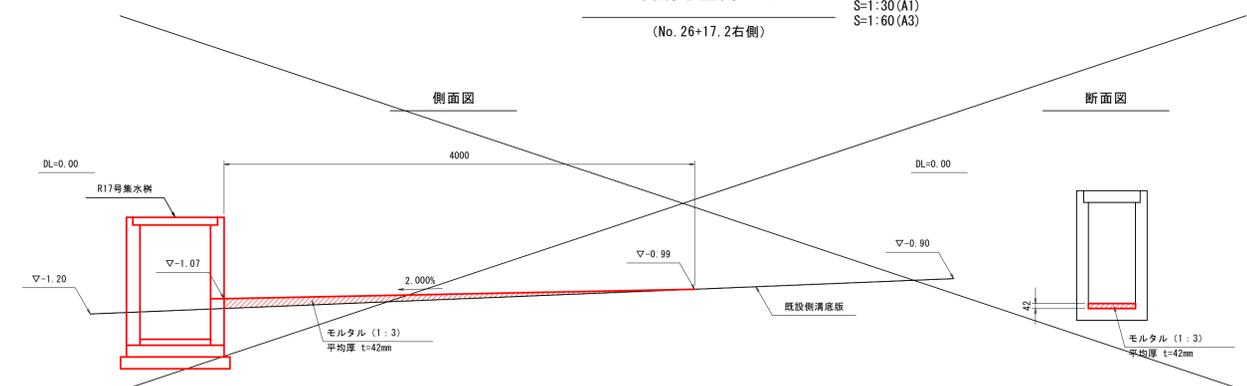
自由勾配側溝(土留用)サイズ

サイズ a×h	B	h1	c	d	e	f	重量(kg)
300×800	500	945	95	100	450	900	859
300×1000	500	1145			500	1000	1145
300×1100	500	1245			550	1050	1245
300×1200	500	1345			600	1100	1345
300×1200	610	1345			640	1140	1345



側溝底盤嵩上げ

(No. 26+17.2右側)  
S=1:30 (A1)  
S=1:60 (A3)





図面番号	10/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	縁石工構造図	番号	1
路線 河川	大門1号幹線・6-2	号	1
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
<b>福山市</b>			

## 縁石工構造図

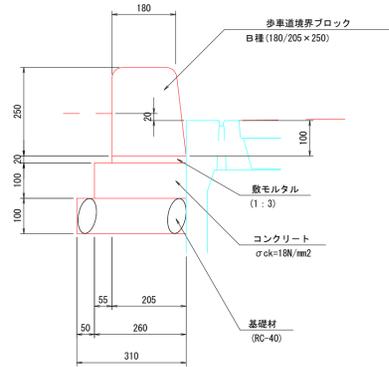
※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
**国補**

### 縁石工A

(一般部)

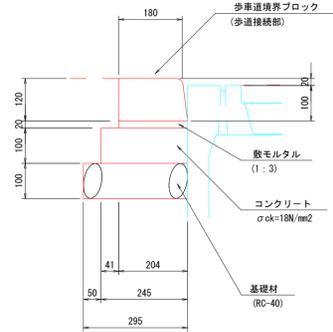
S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)



### 縁石工B

(車両乗入部、歩道接続部)

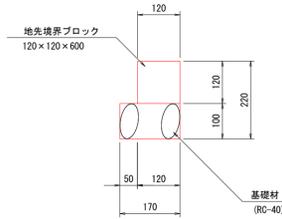
S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)



### 地先境界A

(一般部)

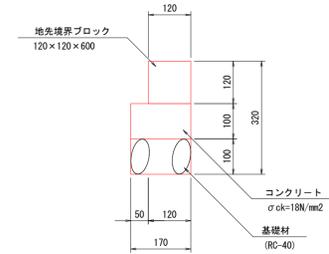
S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)



### 地先境界B

(車両乗入部)

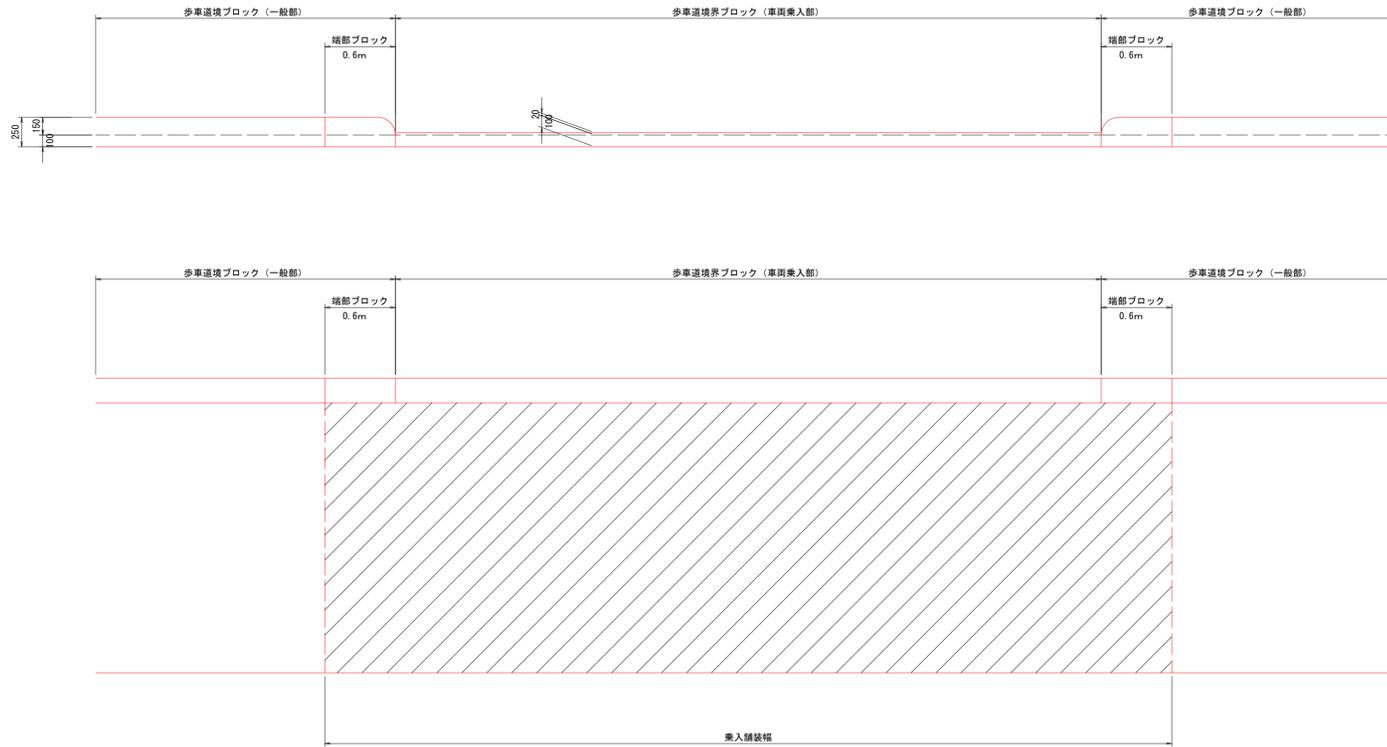
S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)



※縁石については民地への出入りについて関係者と協議し設置すること。  
※縁石Aについて、歩道の路面排水を考慮し監督員と協議すること。(水抜きタイプを4mに1箇所程度設置を検討すること。)

### 車両乗入部標準図

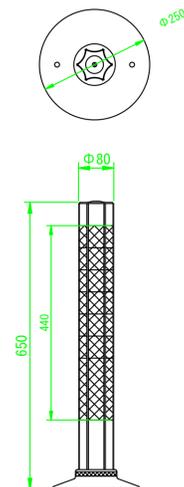
S=1:30 (A1)  
S=1:60 (A3)



### 車線分離標

(ラバーボール)

S=1:10 (A1)  
S=1:20 (A3)



図面番号	11/27	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	自由勾配側溝展開図(1)	番号	1/2
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

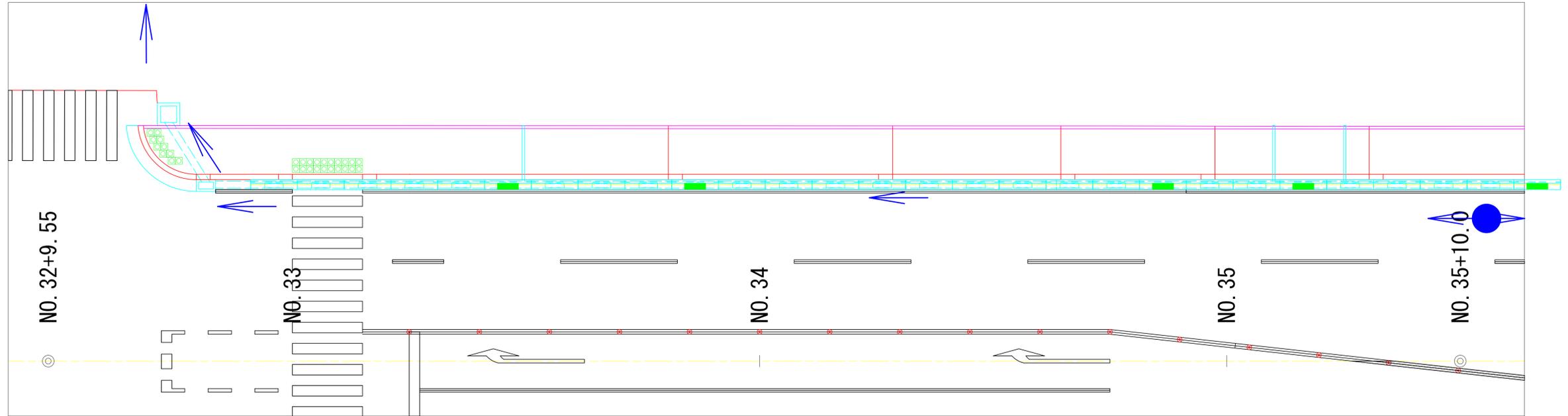
※A1で印刷した際の縮尺を表示している。  
 ※側溝高さは設計値とし、割付は参考とする。  
 ※割付は、伸びしろ3mmを見込んでいる。

令和6年度  
 国補

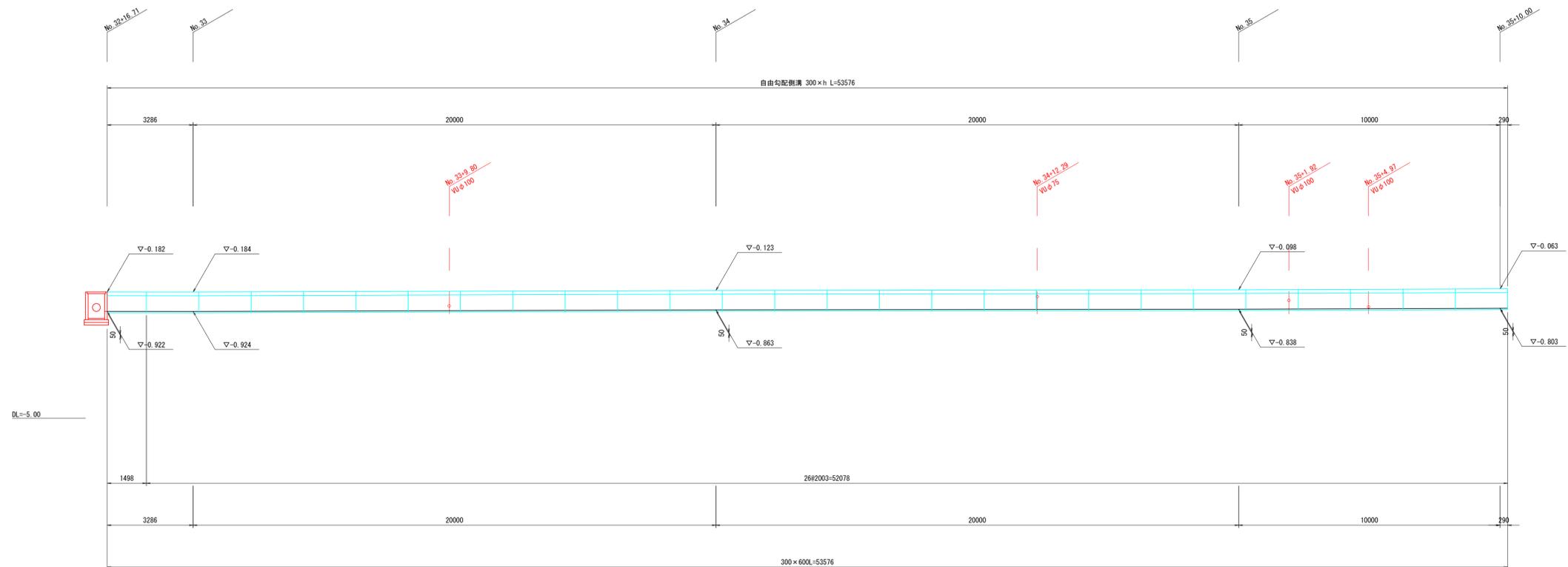
### 自由勾配側溝展開図(1)

No. 32+16.71~No. 37+10.10 (左側)

平面図 S=1:100 (A1)  
 S=1:200 (A3)



縦断面図 S=1:100 (A1)  
 S=1:200 (A3)



図面番号	12/27	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	自由勾配側溝展開図(2)	番号	2/2
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

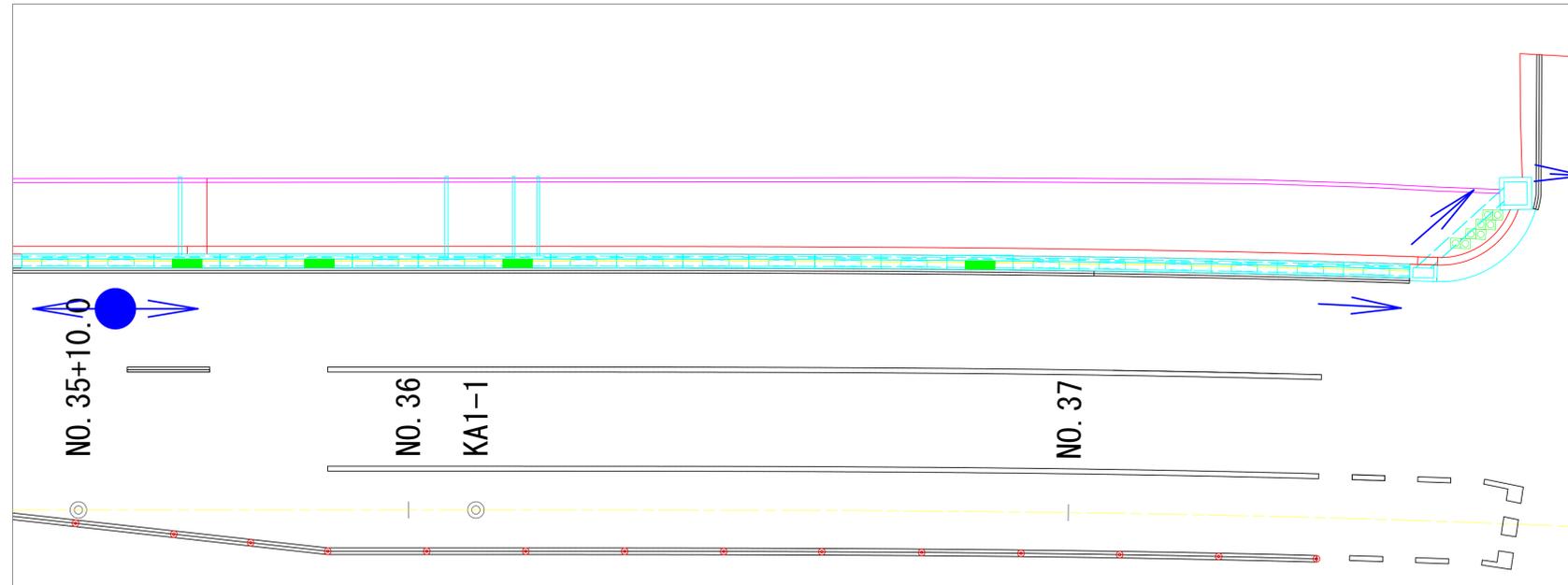
## 自由勾配側溝展開図(2)

No. 32+16.71~No. 37+10.10 (左側)

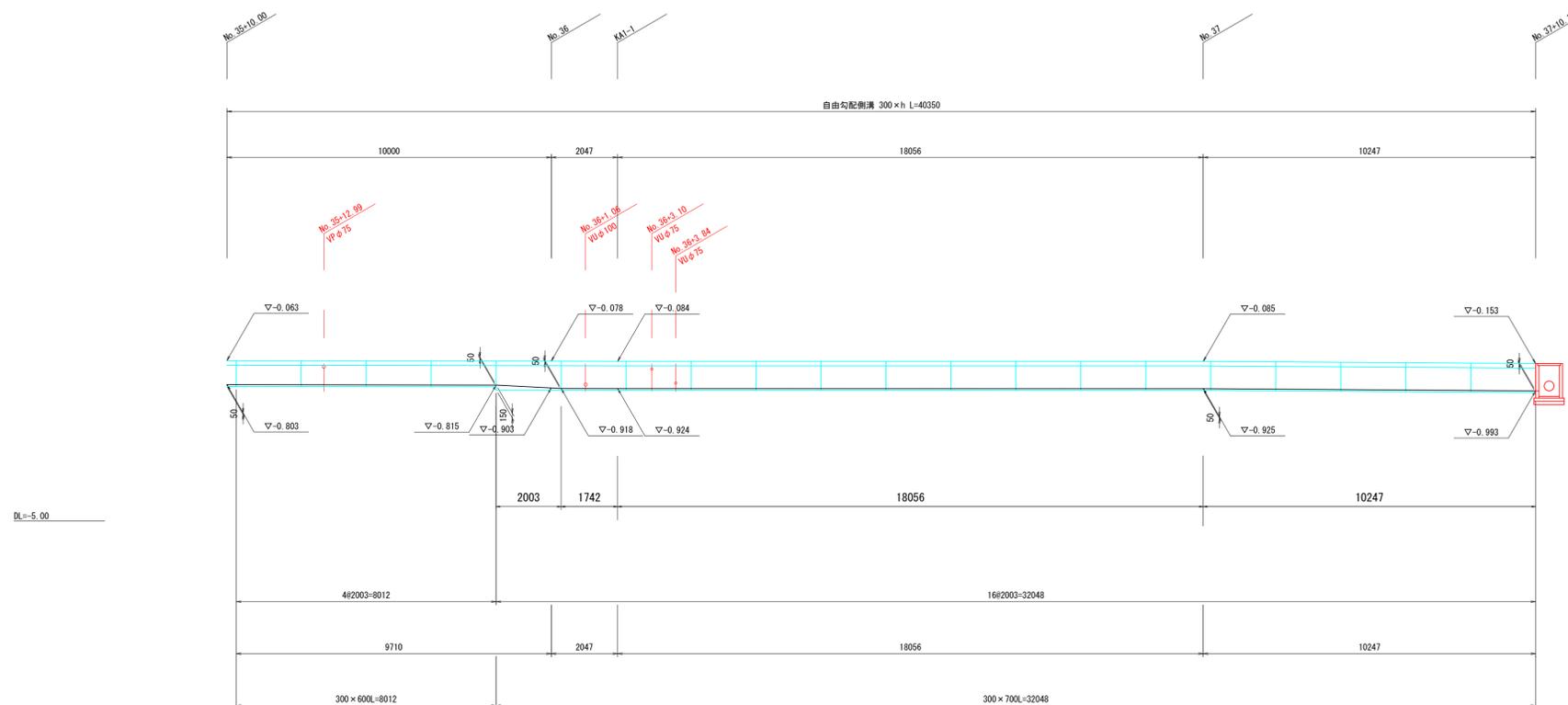
※A1で印刷した際の縮尺を表示している。  
 ※側溝高さは設計値とし、割付は参考とする。  
 ※割付は、伸びしろ3mmを見込んでいる。

令和6年度  
国補

平面図  
S=1:100(A1)  
S=1:200(A3)



縦断面図  
S=1:100(A1)  
S=1:200(A3)



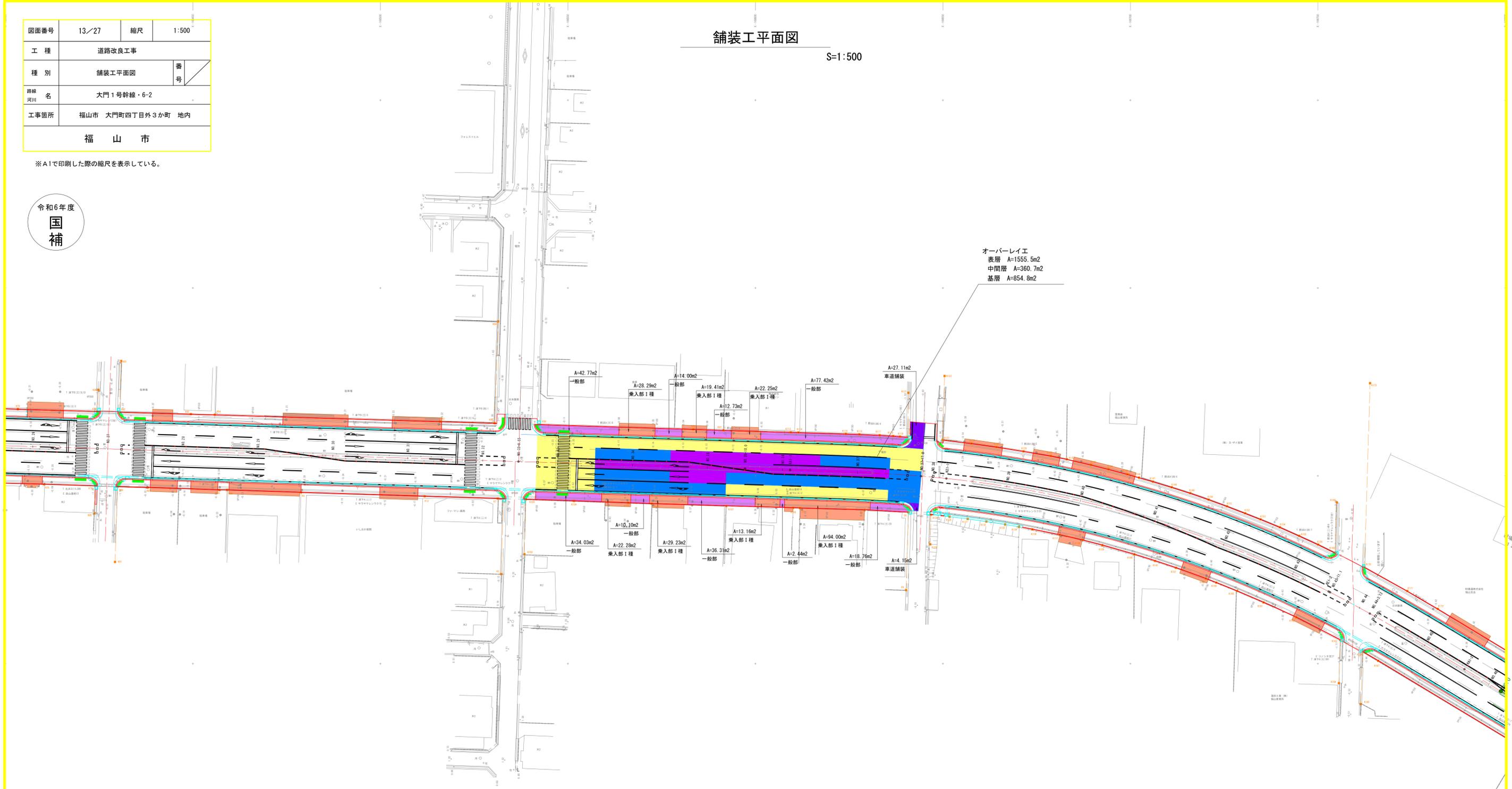
図面番号	13/27	縮尺	1:500
工種	道路改良工事		
種別	舗装工平面図	番号	
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
<b>福山市</b>			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
**国補**

### 舗装工平面図

S=1:500



オーバーレイ工  
表層 A=1555.5m2  
中間層 A=360.7m2  
基層 A=854.8m2

IPNO	IP.1	Y	1,000	1,000
KNO	1-1	1-2	Lc	106.888
IA	29-21-41		GL	190.336
R	290.000	290.000	Tc	96.900
L	41.724	41.724	S	41.715
△R	0.250	0.250	W	76.041
XM	20.858	20.858	A	110.000
X	41.703	41.703		

#### 凡例

	ポリマー改質アスファルト 1層
	ポリマー改質アスファルト 2層
	ポリマー改質アスファルト 3層
	ポリマー改質アスファルト1層 (巻込部)
	歩道舗装 (一般部)
	歩道舗装 (乗入部1種)

※ポリマー改質アスファルトは(シナヤカファルト)と同等以上の材料を使用する

種の人に開き道  
2月に部成予定

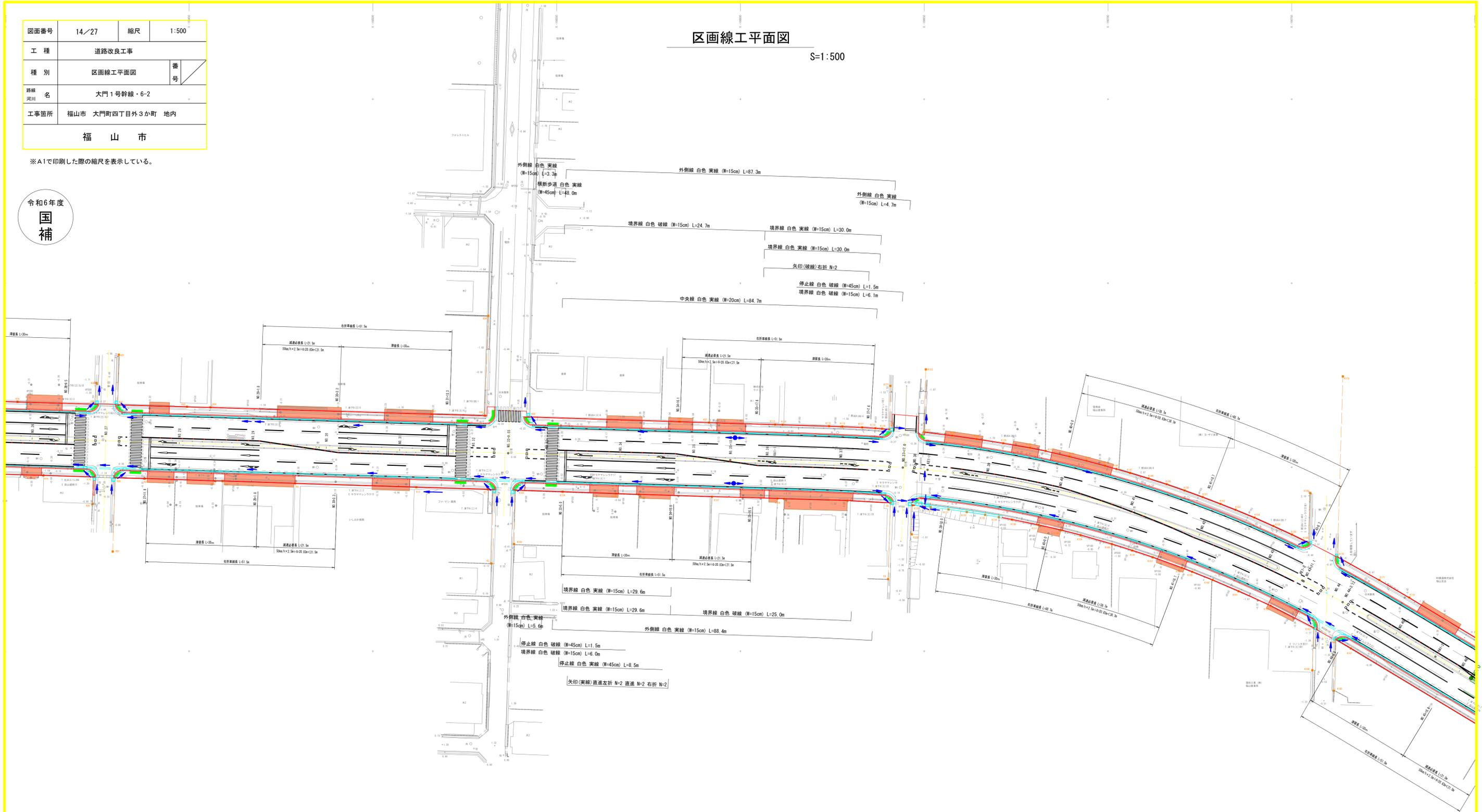
図面番号	14/27	縮尺	1:500
工種	道路改良工事		
種別	区画線工平面図	番号	
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
国補

### 区画線工平面図

S=1:500



IPNO	IP. 1		Y	1,000	1,000
KNO	1-1	1-2	Lc	106,888	
IA	29-21-41		GL	190,336	
R	290,000	290,000	Tc	96,900	96,900
L	41,724	41,724	S	41,715	41,715
ΔR	0.250	0.250	W	76.041	
XM	20,858	20,858	A	110,000	110,000
X	41,703	41,703			

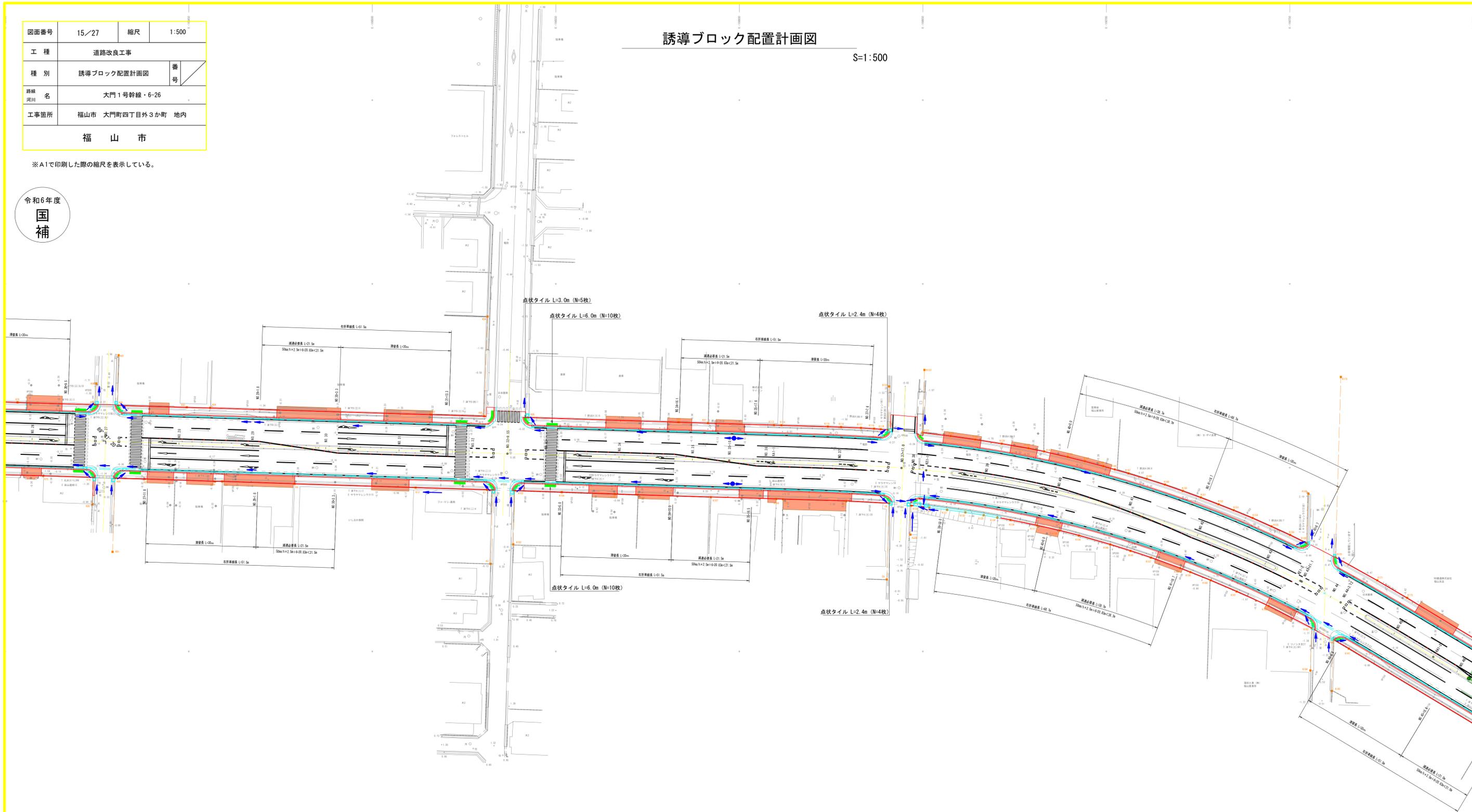
図面番号	15/27	縮尺	1:500
工種	道路改良工事		
種別	誘導ブロック配置計画図	番号	
路線 河川名	大門1号幹線・6-26		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

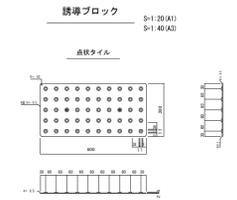
令和6年度  
国補

# 誘導ブロック配置計画図

S=1:500



IPNO	IP. 1		Y	1,000	1,000
KNO	1-1	1-2	Lc		106,888
IA	29-21-41		GL		190,336
R	290,000	290,000	Tc	96,900	96,900
L	41,724	41,724	S	41,715	41,715
△R	0,250	0,250	W		76,041
XM	20,858	20,858	A	110,000	110,000
X	41,703	41,703			



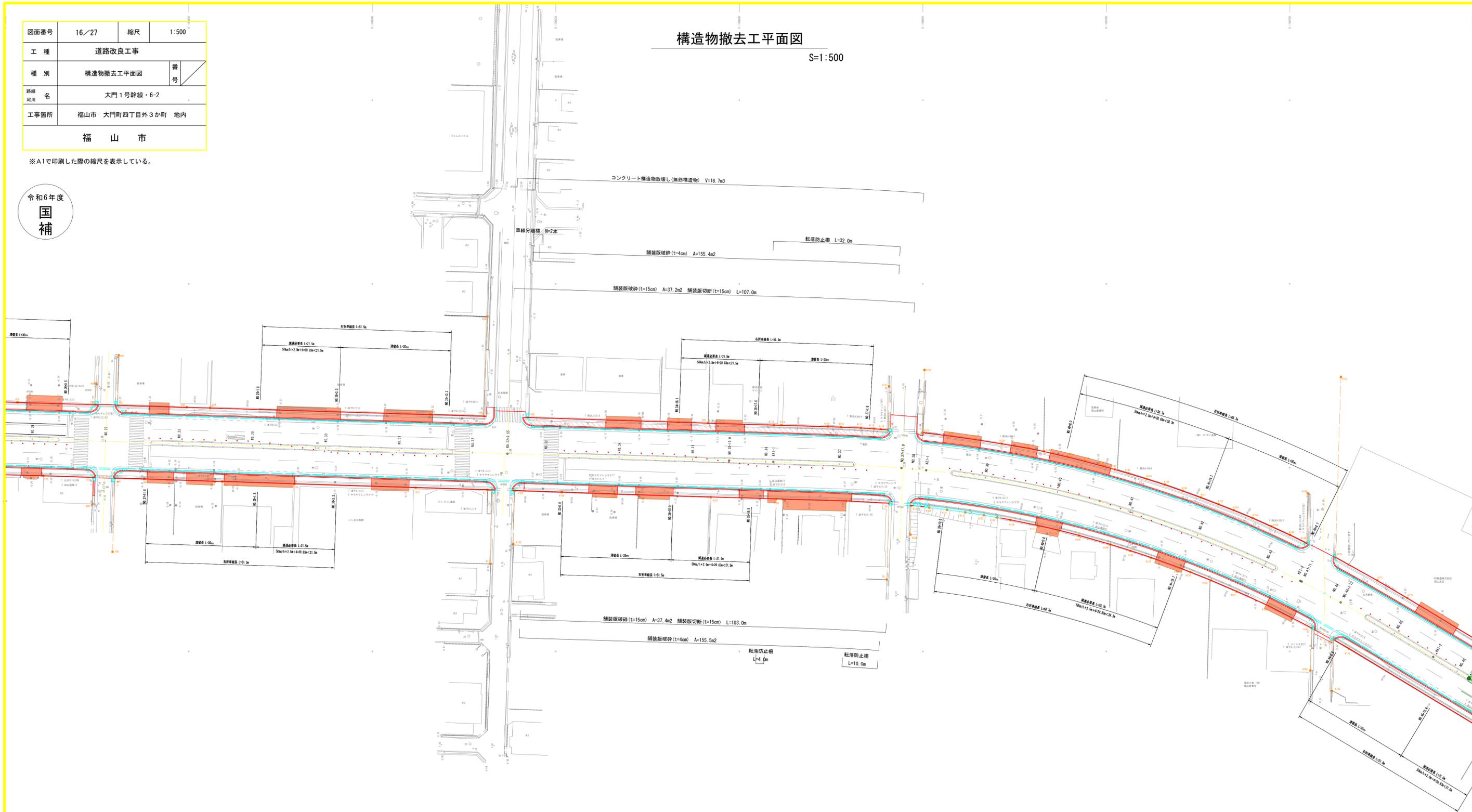
図面番号	16/27	縮尺	1:500
工種	道路改良工事		
種別	構造物撤去工平面図	番号	
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
福山市			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

令和6年度  
国補

# 構造物撤去工平面図

S=1:500



IPNO	IP. 1		Y	1,000	1,000
KNO	1-1	1-2	Lc	106,888	
IA	29-21-41		GL	190,336	
R	290,000	290,000	Tc	96,900	96,900
L	41,724	41,724	S	41,715	41,715
△R	0,250	0,250	W	76,041	
XM	20,858	20,858	A	110,000	110,000
X	41,703	41,703			

構造物の撤去は令和6年度4月に完成予定

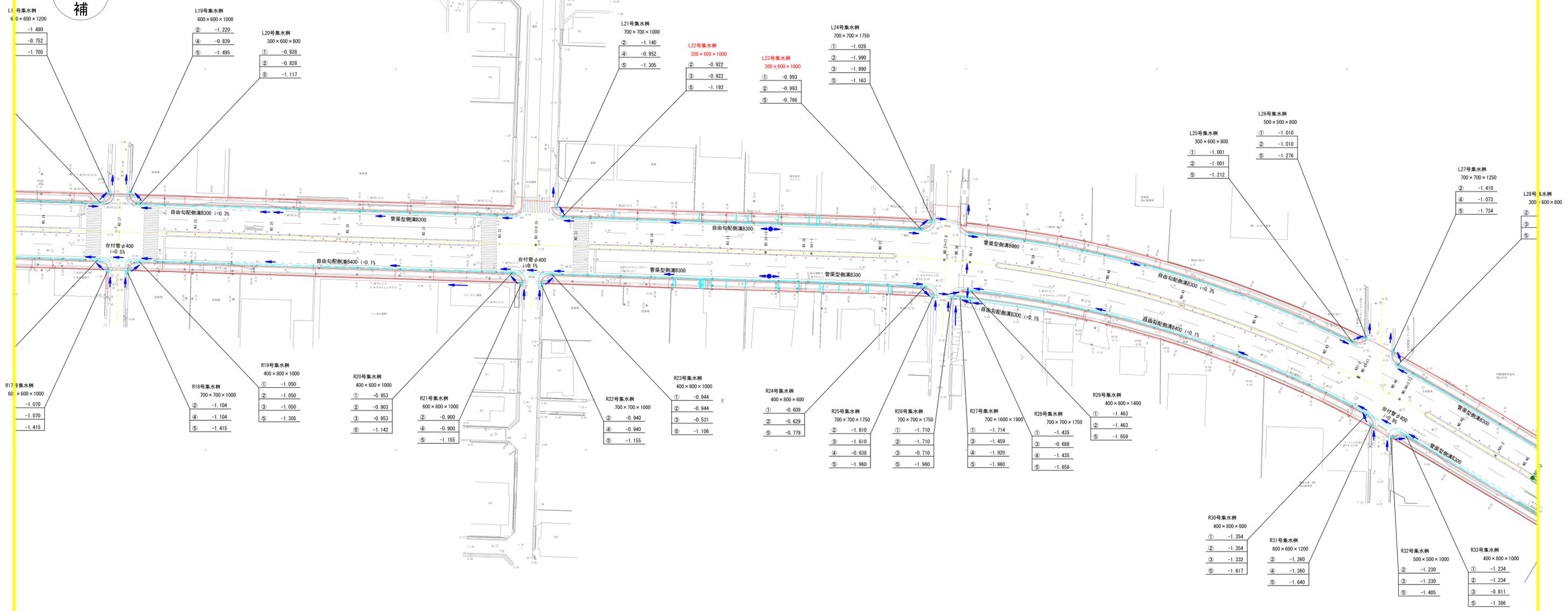
図面番号	17/27	縮尺	1:500
工種	道路改良工事		
種別	排水系統図	番	号
路線 河川名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市 大門町四丁目外3か町 地内		
<b>福山市</b>			

※A1で印刷した際の縮尺を表示している。

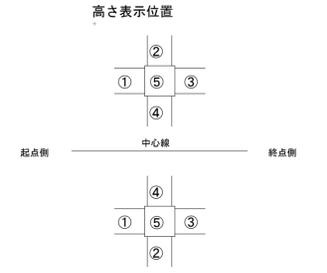
# 排水系統図

S=1:500

令和6年度  
**国補**



IPNO	IP. 1	Y	1,000	1,000
KNO	1-1	1-2	Lc	106,888
IA	29-21-41		CL	190,336
R	290,000	290,000	Tc	96,900
L	41,724	41,724	S	41,715
△R	0,250	0,250	W	76,041
XM	20,858	20,858	A	110,000
X	41,703	41,703		110,000



図面番号	18/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設平面図	番号	1/5
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
福山市			

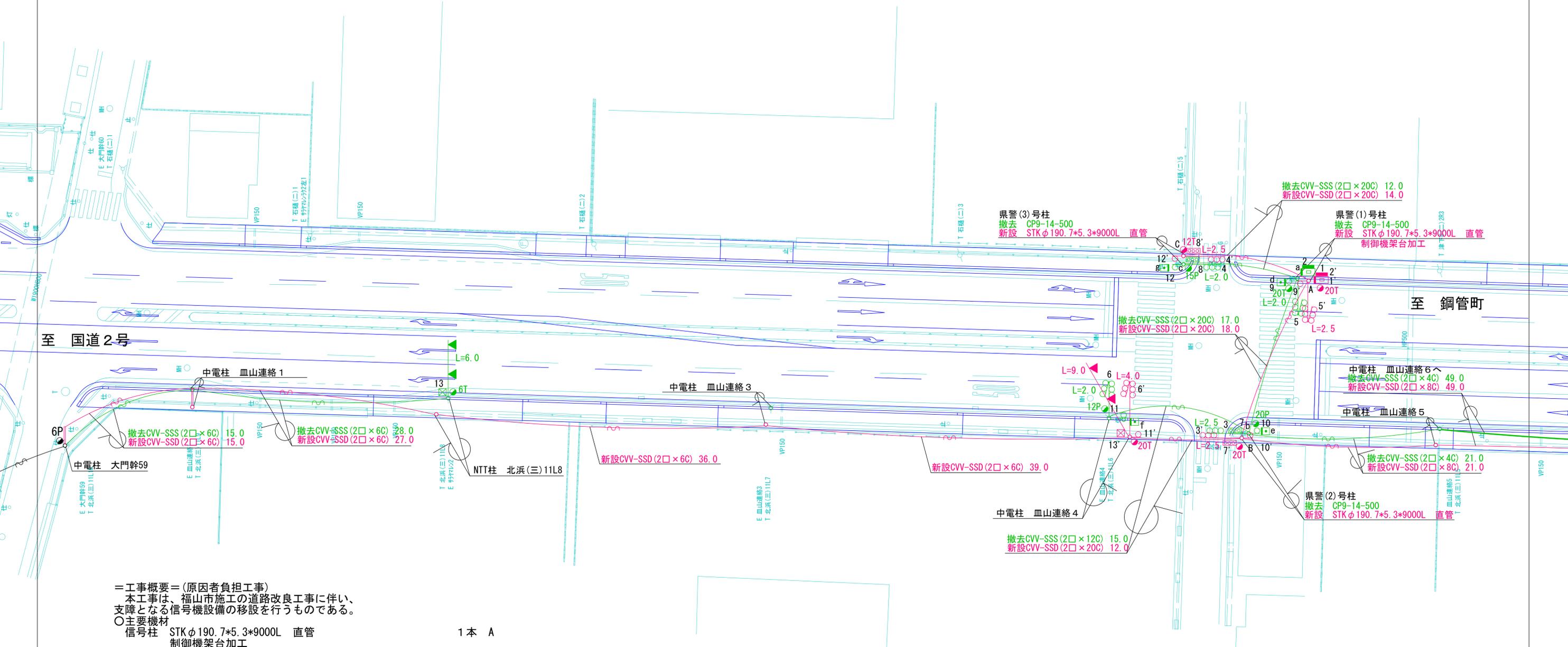
令和6年度

国補

# 信号等移設平面図

(大門町二丁目(北)交差点)

S=1:400



本工程は、福山市施工の道路改良工事に伴い、支障となる信号機設備の移設を行うものである。

○主要機材

信号柱	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	1本 A
	制御機架台加工	
信号柱	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	2本 B,C

○移設機材

プログラム多段式交通信号制御機	京三製作所製 2004.01製造	1基 1→1'
D型配電盤		1面 2→2'
車両用灯器	横三位 L=2.5×1, L=2.0→L=2.5×1	2灯 3→3', 4→4'
車両用灯器	横三位 両面式 L=2.0→L=2.5, L=2.0→L=4.0	2式 5→5', 6→6'
車両用灯器	縦三位 L=0.5×2	2灯 7→7', 8→8'
歩行者用灯器	側柱式 L=0.5×3, 自立式→側柱式L=0.5	4灯 9→9', 10→10' 11→11' 12→12'
超音波式車両感知器	2車線用 L=6.0→L=9.0	1基 13→13'

○撤去機材

信号柱	CP9-14-500	3本 a, b, c
歩行者用押ボタン箱		4ヶ d, e, f, g

凡例	制御機(側柱式)	車両感知器	押ボタン箱側柱式	車両用信号灯器	端子函	架空制御ケーブル	露出配管	視覚障害者用付加装置制御機	灯火式可変標識
	制御機(自立式)	送受器	押ボタン箱自立式	歩行者用信号灯器	信号柱(新設)	架空通信ケーブル	ハンドホール	視覚障害者用付加装置シールド	反射式可変標識
	端末信号送信装置	光学式感知器	配電盤	縦型信号灯器	信号柱(既設)	埋設配管	ブルボックス	可変標識制御機	

図面番号	19/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設平面図	番号	2/5
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
福山市			

令和6年度  
**国補**

## 信号等移設平面図 (大門町二丁目中交差点)

S=1:400



**=工事概要=(原因者負担工事)**

本工事は、福山市施工の道路改良工事に伴い、支障となる信号機設備の移設を行うものである。

**○主要機材**

信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 A  
制御機架台加工

信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 B

信号柱 STKφ165.2\*5.0\*9000L 直管 1本 C

**○移設機材**

プログラム多段式交通信号制御機 住友電工製 2010.02製造 1基 1→1'

D型配電盤 1面 2→2'

車両用灯器 横三位 L=2.5×1 1灯 3→3'

車両用灯器 横三位 両面式 L=2.0→L=4.0×2 2式 4→4', 5→5'

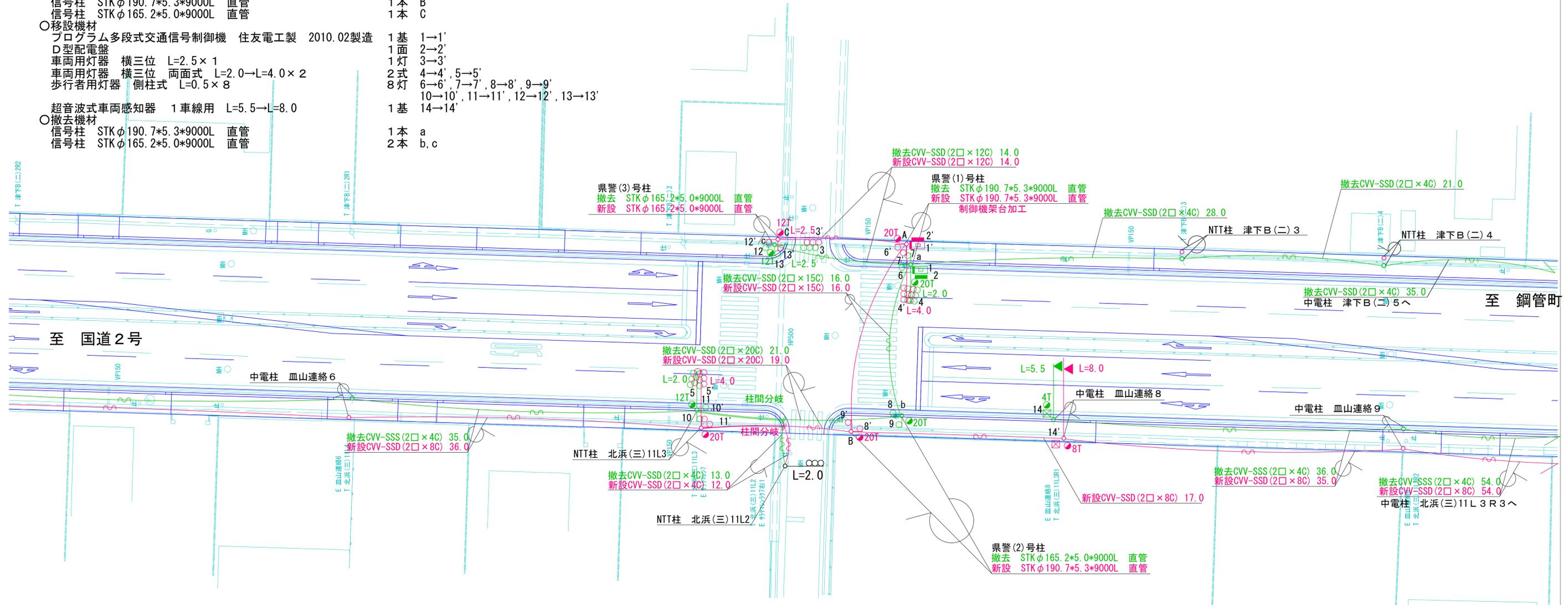
歩行者用灯器 側柱式 L=0.5×8 8灯 6→6', 7→7', 8→8', 9→9', 10→10', 11→11', 12→12', 13→13'

超音波式車両感知器 1車線用 L=5.5→L=8.0 1基 14→14'

**○撤去機材**

信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 a

信号柱 STKφ165.2\*5.0\*9000L 直管 2本 b, c



凡例	制御機(側柱式)	車両感知器	押ボタン箱側柱式	車両用信号灯器	端子函	架空制御ケーブル	露出配管	視覚障害者用付加装置制御機	灯火式可変標識
	制御機(自立式)	送受器	押ボタン箱自立式	歩行者用信号灯器	信号柱(新設)	架空通信ケーブル	ハンドホール	視覚障害者用付加装置レコーダ	反射式可変標識
	端末信号送信装置	光学式感知器	配電盤	縦型信号灯器	信号柱(既設)	埋設配管	プルボックス	可変標識制御機	

図面番号	20/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設平面図	番号	3/5
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
<b>福山市</b>			

令和6年度  
**国補**

# 信号等移設平面図 (大門町二丁目交差点)

S=1:400

=工事概要=(原因者負担工事)

本工事は、福山市施工の道路改良工事に伴い、支障となる信号機設備の移設を行うものである。

○主要機材

信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 A  
制御機架台加工

D型配電盤 1面 B(支給品)

○移設機材

集中交通信号制御機 松下通信製 2002.09製造 1基 1→1'

車両用灯器 横三位 L=2.5→L=4.0 1灯 2灯 2→2', 3→3'

車両用灯器 縦三位 L=0.5 2灯 4→4', 5→5'

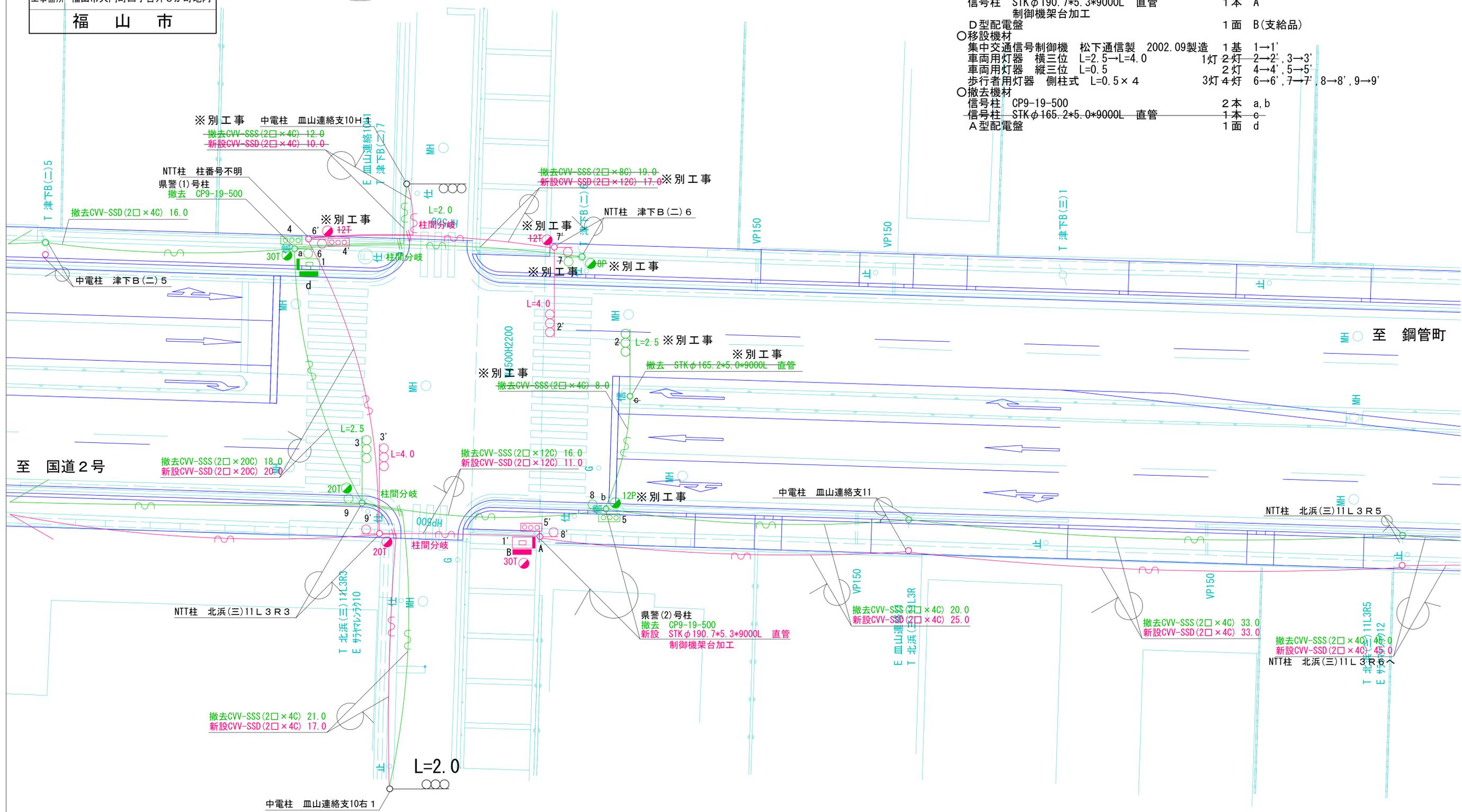
歩行者用灯器 側柱式 L=0.5×4 3灯 4灯 6→6', 7→7', 8→8', 9→9'

○撤去機材

信号柱 CP9-19-500 2本 a, b

信号柱 STKφ165.2\*5.0\*9000L 直管 1本 c

A型配電盤 1面 d



凡例	制御機(側柱式)	車両感知器	押ボタン箱側柱式	車両用信号灯器	端子函	架空制御ケーブル	露出配管	視覚障害者用付加装置制御機	灯火式可変標識
	制御機(自立式)	送受器	押ボタン箱自立式	歩行者用信号灯器	信号柱(新設)	架空通信ケーブル	ハンドホール	視覚障害者用付加装置シールド	反射式可変標識
	端末信号送信装置	光学式感知器	配電盤	縦型信号灯器	信号柱(既設)	埋設配管	プルボックス	可変標識制御機	

図面番号	21/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設平面図	番号	4/5
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
福山市			

# 信号等移設平面図 (大門町三丁目交差点)

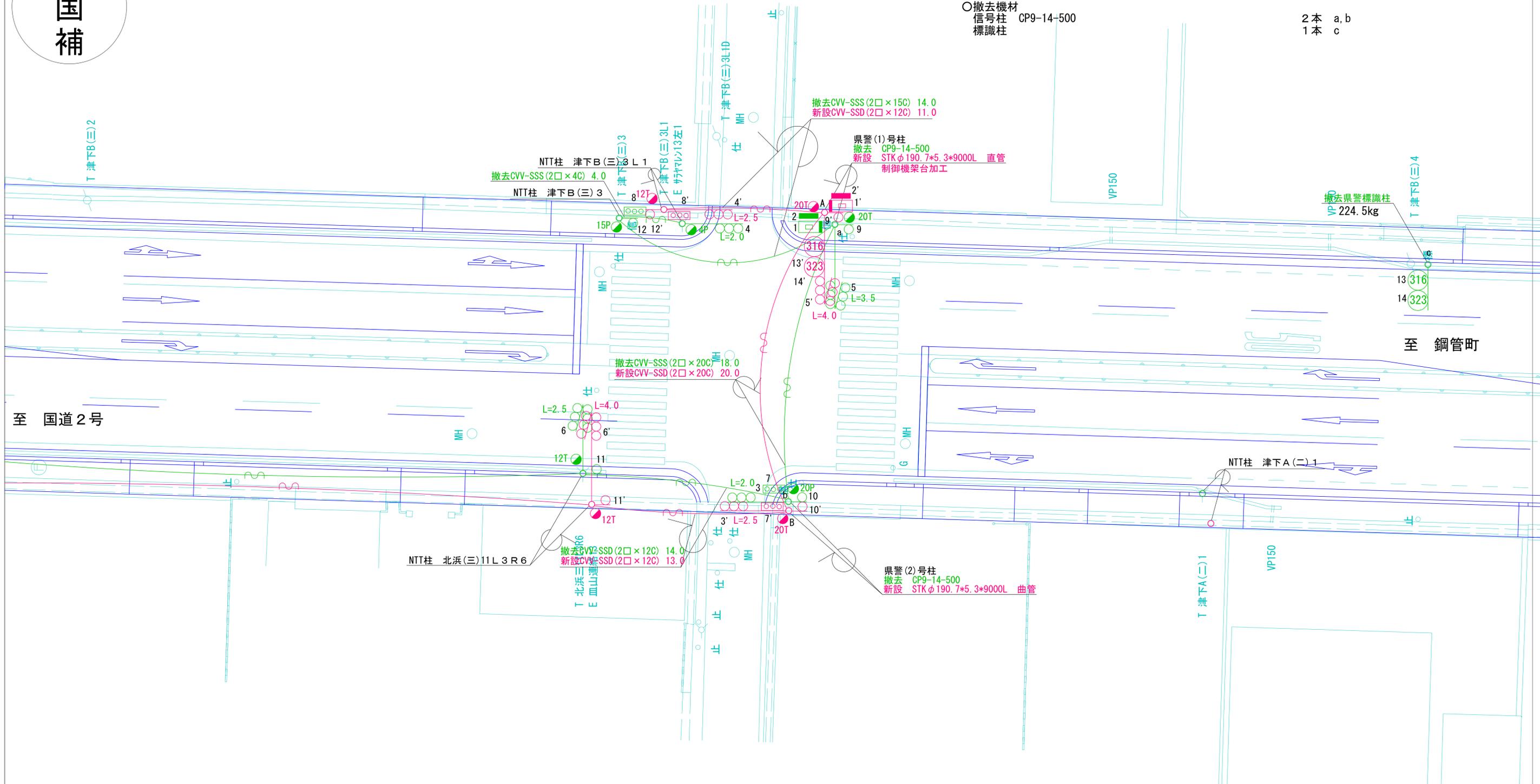
S = 1 : 400



令和6年度  
国補

=工事概要=(原因者負担工事)  
本工事は、福山市施工の道路改良工事に伴い、  
支障となる信号機設備の移設を行うものである。

- 主要機材
  - 信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 A
  - 制御機架台加工
  - 信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 曲管 1本 B
- 移設機材
  - プログラム多段式交通信号制御機 日本信号製 2011.07製造 1基 1→1'
  - D型配電盤 1面 2→2'
  - 車両用灯器 横三位 L=2.0→L=2.5×2 2灯 3→3', 4→4'
  - 車両用灯器 横三位 両面式 L=3.5→L=4.0, L=2.5→L=4.0 2式 5→5', 6→6'
  - 車両用灯器 縦三位 L=0.5 2灯 7→7', 8→8'
  - 歩行者用灯器 側柱式 L=0.5×4 4灯 9→9', 10→10', 11→11' 12→12'
  - 路上標識 駐車禁止(316), 最高速度(323) 2枚 13→13', 14→14'
- 撤去機材
  - 信号柱 CP9-14-500 2本 a, b
  - 標識柱 1本 c



凡例	◻ 制御機(側柱式)	⊗ 車両感知器	◻ 押ボタン箱側柱式	○ 車両用信号灯器	● n P 端子函	— 架空制御ケーブル	— 露出配管	▲ 視覚障害者用付加装置制御機	◻ 灯火式可変標識
	◻ 制御機(自立式)	▲ 送受器	◻ 押ボタン箱自立式	○ 歩行者用信号灯器	● 信号柱(新設)	— 架空通信ケーブル	◻ ハンドホール	▲ 視覚障害者用付加装置シールド	◻ 反射式可変標識
	▲ 端末信号送信装置	◻ 光学式感知器	— 配電盤	◻ 縦型信号灯器	○ 信号柱(既設)	— 埋設配管	◻ ブルボックス	⊗ 可変標識制御機	

図面番号	22/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設平面図	番号	5/5
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
<b>福山市</b>			

令和6年度

国補



# 信号等移設平面図（大門町三丁目（西）交差点）

S=1:400

**=工事概要=(原因者負担工事)**

本工事は、福山市施工の道路改良工事に伴い、支障となる信号機設備の移設を行うものである。

**○主要機材**

信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 A  
制御機架台加工

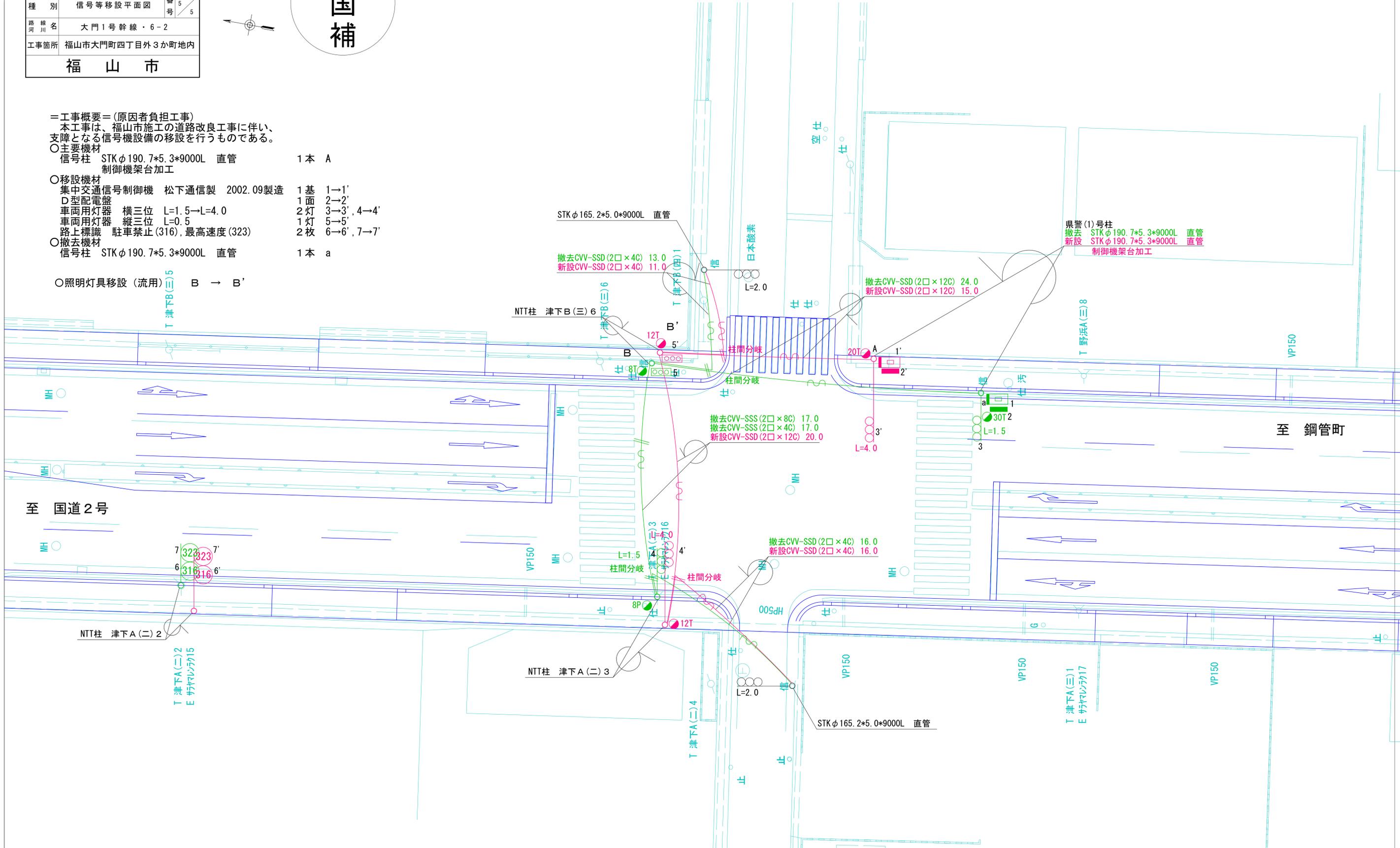
**○移設機材**

集中交通信号制御機 松下通信製 2002.09製造 1基 1→1'  
D型配電盤 1面 2→2'  
車両用灯器 横三位 L=1.5→L=4.0 2灯 3→3', 4→4'  
車両用灯器 縦三位 L=0.5 1灯 5→5'  
路上標識 駐車禁止(316), 最高速度(323) 2枚 6→6', 7→7'

**○撤去機材**

信号柱 STKφ190.7\*5.3\*9000L 直管 1本 a

○照明灯具移設(流用) B → B'



凡例	制御機(側柱式)	車両感知器	押ボタン箱側柱式	車両用信号灯器	端子函	架空制御ケーブル	露出配管	視覚障害者用付加装置制御機	灯火式可変標識
	制御機(自立式)	送受器	押ボタン箱自立式	歩行者用信号灯器	信号柱(新設)	架空通信ケーブル	ハンドホール	視覚障害者用付加装置シールド	反射式可変標識
	端末信号送信装置	光学式感知器	配電盤	縦型信号灯器	信号柱(既設)	埋設配管	プルボックス	可変標識制御機	

図面番号	23/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設構造図	番号	1/4
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
<b>福山市</b>			

車両用信号灯器  
歩行者用信号灯器設置図

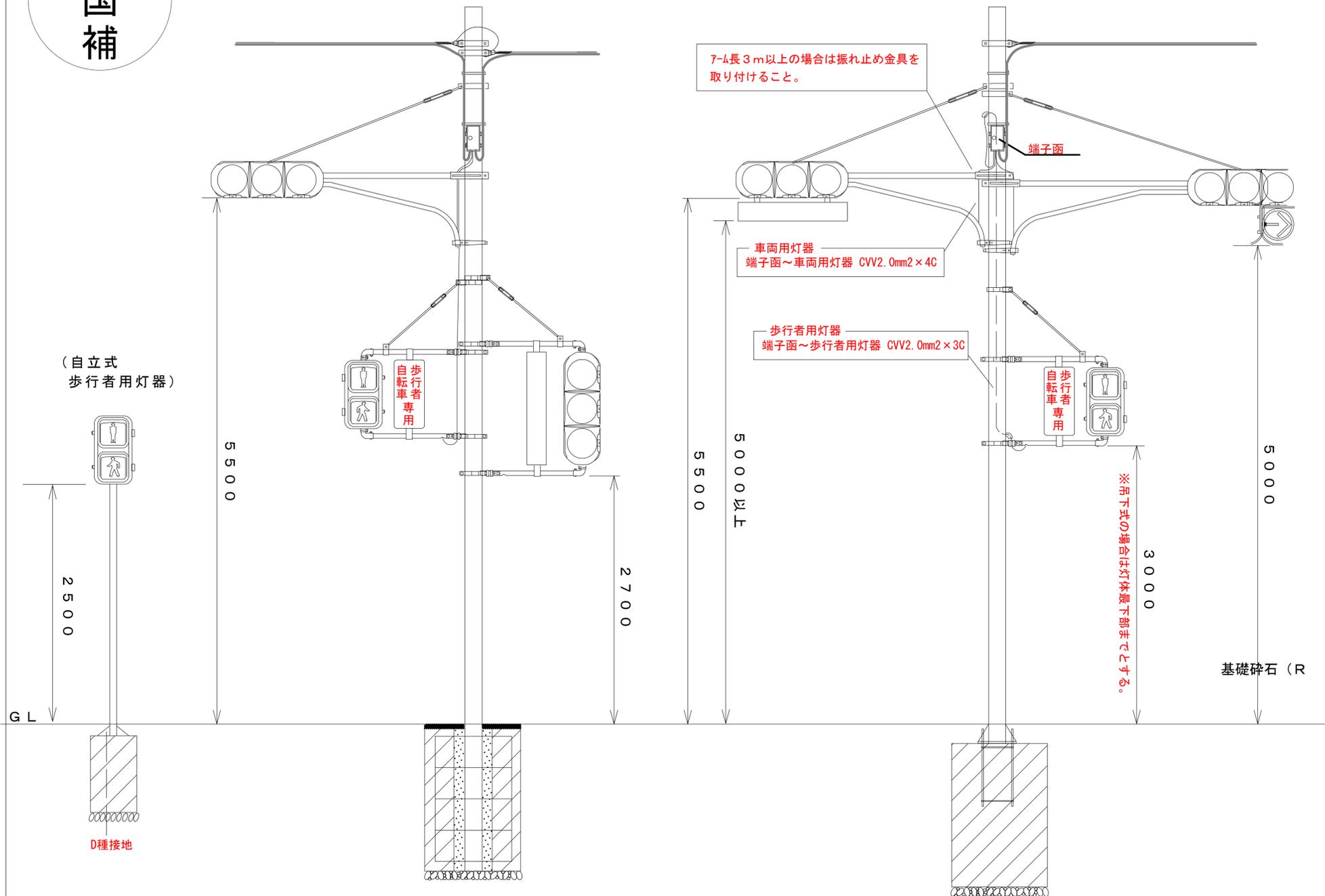
専用柱基礎仕様図

直管用基礎

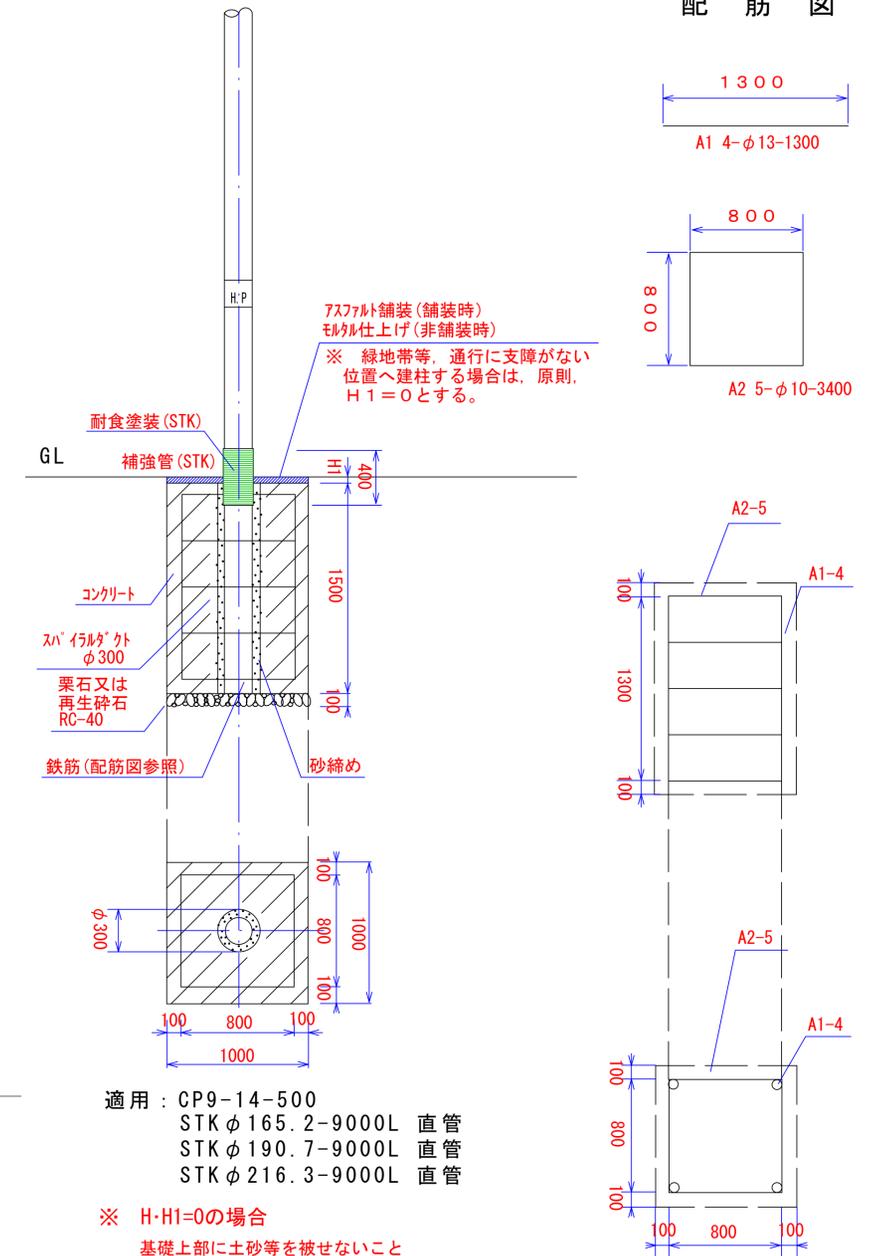
令和6年度  
**国補**

(外配線方式)

(柱内配線方式)



配筋図



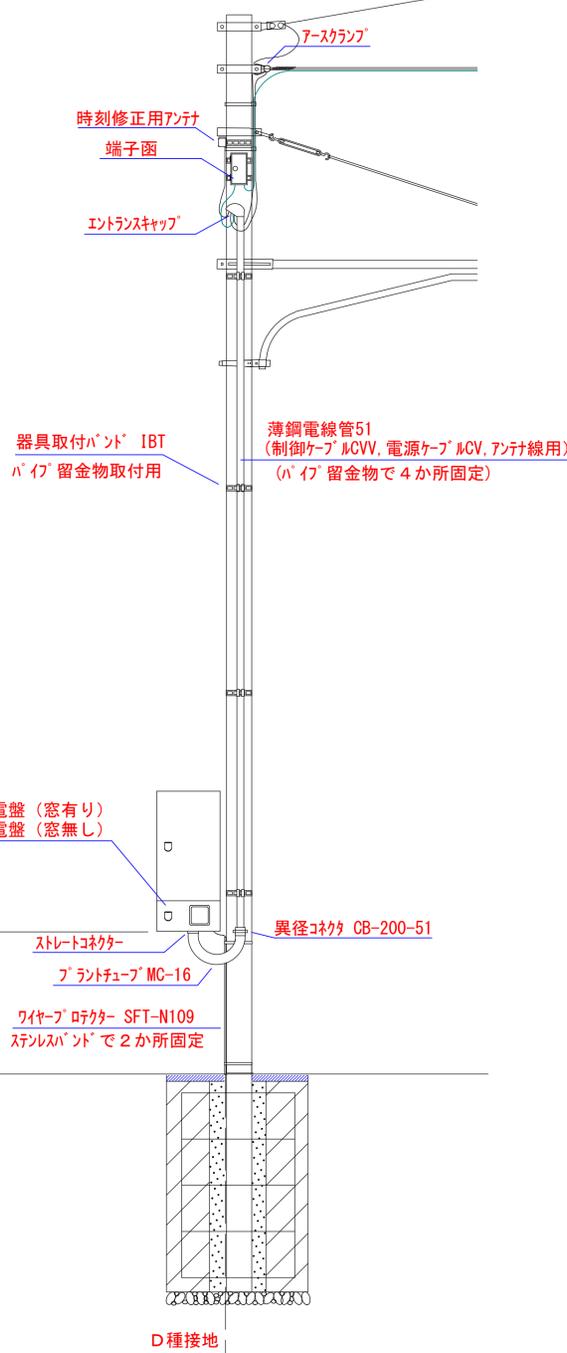
コンクリート基礎	一式
コンクリート (σck 24-12-20)	: 1.43m <sup>3</sup>
型枠	: 4.0m <sup>2</sup>
鉄筋 SS400 φ13mm	: 5.41kg (0.005 t)
鉄筋 SS400 φ10mm	: 10.54kg (0.011 t)
基礎碎石 (RC-40)	: 1.0m <sup>2</sup>
スパイラルダクト (φ300 t0.6)	: 1.5m
※基礎施工時にD接地設置の施工も実施	

図面番号	24/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設構造図	番号	2/4
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
福山市			

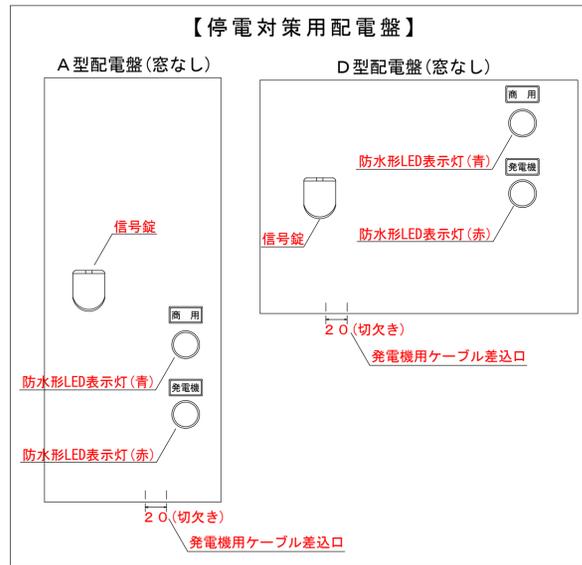
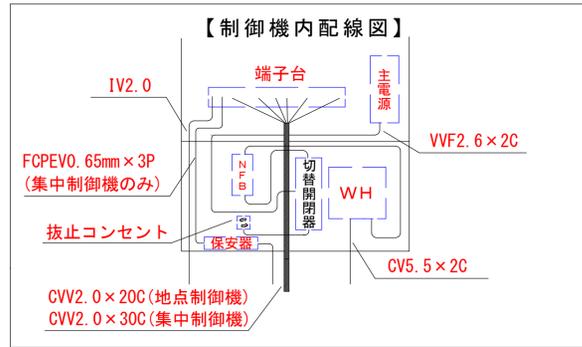
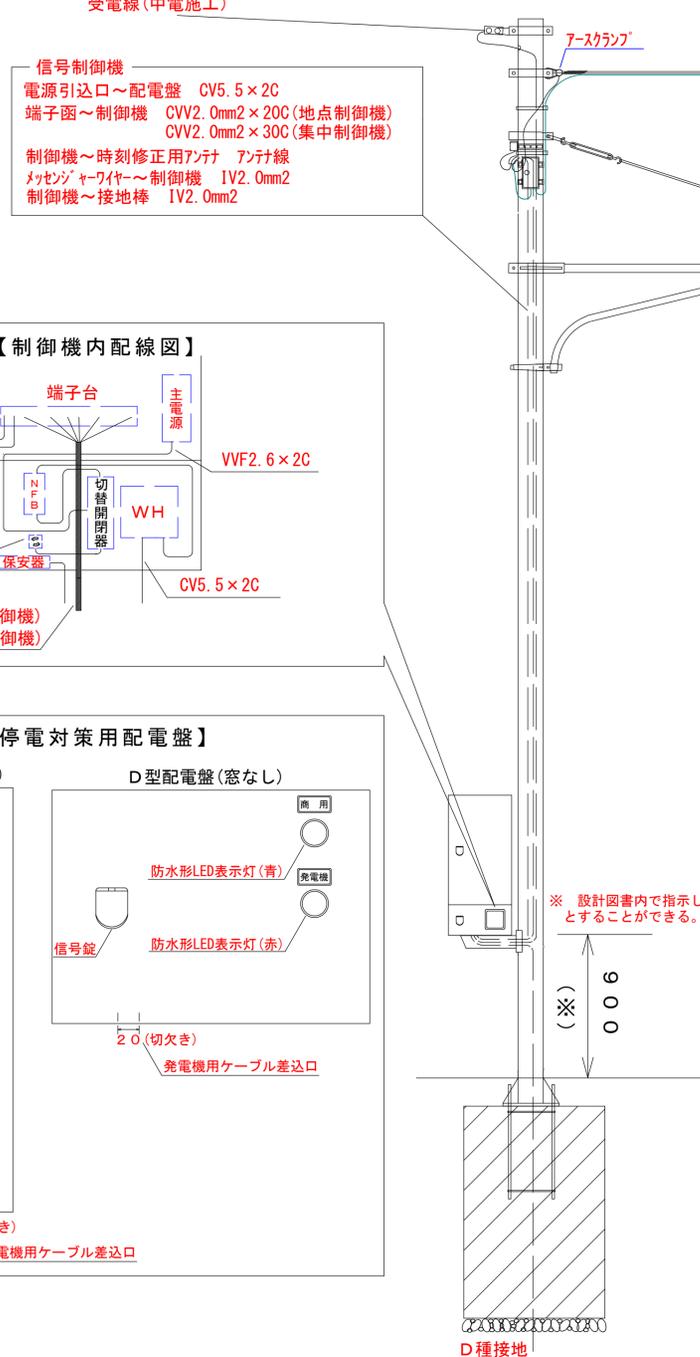
令和6年度  
**国補**

### 信号制御機設置図 (配電盤設置の場合)

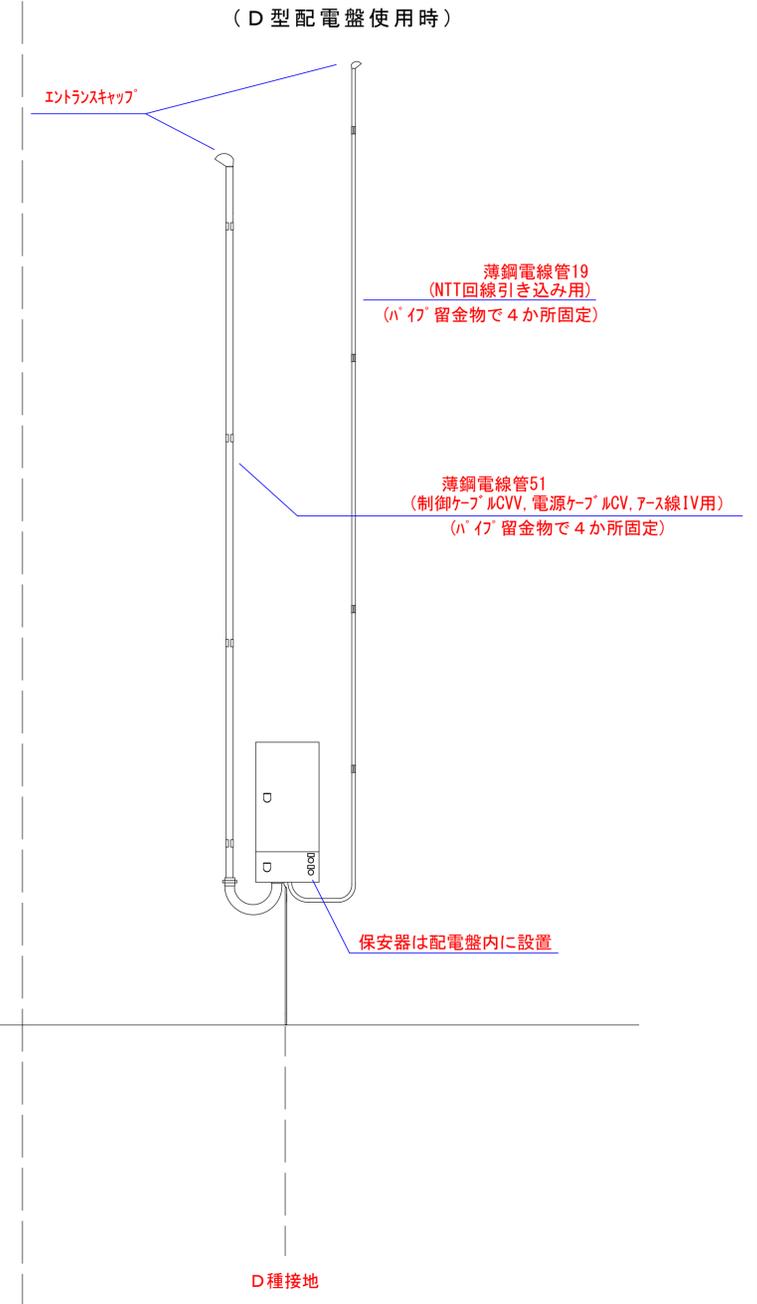
(外配線方式) 受電線(中電施工)



(柱内配線方式) 受電線(中電施工)

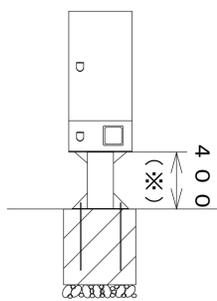


(集中制御機配管図)



(自立式)

従量制受電: 配電盤(窓有り)  
定額受電: 配電盤(窓無し)



※ 設計図書内で指示した場合は1500mm以上とすることができる。

図面番号	25/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設構造図	番号	3/4
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
福山市			

車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置  
設置図

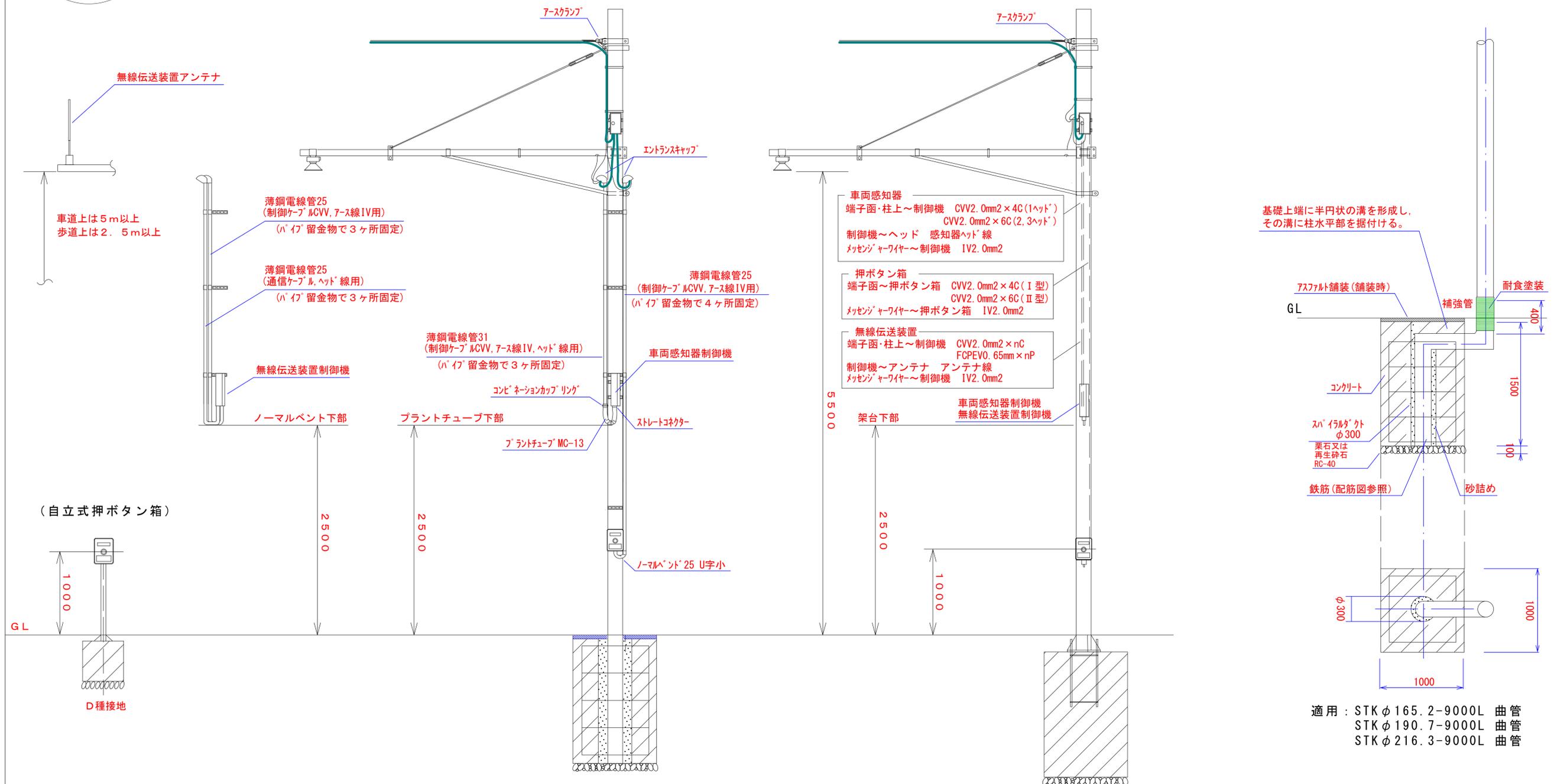
専用柱基礎仕様図

令和6年度  
国補

(外配線方式)

(柱内配線方式)

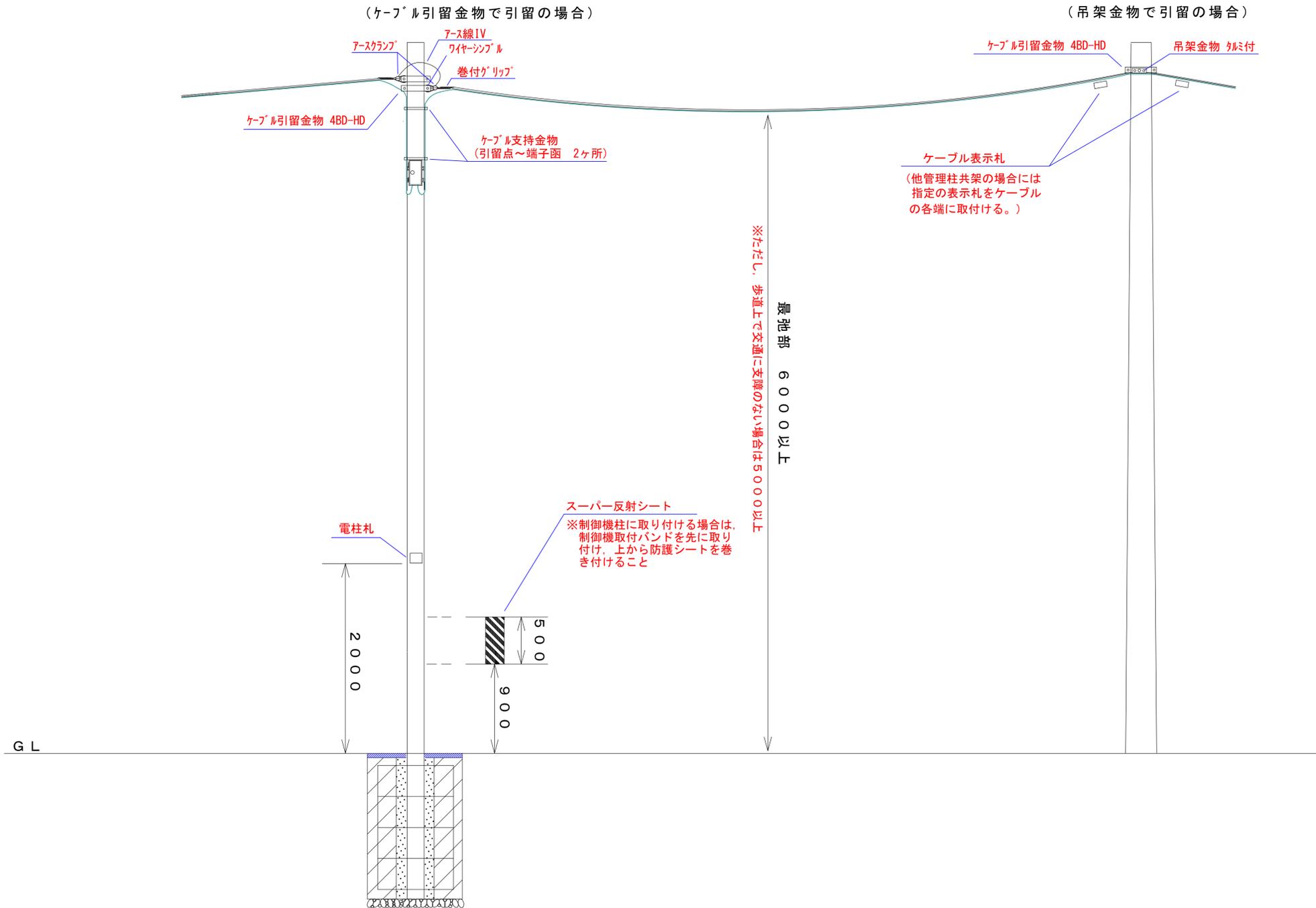
曲管用基礎



図面番号	26/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	信号等移設構造図	番号	4/4
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
福山市			

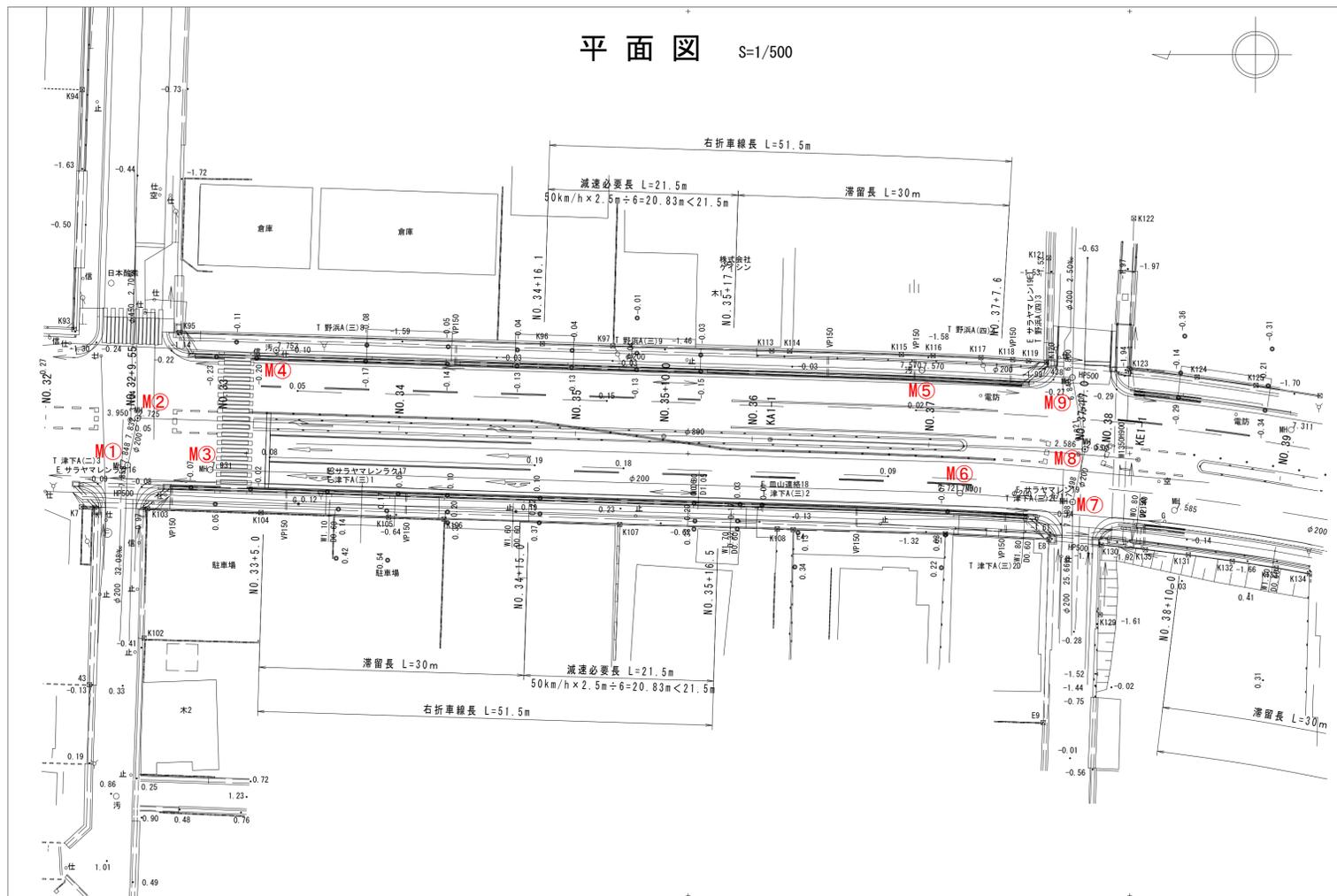
## 架空ケーブル・専用柱 設置図

令和6年度  
**国補**

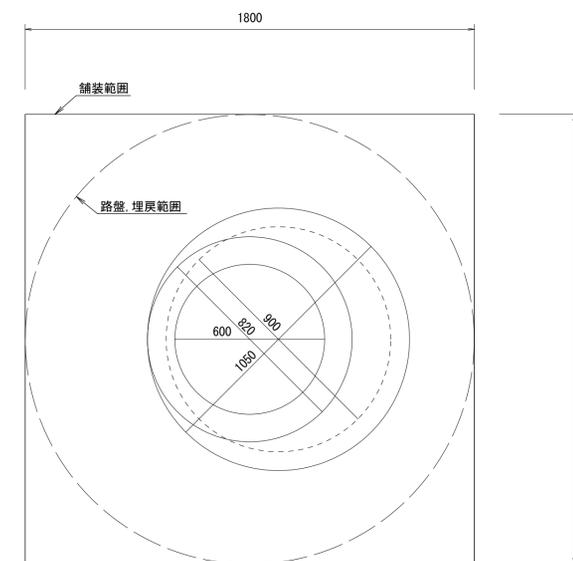
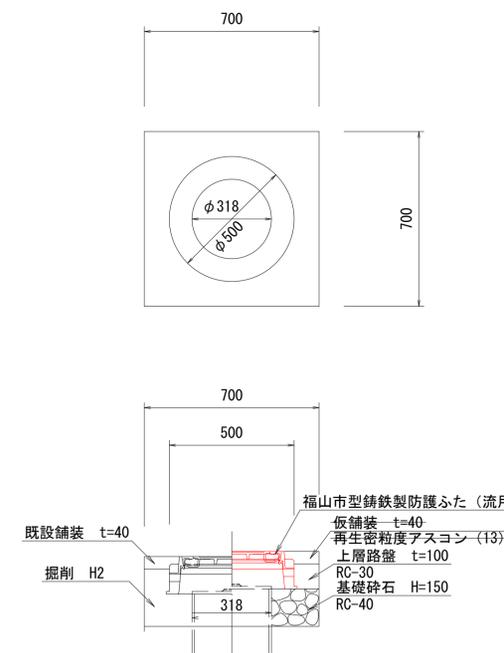


図面番号	27/27	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	マンホール図面	番号	
路線名	大門1号幹線・6-2		
工事箇所	福山市大門町四丁目外3か町地内		
<b>福山市</b>			

※この図面は縮小しています。  
(原図サイズ: A2)



マンホール蓋取替等構造図  
S=1:20



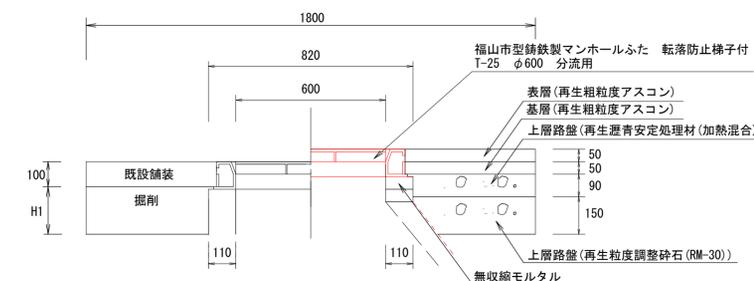
数量表 (3工区)

単位: mm

MH番号	M1	M2	M3	M6	M7	M8	M9	M4 (塩ビ) M5 (塩ビ)	平均	合計
MH蓋	T-25	T-14 (流用) T-14 (流用)								
無収縮モルタル	30	60	60	75	45	35	65	-	53	-
無収縮モルタル(防護蓋)	-	-	-	-	-	-	-	30	30	-
調整リング (H=50)	-	-	-	50	-	-	-	-	-	1 (個)
調整リング (H=100)	100	200	200	-	100	-	100	-	-	7 (個)
調整リング (H=150)	150	-	-	-	-	150	-	-	-	2 (個)
既設舗装	100	100	100	100	100	100	100	40	40	87
掘削 (H1)	140	120	120	220	160	200	180	-	-	163
掘削 (H2)	-	-	-	-	-	-	-	170	350	260
仮舗装 (再生粗粒度As)	50	50	50	50	50	50	50	-	-	50
基層 (再生粗粒度As)	50	50	50	50	50	50	50	-	-	50
上層路盤 (瀝青安定処理材)	90	90	90	90	90	90	90	-	-	90
上層路盤 (RM-30)	200	180	180	-	-	-	-	-	-	-
上層路盤 (RC-30)	-	-	-	-	-	-	-	100	100	100
基礎碎石 (RC-40)	-	-	-	-	-	-	-	150	150	150
埋戻し (RM-30)	-	-	-	45	65	105	85	-	-	75
埋戻し (RC-40)	-	-	-	-	-	-	-	40	-	40

既設構造物取壊し数量表

MH番号	M1	M2	M3	M6	M7	M8	M9	M4 (塩ビ) M5 (塩ビ)	平均	合計
無収縮モルタル	30	60	60	60	50	40	70	-	53	-
無収縮モルタル(防護蓋)	-	-	-	-	-	-	-	100	50	75
調整リング (H=50)	-	50	50	-	-	-	-	-	-	2 (個)
調整リング (H=100)	100	-	-	-	100	-	100	-	-	3 (個)
調整リング (H=150)	-	-	-	150	-	150	-	-	-	2 (個)



※舗装の計画高に合わせて高さ調整を行うこと

こ れ 以 降  
参 考 図 書

# 施工単価表

掘削

SPK23040001

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 28.44% 労務構成比:

59.55%

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,147.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

路体(築堤)盛土  
 施工幅員2.5m未満

SPK23040004

単第0 -0002 表

1

m3 当り

機械構成比: 0.75% 労務構成比: 98.99% 材料構成比: 0.26% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 5,926.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.75%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0003 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0004 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)

現場 仮置き場

1

m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比:

61.92% 材料構成比: 12.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

852.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=5 距離1.0km以下(0.2km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0006 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離31.5km以下(19.5km超)

現場 残土処分場

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,491.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=48 距離31.5km以下(19.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

路床盛土  
 施工幅員2.5m未満  
 機械構成比:

SPK23040005

単第0 -0007 表

1  
 標準単価:

m3 当り  
 6,020.30000

0.86% 労務構成比: 98.84% 材料構成比: 0.30% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	0.86%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	88.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.30%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m未満					

# 施工単価表

下層路盤  
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK23040233

単第0 -0008 表

機械構成比: 5.91% 労務構成比:

RC-40

71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.06%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.68%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	25.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	20.42%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

下層路盤

SPK23040233

単第0 -0008 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.91% 労務構成比: 71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0010

上層路盤  
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK23040235

単第0 -0009 表

機械構成比: 5.44% 労務構成比:

RM-30

65.81%

材料構成比: 28.75%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
809.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.82%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.47%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	26.66%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤  
全仕上り厚150mm 1層施工

SPK23040235

単第0 -0009 表

機械構成比: 5.44% 労務構成比: 65.81% 材料構成比: 28.75% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 809.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0010 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下

1

m2 当り

機械構成比: 0.39%

労務構成比:

40.41%

材料構成比:

59.20%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,339.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.22%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.12%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.45%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト安定処理路盤材	55.47%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm		TTPCD0025 TTPT00356
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	3.52%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0010 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下

1

m2 当り

機械構成比: 0.39%

労務構成比:

40.41%

材料構成比:

59.20%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,339.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.16%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 再生瀝青安定処理材 D=90 1層当り平均仕上り厚(mm) H=1 -(全ての費用)			C=2 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下 F=2 PK-3		
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):90.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0014

基層(車道・路肩部)

SPK23040239

単第0 -0011 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.55% 労務構成比:

50.64%

材料構成比: 48.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,258.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.17%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	46.75%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.77%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

# 施工単価表

基層(車道・路肩部)

SPK23040239

単第0 -0011 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.55% 労務構成比:

50.64%

材料構成比: 48.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,258.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.21%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0016

仮舗装 表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下)

1層当り平均仕上厚70mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.41%

労務構成比: 42.74%

材料構成比: 56.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,909.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.25%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.14%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	23.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	56.62%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚67.5mm		TTPC00023 TTPT00290
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.18%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

仮舗装 表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下)

1層当り平均仕上厚70mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.41%

労務構成比: 42.74%

材料構成比: 56.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,909.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 C=8 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm超70mm以下) 再生粗粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)		B=70 E=5 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 瀝青材料無し -	
【アスファルト混合物単価】					
1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値)					
1層当り平均仕上り厚(mm):70.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0018

路盤

SPK23040233

単第0 -0013 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.91% 労務構成比:

71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.06%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.68%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	25.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	20.42%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

路盤

SPK23040233

単第0 -0013 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.91%

労務構成比:

71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

表層(歩道部 一般部)

SPK23040244

単第0 -0014 表

平均幅員1.4m以上

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95%

労務構成比:

24.17%

材料構成比:

72.88%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,306.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	2.21%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4~3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.43%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	9.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	4.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	63.39%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293

# 施工単価表

表層(歩道部 一般部)

SPK23040244

単第0 -0014 表

平均幅員1.4m以上

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95% 労務構成比: 24.17%

材料構成比: 72.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,306.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	9.01%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

# 施工単価表

路盤

SPK23040233

単第0 -0015 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.91% 労務構成比:

71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.06%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.68%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	25.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	20.42%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

路盤

SPK23040233

単第0 -0015 表

全仕上り厚150mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.91% 労務構成比: 71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)					

# 施工単価表

表層(歩道部 乗入部)

SPK23040244

単第0 -0016 表

平均幅員1.4m以上

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95%

労務構成比:

24.17%

材料構成比:

72.88%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,306.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4~3.0m	2.21%		アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4~3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.43%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	9.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	4.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	63.39%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293

# 施工単価表

表層(歩道部 乗入部)

SPK23040244

単第0 -0016 表

平均幅員1.4m以上

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 2.95%

労務構成比:

24.17%

材料構成比:

72.88%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,306.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	9.01%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0026

路面切削  
全面切削6cmを超え12cm以下

SPK23040303

単第0 -0017 表

段差すりつけの撤去作業有り

1

m2 当り

機械構成比: 51.54% 労務構成比:

36.99% 材料構成比: 11.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

615.37000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm	26.42%		路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm		MTPC00136 MTPT00136
路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3	5.41%		路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3		MTPC00072 MTPT00072
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.08%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0028

路面切削  
全面切削6cm以下(4000m2以下)

SPK23040303

単第0 -0018 表

段差すりつけの撤去作業無し

1

m2 当り

機械構成比: 53.45% 労務構成比:

34.48% 材料構成比: 12.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

523.62000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm	33.02%		路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm		MTPC00136 MTPT00136
路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3	6.58%		路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3		MTPC00072 MTPT00072
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.94%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

殻運搬(路面切削)

SPK23040304

単第0 -0019 表

DID区間有り

運搬距離2.5km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.46%

労務構成比:

43.37%

材料構成比:

14.17%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

681.34000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.46%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.37%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1	DID区間有り -(全ての費用)		B=6 運搬距離2.5km以下(2.0km超)		

# 施工単価表

頁0 -0031

基層(車道・路肩部)

SPK23040239

単第0 -0020 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.82%

労務構成比:

11.83%

材料構成比:

86.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,372.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.16%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.18%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.18%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.23%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.37%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

基層(車道・路肩部)

SPK23040239

単第0 -0020 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.82%

労務構成比:

11.83%

材料構成比:

86.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,372.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
長寿命化舗装用ポリマー混合物(13) シナヤカファルト混合物相当品	76.99%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000503 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	8.58%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=25 As混合物(各種)(2.30以上2.40t/m3未満) E=2 PK-3 H=1 -			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) D=503 【F】As混合物(t) G=1 - I=1 -(全ての費用)		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

中間層(車道・路肩部)

SPK23040239

単第0 -0021 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.93% 労務構成比: 12.53%

材料構成比: 85.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,295.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.23%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.19%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.49%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

中間層(車道・路肩部)

SPK23040239

単第0 -0021 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.93% 労務構成比: 12.53%

材料構成比: 85.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,295.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
長寿命化舗装用ポリマー混合物(13) シナヤカファルト混合物相当品	81.62%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000503 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	3.10%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=25 As混合物(各種)(2.30以上2.40t/m3未満) E=1 PK-4 H=1 -			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) D=503 【F】As混合物(t) G=1 - I=1 -(全ての費用)		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0035

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0022 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.71%

労務構成比:

11.14%

材料構成比: 87.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,458.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.09%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.78%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0022 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.71%

労務構成比: 11.14%

材料構成比: 87.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,458.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
長寿命化舗装用ポリマー混合物(13) シナヤカファルト混合物相当品	83.67%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		F000000503 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.75%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=25 材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) E=1 PK-4 H=1 -			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) D=503 【F】As混合物(t) G=1 - I=1 -(全ての費用)		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0023 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 20.81%

労務構成比: 71.39%

材料構成比: 7.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0024 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 6.01% 労務構成比: 90.52%

材料構成比: 3.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,845.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	5.33%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.68%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	54.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	27.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.97%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

管（函）渠型側溝

SPK23040094

単第0 -0025 表

据付 200mm以上300mm以下

円形側溝(各種) 基礎碎石有り

1

m 当り

機械構成比: 1.87%

労務構成比:

20.52%

材料構成比:

77.61%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

17,762.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.39%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.47%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	4.27%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
管渠型側溝 スラット側溝Nタイプ相当品 標準 B300-H300-L-2000	76.61%		円形側溝 縦断用 内径250mm T-25		F0000000504 TTPT00375
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.74%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

プレキャスト集水桝（管渠型側溝管理桝）

SPK23040095

単第0 -0026 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 13.69% 労務構成比: 83.34%

材料構成比: 2.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,511.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	11.04%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	36.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	16.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009













# 施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK23040095

単第0 -0032 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 13.69%

労務構成比:

83.34%

材料構成比:

2.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,511.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	11.04%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	36.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	16.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

頁0 -0051

インバートコンクリート

SPK23040154

単第0 -0033 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32%

労務構成比:

37.95%

材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0053

基礎コンクリート

SPK23040154

単第0 -0034 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32%

労務構成比:

37.95%

材料構成比:

57.73%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0035 表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,504.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	59.07%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		



# 施工単価表

インバートコンクリート

SPK23040154

単第0 -0037 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

基礎コンクリート

SPK23040154

単第0 -0038 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		



# 施工単価表

頁0 -0060

プレキャスト集水桝

SPK23040095

単第0 -0040 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)800kgを超え1200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 9.04%

労務構成比:

89.00%

材料構成比:

1.96%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

10,438.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.29%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK23040095

単第0 -0042 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)1200kgを超え1600kg以下

1

基 当り

機械構成比: 10.06%

労務構成比:

86.99%

材料構成比:

2.95%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

11,787.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.86%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.45m3吊2.9t		KTPC00005 KTPT00005
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.48%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.36%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.31%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0044 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径65mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径65(76×2.2)	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0400 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=48 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径65mm I=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

頁0 -0067

フィルター材  
フィルター材(各種)

SPK23040093

単第0 -0045 表

1  
標準単価: m3 当り  
5,372.50000

機械構成比: 7.68% 労務構成比: 61.92% 材料構成比: 30.40% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	7.53%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	12.05%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砂	26.80%		再生クラッシャーラン RC-40		F0000000511 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.53%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0047 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径75mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径75(89×2.7)	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0401 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=49 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径75mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0049 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径100(114×3.1)	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0402 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=50 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径100mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0051 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径125mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径125(140×4.1)	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0403 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=51 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径125mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0053 表

据付 直管 200 ~ 400mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

13.99%

材料構成比: 86.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,004.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	10.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径300(318×9.2)	86.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0407 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=58 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0055 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JIS K6741)PE 呼び径50(60×4.1) 参考質量1.122kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0391 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=41 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0057 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径65mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JIS K6741)PE 呼び径65(76 × 4.1) 参考質量1.445kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0392 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=42 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径65mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0059 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径75mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JIS K6741)PE 呼び径75(89×5.5) 参考質量2.202kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0393 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=43 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径75mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

据付 直管 50 ~ 150mm

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 46.04%

SPK23040092

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm

材料構成比: 53.96%

単第0 -0061 表

1

m 当り

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径100(114×6.6) 参考質量3.409kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0394 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=44 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第0 -0063 表

据付 直管 50 ~ 150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径125mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

608.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JIS K6741)PE 呼び径125(140×7.0) 参考質量4.464kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0395 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=45 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径125mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

据付 直管 50 ~ 150mm

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

SPK23040092

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm

46.04%

材料構成比: 53.96%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0065 表

1  
標準単価:

m 当り

608.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	32.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.06%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径150(165×8.9) 参考質量6.701kg/m	53.96%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0396 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=46 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm I=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

暗渠排水管

据付 直管 200 ~ 400mm

機械構成比: 0.00%

SPK23040092

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径250mm

労務構成比: 13.99%

材料構成比: 86.01%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0067 表

1  
標準単価:

m 当り

4,004.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	10.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径250(267 × 12.7) 参考質量15.481kg/m	86.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0397 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=54 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径250mm I=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

頁0 -0091

コンクリート削孔(さく岩機)

SPK23040119

単第0 -0068 表

削孔深さ100mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 5.97% 労務構成比: 87.93%

材料構成比: 6.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

799.94000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.50%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	1.56%		さく岩機 ハンドドリル(空圧式) 15kg級		MTPC00112 MTPT00112
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	54.65%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	12.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

頁0 -0093

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK23040120

単第0 -0069 表

削孔径64mm以上77mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.11%

労務構成比:

66.29%

材料構成比:

30.60%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,488.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.59%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.94%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径77.4mm,一般用 コンクリート削孔用	27.34%		ダイヤモンドビット 77.4mm		TTPC00233 TTPT00233
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.65%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014



# 施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK23040120

単第0 -0070 表

削孔径100mm以上110mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.91%

労務構成比:

61.92%

材料構成比:

35.17%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,875.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.49%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.88%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	35.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径110.0mm, 一般用 コンクリート削孔用	32.13%		ダイヤモンドビット 110mm		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.47%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014



# 施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK23040120

単第0 -0071 表

削孔径110mm以上128mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.65%

労務構成比:

56.52%

材料構成比:

40.83%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

6,436.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.36%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.80%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	32.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	8.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径128.5mm,一般用 コンクリート削孔用	38.05%		ダイヤモンドビット 外径128.5mm,一般用 コンクリート削孔用		TTPC00260 TTPT00260
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.26%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014



# 施工単価表

頁0 -0099

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK23040120

単第0 -0072 表

削孔径128mm以上160mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.50%

労務構成比:

53.32%

材料構成比:

44.18%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

6,823.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm	1.28%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	0.75%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	30.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	8.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット 外径160.0mm,一般用 コンクリート削孔用	41.56%		ダイヤモンドビット 外径160.0mm,一般用 コンクリート削孔用		TTPC00261 TTPT00261
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014





# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0074 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

44.86%

材料構成比:

55.14%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,616.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0075 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0076 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.53% 労務構成比: 71.60%

材料構成比: 22.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,217.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.50%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	34.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	17.73%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

歩車道境界ブロック

SPK23040287

単第0 -0077 表

歩道接続部(180/204×120×600)

設置 基礎砕石無し

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

65.64%

材料構成比: 34.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,105.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	29.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.44%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	16.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(歩道接続部) 180/204×120×600 参考質量32kg	34.36%		歩車道境界ブロック A種 150/170×200×600		TTPCH0040 TTPT00218
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 E=2 基礎砕石無し			B=8 歩道接続部(180/204×120×600) F=4 生コンクリート無し		

# 施工単価表

頁0 -0107

歩車道境界ブロック (縁石工A)

SPK23040287

単第0 -0078 表

B種(180/205×250×600) 片斜両面R

設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 2.06% 労務構成比:

61.71%

材料構成比: 36.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,737.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.71%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.35%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	20.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	17.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
型わく工	8.93%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(JISA5371)B 180/205×250×600 片斜両面R,参考質量69kg	26.44%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPCH0036 TTPT00102
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	8.18%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003



# 施工単価表

歩車道境界ブロック (縁石工B)

SPK23040287

単第0 -0079 表

歩道接続部(180/204×120×600)

設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 0.37% 労務構成比:

68.37%

材料構成比: 31.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,525.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.37%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	26.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	12.76%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
型わく工	10.59%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(歩道接続部) 180/204×120×600 参考質量32kg	21.61%		歩車道境界ブロック A種 150/170×200×600		TTPCH0040 TTPT00218
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	8.49%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
再生クラッシャーラン 40~0mm	0.81%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008



# 施工単価表

地先境界ブロック A

SPK23040288

単第0 -0080 表

A種(120×120×600)

設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 0.56%

労務構成比:

78.89%

材料構成比:

20.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,770.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.56%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	35.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	19.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.38%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
地先境界(JISA5371)A 120×120×600 参考質量21kg	18.81%		地先境界ブロック A種(120×120×600)		TTPC00103 TTPT00103
再生クラッシャーラン 40~0mm	1.22%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.52%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

地先境界ブロック B

SPK23040288

単第0 -0081 表

A種(120×120×600)

設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 0.38%

労務構成比:

77.69%

材料構成比:

21.93%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

5,625.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.38%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	29.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	15.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	14.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
型わく工	12.29%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
地先境界(JISA5371)A 120×120×600 参考質量21kg	12.61%		地先境界ブロック A種(120×120×600)		TTPC00103 TTPT00103
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	8.16%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
再生クラッシャーラン 40~0mm	0.81%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0082 表

実線 15cm

1000

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	46.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
実線 20cm

SDT00001

単第0 -0083 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_20cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	798.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	34.650	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	34.650	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	50.400	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=2 実線_20cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
破線\_15cm

SDT00001

単第0 -0084 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	51.450	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=5 破線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
ゼブラ 45cm

SDT00001

単第0 -0085 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	102.900	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=12 ゼブラ_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
矢印・記号・文字\_15cm換算

SDT00001

単第0 -0086 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	115.500	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合 G=1 - I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

車線分離標(固定式)(貼付式)  
 設置 高さ 650mm [規]10本以上30本未満

SS000095

単第0 -0087 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車線分離標設置(ラバーポール)【材工共】 固定式(貼付式) 本体径 80mm高さ650mm	1.000	本			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 設置 C=2 [規]10本以上30本未満 F=1 -			B=2 高さ_650mm E=1 -		

# 施工単価表

視覚障がい者誘導タイル設置工

V000001000

単第0 -0088 表

MMA樹脂製 300\*600 相当品

普通舗装用 車両乗入無 施工量5~10m2以

5

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
MMA点字タイル SM630-JY/JZ	28	枚			
専用接着剤 SM-201(貼付用)	4	セット			
専用プライマー SM-203(下地用)	1.0	セット			
雑材料	1	式			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	3.0	人			
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	5	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			





# 施工単価表

舗装版切断

SPK23040306

単第0 -0091 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.05%

労務構成比:

55.50%

材料構成比: 38.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

580.65000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.09%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	35.21%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.19%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

舗装版破碎

SPK23040305

単第0 -0092 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.20% 労務構成比:

82.23%

材料構成比: 8.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

176.64000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.20%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

再利用撤去

SDT00019

単第0 -0093 表

蓋版 コンクリート・鋼製 40を超え170kg/枚 コンクリート蓋

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
1枚当り		枚			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 昼間施工 C=7 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 F=1 -			B=2 蓋版 D=1 時間的制約なし		









# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 45.57% 労務構成比: 37.51%

SPK23040152

DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)

材料構成比: 16.92%

単第0 -0098 表

1

m3 当り

標準単価:

2,266.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.51%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	16.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=15 運搬距離3.5km以下(1.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0099 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,135.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

# 施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0100 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 14.21% 労務構成比:

82.66%

材料構成比: 3.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,517.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=7 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)			B=2 DID区間有り		















# 施工単価表

信号柱設置 A ( 県警 ( 1 ) 号柱設置 )

V0014

単第0 -0108 表

頁0 -0147

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 制御機架台加	1	基			単第0-0109 表
接地設置工 ( D種接地 ) 基礎同時施工	1	極			単第0-0110 表
交通信号装置据付 ( 制御機 )	1	台			単第0-0111 表
交通信号装置据付 ( D型配電盤 )	1	台			単第0-0112 表
交通信号装置据付 ( 車両灯器 ) 両面用 銘板含む	1	台			単第0-0113 表
交通信号装置据付 ( 歩行者灯器 ) 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整 ( 制御機 )	1	台			単第0-0115 表
交通信号装置調整 ( 車両灯器 ) 両面用	1	台			単第0-0116 表
交通信号装置調整 ( 歩行者灯器 )	1	台			単第0-0117 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			



















# 施工単価表

コンクリート基礎

V00002

単第0 -0118 表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.43	m3			単第0-0119 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4.0	m2			単第0-0120 表
鉄筋工 鉄筋材料規格・径(各種) 一般構造物 [規]10t未満	0.005	t			単第0-0121 表
鉄筋工 鉄筋材料規格・径(各種) 一般構造物 [規]10t未満	0.011	t			単第0-0122 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1.0	m2			単第0-0123 表
スパイラルダクト(亜鉛めっき) 300 厚み0.6	1.5	m			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0119 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0120 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		





# 施工単価表

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0123 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.88% 労務構成比: 76.10%

材料構成比: 18.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,145.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.84%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	12.56%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013







# 施工単価表

信号柱設置 B ( 県警 ( 2 ) 号柱設置 )

V0016

単第0 -0126 表

頁0 -0166

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付 ( 車両灯器 ) 片面用 銘板含む	2	台			単第0-0127 表
交通信号装置据付 ( 歩行者灯器 ) 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整 ( 車両灯器 ) 片面用	2	台			単第0-0128 表
交通信号装置調整 ( 歩行者灯器 )	1	台			単第0-0117 表
全体割増 ( 同一場所・同一施工 補正 )		式			
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 B	1	基			単第0-0129 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			









# 施工単価表

信号柱設置C (県警(3)号柱設置)

V0018

単第0 -0131 表

頁0 -0171

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付(車両灯器) 片面用 銘板含む	2	台			単第0-0127 表
交通信号装置据付(歩行者灯器) 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整(車両灯器) 片面用	2	台			単第0-0128 表
交通信号装置調整(歩行者灯器)	1	台			単第0-0117 表
全体割増(同一場所・同一施工 補正)		式			
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 C	1	基			単第0-0132 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			







# 施工単価表

車両・歩行者灯器設置  
中電柱 皿山連絡4 箇所

V0020

単第0 -0135 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付（車両灯器） 両面用 銘板含む	1	台			単第0-0113 表
交通信号装置据付（歩行者灯器） 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整（車両灯器） 両面用	1	台			単第0-0116 表
交通信号装置調整（歩行者灯器）	1	台			単第0-0117 表
全体割増（同一場所・同一施工 補正）		式			
車両感知装置調整（超音波ヘッド）	1	台			単第0-0136 表
車両感知装置据付（超音波ヘッド）	1	台			単第0-0137 表
*** 単位当たり ***	1	式			



































# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目(北)交差点

V000000100

単第0 -0153 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱(鋼管柱) STK 190.7*5.3*9000L 直管	2	本			
信号柱(鋼管柱)-制御機架台用- STK 190.7*5.3*9000L 直管	1	本			
制御機用架台 鋼管柱STK 190.7用	1	組			
鋼管柱加工費 制御機架台取付加工	1	式			
鋼管柱耐食塗装費 直管 165.2~216.3 高さ400mm	3	式			
端子函(屋外用差込式)12T	1	個			
端子函(屋外用差込式)20T	3	個			
600Vビニル絶縁電線(より線) IV2.0 SQ	14	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-3C	14	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-4C	60	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-6C	7	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-20C	8	m			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目(北)交差点

V000000100

単第0 -0153 表

頁0 -0194

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-6C	124	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-8C	72	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-20C	58	m			
600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル CV 5.5-2C	8	m			
制御機接続チューブ MC-13 L450 31コネクター付	1	組			
薄鋼電線管 19	4	m			
薄鋼電線管 31	4	m			
エントランスキャップ(薄鋼)	1	個			
パイプ留金物 KBP-25(19~26.5)	2	個			
パイプ留金物 KBP-40(33~42)	3	個			
自在バンド(器具取付) IBT-212	7	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-17(170~265)	5	個			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目(北)交差点

V000000100

単第0 -0153 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-23(230~325)	6	個			
ケーブル支持金物 SFT-208付	10	本			
ワイヤーシンプル 丸型18mm	11	個			
巻付グリッ 18mm <sup>2</sup> シンプル用	11	個			
吊架金具 タルミ付	3	個			
PEアースクランプ	1	個			
車両灯器用アーム L=2.0 主、補助アーム、ターンバックル	1	組			
車両灯器用アーム L=4.0 主、補助アーム、ターンバックル	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TUBP/L-3 190.7用	1	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-SP19/ 190	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP25/ 250- 310	1	組			
縦三位用アーム取付バンド TUBS/L3*2 190.7用	2	組			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目(北)交差点

V000000100

単第0 -0153 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
振止金具 STK用	1	組			
振止金具 CP用	1	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-2S 170~220	2	組			
車両感知機用アーム L=9.0 振れ止め金具、バンド付	1	組			
車両感知機用取付バンド TSABD-CP25	1	組			
車灯固定金具 片面用	1	組			
車灯角度調整金具 両面用	2	組			
道路標識取付金具 アーム取付 900*2	1	組			
電柱札 鋼管柱用	3	枚			
ケーブル標示札 県警名入	11	枚			
鋼管柱用反射シート HPステッカー(マーク入)鋼管柱用	3	枚			
接地棒 丸型 E-B3 10*1000	2	本			







# 施工単価表

信号柱設置 A ( 県警 ( 1 ) 号柱設置 )

V0038

単第0 -0156 表

頁0 -0200

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 制御機架台加	1	基			単第0-0157 表
接地設置工 ( D種接地 ) 基礎同時施工	1	極			単第0-0110 表
交通信号装置据付 ( 制御機 )	1	台			単第0-0111 表
交通信号装置据付 ( D型配電盤 )	1	台			単第0-0112 表
交通信号装置据付 ( 車両灯器 ) 両面用 銘板含む	1	台			単第0-0113 表
交通信号装置据付 ( 歩行者灯器 ) 側柱式	2	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整 ( 制御機 )	1	台			単第0-0115 表
交通信号装置調整 ( 車両灯器 ) 両面用	1	台			単第0-0116 表
交通信号装置調整 ( 歩行者灯器 )	2	台			単第0-0117 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			











# 施工単価表

信号柱設置C (県警(3)号柱設置)

V0042

単第0 -0162 表

頁0 -0206

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付(車両灯器) 片面用 銘板含む	1	台			単第0-0127 表
交通信号装置据付(歩行者灯器) 側柱式	2	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整(車両灯器) 片面用	1	台			単第0-0128 表
交通信号装置調整(歩行者灯器)	2	台			単第0-0117 表
全体割増(同一場所・同一施工 補正)		式			
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 165.2*5.0*9000 L直管	1	基			単第0-0163 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			

























# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目中交差点

V000000200

単第0 -0175 表

頁0 -0219

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱(鋼管柱) STK 165.2*5.0*9000 L 直管	1	本			
信号柱(鋼管柱) STK 190.7*5.3*9000L 直管	1	本			
信号柱(鋼管柱)-制御機架台用- STK 190.7*5.3*9000L 直管	1	本			
制御機用架台 鋼管柱STK 190.7用	1	組			
鋼管柱加工費 制御機架台取付加工	1	式			
鋼管柱耐食塗装費 直管 165.2~216.3 高さ400mm	3	式			
端子函(屋外用差込式)8T	1	個			
端子函(屋外用差込式)12T	1	個			
端子函(屋外用差込式)20T	3	個			
600Vビニル絶縁電線(より線) IV2.0 SQ	14	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-3C	56	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-4C	37	m			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目中交差点

V000000200

単第0 -0175 表

頁0 -0220

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-20C	8	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV-SSD 2.0-4C	23	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV-SSD 2.0-12C	20	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV-SSD 2.0-15C	25	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV-SSD 2.0-20C	23	m			
600V架橋PE絶縁ビニルシースケープル CV 5.5-2C	8	m			
制御機接続チューブ MC-13 L450 31コネクター付	1	組			
薄鋼電線管 19	4	m			
薄鋼電線管 31	4	m			
エントランスキャップ(薄鋼)	1	個			
パイプ留金物 KBP-25(19~26.5)	2	個			
パイプ留金物 KBP-40(33~42)	3	個			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目中交差点

V000000200

単第0 -0175 表

頁0 -0221

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
自在バンド(器具取付) IBT-212	7	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-17(170~265)	5	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-23(230~325)	4	個			
ケーブル支持金物 SFT-208付	10	本			
ワイヤーシンプル 丸型18mm	10	個			
巻付グリッ 18mm <sup>2</sup> シンプル用	10	個			
スパイラルハンガー L = 1500	3	本			
柱間分岐金物 TWBC-1	1	個			
吊架金具 タルミ付	2	個			
PEアースクランプ	1	個			
車両灯器用アーム L = 4.0 主、補助アーム、ターンバックル	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TUBP/L-2 165.2用	1	組			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目中交差点

V000000200

単第0 -0175 表

頁0 -0222

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-SP19/ 190	1	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP25/ 250- 310	1	組			
振止金具 STK用	1	組			
振止金具 CP用	1	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-1S 140～170	1	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-2S 170～220	5	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-4S 260～330	2	組			
車両感知機用アーム L=8.0 振れ止め金具、バンド付	1	組			
車両感知機用取付バンド TSABD-CP25	1	組			
車灯角度調整金具 両面用	2	組			
道路標識取付金具 アーム取付 900*2	1	組			
電柱札 鋼管柱用	3	枚			













# 施工単価表

信号柱設置B（県警（2）号柱設置）

V0050

単第0 -0181 表

頁0 -0229

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 制御機架台加	1	基			単第0-0157 表
接地設置工（D種接地） 基礎同時施工	1	極			単第0-0110 表
交通信号装置据付（制御機）	1	台			単第0-0111 表
交通信号装置据付（D型配電盤）	1	台			単第0-0112 表
交通信号装置据付（車両灯器） 片面用 銘板含む	1	台			単第0-0127 表
交通信号装置据付（歩行者灯器） 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整（制御機）	1	台			単第0-0115 表
交通信号装置調整（車両灯器） 片面用	1	台			単第0-0128 表
交通信号装置調整（歩行者灯器）	1	台			単第0-0117 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			











# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目交差点

V000000300

単第0 -0187 表

頁0 -0235

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱（鋼管柱）-制御機架台用- STK 190.7*5.3*9000L 直管	1	本			
制御機用架台 鋼管柱STK 190.7用	1	組			
鋼管柱加工費 制御機架台取付加工	1	式			
鋼管柱耐食塗装費 直管 165.2～216.3 高さ400mm	1	式			
端子函（屋外用差込式）12T	1	個			
端子函（屋外用差込式）20T	2	個			
端子函（屋外用差込式）30T	1	個			
600Vビニル絶縁電線（より線） 1V2.0 SQ	6	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-3C	28	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-4C	40	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-30C	8	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-4C	169	m			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目交差点

V000000300

単第0 -0187 表

頁0 -0236

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-12C	23	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-20C	44	m			
600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル CV 5.5-2C	8	m			
自在バンド(ケーブル引留) 3BD-HD-17(170~260)	1	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-17(170~265)	4	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-23(230~325)	5	個			
ケーブル支持金物 SFT-208付	8	本			
ワイヤーシンプル 丸型18mm	13	個			
巻付グリップ 18mm <sup>2</sup> シンプル用	13	個			
スパイラルハンガー L = 1500	4	本			
柱間分岐金物 TWBC-1	2	個			
吊架金具 タルミ付	2	個			

# 施工単価表

信号等材料  
大門町2丁目交差点

V000000300

単第0 -0187 表

頁0 -0237

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
PEアースクランプ	1	個			
車両灯器用アーム L=4.0 主、補助アーム、ターンバックル	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP19/ 190- 260	1	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP25/ 250- 310	1	組			
縦三位用アーム取付バンド TUBS/L3*2 190.7用	2	組			
振止金具 CP用	2	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-2S 170~220	1	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-3S 220~270	2	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-4S 260~330	1	組			
車灯固定金具 片面用	2	組			
道路標識取付金具 アーム取付 900*2	1	組			
電柱札 鋼管柱用	1	枚			





# 施工単価表

信号柱設置 A ( 県警 ( 1 ) 号柱設置 )

V0052

単第0 -0189 表

頁0 -0240

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 制御機架台加	1	基			単第0-0157 表
接地設置工 ( D種接地 ) 基礎同時施工	1	極			単第0-0110 表
交通信号装置据付 ( 制御機 )	1	台			単第0-0111 表
交通信号装置据付 ( D型配電盤 )	1	台			単第0-0112 表
交通信号装置据付 ( 車両灯器 ) 両面用 銘板含む	1	台			単第0-0113 表
交通信号装置据付 ( 歩行者灯器 ) 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整 ( 制御機 )	1	台			単第0-0115 表
交通信号装置調整 ( 車両灯器 ) 両面用	1	台			単第0-0116 表
交通信号装置調整 ( 歩行者灯器 )	1	台			単第0-0117 表
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]3~4基	2	基			単第0-0190 表
添架式標識板取付金具設置 信号アーム部に取付け	2	基			単第0-0191 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表









# 施工単価表

信号柱設置B (県警(2)号柱設置)

V0054

単第0 -0193 表

頁0 -0245

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号装置据付(車両灯器) 片面用 銘板含む	2	台			単第0-0127 表
交通信号装置調整(車両灯器) 片面用	2	台			単第0-0128 表
交通信号装置据付(歩行者灯器) 側柱式	1	台			単第0-0114 表
交通信号装置調整(歩行者灯器)	1	台			単第0-0117 表
全体割増(同一場所・同一施工 補正)		式			
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L 曲管	1	基			単第0-0194 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			

















# 施工単価表

信号等材料  
大門3丁目交差点

V000000400

単第0 -0202 表

頁0 -0254

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱（鋼管柱） STK 190.7*5.3*9000L 曲管	1	本			
信号柱（鋼管柱）-制御機架台用- STK 216.3*5.8*9000L 直管	1	本			
制御機用架台 鋼管柱STK 216.3用	1	組			
鋼管柱加工費 制御機架台取付加工	1	式			
鋼管柱耐食塗装費 直管 165.2~216.3 高さ400mm	2	式			
端子函（屋外用差込式）12T	3	個			
端子函（屋外用差込式）20T	1	個			
600Vビニル絶縁電線（より線） IV2.0 SQ	6	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-3C	28	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-4C	40	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-20C	8	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-4C	66	m			

# 施工単価表

信号等材料  
大門3丁目交差点

V000000400

単第0 -0202 表

頁0 -0255

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-12C	31	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-20C	24	m			
600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル CV 5.5-2C	8	m			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-17(170~265)	5	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-23(230~325)	2	個			
ケーブル支持金物 SFT-208付	8	本			
ワイヤーシンプル 丸型18mm	8	個			
巻付グリッ 18mm <sup>2</sup> シンプル用	8	個			
PEアースクランプ	1	個			
車両灯器用アーム L=3.0 主、補助アーム、ターンバックル	1	組			
車両灯器用アーム L=4.0 主、補助アーム、ターンバックル	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TUBP/L-3 190.7用	1	組			

# 施工単価表

信号等材料  
大門3丁目交差点

V000000400

単第0 -0202 表

頁0 -0256

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-SP21/ 216	1	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP19/ 190- 260	1	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP25/ 250- 310	1	組			
縦三位用アーム取付バンド TUBS/L3*2 CP 190 - 260	1	組			
縦三位用アーム取付バンド TUBS/L3*2 190.7用	1	組			
振止金具 STK用	1	組			
振止金具 CP用	2	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-2S 170 ~ 220	1	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-3S 220 ~ 270	2	組			
歩行者灯器用アーム取付バンド TSBD-4S 260 ~ 330	1	組			
車灯固定金具 片面用	1	組			
車灯角度調整金具 両面用	2	組			







# 施工単価表

信号柱設置 A ( 県警 ( 1 ) 号柱設置 )

V0060

単第0 -0205 表

頁0 -0260

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱建込・撤去工 重量 350kg以下 STK 190.7*5.3*9000 L直管 制御機架台加	1	基			単第0-0157 表
接地設置工 ( D種接地 ) 基礎同時施工	1	極			単第0-0110 表
交通信号装置据付 ( 制御機 )	1	台			単第0-0111 表
交通信号装置据付 ( D型配電盤 )	1	台			単第0-0112 表
交通信号装置据付 ( 車両灯器 ) 片面用 銘板含む	1	台			単第0-0127 表
交通信号装置調整 ( 制御機 )	1	台			単第0-0115 表
交通信号装置調整 ( 車両灯器 ) 片面用	1	台			単第0-0128 表
コンクリート基礎	1	箇所			単第0-0118 表
*** 単位当たり ***	1	式			























# 施工単価表

信号等材料

V000000500

単第0 -0217 表

大門町3丁目(西)交差点

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
信号柱(鋼管柱)-制御機架台用- STK 190.7*5.3*9000L 直管	1	本			
制御機用架台 鋼管柱STK 190.7用	1	組			
鋼管柱加工費 制御機架台取付加工	1	式			
鋼管柱耐食塗装費 直管 165.2~216.3 高さ400mm	1	式			
端子函(屋外用差込式)12T	2	個			
端子函(屋外用差込式)20T	1	個			
600Vビニル絶縁電線(より線) 1V2.0 SQ	6	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-4C	30	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV 2.0-20C	8	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV-SSD 2.0-4C	63	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケープル CVV-SSD 2.0-12C	48	m			
600V架橋PE絶縁ビニルシースケープル CV 5.5-2C	8	m			

# 施工単価表

頁0 -0273

信号等材料

V000000500

単第0 -0217 表

大門町3丁目(西)交差点

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
自在バンド(ケーブル引留) 3BD-HD-17(170~260)	1	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-17(170~265)	3	個			
自在バンド(ケーブル引留) 4BD-HD-23(230~325)	3	個			
ケーブル支持金物 SFT-208付	6	本			
ワイヤーシンプル 丸型18mm	8	個			
巻付グリップ 18mm <sup>2</sup> シンプル用	8	個			
スパイラルハンガー L = 1500	5	本			
柱間分岐金物 T W B C -1	2	個			
吊架金具 タルミ付	1	個			
P E アースクランプ	1	個			
車両灯器用アーム L = 4.0 主、補助アーム、ターンバックル	2	組			
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-SP19/ 190	1	組			

# 施工単価表

信号等材料

V000000500

単第0 -0217 表

大門町3丁目(西)交差点

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車両用灯器用アーム取付バンド TSWBD-CP25/ 250- 310	1	組			
縦三位用アーム取付バンド TUBS/L3*2 CP 190 - 260	1	組			
振止金具 STK用	1	組			
振止金具 CP用	1	組			
車灯固定金具 片面用	2	組			
道路標識取付金具 アーム取付 900*2	1	組			
道路標識取付用アーム アーム4500、取付バンド、サドル	1	式			
電柱札 鋼管柱用	1	枚			
ケーブル標示札 県警名入	7	枚			
鋼管柱用反射シート HPステッカー(マーク入)鋼管柱用	1	枚			
接地棒 丸型 E-B3 10*1000	1	本			
*** 単位当たり ***	1	式			











# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0223 表

頁0 -0280

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0222 表 100/65
タンバ締固め	100	m3			単第0-0224 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6 材料別途		

# 施工単価表

タンパ締固め

SPK23040021

単第0 -0224 表

機械構成比: 1.31% 労務構成比: 96.83% 材料構成比: 1.86% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,487.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.31%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.85%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	44.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.86%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					











# 施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK23040018

単第0 -0230 表

機械構成比: 21.98% 労務構成比: 69.33% 材料構成比: 8.69% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,587.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	21.98%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.33%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 19.19% 労務構成比: 71.06%

SPK23040152

DID区間有り 運搬距離2.5km以下(1.5km超)

材料構成比: 9.75%

単第0 -0231 表

1  
標準単価:

m3 当り

2,702.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=10 運搬距離2.5km以下(1.5km超)		

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK23040235

単第0 -0232 表

全仕上り厚200mm 2層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.11% 労務構成比:

61.70%

材料構成比: 33.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,727.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.65%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.32%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	25.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.85%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	31.24%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚250mm		TTPC00010 TTPT00361
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK23040235

単第0 -0232 表

全仕上り厚200mm 2層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.11%

労務構成比:

61.70%

材料構成比: 33.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,727.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=200 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):200.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)  
全仕上り厚180mm 2層施工

SPK23040235

単第0 -0233 表

機械構成比: 5.11% 労務構成比:

RM-30

61.70%

材料構成比: 33.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m2 当り  
1,727.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.65%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.32%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	25.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.85%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	31.24%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚250mm		TTPC00010 TTPT00361
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK23040235

単第0 -0233 表

全仕上り厚180mm 2層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.11% 労務構成比:

61.70%

材料構成比: 33.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,727.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=180 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):180.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK23040235

単第0 -0234 表

機械構成比: 5.44% 労務構成比:

路盤材(各種)

65.81% 材料構成比: 28.75%

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m2 当り  
809.74000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.82%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.47%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	27.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	23.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャー 30~0mm	26.66%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F000000024 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK23040235

単第0 -0234 表

全仕上り厚100mm 1層施工

路盤材(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 5.44%

労務構成比:

65.81%

材料構成比:

28.75%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

809.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) C=24 【F】路盤材(m3)			B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0295

基層(歩道部)

SPK23040242

単第0 -0235 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

49.24%

材料構成比: 50.28%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,111.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.32%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.09%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.47%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	16.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.02%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	48.19%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.90%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

# 施工単価表

基層(歩道部)

SPK23040242

単第0 -0235 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

49.24%

材料構成比: 50.28%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,111.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK23040244

単第0 -0236 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

52.69%

材料構成比: 46.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,776.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.38%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.10%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	23.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	46.60%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00023 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK23040244

単第0 -0236 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比: 52.69%

材料構成比: 46.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,776.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

## § 1. 道路改良数量総括表

(信号等移設を除く)

## 改 良 数 量 総 括 表

工事区分: 道路改良

工事名:

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	当 初 数 量		変 更 数 量		摘 要
					計 算 数 量	積 算 数 量	計 算 数 量	積 算 数 量	
道路土工				式	1.0				
	掘削工								
		掘削	土砂	m3	123.5	120			
	路体盛土工								
		路体盛土	2.5m未満	m3	85.5	90			
	防草コンクリート								
		張コンクリート		m3	0.7	0.7			
	残土処理工								
		流用土運搬	L=1.0km以内	m3	114.7	110			現場→仮置き場
		流用土積込	流用土	m3	114.7	110			仮置き場内
		流用土運搬	L=1.0km以内	m3	114.7	110			仮置き場→現場
		残土処理		m3	74.0	70			現場→処分場
舗装工				式	1.0				
	路面切削工								
		路面切削	平均切削深さ t=6~12cm	m2	1502.8	1500			
		路面切削	平均切削深さ t=6cm以下	m2	360.7	361			3層打ち箇所を切削
		殻運搬処理	アスファルト	m3	224.4	224			切削殻処分 527 t
	オーバーレイ工	(車道部)							
		基 層	ポリマー改質アスファルト t=5cm	m2	854.8	855			
		中間層	ポリマー改質アスファルト t=5cm	m2	360.7	361			
		表 層	ポリマー改質アスファルト t=5cm	m2	1586.8	1590			
	アスファルト舗装工	(車道部)							
		路 床	再生クラッシャーラン (RC-40)	m3	17.2	20			RC-40材料 20m3
		下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=15cm	m2	57.2	57			
		上層路盤	再生粒度調整碎石 (RM30) t=15cm	m2	57.2	57			
		上層路盤	瀝青安定処理材 (加熱混合) t=9cm	m2	57.2	57			
		基 層	再生粗粒度アスコン t=5cm	m2	57.2	57			
		仮舗装	再生粗粒度アスコン t=7cm	m2	57.2	57			
		(歩道舗装一般部)							
		路 盤	再生クラッシャーラン (RC-30) t=10cm	m2	248.6	249			
		表 層	再生密粒度アスコン(13) t=4cm	m2	248.6	249			
		(車両乗入部 I 種)							
		路 盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=15cm	m2	228.6	229			
		表 層	再生密粒度アスコン(20) t=5cm	m2	228.6	229			

# 改 良 数 量 総 括 表

工事区分: 道路改良

工事名:

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	当 初 数 量		変 更 数 量		摘 要
					計算数量	積算数量	計算数量	積算数量	
排水構造物工				式	1.0				
	作業土工								
		床掘り	土砂	m3	77.9	80.0			
		埋戻し	最大埋戻幅 1m未満	m3	29.2	30.0			
		基面整正		m2	116.8				
	側溝工								
		L型側溝B		m	12.3	12			
		管渠型側溝		m	92.3	92			
		管渠型側溝管理柵		箇所	5.0	5			(Gr含む) 372kg
		自由勾配側溝A	300×600	m	61.6	62			
		自由勾配側溝A	300×700	m	32.0	32			
		インパルトコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1.4	1			
		自由勾配側溝A材料	自由勾配側溝本体 自由勾配側溝蓋	式	1.0	1			
	地下排水工								
		VU	φ65	m	2.5	3			削孔1
		VU	φ75	m	7.2	7			削孔3
		VU	φ100	m	12.1	12			削孔5
		VU	φ125	m	2.5	3			削孔1
		VU	φ300	m	9.4	9			
		VP	φ50	m	9.9	10			削孔4
		VP	φ65	m	12.5	13			削孔5
		VP	φ75	m	4.9	5			削孔2
		VP	φ100	m	9.7	10			削孔4
		VP	φ125	m	5.0	5			削孔2
		VP	φ150	m	2.5	3			削孔1
		VP	φ250	m	2.5	3			削孔1
		削孔	径30mm以上60mm未満	孔	4.0	4			
		削孔	径64mm以上77mm未満	孔	11.0	11			
		削孔	径100mm以上110mm未満	孔	9.0	9			
		削孔	径110mm以上128mm未満	孔	3.0	3			
		削孔	径128mm以上160mm未満	孔	1.0	1			
		削孔	径250mm	孔	1.0	1			
	集水柵工								
		プレキャスト集水柵	300×600×1000	箇所	2.0	2			(Gr含む) 384kg
		プレキャスト集水柵	400×800×600	箇所	1.0	1			(Gr含む) 420kg
		プレキャスト集水柵	700×700×1000	箇所	1.0	1			(Gr含む) 1023kg
		プレキャスト集水柵	700×700×1750	箇所	2.0	2			(Gr含む) 1588kg

## 改 良 数 量 総 括 表

工事区分: 道路改良

工事名:

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	当 初 数 量		変 更 数 量		摘 要
					計 算 数 量	積 算 数 量	計 算 数 量	積 算 数 量	
緑石工				式	1.0				
	緑石工								
		歩車道境界ブロック	緑石工A (一般部)	m	123.7	124			
		歩車道境界ブロック	緑石工B (車両乗入部、歩道接続部)	m	69.1	69			
		地先境界ブロック	地先境界ブロックA (一般部)	m	126.5	127			
		地先境界ブロック	地先境界ブロックB (車両乗入部)	m	71.4	71			
区画線工				式	1.0				
	区画線工								
		溶融式区画線	白色・実線 W=15cm	m	308.5	310			
		溶融式区画線	白色・実線 W=20cm	m	84.7	85			
		溶融式区画線	白色・破線 W=15cm	m	61.8	62			
		溶融式区画線	白色・ゼブラ W=45cm	m	59.5	60			
		溶融式区画線	白色・矢印・記号・文字 W=15cm換算	m	55.0	55			
道路付属施設工				式	1.0				
	道路付属物工								
		車線分離標	ラバーポール	本	29.0	29			
		視覚障害者誘導用ブロック	点状タイル	枚	33.0	33			(0.3×0.6)×33.0 =5.94m <sup>2</sup> (6m <sup>2</sup> )
構造物撤去工				式	1.0				
	防護柵撤去工								
		防護柵撤去	転落防止柵	m	46.0	46			12.3kg/m 0.57 t
	道路付属物撤去工								
		車線分離標		本	2.0	2			
	構造物取壊し工								
		コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m <sup>3</sup>	26.2	26			
		舗装版切断	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m	210.0	210			
		舗装版破砕	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m <sup>2</sup>	389.8	390			m <sup>3</sup> 24.0
	排水構造物撤去工								
		蓋版撤去	グレーチング蓋 500×650×50	枚	1.0	1	合計 15枚 45kg以上170kg未満		グレーチング比重2793.3 45kg
		蓋版撤去	グレーチング蓋 800×650×50	枚	1.0	1			73kg
		蓋版撤去	グレーチング蓋 1000×650×50	枚	9.0	9			91kg
		蓋版撤去	グレーチング蓋 1000×650×60	枚	4.0	4			109kg

## 改 良 数 量 総 括 表

工事区分: 道路改良

工事名:

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	当 初 数 量		変 更 数 量		摘 要				
					計 算 数 量	積 算 数 量	計 算 数 量	積 算 数 量					
構造物撤去工	排水構造物撤去工	蓋版撤去	コンクリート蓋 300×700×100	枚	1.0	1	合計 42枚 45kg以上170kg未満		コンクリート比重2500 53kg				
		蓋版撤去	コンクリート蓋 500×700×100	枚	4.0	4			88kg				
		蓋版撤去	コンクリート蓋 600×700×100	枚	26.0	26			105kg				
		蓋版撤去	コンクリート蓋 680×730×150	枚	10.0	10			186kg				
		蓋版撤去	コンクリート蓋 800×700×100	枚	1.0	1			140kg				
		蓋版撤去	縞鋼板 350×800×5	枚	1.0	1			縞鋼板撤去面積 合計 61m2				
		蓋版撤去	縞鋼板 500×800×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 550×600×5	枚	2.0	2							
		蓋版撤去	縞鋼板 700×800×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 750×750×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 850×550×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 930×600×5	枚	17.0	17							
		蓋版撤去	縞鋼板 1000×700×5	枚	3.0	3							
		蓋版撤去	縞鋼板 1200×700×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 1200×800×5	枚	5.0	5							
		蓋版撤去	縞鋼板 1250×600×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 1250×700×5	枚	1.0	1							
		蓋版撤去	縞鋼板 1250×750×5	枚	4.0	4							
		蓋版撤去	縞鋼板 1250×800×5	枚	11.0	11							
		蓋版撤去	縞鋼板 1400×800×5	枚	1.0	1							
蓋版撤去	縞鋼板 1400×850×5	枚	1.0	1									
蓋版撤去	縞鋼板 1700×750×5	枚	1.0	1									
蓋版撤去	縞鋼板 1750×700×5	枚	13.0	13									
蓋版撤去	縞鋼板 1850×650×5	枚	1.0	1									
蓋版撤去	縞鋼板 2400×750×5	枚	2.0	2									
運搬処理工		殻運搬処理	アスファルト	m3	24.0	24			W=2.35t/m3 W=56.4				
									コンクリート(無筋構造物)	m3	26.2	26	W=2.35t/m3 W=61.6t
									現場発生品運搬・スクラップ	t	0.6	0.6	転落防止柵

## § 2. 道路土工



# 道 路 土 工 数 量 計 算 書

種別(規格)	算 式	数 量
作業残土処理工	掘削工 (土砂)	
	片切掘削 床掘(排水工)	
	$V = 123.5 + 77.9$	
	$= 201.4 \text{ m}^3$	
	盛土工	
	埋戻し	
	路体盛土 (排水工)	
	B<2.5 (1m未満)	
	$V = 85.5 + 29.2$	
	$= 114.7 \text{ m}^3$	
	残土処理	
	掘削工 盛土工	
	(土砂)	
	$V = 201.4 - 114.7 / 0.9$	
	$= 74.0$	
		m3 <u>74.0</u>



# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

道路土工計算書									
路体盛土(B<2.5)							NO. 1		
測点	距離	当初			測点	距離	変更		
		断面 法長	平均	体積 面積			断面 法長	平均	体積 面積
No.32 +10.000		0.90							
No.33	6.200	0.90	0.900	5.60					
No.34	20.000	0.80	0.850	17.00					
No.35	20.000	0.70	0.750	15.00					
No.35 +10.000	10.000	0.70	0.700	7.00					
No.36	10.000	0.90	0.800	8.00					
KA1-1	2.047	0.90	0.900	1.80					
No.37	17.953	1.00	0.950	17.10					
No.37 +17.000	14.000	1.00	1.000	14.00					
合計	100.200			85.5	合計				
				m3					m3

# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

道路土工計算書									
								NO.	1
張コンクリート									
測点	距離	当初			測点	距離	変更		
		断面 法長	平均	体積 面積			断面 法長	平均	体積 面積
No.32 +10.000		0.019							
No.33	8.500		0.0190	0.162					
No.34	20.000	0.019	0.0155	0.310					
No.35	20.000	0.012	0.0090	0.180					
No.35 +10.000	10.000	0.006	0.0030	0.030					
No.36	10.000		0.0010	0.010					
KA1-1	2.047	0.002	0.0010	0.002					
No.37	17.953								
No.37 +17.000	17.000								
合計	105.500			0.694	合計				
				m3					m3

### § 3. 舖 装 工



### 舗 装 工 数 量 計 算 書 (1)

種別(規格)	算 式	数 量	
<b>路面切削工</b>			
	路面切削	$\begin{array}{l} \text{切削(m2)計算書より} \qquad \qquad \qquad \text{m2} \\ A = 1502.76 \qquad \qquad \qquad = 1502.76 \end{array}$	m2 1502.76
		$\begin{array}{l} \text{切削(m3)計算書より} \qquad \qquad \qquad \text{m3} \\ V = 224.44 \qquad \qquad \qquad = 224.44 \end{array}$	m3 224.44
	平均切削深さ	$\begin{array}{l} \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \text{m} \\ t = 224.44 / 1502.76 \qquad \qquad \qquad = 0.149 \end{array}$	
		$\begin{array}{l} \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \text{cm} \\ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad = 15 \end{array}$	
<b>オーバーレイ工 (車道部)</b>			
	基 層 ポリマー改質アスファルト t=5cm	$\begin{array}{l} \text{オーバーレイ計算書より} \quad \text{根拠図より} \\ A = 854.80 \end{array}$	m2 854.80
		$\begin{array}{l} \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \text{m2} \\ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad = 854.80 \end{array}$	
	中間層 ポリマー改質アスファルト t=5cm	$\begin{array}{l} \text{オーバーレイ計算書より} \quad \text{根拠図より} \\ A = 360.70 \end{array}$	m2 360.70
		$\begin{array}{l} \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \text{m2} \\ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad = 360.70 \end{array}$	
	表 層 ポリマー改質アスファルト t=5cm	$\begin{array}{l} \text{オーバーレイ計算書より} \quad \text{根拠図より} \\ A = 1555.50 + 27.11 + 4.15 \end{array}$	m2 1586.76
		$\begin{array}{l} \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \text{m2} \\ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad = 1586.76 \end{array}$	



舗装工数量計算書(3)

種別(規格)	算式	数量
<b>アスファルト舗装工 (歩道舗装一般部)</b>		
路盤 再生クラッシャーラン (RC-30)t=10cm	舗装工平面図より A= 42.77 + 14.00 + 12.73 + 77.42 + 34.03 + 10.10 + 36.31 + 2.44 + 18.76	
	m2 = 248.56	m2 248.56
表層 再生密粒度アスコン(13) t=4cm	舗装工平面図より A= 42.77 + 14.00 + 12.73 + 77.42 + 34.03 + 10.10 + 36.31 + 2.44 + 18.76	
	m2 = 248.56	m2 248.56
<b>アスファルト舗装工 (乗入部舗装I種)</b>		
路盤 再生クラッシャーラン (RC-40)t=15cm	舗装工平面図より A= 28.29 + 19.41 + 22.25 + 22.28 + 29.23 + 13.16 + 94.00	
	m2 = 228.62	m2 228.62
表層 再生密粒度アスコン(20) t=5cm	舗装工平面図より A= 28.29 + 19.41 + 22.25 + 22.28 + 29.23 + 13.16 + 94.00	
	m2 = 228.62	m2 228.62

# 数量計算書

工事名：  
箇所名：

舗装工計算書									
切削 (m2)						NO. 1			
測点	距離	当初			測点	距離	変更		
		幅員	平均	面積			幅員	平均	面積
No.32 +10.000		14.66							
No.33	5.600		14.660	82.10					
No.34	20.000	14.66	14.660	293.20					
No.35	20.000	14.66	14.660	293.20					
No.35 +10.000	10.000	14.66	14.660	146.60					
No.36	10.000	14.66	14.660	146.60					
KA1-1	2.047	14.66	14.660	30.01					
No.37	17.953	14.66	14.660	263.19					
No.37 +17.000	17.000	14.50	14.580	247.86					
合計	102.600			1,502.76	合計				
				m2					m2

# 数量計算書

工事名：  
箇所名：

## 舗装工計算書

切削 (m3)

NO. 1

測 点	距 離	当 初			測 点	距 離	変 更		
		断 面	平 均	体 積			断 面	平 均	体 積
No.32 +10.000		1.26							
No.33	5.600	1.26	1.260	7.06					
No.34	20.000	2.44	1.850	37.00					
No.35	20.000	2.71	2.575	51.50					
No.35 +10.000	10.000	2.56	2.635	26.35					
No.36	10.000	2.47	2.515	25.15					
KA1-1	2.047	2.47	2.470	5.06					
No.37	17.953	2.13	2.300	41.29					
No.37 +17.000	17.000	1.52	1.825	31.03					
合 計	102.600		224.44	m3	合 計				m3

# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

舗装工計算書									
オーバーレイ (表層) t=5cm								NO. 1	
測点	距離	当初			測点	距離	変更		
		断面長	平均	体積 面積			断面長	平均	体積 面積
No.32									
+10.000									
No.33									
No.34									
No.35									
No.35									
+10.000									
No.36									
KA1-1									
No.37									
No.37									
+17.000									
合計				1,555.5	合計				m2
				m2					m2

舗装工平面図より





# 数量計算書

工事名：  
箇所名：

## 舗装工計算書

車道舗装(仮舗装)平均t=7cm

NO. 1

測点	距離	左側			測点	距離	右側		
		断面長	平均	体積 面積			断面長	平均	体積 面積
No.32 +10.000		0.30			No.32 +10.000		0.30		
No.33	4.000	0.30	0.300	1.20	No.33	5.600	0.30	0.300	1.68
No.34	20.000	0.30	0.300	6.00	No.34	20.000	0.30	0.300	6.00
No.35	20.000	0.30	0.300	6.00	No.35	20.000	0.30	0.300	6.00
No.35 +10.000	10.000	0.30	0.300	3.00	No.35 +10.000	10.000	0.30	0.300	3.00
No.36	10.000	0.30	0.300	3.00	No.36	10.000	0.30	0.300	3.00
KA1-1	2.047	0.30	0.300	0.61	KA1-1	2.047	0.30	0.300	0.61
No.37	17.953	0.30	0.300	5.39	No.37	17.953	0.30	0.300	5.39
No.37 +17.000	9.900	0.30	0.300	2.97	No.37 +17.000	11.200	0.30	0.300	3.36
合計	93.900			m <sup>2</sup> 28.17	合計	96.800			m <sup>2</sup> 29.04
左+右 合計									m <sup>2</sup> 57.21







# 数量計算書

工事名：  
箇所名：

舗装工計算書									
車道舗装(下層路盤) t=15cm						NO. 1			
測点	距離	左側			測点	距離	右側		
		断面長	平均	体積 面積			断面長	平均	体積 面積
No.32 +10.000		0.30			No.32 +10.000		0.30		
No.33	4.000	0.30	0.300	1.20	No.33	5.600	0.30	0.300	1.68
No.34	20.000	0.30	0.300	6.00	No.34	20.000	0.30	0.300	6.00
No.35	20.000	0.30	0.300	6.00	No.35	20.000	0.30	0.300	6.00
No.35 +10.000	10.000	0.30	0.300	3.00	No.35 +10.000	10.000	0.30	0.300	3.00
No.36	10.000	0.30	0.300	3.00	No.36	10.000	0.30	0.300	3.00
KA1-1	2.047	0.30	0.300	0.61	KA1-1	2.047	0.30	0.300	0.61
No.37	17.953	0.30	0.300	5.39	No.37	17.953	0.30	0.300	5.39
No.37 +17.000	9.900	0.30	0.300	2.97	No.37 +17.000	11.200	0.30	0.300	3.36
合計	93.900			m <sup>2</sup> 28.17	合計	96.800			m <sup>2</sup> 29.04
左+右 合計									m <sup>2</sup> 57.21



## § 4. 排水構造物工

# 排水構造物工 数量集計表 (1)

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量		摘 要
				当 初	変 更	
作業土工						
	床掘り	土砂	m3	77.9		
	埋戻し	最大埋戻幅 1m未満	m3	29.2		
	基面整正		m2	116.8		
側溝工						
	L型側溝B		m	12.3		
	管渠型側溝		m	92.3		
	管渠型側溝管理柵		箇所	5.0		
	自由勾配側溝A	300×600	m	61.6		
	自由勾配側溝A	300×700	m	32.0		
	インパルトコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1.4		
管渠工						
	VU	$\phi 65$	m	2.5		
	VU	$\phi 75$	m	7.2		
	VU	$\phi 100$	m	12.1		
	VU	$\phi 125$	m	2.5		
	VU	$\phi 300$	m	9.4		
	VP	$\phi 50$	m	9.9		
	VP	$\phi 65$	m	12.5		
	VP	$\phi 75$	m	4.9		
	VP	$\phi 100$	m	9.7		
	VP	$\phi 125$	m	5.0		
	VP	$\phi 150$	m	2.5		
	VP	$\phi 250$	m	2.5		



# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

作業土工計算書										
						NO.	1			
測点	距離	当初			測点	距離	変更			
		断面長	平均	体積面積			断面長	平均	体積面積	
床掘り										
No.32 +10.000		0.70								
No.33	5.500	0.70	0.700	3.90						
No.34	20.000	0.70	0.700	14.00						
No.35	20.000	0.70	0.700	14.00						
No.35 +10.000	10.000	0.70	0.700	7.00						
No.36	10.000	0.70	0.750	7.50						
KA1-1	2.047	0.80	0.800	1.60						
No.37	17.953	0.80	0.800	14.40						
No.37 +17.000	11.800	0.80	0.800	9.40						
管渠工(右)	0.14×22			3.08						
管渠工(左)	0.3×10			3.00						
合計	97.300			77.9 m3	合計					m3

# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

## 作業土工計算書

埋戻し(最大埋戻幅 1m未満)

NO. 1

測点	距離	当初			測点	距離	変更		
		断面長	平均	体積			断面長	平均	体積
No.32									
+10.000		0.30							
No.33	5.500		0.300	1.70					
		0.30							
No.34	20.000		0.300	6.00					
		0.30							
No.35	20.000		0.300	6.00					
		0.30							
No.35	10.000		0.300	3.00					
+10.000		0.30							
No.36	10.000		0.300	3.00					
		0.30							
KA1-1	2.047		0.300	0.60					
		0.30							
No.37	17.953		0.300	5.40					
		0.30							
No.37	11.800		0.300	3.50					
+17.000		0.30							
合計	97.300			29.2	合計				
				m3				m3	



排水構造物工延長調書 (1)

L型側溝B			管渠型側溝			管渠型側溝管理用柵		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	個 数	摘要
No. 32 + 13.40 ~ No. 32 + 15.90	4.50	左	No. 32 + 14.40 ~ No. 37 + 11.80	92.30	右	No. 32 + 14.40 ~ No. 37 + 11.80	5.00	右
No. 37 + 10.90 ~ No. 37 + 13.30	4.00	左						
No. 37 + 12.80 ~ No. 37 + 15.20	3.80	右						
合 計	12.30 m		合 計	92.30 m		合 計	5.00 箇所	
VU φ 65			VU φ 75			VU φ 100		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 34 + 19.90	2.50	右	No. 34 + 12.30	2.40	左	No. 33 + 9.90	2.40	左
			No. 36 + 3.20	2.40	左	No. 35 + 2.00	2.40	左
			No. 36 + 3.90	2.40	左	No. 35 + 5.10	2.40	左
						No. 36 + 1.20	2.40	左
						No. 35 + 4.90	2.50	右
合 計	2.50 m		合 計	7.20 m		合 計	12.10 m	
VU φ 125			VU φ 300			VU φ 300		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 34 + 16.00	2.50	右				No. 32 + 14.60 ~ No. 32 + 16.40	3.00	左
						No. 37 + 10.40 ~ No. 37 + 12.70	3.40	左
						No. 37 + 12.30 ~ No. 37 + 14.80	3.00	右
合 計	2.50 m		合 計	0.00 m		合 計	9.40 m	

排水構造物工延長調書 (2)

VP φ 50			VP φ 65			VP φ 75		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
No. 35 + 13.50	2.50	右	No. 34 + 6.50	2.50	右	No. 35 + 13.10	2.40	左
No. 35 + 13.80	2.50	右	No. 34 + 13.40	2.50	右	No. 34 + 5.90	2.50	右
No. 35 + 19.20	2.50	右	No. 34 + 14.60	2.50	右			
No. 37 + 3.50	2.40	右	No. 36 + 5.40	2.50	右			
			No. 36 + 16.80	2.50	右			
合 計	9.90 m		合 計	12.50 m		合 計	4.90 m	
VP φ 100			VP φ 125			VP φ 150		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
No. 34 + 13.90	2.40	右	No. 34 + 12.90	2.50	右	No. 35 + 19.10	2.50	右
No. 36 + 9.60	2.50	右	No. 34 + 13.10	2.50	右			
No. 36 + 17.40	2.40	右						
No. 37 + 2.70	2.40	右						
合 計	9.70 m		合 計	5.00 m		合 計	2.50 m	
VP φ 250								
測 点	延 長	摘 要	測 点	個 数	摘 要	測 点	個 数	摘 要
No. 36 + 4.50	2.50	右						
合 計	2.50 m		合 計	0.00 箇所		合 計	0.00 箇所	

排水構造物工延長調書 (3)

集水桝 300×600×1000			集水桝 400×400×1000			集水桝 400×800×600		
測点	個数	摘要	測点	個数	摘要	測点	個数	摘要
No. 32 + 16.30	1.00	L22号 左				No. 37 + 12.40	1.00	R24号 右
No. 37 + 10.50	1.00	L23号 左						
合計	2.00 箇所		合計	0.00 箇所		合計	1.00 箇所	
集水桝 700×700×1000			集水桝 700×700×1750					
測点	個数	摘要	測点	個数	摘要	測点	個数	摘要
No. 32 + 14.70	1.00	L21号 左	No. 37 + 13.20	1.00	L24号 左			
			No. 37 + 14.80	1.00	R25号 右			
合計	1.00 箇所		合計	2.00 箇所		合計	0.00 箇所	
測点	個数	摘要	測点	個数	摘要	測点	個数	摘要
合計	0.00 箇所		合計	0.00 箇所		合計	0.00 箇所	

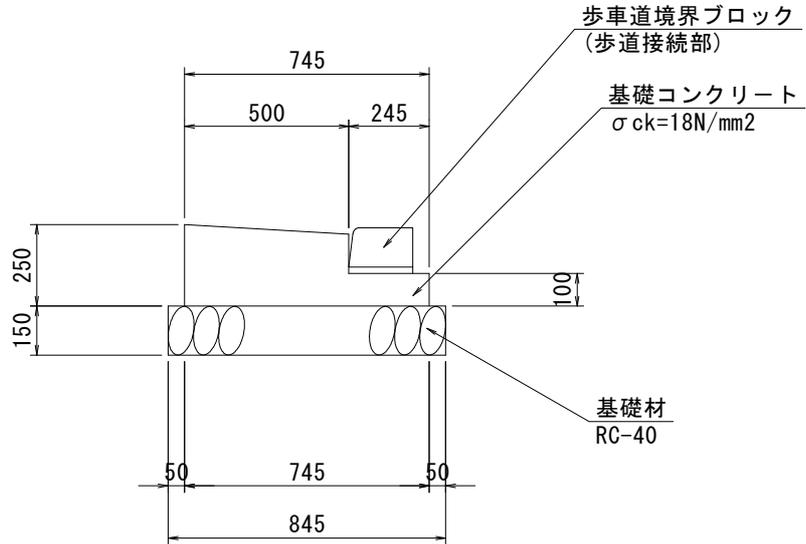
自由勾配側溝数量計算書

No. 32+16.71~No. 37+10.10 (左側)

名 称	計 算 式	単 位	数 量
自由勾配側溝A	延長 L= 93.636 m		
300×600	L = 53.576 + 8.012 = 61.588		
300×700	L = 32.048 = 32.048	m	93.636
インバートコンクリート (σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup> )	$a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 3.286 = 0.164$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 20.000 = 1.000$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 20.000 = 1.000$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 10.000 = 0.500$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 0.290 = 0.015$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 8.012 = 0.401$ $a = (0.150 + 0.050) \times 1/2 \times 2.003 = 0.200$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 1.742 = 0.087$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 18.056 = 0.903$ $a = (0.050 + 0.050) \times 1/2 \times 10.247 = 0.512$ $\Sigma a = 4.782$  $V = 4.782 \times 0.300 = 1.435$	m <sup>3</sup>	1.435
自由勾配側溝本体	300×600×2000 N = 30 本		
〃	300×600×1495 N = 1 本		
〃	300×700×2000 N = 16 本		
自由勾配側溝Co蓋	透水コンクリート蓋300用 N = 38 枚		
自由勾配側溝Gr蓋	グレーチング300用 N = 8 枚		

# L型側溝B 数量計算書

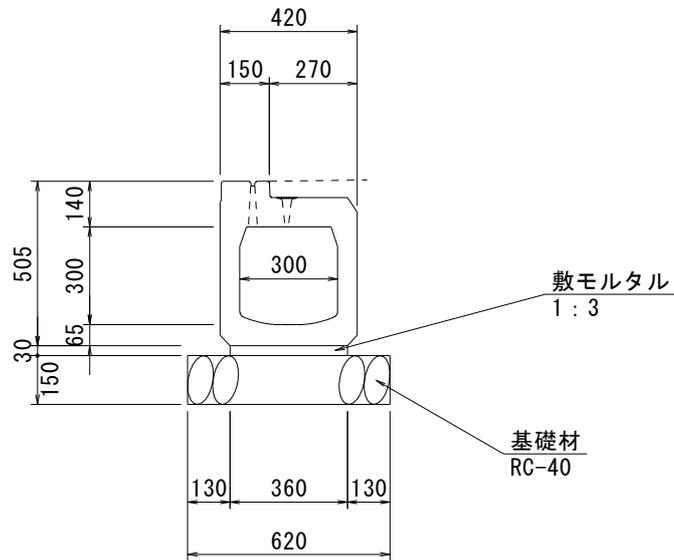
10m当り



種別(規格)	算式	数量
L型側溝B	L =	m 10.00
基礎コンクリート σ ck=18N/mm2	$V = \left( \frac{1}{2} \times (0.22 + 0.25) \times 0.50 + 0.10 \times 0.245 \right) \times 10.00$	m3 1.42
型枠	$A = (0.10 + 0.25) \times 10.00$	m2 3.50
基礎材 (RC-40) t=15cm	$A = 0.845 \times 10.00$	m2 8.45

管渠型側溝 数量計算書

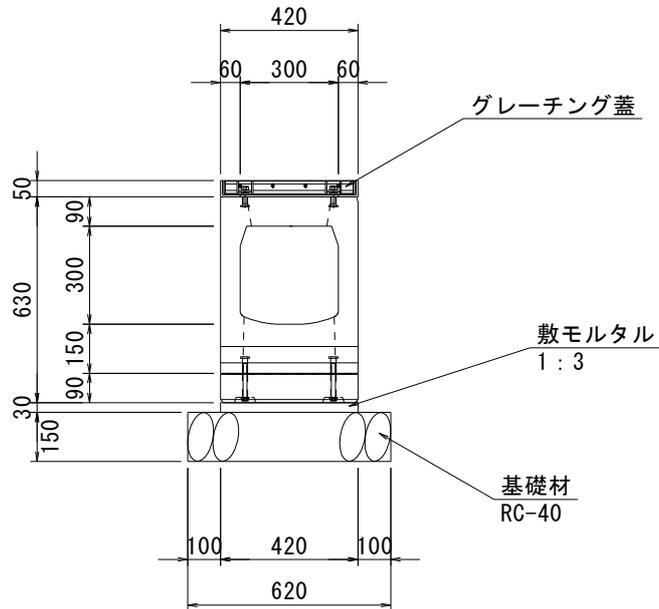
10m当り



種別(規格)	算式	数量
管渠型側溝	L =	m 10.00
敷モルタル (1:3)	V = 0.36 × 0.03 × 10.00	m <sup>3</sup> 0.11
基礎材 RC-40,t=15cm	A = 0.62 × 10.00	m <sup>2</sup> 6.20

管渠型側溝管理柵 数量計算書

1箇所当り

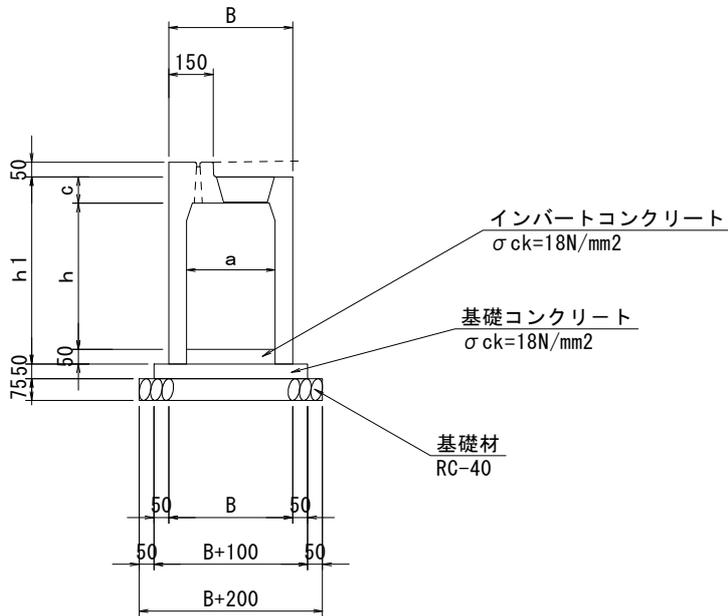


種別(規格)	算式	数量
管渠型側溝管理柵	N =	組 1.0
敷モルタル (1:3)	V = 0.42 × 0.03 × 1.00	m3 0.01
基礎材 RC-40,t=15cm	A = 0.62 × 1.00	m2 0.62

自由勾配側溝A (300×600)

数量計算書

10m当り



自由勾配側Aサイズ

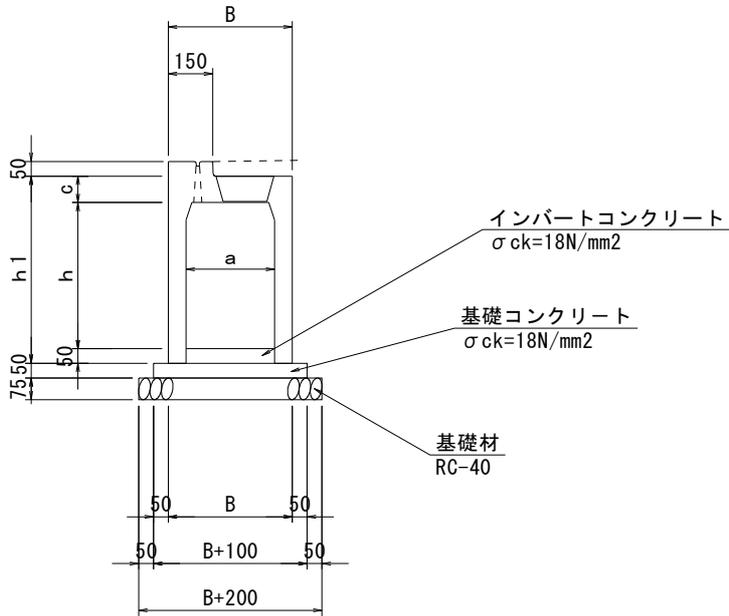
サイズ a×h	B	h1	c	重量 (kg)
300 × 400	420	540	90	469
300 × 500	420	640		525
300 × 600	420	740		581
300 × 700	420	840		637
300 × 800	420	940		693
300 × 900	420	1040		750
300 × 1000	420	1140	105	806
300 × 1100	420	1240		862
400 × 500	530	655		637
400 × 600	530	755		697
400 × 700	530	855		758
400 × 800	530	955		819
400 × 900	530	1055		880
400 × 1000	530	1155		941
400 × 1100	530	1255	1001	
400 × 1200	530	1355	1062	

種別(規格)	算式	数量
自由勾配側溝A 300×600	L =	m 10.00
インバートコンクリート σck=18N/mm2	V = 0.30 × 0.05 × 10.00	m3 0.15
基礎コンクリート σck=18N/mm2	V = 0.52 × 0.05 × 10.00	m3 0.26
型枠	A = 0.05 × 2 × 10.00	m2 1.00
基礎材 (RC-40) t=7.5cm	A = 0.62 × 10.00	m2 6.20

自由勾配側溝A (300×700)

数量計算書

10m当り



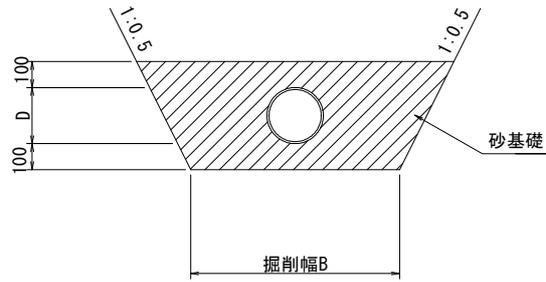
自由勾配側Aサイズ

サイズ a×h	B	h1	c	重量 (kg)
300×400	420	540	90	469
300×500	420	640		525
300×600	420	740		581
300×700	420	840		637
300×800	420	940		693
300×900	420	1040		750
300×1000	420	1140	105	806
300×1100	420	1240		862
400×500	530	655		637
400×600	530	755		697
400×700	530	855		758
400×800	530	955		819
400×900	530	1055		880
400×1000	530	1155		941
400×1100	530	1255	1001	
400×1200	530	1355	1062	

種別(規格)	算式	数量
自由勾配側溝A 300×700	L =	m 10.00
インバートコンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	V = 0.30 × 0.05 × 10.00	m <sup>3</sup> 0.15
基礎コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	V = 0.52 × 0.05 × 10.00	m <sup>3</sup> 0.26
型枠	A = 0.05 × 2 × 10.00	m <sup>2</sup> 1.00
基礎材 (RC-40) t=7.5cm	A = 0.62 × 10.00	m <sup>2</sup> 6.20

# VU管φ65 数量計算書

10m当り



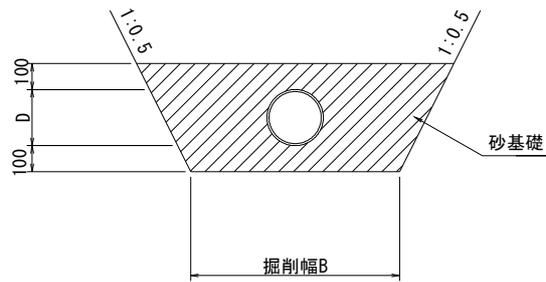
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VU管φ65	L =	m 10.00
砂基礎	V = 2.17	m3 2.17

# VU管φ75 数量計算書

10m当り



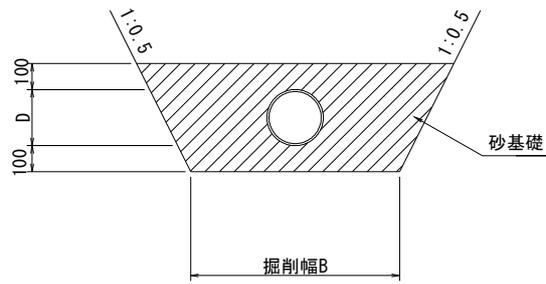
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VU管φ75	L =	m 10.00
砂基礎	V = 2.38	m <sup>3</sup> 2.38

# VU管φ100 数量計算書

10m当り



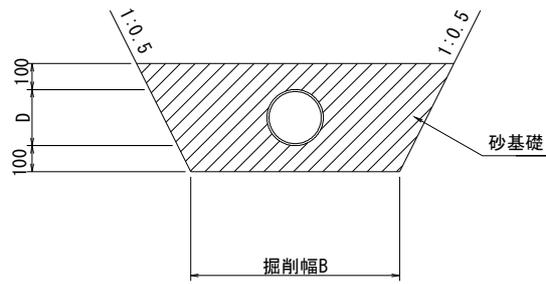
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VU管φ100	L =	m 10.00
砂基礎	V = 2.77	m3 2.77

# VU管φ125 数量計算書

10m当り



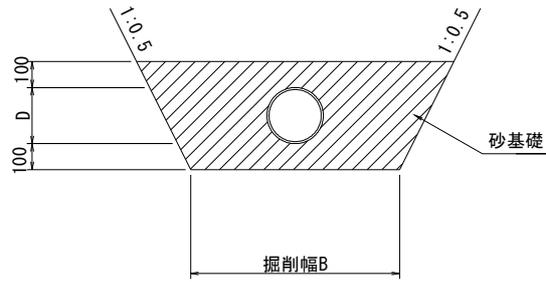
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VU管φ125	L =	m 10.00
砂基礎	V = 2.81	m3 2.81

# VU管φ300 数量計算書

10m当り



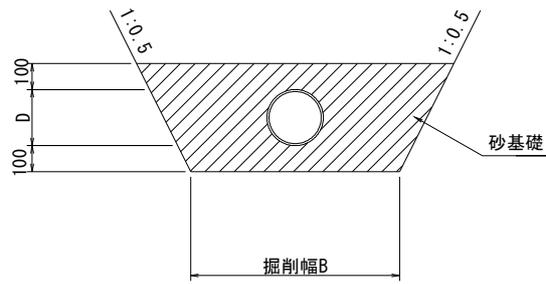
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VU管φ300	L =	m 10.00
砂基礎	V = 5.21	m3 5.21

# VP管φ50 数量計算書

10m当り



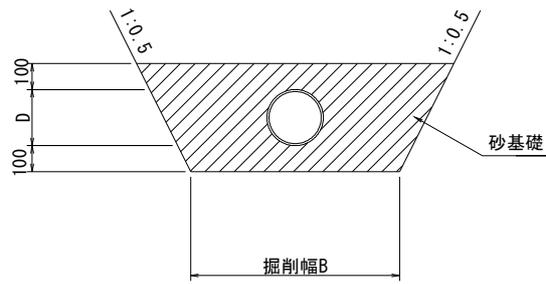
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VP管 φ 50		
	L =	m
		10.00
砂基礎		
	V = 2.13	m3
		2.13

# VP管 φ 65 数量計算書

10m当り



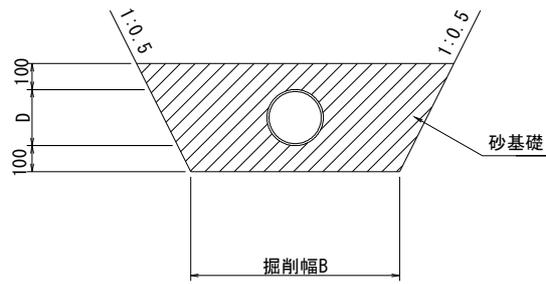
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算 式	数 量
VP管 φ 65		
	L =	m 10.00
砂基礎		
	V = 2.17	m3 2.17

# VP管φ75 数量計算書

10m当り



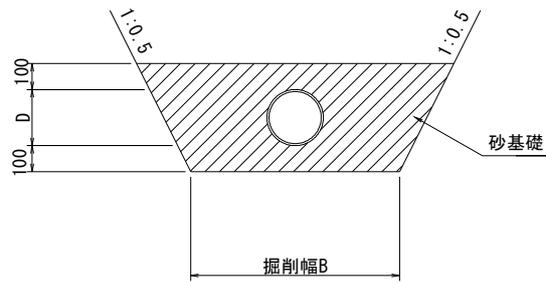
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VP管 φ 75		
	L =	m
		10.00
砂基礎		
	V = 2.38	m <sup>3</sup>
		2.38

# VP管 φ 100 数量計算書

10m当り



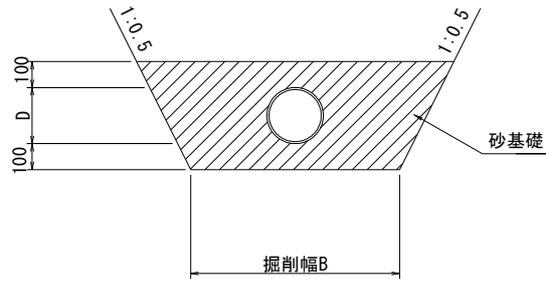
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VP管 φ 100	L =	m
		10.00
砂基礎	V = 2.77	m3
		2.77

# VP管 φ 125 数量計算書

10m当り



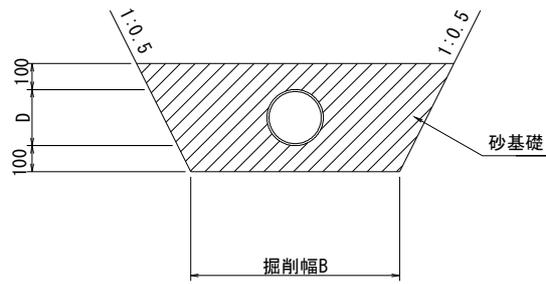
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VP管 φ 125	L =	m
		10.00
砂基礎	V = 2.81	m3
		2.81

# VP管 φ 150 数量計算書

10m当り



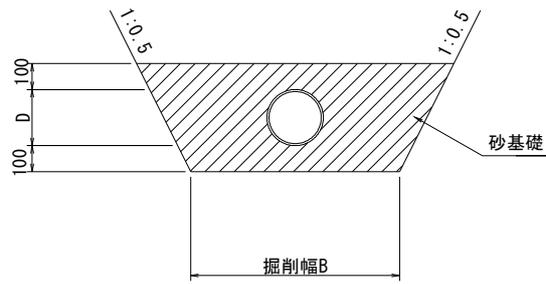
VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算 式	数 量
VP管 φ 150		
	L =	m 10.00
砂基礎		
	V = 3.19	m3 3.19

# VP管 φ 250 数量計算書

10m当り



VU管, VP管砂基礎 (10mあたり)

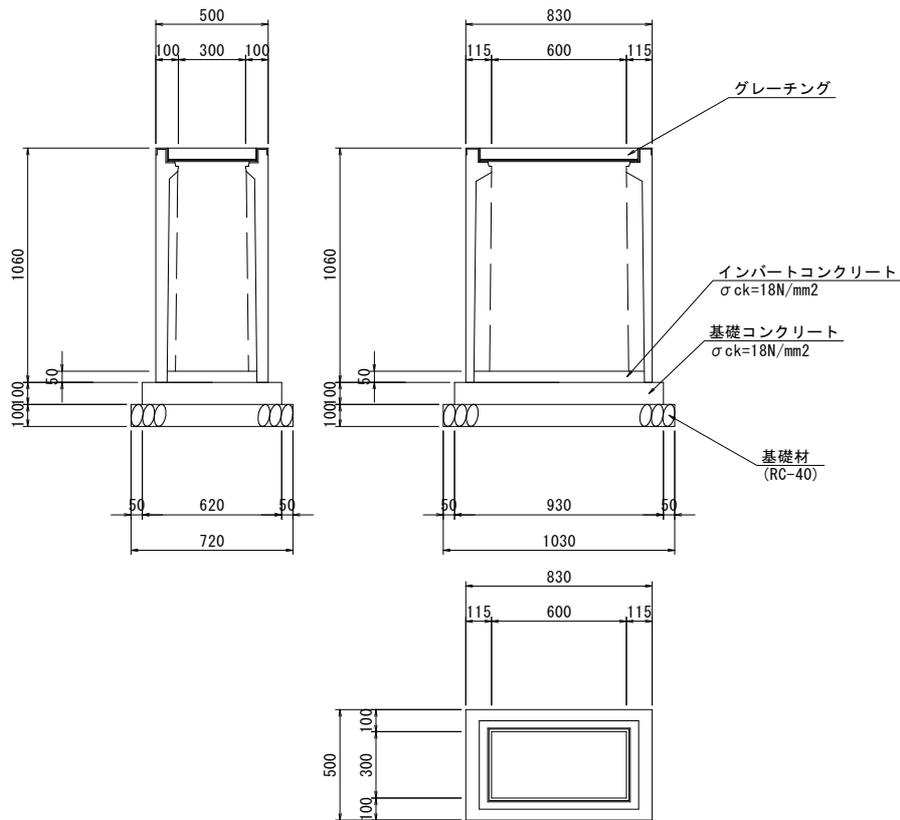
呼び径	B	D	砂基礎 (m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	89	2.17
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.77
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83
φ 250	900	267	4.50
φ 300	900	318	5.21
φ 400	1000	420	6.73
φ 500	1100	520	10.26

種別(規格)	算式	数量
VP管 φ 250	L =	m
		10.00
砂基礎	V = 4.50	m3
		4.50

集水枳(300×600×1000)

数量計算書

1箇所当り

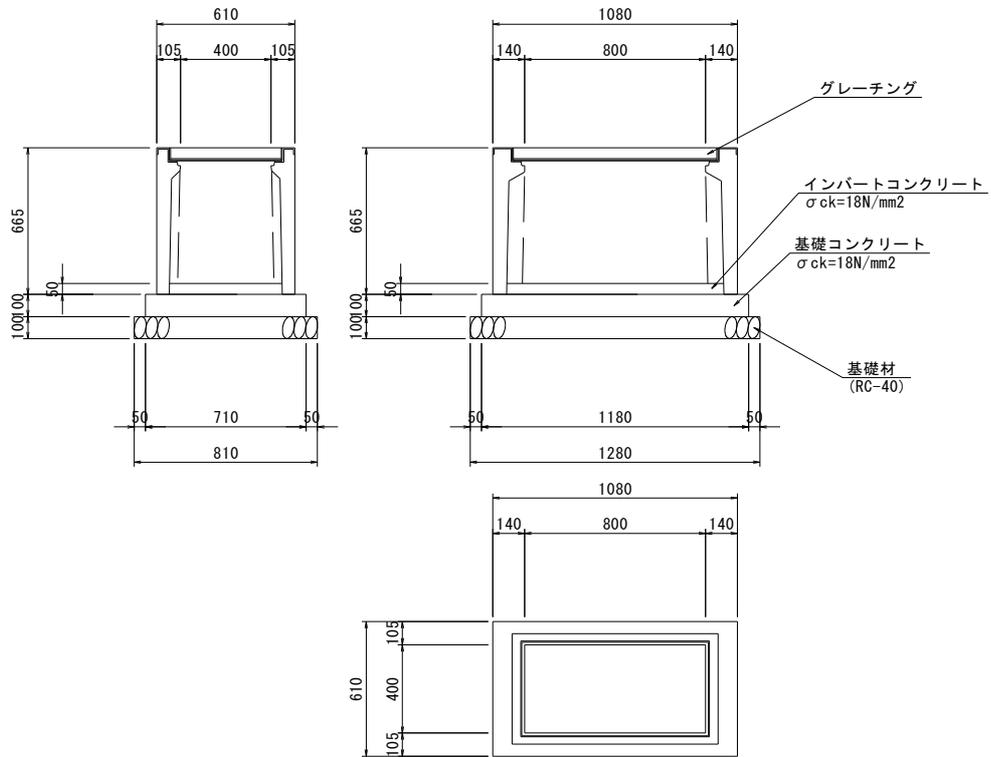


種別(規格)	算式	数量
集水枳 300×600×1000	N =	箇所 1.0
インバートコンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	V = 0.009	m3 0.009
基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	V = 0.058	m3 0.058
基礎コンクリート型枠	A = 0.310	m2 0.310
基礎材 (RC-40) t=10cm	A = 0.742	m2 0.742

集水桝(400×800×600)

数量計算書

1箇所当り

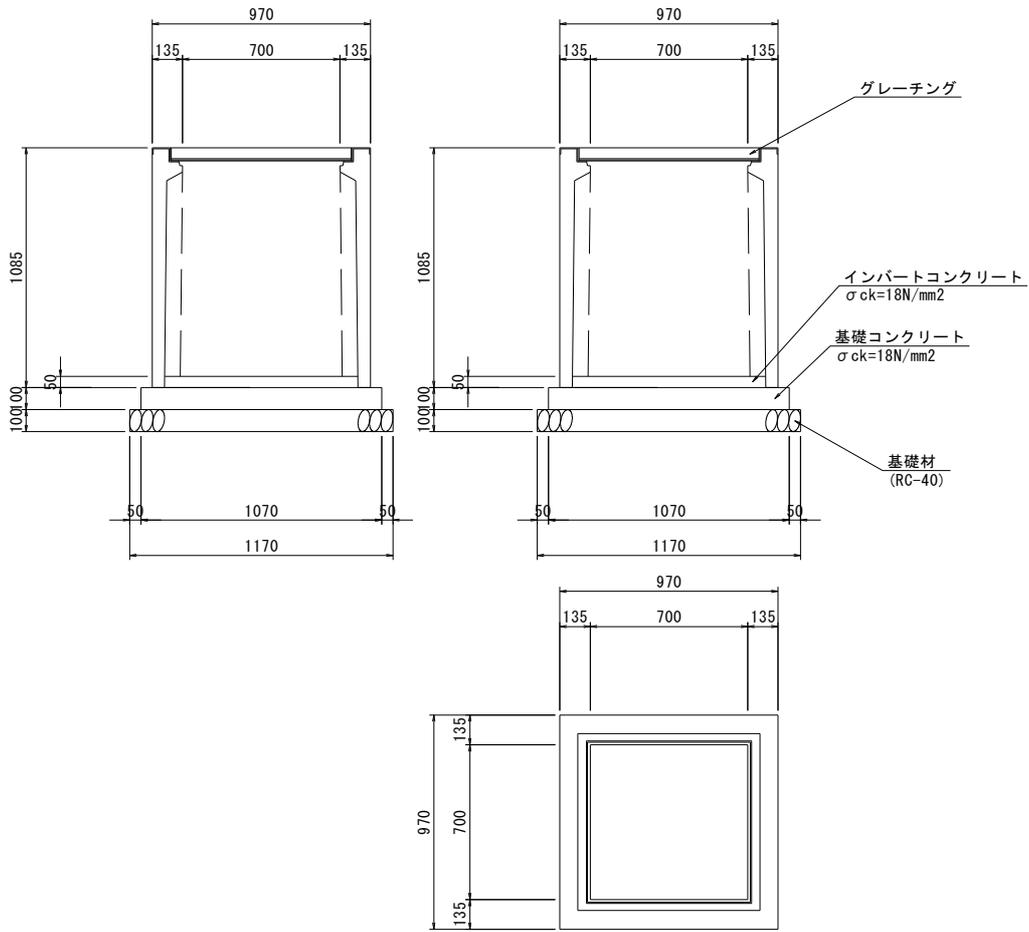


種別(規格)	算式	数量
集水桝 400×800×600	N =	箇所 1.0
インバートコンクリート σ ck=18N/mm2	V = 0.016	m3 0.016
基礎コンクリート σ ck=18N/mm2	V = 0.084	m3 0.084
基礎コンクリート型枠	A = 0.378	m2 0.378
基礎材 (RC-40) t=10cm	A = 1.037	m2 1.037

集水枳(700×700×1000)

数量計算書

1箇所当り

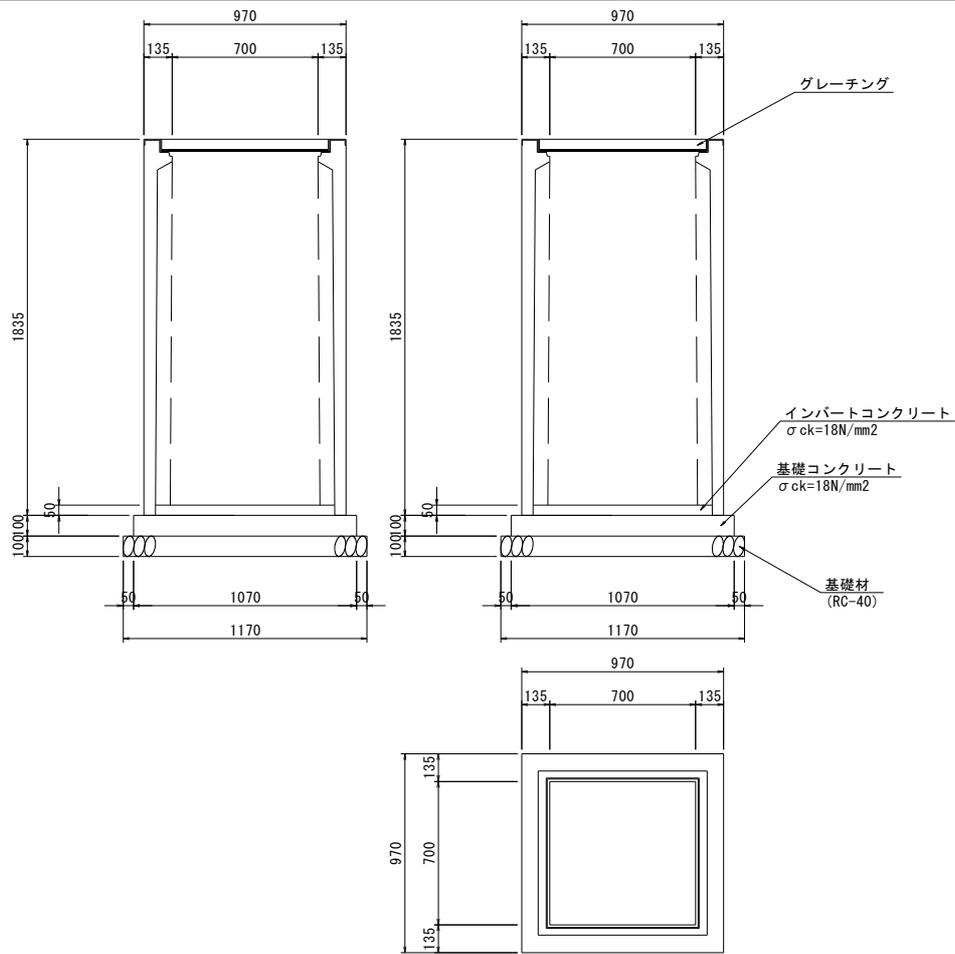


種別(規格)	算式	数量
集水枳 700×700×1000	N =	箇所 1.0
インバートコンクリート σ ck=18N/mm2	V = 0.025	m3 0.025
基礎コンクリート σ ck=18N/mm2	V = 0.114	m3 0.114
基礎コンクリート型枠	A = 0.428	m2 0.428
基礎材 (RC-40) t=10cm	A = 1.369	m2 1.369
足掛金具	N = 2.0	個 2.0

集水枳(700×700×1750)

数量計算書

1箇所当り



種別(規格)	算式	数量
集水枳 700×700×1750	N =	箇所 1.0
インバートコンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	V = 0.025	m <sup>3</sup> 0.025
基礎コンクリート σ <sub>ck</sub> =18N/mm <sup>2</sup>	V = 0.114	m <sup>3</sup> 0.114
基礎コンクリート型枳	A = 0.428	m <sup>2</sup> 0.428
基礎材 (RC-40) t=10cm	A = 1.369	m <sup>2</sup> 1.369
足掛金具	N = 5.0	個 5.0

§ 5. 縁石工

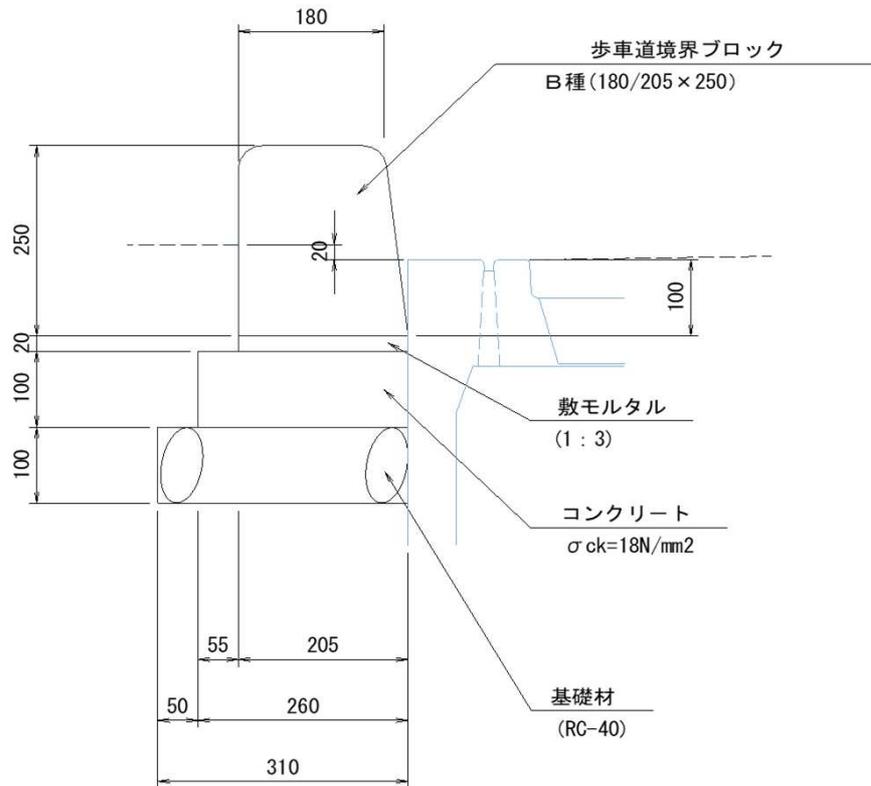


縁石工延長調書 (1)

縁石工A			縁石工A					
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 32 + 15.90 ~ No. 33 + 0.00	4.10	左	No. 37 + 3.30 ~ No. 37 + 12.80	9.40	右			
No. 33 + 3.00 ~ No. 33 + 16.70	13.70	左						
No. 34 + 5.10 ~ No. 34 + 13.50	8.40	左						
No. 34 + 18.90 ~ No. 35 + 6.70	7.80	左						
No. 35 + 13.30 ~ No. 37 + 10.90	37.30	左						
No. 32 + 14.40 ~ No. 33 + 0.00	5.60	右						
No. 33 + 3.00 ~ No. 33 + 12.60	9.60	右						
No. 33 + 19.20 ~ No. 34 + 5.40	6.20	右						
No. 34 + 14.40 ~ No. 35 + 13.60	19.20	右						
No. 35 + 19.00 ~ No. 36 + 1.40	2.40	右						
小 計	114.30 m		小 計	9.40 m		合 計	0.00 m	
			合 計			123.70 m		
縁石工B								
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 33 + 0.00 ~ No. 33 + 3.00	3.00	左						
No. 33 + 16.70 ~ No. 34 + 5.10	8.40	左						
No. 34 + 13.50 ~ No. 34 + 18.90	5.40	左						
No. 35 + 6.70 ~ No. 35 + 13.30	6.60	左						
No. 33 + 0.00 ~ No. 33 + 3.00	3.00	右						
No. 33 + 12.60 ~ No. 33 + 19.20	6.60	右						
No. 34 + 5.40 ~ No. 34 + 14.40	9.00	右						
No. 35 + 13.60 ~ No. 35 + 19.00	5.40	右						
No. 36 + 1.40 ~ No. 37 + 3.30	21.70	右						
合 計	69.10 m		合 計	0.00 m		合 計	0.00 m	
地先境界ブロックA			地先境界ブロックB					
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 32 + 13.60 ~ No. 33 + 16.10	22.50	左	No. 33 + 16.10 ~ No. 34 + 5.70	9.60	左			
No. 34 + 5.70 ~ No. 34 + 12.90	7.20	左	No. 34 + 12.90 ~ No. 34 + 19.50	6.60	左			
No. 34 + 19.50 ~ No. 35 + 6.10	5.60	左	No. 35 + 6.10 ~ No. 35 + 13.90	7.80	左			
No. 35 + 13.90 ~ No. 37 + 12.70	39.20	左	No. 33 + 12.00 ~ No. 33 + 19.80	7.80	右			
No. 32 + 14.40 ~ No. 33 + 12.00	17.60	右	No. 34 + 4.80 ~ No. 34 + 15.00	10.20	右			
No. 33 + 19.80 ~ No. 34 + 4.80	5.00	右	No. 35 + 13.00 ~ No. 35 + 19.60	6.60	右			
No. 34 + 15.00 ~ No. 35 + 13.00	18.00	右	No. 36 + 0.80 ~ No. 37 + 3.90	22.80	右			
No. 35 + 19.60 ~ No. 36 + 0.80	1.20	右						
No. 37 + 3.90 ~ No. 37 + 14.30	10.20	右						
合 計	126.50 m		合 計	71.40 m		合 計	0.00 m	

縁石工A(一般部) 数量計算書

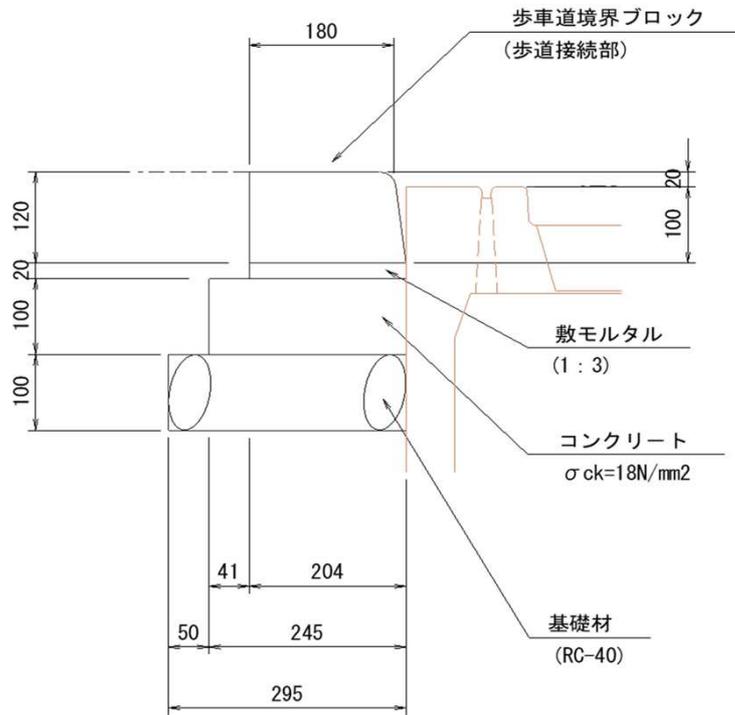
10m当り



種別(規格)	算式	数量
歩車道境界ブロック B種(180/205×250)	$L = 10.00$	m 10.00
敷モルタル (1:3)	$V = 0.210 \times 0.02 \times 10.00$	m <sup>3</sup> 0.04
基礎コンクリート ( $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ )	$V = 0.260 \times 0.10 \times 10.00$	m <sup>3</sup> 0.26
基礎型枠	$A = 0.10 \times 10.00$	m <sup>2</sup> 1.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.310 \times 10.00$	m <sup>2</sup> 3.10

縁石工B(車両乗入部,歩道接続部) 数量計算書

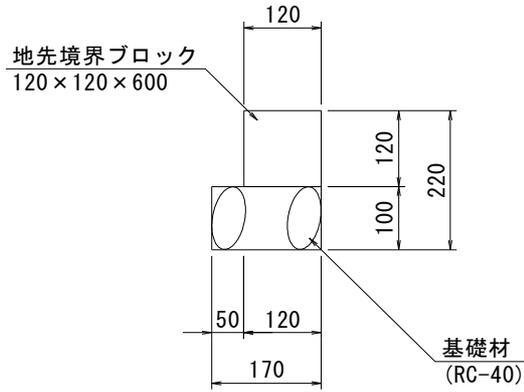
10m当り



種別(規格)	算式	数量
歩車道境界ブロック (車両乗入部,歩道接続部)	$L = 10.00$	m 10.00
敷モルタル (1:3)	$V = 0.204 \times 0.02 \times 10.00$	m <sup>3</sup> 0.04
基礎コンクリート ( $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ )	$V = 0.245 \times 0.10 \times 10.00$	m <sup>3</sup> 0.25
基礎型枠	$A = 0.10 \times 10.00$	m <sup>2</sup> 1.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.295 \times 10.00$	m <sup>2</sup> 2.95

地先境界ブロックA 数量計算書

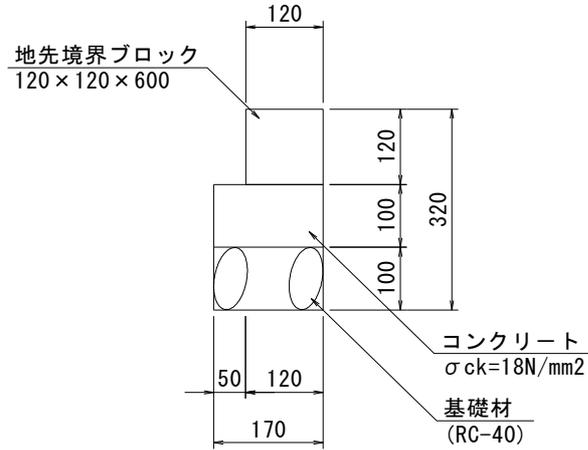
10m当り



種別(規格)	算式	数量
地先境界ブロック 120×120×600	$L = 10.00$	m 10.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.17 \times 10.00$	m <sup>2</sup> 1.70

地先境界ブロックB 数量計算書

10m当り



種別(規格)	算式	数量
地先境界ブロック 120×120×600	$L = 10.00$	m 10.00
基礎コンクリート ( $\sigma_{ck}=18N/mm^2$ )	$V = 0.17 \times 0.10 \times 10.00$	m <sup>3</sup> 0.17
基礎型枠	$A = 0.10 \times 10.00 \times 2$	m <sup>2</sup> 2.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.17 \times 10.00$	m <sup>2</sup> 1.70

## § 6. 区画線工



# 区画線 数量計算書

種別(規格)	算 式	数 量
<b>溶解式区画線</b> 白色・矢印・記号・文字 (W=15cm換算)	矢印	
	直進(実線)	
	N = 2.0 箇所	
	L = 2.0 × 6.25 = 12.50 m	
	直進左折(実線)	
	N = 2.0 箇所	
	L = 2.0 × 8.91 = 17.82 m	
	右折(実線)	
	N = 2.0 箇所	
	L = 2.0 × 6.66 = 13.32 m	
	右折(破線)	
	N = 2.0 箇所	
	L = 2.0 × 5.66 = 11.32 m	

54.96 m

区画線工延長調書(1)

溶融式区画線 白色・実線 W=15cm			溶融式区画線 白色・実線 W=20cm			溶融式区画線 白色・破線 W=15cm		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 35 + 17.60 ～ No. 37 + 7.60	30.00	境界線 左	No. 33 + 3.00 ～ No. 37 + 7.60	84.70	中央線	No. 33 + 3.00 ～ No. 35 + 17.60	24.70	境界線 左
No. 35 + 17.60 ～ No. 37 + 7.60	30.00	境界線 左				No. 37 + 8.60 ～ No. 37 + 13.60	6.10	境界線 左
No. 32 + 16.70 ～ No. 33 + 0.00	3.30	外側線 左				No. 32 + 14.40 ～ No. 32 + 19.40	6.00	境界線 右
No. 33 + 3.00 ～ No. 37 + 10.10	87.30	外側線 左				No. 34 + 15.00 ～ No. 37 + 5.10	25.00	境界線 右
No. 37 + 13.70 ～ No. 37 + 13.80	4.70	外側線 左						
No. 33 + 5.50 ～ No. 34 + 15.00	29.60	境界線 右						
No. 33 + 5.50 ～ No. 34 + 15.00	29.60	境界線 右						
No. 32 + 14.40 ～ No. 33 + 0.00	5.60	外側線 右						
No. 33 + 3.00 ～ No. 37 + 11.70	88.40	外側線 右						
合 計	308.50 m		合 計	84.70 m		合 計	61.80 m	
溶融式区画線 白色・ゼブラ W=45cm			白色・矢印 直進(実線)			白色・矢印 直進左折(実線)		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 33 + 0.00 ～ No. 33 + 3.00	48.00	横断歩道	No. 33 + 7.50 ～ No. 34 + 15.00	2.00	右	No. 33 + 7.50 ～ No. 34 + 15.00	2.00	右
No. 37 + 13.60	1.50	停止線 左						
No. 32 + 14.40	1.50	停止線 右						
No. 33 + 5.00	8.50	停止線 右						
合 計	59.50 m		合 計	2.00 箇所		合 計	2.00 箇所	
白色・矢印 右折(実線)			白色・矢印 右折(破線)					
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 33 + 7.50 ～ No. 34 + 15.00	2.00	右	No. 35 + 17.60 ～ No. 37 + 5.10	2.00	左			
合 計	2.00 箇所		合 計	2.00 箇所		合 計	0.00 箇所	

## § 7. 道路付属施設工



道路附属施設工延長調書

車線分離標			点状タイル					
測 点	個 数	摘要	測 点	個 数	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 33 + 5.00 ~ No. 37 + 7.60	29.00		No. 32 + 13.80 ~ No. 32 + 15.30	5.00	左			
			No. 33 + 0.00 ~ No. 33 + 3.00	10.00	左			
			No. 37 + 11.30 ~ No. 37 + 12.80	4.00	左			
			No. 33 + 0.00 ~ No. 33 + 3.00	10.00	右			
			No. 37 + 12.90 ~ No. 37 + 14.70	4.00	右			
合 計	29.00 本		合 計	33.00 枚		合 計	0.00 m	
車線分離標			点状タイル					
測 点	個 数	摘要	測 点	個 数	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	0.00 枚		合 計	0.00 枚		合 計	0.00 m	
車線分離標			点状タイル					
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	0.00 m		合 計	0.00 m		合 計	0.00 m	

## § 8. 構造物撤去工

## 構 造 物 撤 去 工 数 量 集 計 表 (1)

種 別	細 別	規 格	単位	数 量		摘 要
				当 初	変 更	
防護柵撤去工						
	防護柵撤去	転落防止柵	m	46.0		
道路付属物撤去工						
	車線分離標		本	2.0		
構造物取壊し工						
	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m <sup>3</sup>	26.2		
	舗装版切断	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m	210.0		
	舗装版破碎	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m <sup>2</sup>	389.8		m <sup>3</sup> 24.0
排水構造物撤去工						
	蓋版撤去	グレーチング蓋 500×650×50	枚	1.0		グレーチング比重2793.3 45kg
	蓋版撤去	グレーチング蓋 800×650×50	枚	1.0		73kg
	蓋版撤去	グレーチング蓋 1000×650×50	枚	9.0		91kg
	蓋版撤去	グレーチング蓋 1000×650×60	枚	4.0		109kg
	蓋版撤去	コンクリート蓋 300×700×100	枚	1.0		コンクリート比重2500 53kg
	蓋版撤去	コンクリート蓋 500×700×100	枚	4.0		88kg
	蓋版撤去	コンクリート蓋 600×700×100	枚	26.0		105kg
	蓋版撤去	コンクリート蓋 680×730×150	枚	10.0		186kg
	蓋版撤去	コンクリート蓋 800×700×100	枚	1.0		140kg
	蓋版撤去	縞鋼板 350×800×5	枚	0.28m <sup>2</sup> 1.0	} 縞鋼板面積 合計 60.96m <sup>2</sup>	
	蓋版撤去	縞鋼板 500×800×5	枚	0.40m <sup>2</sup> 1.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 550×600×5	枚	0.33m <sup>2</sup> 2.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 700×800×5	枚	0.56m <sup>2</sup> 1.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 750×750×5	枚	0.56m <sup>2</sup> 1.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 850×550×5	枚	0.47m <sup>2</sup> 1.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 930×600×5	枚	0.56m <sup>2</sup> 17.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 1000×700×5	枚	0.7m <sup>2</sup> 3.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 1200×700×5	枚	0.84m <sup>2</sup> 1.0		
	蓋版撤去	縞鋼板 1200×800×5	枚	0.96m <sup>2</sup> 5.0		



構造物撤去工延長調書

転落防止柵			車線分離標					
測 点	延 長	摘 要	測 点	個 数	摘 要	測 点	延 長	摘 要
No. 36 + 0.30 ~ No. 37 + 12.50	32.00	左	No. 32 + 14.90 ~ No. 32 + 17.20	2.00				
No. 35 + 18.90 ~ No. 36 + 1.10	4.00	右						
No. 37 + 3.50 ~ No. 37 + 14.50	10.00	右						
合 計	46.00 m		合 計	2.00 本		合 計	0.00 m	
測 点	個 数	摘 要	測 点	個 数	摘 要	測 点	延 長	摘 要
合 計	0.00 本		合 計	0.00 本		合 計	0.00 m	
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
合 計	0.00 m		合 計	0.00 m		合 計	0.00 m	

## 構 造 物 撤 去 工 数 量 計 算 書

種別(規格)	算 式	数 量
コンクリート構造物取壊し (無筋構造物)	コンクリート 断面計算書	m <sup>3</sup>
	V = 26.20 =	<u>26.2</u>
舗装版切断 アスファルト舗装版 t ≤ 15cm (アスファルト t=15cm)	撤去工平面図より	m
	L = 107.00 + 103.00 = 210.00 m	<u>210.0</u>
舗装版破碎 アスファルト舗装版 t ≤ 15cm (アスファルト t=15cm)	舗装版破碎 断面計算書	
	A = 76.20 m <sup>2</sup> V = 76.20 × 0.15 = 11.43 m <sup>3</sup>	
(アスファルト t=4cm)	舗装版破碎 断面計算書	
	A = 313.60 m <sup>2</sup> V = 313.60 × 0.04 = 12.54 m <sup>3</sup>	
	Σ A = 76.20 + 313.60 = 389.80 m <sup>2</sup> =	m <sup>2</sup> <u>389.8</u>
	Σ V = 11.43 + 12.54 = 23.97 m <sup>3</sup> =	m <sup>3</sup> <u>24.0</u>

# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

構造物撤去工 計算書									
コンクリート構造物取壊し(無筋構造物)								NO.	1
測点	距離	当初			測点	距離	変更		
		断面長	平均	体積 面積			断面長	平均	体積 面積
No.32 +10.000		0.20							
No.33	5.500	0.20	0.200	1.10					
No.34	20.000	0.20	0.200	4.00					
No.35	20.000	0.20	0.200	4.00					
No.35 +10.000	10.000	0.20	0.200	2.00					
No.36	10.000	0.20	0.200	2.00					
KA1-1	2.047	0.20	0.200	0.40					
No.37	17.953	0.20	0.200	3.60					
No.37 +17.000	15.500	0.20	0.200	3.10					
信号柱部取壊し	0.6×10			6.00					
合計	101.000			26.2	合計				
				m3					m3



# 数量計算書

工事名:  
箇所名:

構造物撤去工 計算書									
アスファルト舗装版破碎 (t=4cm)								NO. 1	
測 点	距 離	左側			測 点	距 離	右側		
		断 面 法 長	平 均	体 積 面 積			断 面 法 長	平 均	体 積 面 積
No.32 +10.000		1.60			No.32 +10.000		1.50		
No.33	5.000	1.60	1.600	8.00	No.33	6.000	1.50	1.500	9.00
No.34	20.000	1.60	1.600	32.00	No.34	20.000	1.60	1.550	31.00
No.35	20.000	1.60	1.600	32.00	No.35	20.000	1.60	1.600	32.00
No.35 +10.000	10.000	1.60	1.600	16.00	No.35 +10.000	10.000	1.60	1.600	16.00
No.36	10.000	1.60	1.600	16.00	No.36	10.000	1.60	1.600	16.00
KA1-1	2.047	1.60	1.600	3.30	KA1-1	2.047	1.70	1.650	3.40
No.37	17.953	1.60	1.600	28.70	No.37	17.953	1.60	1.650	29.60
No.37 +17.000	12.000	1.60	1.600	19.20	No.37 +17.000	13.400	1.60	1.600	21.40
合 計	97.000			m2 155.2	合 計	99.400			m2 158.4
左+右 合計									m2 313.6



## §9. 道路付属物工 (信号等移設)

# 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
大門町二丁目(北)交差点							
信号柱等移設				式	1.0		
	① 県警(1)号柱 撤去						
		信号柱撤去	C P 9-14-500	基	1.0	1	箇所 a
		制御機撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 1
		D型配電盤撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 2
		車両用灯器撤去	再利用 横三位両面用L=2.0	台	1.0	1	箇所 5
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 9
	① 県警(1)号柱 設置						
		信号柱設置	STK φ 190.7*5.3*9000L 直管 制御機架台加工	基	1.0	1	箇所 A
		接地設置	D種接地	極	1.0	1	箇所 A
		制御機設置	再利用	台	1.0	1	箇所 1'
		D型配電盤設置	再利用	台	1.0	1	箇所 2'
		車両用灯器設置	再利用 横三位両面用L=2.5	台	1.0	1	箇所 5'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 9'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 A
	② 県警(2)号柱 撤去						
		信号柱撤去	CP9-14-500	基	1.0	1	箇所 b
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 3
		〃	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 7
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 10
	② 県警(2)号柱 設置						
		信号柱設置	STK φ 190.7*5.3*9000L 直管	基	1.0	1	箇所 B
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 3'
		〃	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 7'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 10'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 B
	③ 県警(3)号柱 撤去						
		信号柱撤去	CP9-14-500	基	1.0	1	箇所 c
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=2.0	台	1.0	1	箇所 4
		〃	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 8
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 12

## 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
	③ 県警(3)号柱 設置						
		信号柱設置	STK φ190.7*5.3*9000L 直管	基	1.0	1	箇所 C
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 4'
		"	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 8'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 12'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 C
	④ 中電柱皿山連絡4 撤去						
		信号柱撤去	歩行者用灯器 自立式	台	1.0	1	箇所 11
		車両用灯器撤去	再利用 横三位両面用L=2.0	台	1.0	1	箇所 6
		歩行者用灯器撤去	再利用 自立式	台	1.0	1	箇所 11
	⑤ NTT柱北浜(三)11L8 撤去						
		超音波式車両感知器撤去	車両感知器再利用+超音波ヘッド撤去 2車線用 L=6.0	台	1.0	1	箇所 13
	④ 中電柱皿山連絡4 設置						
		車両用灯器設置	再利用 横三位両面用L=4.0	台	1.0	1	箇所 6'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 11'
		超音波式車両感知器設置	車両感知器再利用+超音波ヘッド新品 2車線用 L=9.0	台	1.0	1	箇所 13'
通信ケーブル							
	通信ケーブル配線撤去						
		通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(SSS)(2*4C)撤去 外径20mm以下	径間	2.0	2	
		"	CVV-SSD(SSS)(2*6C)撤去 外径30mm以下	径間	2.0	2	
		"	CVV-SSD(SSS)(2*12C)撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS)(2*20C)撤去 外径40mm以下	径間	2.0	2	
	通信ケーブル配線設置						
		通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(SSS)(2*6C)設置 外径30mm以下	径間	4.0	4	
		"	CVV-SSD(SSS)(2*8C)設置 外径30mm以下	径間	2.0	2	
		"	CVV-SSD(SSS)(2*20C)設置 外径40mm以下	径間	3.0	3	
	通信ケーブル(中間接続)						
		通信ケーブル(中間接続)撤去	6T撤去	箇所	1.0	1	
		"	12P撤去	箇所	1.0	1	
		"	20P撤去	箇所	1.0	1	
		"	20T撤去	箇所	1.0	1	

# 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
		"	15P撤去	箇所	1.0	1	
		通信ケーブル(中間接続)設置	20T設置	箇所	3.0	3	
		"	12T設置	箇所	1.0	1	
大門町二丁目中交差点							
信号移設							
	① 県警(1)号柱 撤去						
		信号柱撤去	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	基	1.0	1	箇所 a
		制御機撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 1
		D型配電盤撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 2
		車両用灯器撤去	再利用 横三位両面用L=2.0	台	1.0	1	箇所 4
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 6, 7
	① 県警(1)号柱 設置						
		信号柱設置	STKφ190.7*5.3*9000L 直管 制御機架台加工	基	1.0	1	箇所 A
		接地設置	D種接地	極	1.0	1	箇所 A
		制御機設置	再利用	台	1.0	1	箇所 1'
		D型配電盤設置	再利用	台	1.0	1	箇所 2'
		車両用灯器設置	再利用 横三位両面用L=4.0	台	1.0	1	箇所 4'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 6', 7'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 A
	② 県警(2)号柱 撤去						
		信号柱撤去	STKφ165.2*5.0*9000L 直管	基	1.0	1	箇所 b
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 8, 9
	② 県警(2)号柱 設置						
		信号柱設置	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	基	1.0	1	図面 B
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 8', 9'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 B
	③ 県警(3)号柱 撤去						
		信号柱撤去	STKφ165.2*5.0*9000L 直管	基	1.0	1	箇所 c
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 3
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 12, 13
	③ 県警(3)号柱 設置						

# 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
		信号柱設置	STK φ 165.2*5.0*9000L 直管	基	1.0	1	箇所 C
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 3'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 12', 13'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 C
	④ NTT柱北浜(三) 11L3撤去						
		車両用灯器撤去	再利用 横三位両面式L=2.0	台	1.0	1	箇所 5
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 10, 11
	④ NTT柱北浜(三) 11L3設置						
		車両用灯器設置	再利用 横三位両面式L=4.0	台	1.0	1	箇所 5'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	2.0	2	箇所 10', 11'
	⑤ 中電柱皿山連絡8撤去						
		超音波式車両感知器撤去	車両感知器再利用+超音波ヘッド撤去 1車線用 L=5.5	台	1.0	1	箇所 14
	⑤ 中電柱皿山連絡8設置						
		超音波式車両感知器設置	車両感知器再利用+超音波ヘッド新品 1車線用 L=8.0	台	1.0	1	箇所 14'
通信ケーブル							
		通信ケーブル配線撤去					
		通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(SSS) (2*4C) 撤去 外径20mm以下	径間	7.0	7	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*12C) 撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*15C) 撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*20C) 撤去 外径40mm以下	径間	1.0	1	
		通信ケーブル配線設置					
		通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(SSS) (2*4C) 設置 外径20mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*8C) 設置 外径30mm以下	径間	4.0	4	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*12C) 設置 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*15C) 設置 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*20C) 設置 外径40mm以下	径間	1.0	1	
	通信ケーブル(中間接続)						
		通信ケーブル(中間接続)撤去	4T撤去	箇所	1.0	1	
		"	12T撤去	箇所	2.0	2	
		"	20T撤去	箇所	2.0	2	
		通信ケーブル(中間接続)設置	8T設置	箇所	1.0	1	
		"	12T設置	箇所	1.0	1	
		"	20T設置	箇所	3.0	3	

# 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
大門町二丁目交差点							
信号移設							
	① 県警(1)号柱 撤去						
		信号柱撤去	CP9-19-500	基	1.0	1	箇所 a
		制御機撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 1
		A型配電盤撤去	撤去	台	1.0	1	箇所 d
		車両用灯器撤去	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 4
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 6
	① NTT柱柱番号不明設置						
		車両用灯器設置	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 4'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 6'
	② 県警(2)号柱 撤去						
		信号柱撤去	CP9-19-500	基	1.0	1	箇所 b
		車両用灯器撤去	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 5
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 8
	② 県警(2)号柱 設置						
		信号柱設置	STK φ190.7*5.3*9000L 直管 制御機架台加工	基	1.0	1	箇所 A
		接地設置	D種接地	極	1.0	1	箇所 A
		制御機設置	再利用	台	1.0	1	箇所 1'
		D型配電盤設置	支給品	台	1.0	1	箇所 B
		車両用灯器設置	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 5'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 8'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 A
	③ NTT柱北派(三)11L3R3撤去						
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 3
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 9
	③ NTT柱北派(三)11L3R3設置						
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=4.0	台	1.0	1	箇所 3'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 9'
通信ケーブル							
	通信ケーブル配線撤去						
		通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(SSS) (2*4C) 撤去 外径20mm以下	径間	5.0	5	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*12C) 撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*20C) 撤去 外径40mm以下	径間	1.0	1	

## 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
	通信ケーブル配線設置						
		通信ケーブル配線設置	CVV-SSD (SSS) (2*4C) 設置 外径20mm以下	径間	4.0	4	
		〃	CVV-SSD (SSS) (2*12C) 設置 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		〃	CVV-SSD (SSS) (2*20C) 設置 外径40mm以下	径間	1.0	1	
	通信ケーブル (中間接続)						
		通信ケーブル (中間接続) 撤去	20T撤去	箇所	1.0	1	
		〃	30T撤去	箇所	1.0	1	
		通信ケーブル (中間接続) 設置	20T設置	箇所	1.0	1	
		〃	30T設置	箇所	1.0	1	
大門町三丁目交差点							
信号移設							
	① 県警 (1) 号柱 撤去						
		信号柱撤去	CP9-14-500	基	1.0	1	箇所 a
		制御機撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 1
		D型配電盤撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 2
		車両用灯器撤去	再利用 横三位両面式L=3.5	台	1.0	1	箇所 5
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 9
	① 県警 (1) 号柱 設置						
		信号柱設置	STK φ190.7*5.3*9000L 直管 制御機架台加工	基	1.0	1	箇所 A
		接地設置	D種接地	極	1.0	1	箇所 A
		制御機設置	再利用	台	1.0	1	箇所 1'
		D型配電盤設置	再利用	台	1.0	1	箇所 2'
		車両用灯器設置	再利用 横三位両面式L=4.0	台	1.0	1	箇所 5'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 9'
		路上標識	駐車禁止・最高速度 標識 電柱取付	枚	2.0	2	箇所 13', 14'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 A
	② 県警 (2) 号柱 撤去						
		信号柱撤去	CP9-14-500	基	1.0	1	箇所 b
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=2.0	台	1.0	1	箇所 3
		車両用灯器撤去	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 7
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 10
	② 県警 (2) 号柱 設置						
		信号柱設置	STK φ190.7*5.3*9000L 曲管	基	1.0	1	箇所 B

# 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 3'
		車両用灯器設置	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 7'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 10'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 B
	③ NTT柱 津下B (三) 3 外撤去						
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=2.0	台	1.0	1	箇所 4
		車両用灯器撤去	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 8
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 12
	③ NTT柱 津下B (三) 3 外設置						
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=2.5	台	1.0	1	箇所 4'
		車両用灯器設置	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 8'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 12'
	④ NTT柱 北浜 (三) 11L3R6 撤去						
		車両用灯器撤去	再利用 横三位両面式L=2.5	台	1.0	1	箇所 6
		歩行者用灯器撤去	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 11
	④ NTT柱 北浜 (三) 11L3R6 撤去						
		車両用灯器設置	再利用 横三位両面式L=4.0	台	1.0	1	箇所 6'
		歩行者用灯器設置	再利用 側柱式L=0.5	台	1.0	1	箇所 11'
	⑤ 標識柱・標識板撤去						
		標識柱撤去	STK φ 165.2×4.5支柱 STK φ 101.6×4.2梁材	基	1.0	1	箇所 c
		標識板撤去	規制標識	枚	2.0	2	箇所 13,14
通信ケーブル							
	通信ケーブル配線撤去						
		通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD (SSS) (2*4C) 撤去 外径20mm以下	径間	1.0	1	
		〃	CVV-SSD (SSS) (2*12C) 撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		〃	CVV-SSD (SSS) (2*15C) 撤去 外径40mm以下	径間	1.0	1	
		〃	CVV-SSD (SSS) (2*20C) 撤去 外径40mm以下	径間	1.0	1	
	通信ケーブル配線設置						
		通信ケーブル配線設置	CVV-SSD (SSS) (2*12C) 設置 外径30mm以下	径間	2.0	2	
		〃	CVV-SSD (SSS) (2*20C) 設置 外径40mm以下	径間	1.0	1	
	通信ケーブル (中間接続)						
		通信ケーブル (中間接続) 撤去	4P撤去	箇所	1.0	1	
		〃	12T撤去	箇所	1.0	1	
		〃	15P撤去	箇所	1.0	1	

# 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
		"	20P撤去	箇所	1.0	1	
		"	20T撤去	箇所	1.0	1	
		通信ケーブル(中間接続)設置	12T設置	箇所	2.0	2	
		"	20T設置	箇所	2.0	2	
大門町三丁目(西)交差点							
信号移設							
	① 県警(1)号柱 撤去						
		信号柱撤去	STKφ190.7×5.3×9000L 撤去	基	1.0	1	箇所 a
		制御機撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 1
		D型配電盤撤去	再利用	台	1.0	1	箇所 2
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=1.5	台	1.0	1	箇所 3
	① 県警(1)号柱 設置						
		信号柱設置	STKφ190.7*5.3*9000L 直管 制御機架台加工	基	1.0	1	箇所 A
		接地設置	D種接地	極	1.0	1	箇所 A
		制御機設置	再利用	台	1.0	1	箇所 1'
		D型配電盤設置	再利用	台	1.0	1	箇所 2'
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=4.0	台	1.0	1	箇所 3'
		コンクリート基礎		箇所	1.0	1	箇所 A
	② NTT柱津FB(三)6撤去						
		車両用灯器撤去	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 5
		照明灯具撤去	再利用 自動点滅器内蔵型	台	1.0	1	箇所 B
	② NTT柱津FB(三)6設置						
		車両用灯器設置	再利用 縦三位L=0.5	台	1.0	1	箇所 5'
		照明灯具設置	再利用 自動点滅器内蔵型	台	1.0	1	箇所 B'
	③ NTT柱津FA(二)3撤去						
		車両用灯器撤去	再利用 横三位L=1.5	台	1.0	1	箇所 4
	③ NTT柱津FA(二)3設置						
		車両用灯器設置	再利用 横三位L=4.0	台	1.0	1	箇所 4'
	④ NTT柱津FA(二)2撤去						
		路上標識	規制標識	枚	2.0	2	箇所 6, 7
	④ NTT柱津FA(二)2設置						
		路上標識	規制標識	枚	2.0	2	箇所 6', 7'

## 信号等移設数量総括表

工事区分: 道路改良

工事名:

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					計算数量	積算数量	
通信ケーブル							
	通信ケーブル配線撤去						
		通信ケーブル配線撤去	CVV-SSD(SSS) (2*4C) 撤去 外径20mm以下	径間	3.0	3	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*8C) 撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*12C) 撤去 外径30mm以下	径間	1.0	1	
	通信ケーブル配線設置						
		通信ケーブル配線設置	CVV-SSD(SSS) (2*4C) 設置 外径20mm以下	径間	2.0	2	
		"	CVV-SSD(SSS) (2*12C) 設置 外径30mm以下	径間	2.0	2	
	通信ケーブル (中間接続)						
		通信ケーブル (中間接続) 撤去	8P撤去	箇所	1.0	1	
		"	8T撤去	箇所	1.0	1	
		"	30T設置	箇所	1.0	1	
		通信ケーブル (中間接続) 設置	12T設置	箇所	2.0	2	
		"	20T設置	箇所	1.0	1	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
	<b>1. 大門町2丁目(北)交差点</b>				
	<i>機器費</i>				
	7°ロケラム多段式制御機		1.0	基	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-ΔL=2.0まで	3.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-ΔL=2.5	1.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	背面用300mm 可変金具付	2.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	縦三位300mm 7-ΔL=0.5	2.0	灯	既存
	U型歩行者用灯器（クラス2）	シルエット側柱式 L=1.0迄（アルミ製）	2.0	灯	既存
	U型歩行者用灯器（クラス2）	シルエット側柱式 L=1.0迄（アルミ製）	1.0	灯	撤去
	U型歩行者用灯器（クラス2）	シルエット自立式 1灯型（スタンド、フッカー付）	1.0	灯	撤去
	C型超音波式車両感知器	2車線用（分離型）7-Δ6.0m	1.0	基	既存
	押ボタン箱	LED I 型 側柱式	4.0	個	撤去
○	感知器用ヘッド	20mケーブル付	1.0	式	
	配電盤	D型鉄製函 NFB付	1.0	面	既存
	<i>材料費</i>				
	信号柱（コンクリート柱）	CP9-14-500	3.0	本	撤去
○	信号柱（鋼管柱）	STK φ190.7*5.3*9000L 直管	2.0	本	
○	信号柱（鋼管柱）-制御機架台用-	STK φ190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	
○	制御機用架台	鋼管柱STK φ190.7用	1.0	組	
○	鋼管柱加工費	制御機架台取付加工	1.0	式	
○	鋼管柱耐食塗装費	直管 φ165.2~216.3 高さ400mm	3.0	式	
○	端子函（屋外用差込式）	12T	1.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	6T	1.0	個	撤去
	端子函（ポット型）	12P	1.0	個	撤去
	端子函（ポット型）	15P	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	20T	3.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	20T	1.0	個	撤去
	端子函（ポット型）	20P	1.0	個	撤去
○	600Vビニル絶縁電線（撚り線）	IV 2.0 SQ	14.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-3C	14.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-4C	60.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-6C	7.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-20C	8.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	70.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-6C	124.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-6C	43.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-8C	72.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	15.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	58.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	29.0	m	撤去
○	600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル	CV 5.5-2C	8.0	m	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
○	制御器接続チューブ	MC-13 L450 31コネクター付	1.0	組	
○	薄鋼電線管	19	4.0	m	
○	薄鋼電線管	31	4.0	m	
○	エントランスキャップ（薄鋼）	31	1.0	個	
○	ハブ留金物	KBP-25（19～26.5）	2.0	個	
○	ハブ留金物	KBP-40（33～42）	3.0	ヶ	
○	自在バンド（器具取付）	IBT-212	7.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-17（170～265）	5.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-23（230～325）	6.0	本	
○	ケーブル支持金物	SFT-208付	10.0	本	
○	ワイヤシングル	丸型（18mm）	11.0	個	
○	巻付ゲリッパ	シングル用（18mm2）	11.0	個	
○	吊架金具	丸ミ付	3.0	個	
○	PEアースランプ		1.0	個	
○	車両灯器用アーム	L=2.0 主、補助アーム、ターンバックル付	1.0	組	
○	車両灯器用アーム	L=4.0 主、補助アーム、ターンバックル付	2.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TUBP/L-3 φ190.7用	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-SP19/φ190	2.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP25/φ250-φ310	1.0	組	
○	縦三位用アーム取付バンド	TUBP/L3*2 φ190.7用	2.0	組	
○	振止金具	STK用	1.0	組	
○	振止金具	CP用	1.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-2S 170～220	2.0	組	
○	車両感知機用アーム	L=9.0 振れ止め金具、バンド付	1.0	組	
○	車両感知機用取付バンド	TSABD-CP25	1.0	組	
○	車灯固定金具	片面用	1.0	組	
○	車灯角度調整金具	両面用	2.0	組	
○	道路標識取付金具	アーム取付 φ900*2	1.0	組	
	機種名板	灯具取付 200*1200	4.0	枚	撤去
	交差点名板	アーム取付 400*1150 カルシート	2.0	枚	既存
○	電柱札	鋼管柱用	3.0	枚	
○	ケーブル標示札	県警名入	11.0	枚	
○	鋼管柱用反射シート	HPステッカー（マーク入）鋼管柱用	3.0	枚	
○	接地棒	丸型 E-B3 φ10×1000（土工なし）	2.0	本	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
	<b>2. 大門町2丁目中交差点</b>				
	<i>機器費</i>				
	7°ロケラム多段式制御機		1.0	基	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-4L=2.0まで	2.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-4L=2.5	1.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	背面用300mm 可変金具付	2.0	灯	既存
	U型歩行者用灯器（クラス2）	シルエット側柱式 L=1.0迄（アルミ製）	8.0	灯	既存
	C型超音波式車両感知器	1車線用（分離型）7-45.5m	1.0	基	既存
○	感知器用ヘッド	20mケーブル付	1.0	式	
	配電盤	D型鉄製函 NFB付	1.0	面	既存
	<i>材料費</i>				
○	信号柱（鋼管柱）	STKφ165.2*5.0*9000L 直管	1.0	本	
	信号柱（鋼管柱）	STKφ165.2*5.0*9000L 直管	2.0	本	撤去
○	信号柱（鋼管柱）	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	
	信号柱（鋼管柱）	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	撤去
○	信号柱（鋼管柱）-制御機架台用-	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	
○	制御機用架台	鋼管柱STKφ190.7用	1.0	組	
○	鋼管柱加工費	制御機架台取付加工	1.0	式	
○	鋼管柱耐食塗装費	直管φ165.2~216.3 高さ400mm	3.0	式	
	端子函（ポット型）	4T	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	8T	1.0	個	
○	端子函（屋外用差込式）	12T	1.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	12T	2.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	20T	3.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	20T	2.0	個	撤去
○	600Vビニル絶縁電線（撚り線）	IV 2.0 SQ	14.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-3C	56.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-4C	37.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-20C	8.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	23.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	222.0	m	撤去
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-8C	164.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	20.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	14.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-15C	25.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-15C	16.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	23.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	21.0	m	撤去
○	600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル	CV 5.5-2C	8.0	m	
○	制御器接続ケーブル	MC-13 L450 31コネクタ付	1.0	組	
○	薄鋼電線管	19	4.0	m	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
○	薄鋼電線管	31	4.0	m	
○	エントランスキャップ（薄鋼）	31	1.0	個	
○	ハイ留金物	KBP-25（19～26.5）	2.0	個	
○	ハイ留金物	KBP-40（33～42）	3.0	ヶ	
○	自在バンド（器具取付）	IBT-212	7.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-17（170～265）	5.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-23（230～325）	4.0	本	
○	ケーブル支持金物	SFT-208付	10.0	本	
○	ワイヤシングル	丸型（18mm）	10.0	個	
○	巻付クリップ	シングル用（18mm2）	10.0	個	
○	スパイラルハンガー	L=1500	3.0	本	
○	柱間分岐金物	TWBC-1	1.0	個	
○	吊架金具	丸ミ付	2.0	個	
○	PEアースランプ		1.0	個	
○	車両灯器用アーム	L=4.0 主、補助アーム、ターンバックル付	2.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TUBP/L-2 φ165.2用	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-SP19/φ190	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP25/φ250-φ310	1.0	組	
○	振止金具	STK用	1.0	組	
○	振止金具	CP用	1.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-1S 140～170	1.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-2S 170～220	5.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-4S 260～330	2.0	組	
○	車両感知機用アーム	L=8.0 振れ止め金具、バンド付	1.0	組	
○	車両感知機用取付バンド	TSABD-CP25	1.0	組	
○	車灯角度調整金具	両面用	2.0	組	
○	道路標識取付金具	アーム取付 φ900*2	1.0	組	
	交差点名板	灯具取付 220*1100	2.0	枚	既存
○	電柱札	鋼管柱用	3.0	枚	
○	ケーブル標示札	県警名入	8.0	枚	
○	鋼管柱用反射シート	HPステッカー（マーク入）鋼管柱用	3.0	枚	
○	接地棒	丸型 E-B3 φ10×1000（土工なし）	2.0	本	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
	<b>3. 大門町2丁目交差点</b>				
	<i>機器費</i>				
	UC型交通信号制御機	警交仕規232号	1.0	基	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-4L=2.5	2.0	灯	既存
	U型歩行者用灯器（クラス2）	シレット側柱式 L=1.0迄（アルミ製）	4.0	灯	既存
	配電盤	A型鉄製函	1.0	面	撤去
	配電盤	D型鉄製函 NFB付 UCサイズ用	1.0	面	支給
	<i>材料費</i>				
	信号柱（コンクリート柱）	CP9-14-500	2.0	本	撤去
○	信号柱（鋼管柱）-制御機架台用-	STKφ190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	
○	制御機用架台	鋼管柱STKφ190.7用	1.0	組	
○	鋼管柱加工費	制御機架台取付加工	1.0	式	
○	鋼管柱耐食塗装費	直管φ165.2~216.3 高さ400mm	1.0	式	
	端子函（ポット型）	8P	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	12T	1.0	個	
	端子函（ポット型）	12P	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	20T	2.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	20T	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	30T	1.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	30T	1.0	個	撤去
○	600Vビニル絶縁電線（撚り線）	IV 2.0 SQ	6.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-3C	28.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-4C	40.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-30C	8.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	169.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	155.0	m	撤去
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-8C	19.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	23.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	16.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	44.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	18.0	m	撤去
○	600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル	CV 5.5-2C	8.0	m	
○	自在バンド（器具取付）	3BD-HD-17(170~260)	1.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-17(170~265)	4.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-23(230~325)	5.0	本	
○	ケーブル支持金物	SFT-208付	8.0	本	
○	ワイヤシッフル	丸型（18mm）	13.0	個	
○	巻付ケリッパ	シッフル用（18mm2）	13.0	個	
○	スパイラルハンガー	L=1500	4.0	本	
○	柱間分岐金物	TWBC-1	2.0	個	
○	吊架金具	丸ミ付	2.0	個	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
○	PEアースランプ		1.0	個	
○	車両灯器用アーム	L=4.0 主, 補助アーム, タンパックル付	2.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP19/φ190-φ260	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP25/φ250-φ310	1.0	組	
○	縦三位用アーム取付バンド	TUBP/L3*2 φ190.7用	2.0	組	
○	振止金具	CP用	2.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-2S 170~220	1.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-3S 220~270	2.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-4S 260~330	1.0	組	
○	車灯固定金具	片面用	2.0	組	
○	道路標識取付金具	アーム取付 φ900*2	1.0	組	
	路側式反射標識	φ450 1点支持	1.0	枚	既存
	交差点名板	灯具取付 220*1100	2.0	枚	既存
○	電柱札	鋼管柱用	1.0	枚	
○	ケーブル標示札	県警名入	11.0	枚	
○	鋼管柱用反射シート	HPステッカー（マーク入）鋼管柱用	1.0	枚	
○	接地棒	丸型 E-B3 φ10×1000（土工なし）	1.0	本	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
	<b>4. 大門町3丁目交差点</b>				
	<i>機器費</i>				
	7°ロケラム多段式制御機		1.0	基	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-4L=2.0まで	2.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-4L=2.5	1.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7-4L=3.5	1.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	背面用300mm 可変金具付	2.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	縦三位300mm 7-4L=0.5	2.0	灯	既存
	U型歩行者用灯器（クラス2）	シレット側柱式 L=1.0迄（アルミ製）	4.0	灯	既存
	配電盤	D型鉄製函 NFB付	1.0	面	既存
	<i>材料費</i>				
	信号柱（コンクリート柱）	CP9-14-500	2.0	本	撤去
○	信号柱（鋼管柱）	STKφ190.7*5.3*9000L 曲管	1.0	本	
○	信号柱（鋼管柱）-制御機架台用-	STKφ216.3-5.8t-9000L 直管	1.0	本	
○	制御機用架台	鋼管柱STKφ216.3用	1.0	組	
○	鋼管柱加工費	制御機架台取付加工	1.0	式	
○	鋼管柱耐食塗装費	直管φ165.2~216.3 高さ400mm	2.0	式	
	端子函（ポット型）	4P	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	12T	3.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	12T	1.0	個	撤去
	端子函（ポット型）	15P	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	20T	1.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	20T	1.0	個	撤去
	端子函（ポット型）	20P	1.0	個	撤去
○	600Vビニル絶縁電線（撚り線）	IV 2.0 SQ	6.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-3C	28.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-4C	40.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV 2.0-20C	8.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	66.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-4C	68.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	31.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-12C	14.0	m	撤去
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-15C	14.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	24.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV-SSD 2.0-20C	18.0	m	撤去
○	600V架橋PE絶縁ビニルシースケーブル	CV 5.5-2C	8.0	m	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-17（170~265）	5.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-23（230~325）	2.0	本	
○	ケーブル支持金物	SFT-208付	8.0	本	
○	ワイヤシンプル	丸型（18mm）	8.0	個	
○	巻付グリッパ	シンプル用（18mm2）	8.0	個	

# 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
○	PEアースランプ		1.0	個	
○	車両灯器用アーム	L=3.0 主, 補助アーム, タンパックル付	1.0	組	
○	車両灯器用アーム	L=4.0 主, 補助アーム, タンパックル付	2.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TUBP/L-3 φ190.7用	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-SP21/φ216	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP19/φ190-φ260	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP25/φ250-φ310	1.0	組	
○	縦三位用アーム取付バンド	TUBS/L3*2 CP φ190-φ260	1.0	組	
○	縦三位用アーム取付バンド	TUBP/L3*2 φ190.7用	1.0	組	
○	振止金具	STK用	1.0	組	
○	振止金具	CP用	2.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-2S 170~220	1.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-3S 220~270	2.0	組	
○	歩行者灯器用アーム取付バンド	TSBD-4S 260~330	1.0	組	
○	車灯固定金具	片面用	1.0	組	
○	車灯角度調整金具	両面用	2.0	組	
○	道路標識取付金具	アーム取付 φ900*2	1.0	組	
	反射式路上標識	アーム取付 φ900*2	1.0	式	既存
	交差点名板	アーム取付 400*1150 カルシート	2.0	枚	既存
○	電柱札	鋼管柱用	2.0	枚	
○	ケーブル標示札	県警名入	5.0	枚	
○	鋼管柱用反射シート	HPステッカー（マーク入）鋼管柱用	2.0	枚	
○	接地棒	丸型 E-B3 φ10×1000（土工なし）	1.0	本	

# 材 料 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
	<b>4. 大門町3丁目（西）交差点</b>				
	<i>機器費</i>				
	UC型交通信号制御機	警交仕規232号	1.0	基	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	横三位300mm 7- $\Delta$ L=2.0まで	2.0	灯	既存
	U型車両用灯器（クラス2）	縦三位300mm 7- $\Delta$ L=0.5	1.0	灯	既存
	配電盤	D型鉄製函 NFB付	1.0	面	既存
	<i>材料費</i>				
	信号柱（鋼管柱）	STK $\phi$ 165.2*5.0*9000L 直管	1.0	本	撤去
	信号柱（鋼管柱）	STK $\phi$ 190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	撤去
○	信号柱（鋼管柱）-制御機架台用-	STK $\phi$ 190.7*5.3*9000L 直管	1.0	本	
○	制御機用架台	鋼管柱STK $\phi$ 190.7用	1.0	組	
○	鋼管柱加工費	制御機架台取付加工	1.0	式	
○	鋼管柱耐食塗装費	直管 $\phi$ 165.2~216.3 高さ400mm	1.0	式	
	端子函（ポット型）	8P	1.0	個	撤去
	端子函（屋外用差込式）	8T	1.0	個	撤去
○	端子函（屋外用差込式）	12T	2.0	個	
○	端子函（屋外用差込式）	20T	1.0	個	
	端子函（屋外用差込式）	30T	1.0	個	撤去
○	600Vビニル絶縁電線（撚り線）	IV 2.0 SQ	6.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV 2.0-4C	30.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV 2.0-20C	8.0	m	
○	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV-SSD 2.0-4C	63.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV-SSD 2.0-4C	63.0	m	撤去
	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV-SSD 2.0-8C	17.0	m	撤去
○	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV-SSD 2.0-12C	48.0	m	
	制御用ビニル絶縁ビニルスケープル	CVV-SSD 2.0-12C	24.0	m	撤去
○	600V架橋PE絶縁ビニルスケープル	CV 5.5-2C	8.0	m	
○	自在バンド（器具取付）	3BD-HD-17(170~260)	1.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-17(170~265)	3.0	本	
○	自在バンド（ケーブル引留）	4BD-HD-23(230~325)	3.0	本	
○	ケーブル支持金物	SFT-208付	6.0	本	
○	ワイヤシンプル	丸型（18mm）	8.0	個	
○	巻付グリッパ	シンプル用（18mm <sup>2</sup> ）	8.0	個	
○	スパイラルハンガ-	L=1500	5.0	本	
○	柱間分岐金物	TWBC-1	2.0	個	
○	吊架金具	丸ミ付	1.0	個	
○	PEアースランプ		1.0	個	
○	車両灯器用アーム	L=4.0 主、補助アーム、ターンバックル付	2.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-SP19/ $\phi$ 190	1.0	組	
○	車両用灯器用アーム取付バンド	TSWBD-CP25/ $\phi$ 250- $\phi$ 310	1.0	組	
○	縦三位用アーム取付バンド	TUBS/L3*2 CP $\phi$ 190- $\phi$ 260	1.0	組	

# 材 料 内 訳 書

工事件名：道路改良工事（大門1号幹線・6-3）

購入	品 名	規 格	数量	単位	備考
○	振止金具	STK用	1.0	組	
○	振止金具	CP用	1.0	組	
○	車灯固定金具	片面用	2.0	組	
○	道路標識取付金具	アーム取付 φ900*2	1.0	組	
○	道路標識取付用アーム	アーム4500, 取付バンド, サドル	1.0	式	
	反射式路上標識	アーム取付 φ900*2	1.0	式	既存
	路側式反射標識	φ450 1点支持	1.0	枚	既存
	交差点名板	灯具取付 220*1100	2.0	枚	既存
○	電柱札	鋼管柱用	1.0	枚	
○	ケーブル標示札	県警名入	7.0	枚	
○	鋼管柱用反射シート	HPステッカー（マーク入）鋼管柱用	1.0	枚	
○	接地棒	丸型 E-B3 φ10×1000（土工なし）	1.0	本	

§ 10. 下水マンホール蓋

種別	細別	種目	設計数量	合計	数量	単位	規格									
管路土工	管路掘削	機械	2	2.4	2.26	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 0.16 × 7									
				0.10	m <sup>3</sup>	( 0.70 × 0.70 - 0.50 × 0.50 ) × π / 4 × 0.26 × 2										
				0.00	m <sup>3</sup>	( 2.00 × 2.00 - 0.94 × 0.94 ) × π / 4 × 0.45 ×										
				0.00	m <sup>3</sup>	( × 0.00 - × 0.00 ) × π / 4 ×										
	発生土処理	運搬	2	2.0	2.36	m <sup>3</sup>										
		受入	2	2.0	2.36	m <sup>3</sup>										
	管路埋戻	埋戻 RM-30		1	0.56	0.56	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 0.07 × 4								
			RC-40	0.01	0.01	0.01	m <sup>3</sup>	( 0.70 × 0.70 - 0.32 × 0.32 ) × π / 4 × 0.04 × 1								
					0.00	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 0.06 ×									
		RM-30			0.00	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 0.05 ×									
RM-30		1	0.71	0.71	m <sup>3</sup>	0.56 × 1.27										
RC-40		0.01	0.01	0.01	m <sup>3</sup>	0.01 × 1.27										
組立マンホール工	1号マンホール	マンホール蓋	7	7	7	組	T-25 φ600 高性能 分流用									
		調整リング	1	1	1	個	600×50									
		調整リング	7	7	7	個	600×100									
		調整リング	2	2	2	個	600×150									
		調整リング	0	0		個	600×200									
		斜壁ブロック	0	0		個	H=300									
		斜壁ブロック	0	0		個	H=450									
		斜壁ブロック	0	0		個	H=600									
		高さ調整部材	7	7	7	組										
		無収縮モルタル	7	7	6.44	袋	( 0.82 × 0.82 - 0.60 × 0.60 ) × π / 4 × 0.05 × 75 × 7									
					0.00	袋	( × 0.00 - × 0.00 ) × π / 4 × 75 ×									
		型枠	7	7	7	組										
		ブロック設置	0	0		組										
蓋及び調整リング据付	7	7	7	組												
蓋据付	0	0		組												
小型マンホール工	小型マンホール	高さ調整部材(M12)	2	2	2	組										
		無収縮モルタル	1	1	0.32	袋	( 0.50 × 0.50 - 0.40 × 0.40 ) × π / 4 × 0.03 × 75 × 2									
		型枠	2	2	2	組										
		铸铁製防護蓋再設置	2	2	2	組										
	基礎砕石	RC-40	1	0.8	0.82	m <sup>3</sup>	( 0.70 × 0.70 - 0.32 × 0.32 × π / 4 ) × 2									
				0.00	m <sup>3</sup>	( × 0.00 - × 0.00 × π / 4 ) ×										
	基礎厚 t=15cm	0.2	0.2	0.16	m <sup>3</sup>	0.82 × 1.27 × 0.15										
既設構造物撤去工	既設人孔撤去	ブロック撤去	0	0		組										
		蓋及び調整リング撤去	7	7	7	組										
		般運搬処分	0.4	0.35	0.086	m <sup>3</sup>	( 0.82 × 0.82 - 0.60 × 0.60 ) × π / 4 × 0.05 × 7									
					0.010	m <sup>3</sup>	( 0.50 × 0.50 - 0.40 × 0.40 ) × π / 4 × 0.07 × 2									
		0.354×2.3 =0.8 t			0.000	m <sup>3</sup>	( 1.05 × 1.05 - 0.90 × 0.90 ) × π / 4 × 0.30 ×									
					0.258	m <sup>3</sup>	( 0.82 × 0.82 - 0.60 × 0.60 ) × π / 4 × 1.05 × 1									
	スクラップ	1	0.56	0.56	t	0.08 × 7										
舗装版撤去工	舗装版切断	As舗装	60	56	50.40	m	( 1.80 + 1.80 ) × 2 × 7									
				5.60	m	( 0.70 + 0.70 ) × 2 × 2										
	舗装版破砕	機械	20	19.6	18.98	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 × π / 4 ) × 7									
				0.59	m <sup>3</sup>	( 0.70 × 0.70 - 0.50 × 0.50 × π / 4 ) × 2										
	般運搬処理	運搬	2	1.92	1.90	m <sup>3</sup>	18.98 × 0.10									
				0.02	m <sup>3</sup>	0.59 × 0.04										
	受入	5	4.51	4.51	t	1.92 × 2.35										
舗装復旧工	上層路盤	瀝青安定処理材	14	14.1	14.12	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 7									
				0.00	m <sup>3</sup>	( 2.00 × 2.00 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 ×										
		路盤厚 t=9cm(平均)		0	0.00	m <sup>3</sup>	14.12 × 1.27 ×									
	上層路盤	RM-30		2	2.0	2.02	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 1								
					0.00	m <sup>3</sup>	( 2.00 × 2.00 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 ×									
		路盤厚 t=20cm		1	0.51	m <sup>3</sup>	2.02 × 1.27 × 0.20									
		RM-30		4	4.0	4.03	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 × 2								
					0.00	m <sup>3</sup>	( 2.00 × 2.00 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 ×									
		路盤厚 t=18cm		0	0.92	m <sup>3</sup>	4.03 × 1.27 × 0.18									
	RC-30		0.4	0.4	0.38	m <sup>3</sup>	( 0.70 × 0.70 - 0.50 × 0.50 ) × π / 4 × 2									
				0.00	m <sup>3</sup>	( 2.00 × 2.00 - 0.82 × 0.82 ) × π / 4 ×										
	路盤厚 t=10cm		0	0.05	m <sup>3</sup>	0.38 × 1.27 × 0.10										
基層	再生粗粒20	19	19.0	18.98	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 × π / 4 ) × 7										
				0.00	m <sup>3</sup>	( 2.00 × 2.00 - 0.82 × 0.82 × π / 4 ) ×										
仮舗装	再生粗粒20	19	19.0	18.98	m <sup>3</sup>	( 1.80 × 1.80 - 0.82 × 0.82 × π / 4 ) × 7										
	再生密粒13			0.00	m <sup>3</sup>	( 0.70 × 0.70 - 0.50 × 0.50 × π / 4 ) ×										